

現場説明事項

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第2期工事）（ゼロ債務）

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、勝瀬中学校特別教室棟の外部と内部の一部の長寿命化のための建築工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工書の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、電気設備工事、機械設備工事を含めた全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 勝瀬中学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 7) 現場施工期間は関連工事（電気設備工事、機械設備工事）を含め令和7年4月中旬から令和7年12月12日とする。また、下記①～⑤の事項に留意し、工事を進めること。
 - ①施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
 - ②石綿撤去工事は夏季休業期間で完了すること。（令和7年7月19日から令和7年8月24日）
 - ③アスファルト舗装工事4月下旬から5月上旬に行うこと。また、アスファルト舗装工事は仮設鉄板駐車場敷設後に行うこと。
 - ④内部工事の施工期間は令和7年7月19日から令和7年10月31日までとする。
 - ⑤上記の各施工期間内に現場使用前検査（室内濃度測定含む）を受け、関連工事とともに引き渡すこと。
- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上

で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。

- 1 0) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。
- 1 1) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
- 1 2) 同施設において、「市立勝瀬中学校長寿命化電気設備工事（第2期工事）（ゼロ債務）」
「市立勝瀬中学校長寿命化機械設備工事（第2期工事）（ゼロ債務）」を予定している
ため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

設 計 仕 様 書

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)

工事場所 富士見市大字勝瀬地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)																					
請負工事費																					
工事概要 市立勝瀬中学校特別教室棟の長寿命化建築工事 防水改修工事 石綿除去工事 内部改修工事 外壁改修工事 外構工事																					
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総括表</td> <td>上段</td> <td>設計変更</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>摘要</td> <td>下段</td> <td>原設計</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>数量</td> <td>備</td> <td>考</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					総括表		上段	設計変更	名称	摘要	下段	原設計	金額	数量	備	考	単位				
					総括表		上段	設計変更													
名称	摘要	下段	原設計																		
金額	数量	備	考																		
単位																					
直接工事費		1	式																		
計		1	式																		
共通仮設費		1	式																		
純工事費		1	式																		
現場経費		1	式																		
工事原価		1	式																		
一般管理費		1	式																		
工事価格	スクラップ控除後				スクラップ控除前 スクラップ控除																
改め																					
消費税相当額		1	式		10%																
請負工事費																					

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()

()

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第2期工事）（ゼロ債務）					
	共通仮設積上げ分	1	式			
	直接工事費					
	A 建築工事	1	式			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
00	共通仮設											
		積上げ分										
	仮囲い	ガードフェンスh1.8	運搬費共	90.9		m						
	仮囲い	単管バリケード		65.0		m						
	仮門	シートゲート W3.6		1.0		か所						
	鉄板敷	t22		1017.0		m ²						
	区画マーキングテープ	1～36		1.0		式						
	交通誘導員			180.0		人						
	室内環境測定	1ポイント5品目・工事前／工事後	報告書各2部	1.0		式						
	重機費	油圧式トラッククレーン4.9 t 吊钩レタ付		10.0		日						
	石綿含有調査	JIS-A1481-1		2.0		箇所						
	PS周り物品移動	毛布、備蓄品等	ダンボール80箱程度	1.0		式						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第2期工事）（ゼロ債務）						
1	直接仮設	1	式			
2	防水改修	1	式			
3	外壁改修	1	式			
4	建具改修	1	式			
5	内装改修	1	式			
6	塗装改修	1	式			
7	環境配慮改修	1	式			
8	躯体改修	1	式			
9	外構	1	式			

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
10	発生材処分	1	式			
	計					

積算用紙

名	称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
1	直接仮設						
	【仮設】						
	内部養生	複合改修	258.0	㎡			
	整理清掃（内部）	複合改修	258.0	㎡			
	外部養生	防水改修	583.0	㎡			
	整理清掃（外部）	防水改修	583.0	㎡			
	外部養生	外壁改修	226.0	㎡			
	整理清掃（外部）	外壁改修	226.0	㎡			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【足場】						
外部足場（手摺先行）	くさび緊結式足場 W900					
	従来型 運搬費共	2004.0	m ²			
安全手すり						
	運搬費共	113.0	m			
垂直養生						
	防音シート 運搬費共	2004.0	m ²			
階段仕上足場						
		150.0	m ²			
内部足場						
	脚立足場	14.5	m ²			
仮設間仕切						
	B種 LGS 石膏ボードt9	461.0	m ²			
仮設扉						
	木製	12.0	か所			
施工数量調査						
	外壁改修	2100.0	m ²			
小 計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
2 防水改修						
1. 屋上屋根		1.0	式			
2. 3階屋根		1.0	式			
3. 外部階段		1.0	式			
4. バルコニー		1.0	式			
小 計						

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
2	防水改修											
	1. 屋上屋根											
	(撤去・下地処理)											
	既存伸縮目地撤去			208.0		m						
	ドレン上皿撤去	縦型		4.0		か所						
	立上りモルタル撤去	ブロック共 H260程度		20.4		m ²						
	側溝部モルタル撤去	W400		17.6		m ²						
	立上り防水層撤去	石綿含有みなし H260程度		20.4		m ²						
	下地全面高圧水洗			372.0		m ²						
	撤去部ケレン清掃	H260程度		20.4		m ²						

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	撤去部仮防水処理	H260程度		20.4	m ²							
	側溝部勾配調整	モルタル厚20～50		17.6	m ²							
	目地撤去部アスファルト系シーリング	パッカー材共		208.0	m							
	笠木 下地平滑処理	ポリマーセメントモルタル塗布		48.0	m ²							
	壁面立上り 下地平滑処理	エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150程度		1.1	m ²							
	煙突 下地平滑処理	ポリマーセメントモルタル塗布		7.2	m ²							
	欠損部 下地補修	モルタル補修 L300以内		1.0	か所							
	壁面立上り Vカット処理	150mm程度 防水層立ち上げる		7.5	m							
	壁面立上り シール処理			7.5	m							
	ドレン廻り 研り・モルタル修正	縦型		4.0	か所							

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	笠木	水切りテープ	設置		87.5		m						
	煙突	水切りテープ	設置		10.0		m						
	屋上	下階PS配管貫通部	穴埋め	100φ	2.0		か所						
	(改修)												
	平面	加熱型改質アスファルト塗膜	防水	AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	298.0	m ²						
	側溝	加熱型改質アスファルト塗膜	防水	AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	17.6	m ²						
	立上り	加熱型改質アスファルト塗膜	防水	AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	20.4	m ²						
	改修用ドレン	銅製	堅型	アルミダイキャスト製	キャップ共	4.0	か所						
	脱気筒			ステンレス製		6.0	か所						
	笠木	高韌性	メタ	塗膜防水密着工法		48.0	m ²						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁面	高靱性珪酸塗膜防水密着工法	1.1	m ²			
煙突	高靱性珪酸塗膜防水密着工法	7.2	m ²			
高耐久性珪酸防水用保護塗料	OTコートシリコン	56.3	m ²			
下地調整	平場 樹脂モルタルノリ	298.0	m ²			
小々計						

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2.	3階屋根												
	(撤去・下地処理)												
	既存伸縮目地撤去			107.0	m								
	ドレン上皿撤去	縦型		2.0	か所								
	ドレン上皿撤去	横型		1.0	か所								
	立上りモルタル撤去	ブロック共 H260程度		14.0	m ²								
	側溝部モルタル撤去	W400		7.2	m ²								
	立上り防水層撤去	石綿含有みなし H260程度		14.0	m ²								
	下地全面高圧水洗			343.0	m ²								
	撤去部ケレン清掃	H260程度		14.0	m ²								
	撤去部仮防水処理	H260程度		14.0	m ²								

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝部勾配調整	モルタル厚20～50	7.2	㎡			
目地撤去部アスファルト系シーリング	パッカー材共	107.0	m			
笠木 下地平滑処理	ポリマーセメントモルタル塗布	32.5	㎡			
壁面立上り 下地平滑処理	エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150程度	2.6	㎡			
基礎 下地平滑処理	ポリマーセメントモルタル塗布	2.1	㎡			
煙突 下地平滑処理	ポリマーセメントモルタル塗布	2.8	㎡			
壁面立上り ヲット処理	150mm程度 防水層立ち上げる	17.0	m			
壁面立上り ヲール処理		17.0	m			
ドレン廻り 研り・モルタル修正	縦型	2.0	か所			
ドレン廻り 研り・モルタル修正	横型	1.0	か所			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
笠木 水切りテープ設置		70.0	m			
煙突 水切りテープ設置		3.0	m			
(改修)						
平面 加熱型改質アスファルト塗膜防水 AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	297.0	㎡			
立上り 加熱型改質アスファルト塗膜防水 AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	14.0	㎡			
壁面 加熱型改質アスファルト塗膜防水 AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	1.8	㎡			
架台 加熱型改質アスファルト塗膜防水 AHFK-045・TH	プライアス+フラット仕上げ	2.1	㎡			
改修用ドレン 銅製縦型	アルミダイキャスト製 キャップ共	5.0	か所			
改修用ドレン 銅製ヨコ型	アルミダイキャスト製 キャップ共	8.0	か所			
脱気筒	ステンレス製	5.0	か所			
笠木 高靱性ウレタン塗膜防水密着工		32.5	㎡			

積算用紙

名	称	摘 要	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	壁面	高靱性ウレタン塗膜防水密着工	14.0		㎡			
	煙突	高靱性ウレタン塗膜防水密着工	2.8		㎡			
	高耐久性ウレタン防水用保護塗料	OTコートシリコン	49.3		㎡			
	小々計							

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	3. 外部階段												
	(撤去・下地処理)												
	下地全面	下地全面	下地全面	137.0	m ²								
	全面	下地処理	ホ [○] リマーセメントモルタル塗布	137.0	m ²								
	下地補修	全体の5%(ひび割れ、浮き補修)		6.9	m ²								
	(改修)												
	階段	ウレタン塗膜防水密着工法	X-2 オルタックエース	46.5	m ²								
	階段	巾木 ウレタン塗膜防水密着工法	X-2 オルタックエース	22.7	m ²								
	踊場	ウレタン塗膜防水密着工法	X-2 オルタックエース	51.8	m ²								

積算用紙

名	称	摘 要	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	踊場巾木	ウレタン塗膜防水密着工法	X-2	オルタックエース	16.1	m ²		
	高耐久高反射性ウレタン防水用保護塗料	OTコートシリコンケール			137.0	m ²		
	小々計							

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4.	バルコニー												
	(撤去・下地処理)												
	下地全面	高圧水洗		229.0	m ²								
	全面	下地処理	ポリマーセメントモルタル塗布	229.0	m ²								
	下地	補修	全体の5%(ひび割れ、浮き補修)	11.5	m ²								
	ドレン	防錆処理	錆落とし、防錆塗装	24.0	か所								
	(改修)												
	平面	ウレタン塗膜防水密着工法	X-2 オルタックエース	166.0	m ²								
	側溝巾木	ウレタン塗膜防水密着工法	X-2 オルタックエース	62.9	m ²								
	高耐久ウレタン	防水用保護塗料	OTコートシリコン	229.0	m ²								
	小々計												

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 外壁改修						
(撤去)						
堅とい撤去	VP 100φ	78.1	m			
堅とい撤去	VP 75φ	11.3	m			
呼びとい撤去	VP 75φ L1000	17.0	か所			
犬走り 段鼻ノスリップタイル撤去		71.0	m			
軒天 ボート撤去	石綿含有みなし 一重貼	78.4	m ²			
軒天 LGS下地撤去		78.4	m ²			
階段 ノスリップタイル撤去		29.7	m			
EXP. J金物撤去	W200	61.7	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(改修)						
外巾木 基礎巾木専用塗料	水性アクリルシリコン系 シーラー共	46.9	m ²			
外壁 防水型複層塗材E	超低低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 シーラー共 下地調整CM-2	1086.0	m ²			
手摺壁 防水型複層塗材E	超低低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 シーラー共 下地調整CM-2	322.0	m ²			
梁型 防水型複層塗材E	超低低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 シーラー共 下地調整CM-2	137.0	m ²			
階段 防水型複層塗材E	超低低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 シーラー共 下地調整CM-2	163.0	m ²			
軒天 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕	シーラー共	235.0	m ²			
段裏 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕	シーラー共	110.0	m ²			
下地処理 高圧水洗	5~15MPa	2100.0	m ²			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打継目地シリング	PS-2系 25x20	433.0	m			
犬走 塗床	水性無機質浸透型床材 屋外・NS仕様	163.0	m ²			
犬走 下地処理 高压水洗	5~15MPa	163.0	m ²			
犬走 下地補修	全体の5%程度 ひび割れ、浮き補修	8.2	m ²			
犬走 下地研磨処理	タヤ研磨程度	163.0	m ²			
犬走 ノスリップ [®] タイル	磁器質	71.0	m			
軒天 フレキシブルボード [®]	t4 目透かし	78.4	m ²			
軒天 LGS下地	25形 @300 H1500以下	78.4	m ²			
豎とい	VP 100φ 掴み金物共	78.1	m			
豎とい	VP 75φ 掴み金物共	11.3	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
呼びとい	VP 75φ L1000 掴み金物共	17.0	か所			
手摺壁 ステンレスパイプクリーンク	H150	199.0	m			
階段 ノスリップタイル新設	磁器質	29.7	m			
壁面 中性化・塩害対策 表面被覆工法	亜硝酸リウム併用	1755.0	m ²			
軒裏 中性化・塩害対策 表面被覆工法	亜硝酸リウム併用	345.0	m ²			
アルミ製EXP.J新設	W880 屋根－屋根 耐火仕様	4.1	m			
同上溶接小口フタ		2.0	か所			
アルミ製EXP.J新設	W485 外壁－屋根 耐火仕様	7.6	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製EXP. J新設	W160					
	外壁-外壁 耐火仕様	26.8	m			
アルミ製EXP. J新設	W160					
	外壁コーナー 耐火仕様	18.5	m			
アルミ製EXP. J新設	W160					
	床-床	4.7	m			
クラック補修						
	Uカットシーリング材充填	294.0	m			
欠損補修						
	亜硝酸リチウム併用・断面修復工法	20.0	箇所			
爆裂補修						
	亜硝酸リチウム併用・断面修復工法	61.0	箇所			
小 計						

上段	変更設計
下段	原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4 建具改修						
1. 外部建具		1.0	式			
2. 内部建具		1.0	式			
小計						

(P. A - 22 -)

(.....)

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 外部建具						
AW1 アルミ製引違窓・FIX窓 新設	撤去・カバー工法共 W5700xH1300 シルバー 見込70	2.0	か所			
AW4A アルミ製引違窓・FIX窓 新設	撤去・カバー工法共 W3940xH1300 シルバー 見込70	2.0	か所			
AW11 アルミ製引違戸・引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W3170xH1800 シルバー 見込70	1.0	か所			
AW12 アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W3170xH1300 シルバー 見込70	11.0	か所			
AW12A アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W3400xH1300 シルバー 見込70	2.0	か所			
AW13 アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W2950xH1300 シルバー 見込70	3.0	か所			
AW16 アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W2640xH1300 シルバー 見込70	5.0	か所			
AW17 アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W1700xH1300 シルバー 見込70	1.0	か所			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW18 アルミ製引違窓 新設	撤去・カバー工法共 W1500xH1300 シルバー 見込70	6.0	か所			
AW22 アルミ製FIX窓 新設	撤去・カバー工法共 W800xH1300 シルバー 見込70	1.0	か所			
(撤去・建具関連)						
ガラス撤去		125.0	m ²			
建具廻り 外部シーリング撤去		356.0	m			
(改修・建具関連)						
網入り型板ガラス	t6.8 2.18m ² 以下 清掃・ガラスシーリング共	6.3	m ²			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
学校用強化透明ガラス	t4 2.00㎡以下 清掃・ガラスシリング共	43.0	㎡			
Low-E複層ガラス(スクールペア エコガラスタイプ)	Low強化+A12+強化4 2.00㎡以下 清掃・ガラスシリング共	66.7	㎡			
ガラス突合せシール	MS-2系 15x10程度	2.8	m			
建具廻り 外部シリング新設	MS-2系 15x10程度	342.0	m			
額縁 SOP塗替え	木部 細幅	253.0	m			
少々計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 内部建具						
SD4 鋼製片開きフラッシュ戸 新設	特定防火設備(常閉)防錆・焼付塗装 W800xH2000	5.0	か所			
SS2 鋼製シャッター 新設	特定防火設備(遮音性能・煙感連動)防錆・焼付塗装 W2785xH2590	5.0	か所			
上記運搬・取付費	シャッター工事	1.0	式			
SD10 スチール製両開きアングル戸 新設	防錆 W600xH1,700	4.0	か所			
(撤去・建具関連)						
鋼製建具撤去	枠共 片開き	8.4	m ²			
鋼製建具(シャッター)撤去	BOX、レール共	36.1	m ²			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(改修・建具関連)						
枠廻り はつり	RC t120	84.2	m			
枠廻り モルタル詰め		81.8	m			
少々計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5 内装改修						
(撤去)						
CB撤去	VP石綿含有みなし	6.6	m3			
化粧石膏ボード撤去再取付	CB撤去影響範囲	5.0	m2			
(改修)						
軽鉄下地 新設	65形 @450	44.2	m ²			
壁 石膏ボード二重張	GB-R t12.5+9.5 継目	44.2	m ²			
ソト巾木	H60	15.3	m			
(家具)						
既存家具 移設・再設置		1.0	式			

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(階段室B)						
内壁面アスベスト除去	※外壁 環境配慮改修項にて計上	1.0	式			
床 長尺床材 撤去		55.5	m ²			
踊場 長尺床材 撤去	t2.5	42.4	m ²			
踏面、蹴込 長尺床材 撤去	t2.5	82.8	m ²			
ノズリップ 撤去		196.0	m			
床 ビニル床シート 新設	t2.0 NO WAX仕様	55.5	m ²			
踊場 ビニル床シート 新設	t2.0 耐摩耗性・全層模様仕様	42.4	m ²			
踏面・蹴込 ビニル床シート 新設	t2.0 耐摩耗性・全層模様仕様	82.8	m ²			
ノズリップ 新設	W35 SUS	196.0	m			

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
CB撤去	VP石綿含有みなし	14.4	m ²			
軽量鉄骨壁下地	W100	104.0	m ²			
壁 石膏ボード二重張	GB-R t12.5+9.5 継目	104.0	m ²			
ささら巾木	H330	14.0	m			
ソト巾木	H60	19.3	m			
木製壁付手摺 新設	35φ	58.4	m			
階段 点字ブロック 新設	ゴムタイル 薄型t3.8	5.8	m ²			
床 階数表示 新設		6.0	か所			
化粧石膏ボード撤去再取付	CB撤去影響範囲	12.1	m ²			
小計						

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6 塗装改修						
1. 外部		1.0	式			
2. 内部		1.0	式			
小計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 外部						
屋上 丸環 FE塗替え	19φ 100φ	25.0	か所			
軒天 EP塗り	ポート面 素地B種共	78.4	m ²			
少々計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 内部						
壁 EP-G 塗替え	モルタル面 下地調整(C-2)共	364.0	m ²			
壁 EP-G 塗り	ボード面 素地共 継目	148.0	m ²			
建具 SOP塗替え	鉄部 下地調整共	6.5	m ²			
建具 SOP塗り	鉄部 錆止めとも	13.1	m ²			
天井 EP-G塗替え	下地調整RB種共	172.0	m ²			
既存家具 UC塗替え	木部 下地調整共	60.8	m ²			
既存家具 UC塗替え	細幅物 木部 下地調整共	76.0	m			
少々計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7 環境配慮改修						
試験施工		1.0	式			
<本工事>						
外壁 仕上塗材・下地調整材除去	ウォータークリーン工法	1755.0	m ²			
軒天 仕上塗材・下地調整材除去	ウォータークリーン工法	345.0	m ²			
階段室内壁 仕上塗材・下地調整材除去	ウォータークリーン工法	468.0	m ²			
養生(足場最下部)	プラスチックシートt0.15(二重)	536.0	m ²			
機械損料	吸引装置含む	2568.0	m ²			
同時吸引廃材・廃水分別費	PH調整後現地処分	2568.0	m ²			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃棄物袋詰め	0.15mm 2重梱包	2568.0	m ²			
安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター	2568.0	m ²			
保護マスク・フィルター・保護カネ・手袋等		2568.0	m ²			
石綿作業主任者		1.0	式			
石綿含有産業廃棄物 処分費	廃養生材含む	26.0	m ³			
石綿含有産業廃棄物 収集運搬車	8t車	5.0	台			
諸経費	法定福利費含む	1.0	式			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
<環境測定>						
基本技術料		7.0	回			
作業前	敷地境界4点	4.0	点			
作業中	敷地境界4点+作業付近1点+ﾌﾟﾗﾝﾄ付近1点	30.0	点			
作業後	敷地境界4点	4.0	点			
放流水分析		1.0	回			
報告書作成費		1.0	回			
現場派遣費		7.0	回			
小 計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8 躯体改修						
校舎②屋上	ハト小屋躯体 撤去・新設 W2000xD500xH3950					
コンクリート撤去	有筋 鉄筋切断共 ブレーカー	4.0	m3			
普通コンクリート	Fc21+3 S18	4.0	m3			
コンクリート打設費	ポンプ 打設	4.0	m3			
ポンプ 圧送費		1.0	回			
打放し型枠	打ち放し補修、運搬費共	12.8	m ²			
異形鉄筋	SD295A D10	0.20	t			
異形鉄筋	SD295A D13	0.20	t			
鉄筋加工組立	運搬費共	0.40	t			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
接着系アンカー	D13 埋込長10d	18.0	本			
目荒らし・清掃	床	1.0	m ²			
目荒らし・清掃	壁	7.0	m ²			
小 計						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9 外構						
	(バスケットコートアスファルト舗装)					
	すきとり	H330 機械	104.0	m ³		
	機械運搬費		1.0	回		
	アスファルト舗装	密粒 A-8-25	345.0	m ²		
	舗装機械運搬	モーターブレード、振動ローラー アスファルトフィニッシャー	1.0	式		
	縁石	9-11-9	52.0	m		
	残土搬出受入費		104.0	m ³		
	残土場外搬出	4tコンテナ	13.0	回		
	小計					

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
9	発生材処分												
	1. 外部			1.0			式						
	2. 内部			1.0			式						
	小計												

積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
1.	外部											
	処分費	コンクリート類		9.1		t						
	処分費	ガラス・タイル類		3.2		t						
	処分費	廃プラスチック		0.8		m3						
	処分費	混合廃棄物		2.5		m3						
	処分費	石綿含有産業廃棄物		1.2		m3						
	積込み	コンクリート類 人力		5.4		m3						
	積込み	ボード・木類 人力		4.4		m3						
	運搬費	石綿含有産業廃棄物 4 t 車 75km以下 DID区間有り		1.2		m3						
	運搬費	コンクリート類 4 t 車 12km以下 DID区間有り		5.4		m3						
	運搬費	ボード類 4 t 車 12km以下 DID区間有り		4.4		m3						

積算用紙

名	称	摘 要	数	量	単位	単 価	金 額	備 考
	2. 内部							
	処分費	石綿含有産業廃棄物						
		コンクリート類	22.30		m3			
	処分費	石綿含有産業廃棄物						
		シート	0.40		m3			
	積込み							
		コンクリート類 人力	22.30		m3			
	積込み							
		ボード・木類 人力	0.4		m3			
	運搬費	コンクリート類						
		4 t 車 75km以下 DID区間有り	22.30		m3			
	運搬費	ボード・木類						
		4 t 車 13km以下 DID区間有り	0.40		m3			
	有価物売却							
		鉄屑 へびー H4	1.60		t			
	小 計							

市立勝瀨中学校長寿命化建築工事（第2期工事）（ゼロ債務）

設 計 図

（有）桑子建築設計事務所

図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	建築図面名称	縮尺
(建築)			(建築)			(建築)		
A-01	表紙		A-51	改修後 建具表2	S=1/100			
A-02	図面リスト	—	A-52	改修前・後 1階家具キープラン、既存家具リスト	S=1/200			
A-03	特記仕様書(改修その1)	—	A-53	改修前・後 2階家具キープラン、既存家具リスト	S=1/200			
A-04	特記仕様書(改修その2)	—	A-54	改修前・後 3階家具キープラン、既存家具リスト	S=1/200			
A-05	特記仕様書(改修その3)	—	A-55	改修前・後 5階家具キープラン、既存家具リスト	S=1/200			
A-06	特記仕様書(改修その4)	—	A-56	サインキープラン1	S=1/200			
A-07	特記仕様書(改修その5)	—	A-57	サインキープラン2	S=1/200			
A-08	特記仕様書(改修その6)	—	A-58	サイン詳細図	S=1/3、15、5、1、10			
A-09	特記仕様書(改修その7)	—	A-59	仮設計画図、内壁アスベスト除去工事 特記事項(参考)	S=1/300			
A-10	特記仕様書(改修その8)	—	A-60	外壁アスベスト除去工事 特記事項(参考)	S=1/600			
A-11	工事区分表	—						
A-12	案内図、配置図	S=1/300						
A-13	工事範囲図(第2期工事)、 <small>(外部改修:工事範囲・サッシ改修範囲) (内部改修:工事箇所・内部仮設・工事動線(参考))</small>	S=1/400						
A-14	改修前・後 仕上表1	—						
A-15	改修前・後 仕上表2	—						
A-16	改修前・後 仕上表3	—						
A-17	改修前・後 仕上表4	—						
A-18	改修前・後 仕上表5	—						
A-19	改修前・後 1階平面図	S=1/200						
A-20	改修前・後 2階平面図	S=1/200						
A-21	改修前・後 3階平面図	S=1/200						
A-22	改修前・後 4階平面図	S=1/200、30						
A-23	改修前・後 5階平面図	S=1/200						
A-24	改修前・後 R階平面図	S=1/200、30						
A-25	改修前・後 立面図1	S=1/200						
A-26	改修前・後 立面図2	S=1/200						
A-27	改修前・後 立面図3	S=1/200						
A-28	改修前・後 (校舎②) 矩計図	S=1/50						
A-29	改修前・後 階段口 詳細図(ハト小屋部分)	S=1/50						
A-30	改修前 (1階) 技術準備室、防災倉庫、(2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 詳細図	S=1/50						
A-31	改修後 (1階) 技術準備室、防災倉庫、(2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 詳細図	S=1/50						
A-32	改修前 第2音楽室・楽器庫 詳細図	S=1/50						
A-33	改修後 第2音楽室・楽器庫 詳細図	S=1/50						
A-34	改修前 ②棟:(各階) 廊下 展開図	S=1/100						
A-35	改修後 ②棟:(各階) 廊下 展開図	S=1/100						
A-36	部分詳細図	S=1/3、20、5、50、100、10						
A-37	E×P・J 詳細図	S=1/100、10						
A-38	改修前・後 1階天井伏図	S=1/200						
A-39	改修前・後 2階天井伏図	S=1/200						
A-40	改修前・後 3階天井伏図	S=1/200						
A-41	改修前・後 4階天井伏図	S=1/200						
A-42	改修前・後 5、R階天井伏図	S=1/200						
A-43	改修前・後 1階建具表キープラン	S=1/200						
A-44	改修前・後 2階建具表キープラン	S=1/200						
A-45	改修前・後 3階建具表キープラン	S=1/200						
A-46	改修前・後 4階建具表キープラン	S=1/200						
A-47	改修前・後 5階建具表キープラン	S=1/200						
A-48	改修前 建具表1	S=1/100						
A-49	改修後 建具表1	S=1/100						
A-50	改修前 建具表2	S=1/100						

① 加熱型改質777樹脂塗膜防水工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない</p>				
6 改質アスファルトシート防水	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※[表3.4.1]から[表3.4.3]による</p> <p>・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
7 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
⑧ 塗膜防水	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				

⑨ シーリング	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
⑩ とい	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
⑪ アルミニウム製笠木	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
⑫ 防水工事施工票	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用</p> <p>※非歩行使用 ・軽歩行仕様</p> <p>・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム (・設置する ・設置しない)</p>				

② 欠損部改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
4-2 モルタル塗り仕上げ外壁	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
3 欠損部改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
4 浮き部改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				

5 浮き部改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
6 目地改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
4-4 塗り仕上げ外壁等	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
3 マスチック塗材塗り	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
4-5 外壁用塗膜防水材塗り	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				
	<p>高日射反射率防水の適用 <input type="checkbox"/> ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>種類 ()、設置数量 () 個/㎡</p>				

① 改修工法	① 改修工法 [5.1.3]	建具の種類 ○アルミ製建具 ○樹脂製建具 ○鋼製建具 ○鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具 ・木製建具	かぶせ工法 撤去工法	適用箇所 ・建具表による ・建具表による ・建具表による ・建具表による ・建具表による ・建具表による	
	② 防火戸	適用箇所 ※建具表による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ○行う ※建具表による			
	③ 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具符号:) ・行わない 建具見本製作の目的等: () 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:) ・行わない			
	④ 防犯建物部品	適用箇所 (・建具表による)			
	⑤ アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 気密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 水密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 外部に面する建具の種別			
	⑥ 網戸等	種類 ○防虫網 ・防鳥網	材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316)製 ステンレス (SUS304)線材	線径 ※0.25mm以上 1.5mm	網目 ※16~18メッシュ 網目寸法15mm
	⑦ 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 気密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 水密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 外部に面する建具の種別			
	⑧ 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)			
	⑨ 鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)			
	⑩ ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)			
11 木製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
12 建具用金物	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
13 鍵	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
14 自動ドア開閉装置	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
15 閉鎖上吊り引戸装置	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
16 重量シャッター	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
17 軽量シャッター	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
18 オーバーヘッドドア	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
19 ガラス	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
20 ガラスブロック	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				
21 ガラス用フィルム	性能値等 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100)				

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区都引1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
設計年月日
2023.3.15

縮尺
-

工事名称
市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第2期工事) (ゼロ債務)
図面名称
特記仕様書 (改修その3)

No. A-05

Table with 10 columns: ⑧ 合板等, ⑨ 接合具等, ⑩ 接着剤, ⑪ 防腐・防蟻処理, ⑫ 内部間仕切軸組及び床組み, ⑬ 窓、出入口その他, ⑭ 軽量鉄骨天井下地. Includes specifications for construction materials like plywood, adhesives, and structural elements.

Table with 10 columns: ⑮ 軽量鉄骨壁下地, ⑯ ビニル床シート, 17 ビニル床タイル, 18 特殊機能床材, ⑰ ビニル幅木, 20 ゴム床タイル, 21 カーペット敷き, 22 合成樹脂塗床, 23 フローリング張り. Includes specifications for flooring materials like vinyl sheets, tiles, and carpet.

Table with 10 columns: 24 畳敷き, ⑵ せっこうボード, パーティクルボード, 吸音材料, せっこうボード製品, 合板, 化粧板, 天井のボード類, 突付け工法, 化粧加工の方法, 26 壁紙張り. Includes specifications for ceiling, acoustic, and wall materials.

Table with 10 columns: ⑳ モルタル塗り, 28 タイル張り, 29 セルフレベリング材, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, 33 トイレブース, ⑳ 手すり. Includes specifications for wall treatments, tiles, movable partitions, and handrails.

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の記号 呼び径 (mm) 備考 SD295 ※D16以下 SD345 ※D19以上 形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 溶接金網 鉄筋格子 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋() ・重ね継手 継手位置 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による () 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(4)) ・図示による () 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・図示による () 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による () 機械式定着工法 適用場所 ・図示による () 種類 ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ・図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm 各部配筋 (5.3.7) ※図示による 7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による 8 機械式継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 9 溶接継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ()	① コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用箇所 ◎24 2.3程度 ・15又は18・18 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (月 日~月 日、月 日~月 日) S=6 (月 日~月 日、月 日~月 日) ② セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 () ③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による () 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日 7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・A種 ※図示による () ・B種 ※図示による () ・C種 ※図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・a種 ※図示による () ・b種 ※図示による () ・c種 ※図示による () 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による () 9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ・合板 (※12mm) [G] ・コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ・図示による () スリーブの材質・規格等 ・図示による () 10 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による () 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.11による スランプ ※21cm	11 寒中コンクリート (6.11.1、2) 適用期間 (月 日~月 日) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による ()、S=() 12 曇中コンクリート (6.12.2) 適用期間 (月 日~月 日) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・図示による ()、S=() 13 マスコンクリート (6.13.1、2) 適用箇所 ・図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中庸熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による) スランプ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による 14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による () 15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限值は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17メータ又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	
	11 コンクリート工事	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	⑥ セメント (6.3.1)	⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	11 寒中コンクリート (6.11.1、2)
		⑥ 各部配筋 (5.3.7)	⑦ 骨材 (6.3.1)	⑧ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	12 曇中コンクリート (6.12.2)
		7 ガス圧接 (5.4.10)	⑧ 混和材料 (6.3.1)	⑨ 型枠 (6.8.2)	13 マスコンクリート (6.13.1、2)
		8 機械式継手 (5.5.3.5)	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	10 軽量コンクリート (6.10.1、2)	14 無筋コンクリート (6.14.1)
		9 溶接継手 (5.5.3.5)	6 湿潤養生 (6.7.2)		
			7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)		
			8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)		
			9 型枠 (6.8.2)		
			10 軽量コンクリート (6.10.1、2)		

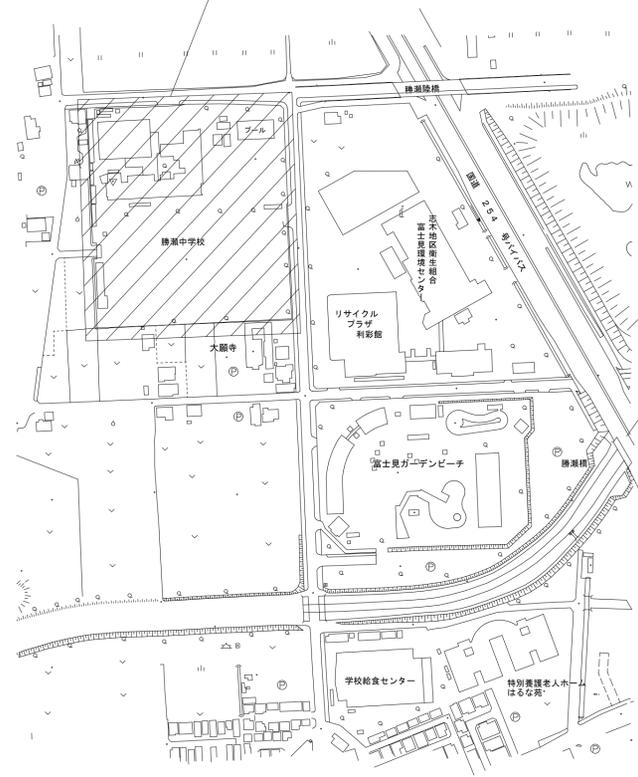
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区都引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 義

承認	設計	担当	縮尺	工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第2期工事) (ゼロ債務)
			設計年月日	図面名称	特記仕様書 (改修その6)
			2023.3.15		

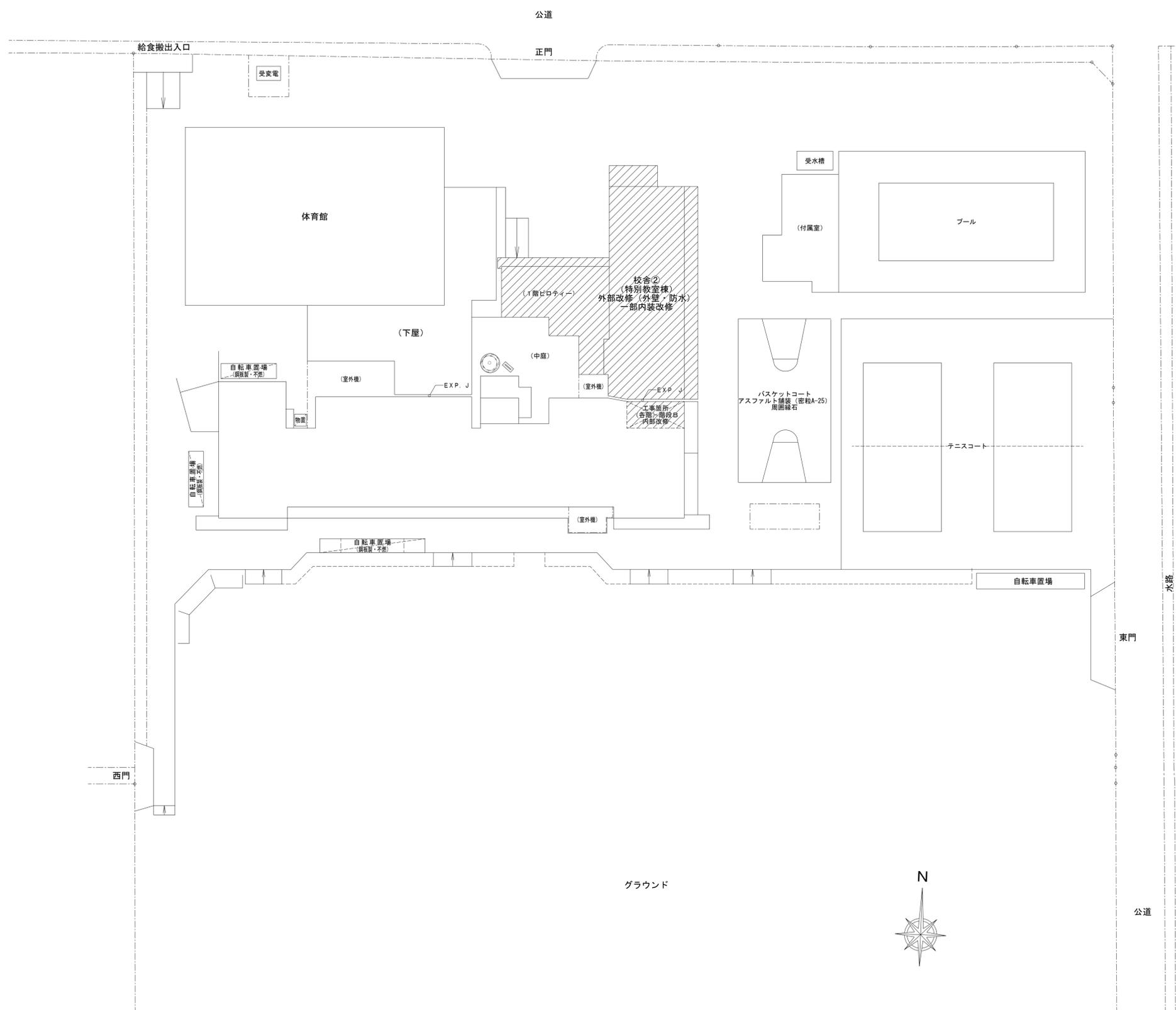
工事区分表																															
項目		A	E	M	別注	備考	項目		A	E	M	別注	備考	項目		A	E	M	別注	備考											
仮設・躯体関係							仕上げ関係							屋外排水設備・外構							空調設備										
1. 仮設	仮囲い	○					1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				各設備に合わせる	1. 雨水	縦樋	○	○			GL以降 M	機器への電源供給	○				1次側					
	共通足場	○				外部足場等		補強を要しないボードの切り込み	○	○			各工事毎とする		屋外雨水排水設備			○					機器の渡り配線及びリモコンスイッチの配線、エアコン及び全熱交換機用リモコンスイッチ取付		○						
	敷き鉄板	○						開口部の墨出し	○	○			各工事毎とする		樹及び樹ふた			○					機器とリモコンスイッチの渡り配管及びスイッチボックス取付		○						
	作業足場	○	○	○		各工事毎とする		開口部の補修	○						雨水貯留槽			○					集中リモコン工事		○						
	請負者事務所・下小屋・材料置場等	○	○	○				2. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	○	○				各工事毎とする	2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○				動力	動力制御盤までの一次側電源工事		○				
	監督員事務所					備品等含む			換気扇・配管	○	○		F D付 M サッシA P・穴あけ加工共 A					樹及び樹ふた			○					同上の二次側配管配線		○			
	工事用水・電力・ガス等	○	○	○		申請・引込・撤去含む 使用料は各工事毎とする			開口部の補修	○			シーリング等 A					3. 植栽	植栽及び客土												
	残材場外処分	○	○	○		各工事毎とする		3. 外壁まわり	ウエザーカー・ベントキャップ			○					4. その他		舗装工事			○	○	繋込み部分 E M							
	2. RC造（梁・壁・床）の貫通孔開口部	補強を要する型枠材及び取付け	○						4. 流しまわり	流し台・つり戸棚・コンロ台	○	○	○		照明・20ℓ外電源 E 給排水・ガス M					側溝工事	○	○			溝・蓋 A 繋込み部分 M						
	補強を要しない型枠材及び取付け		○	○						フード	○	○			20ℓ外電源 E				バルコニー工事		○						制御・防災	空調制御盤及び二次側配管配線		○	
貫通孔・開口部の径出し	○		○			5. 浴室まわり（シャワー室）	ユニットバス（ユニットシャワー室）	○		○	○	本体撤去 A 設備撤去 各工事毎とする											中央監視盤及び制御配管配線		○						
貫通孔・開口部の補強	○						給水・給湯エルボ、排水トラップ	○		○			設備撤去 各工事毎とする										ガス漏れ警報器及び配管配線		○						
スリーブ・型枠の穴埋め	○		○				換気扇	○		○			設備撤去 各工事毎とする										防災複合盤	(○)	○				各工事毎、 周囲補修含む (Aは適宜対応)		
躯体貫通部の防水処理	○		○	○		屋上防水貫通部分 A	照明、ジョイントボックス	○		○			設備撤去 各工事毎とする									電灯・分電盤類	(○)	○				各工事毎、 周囲補修含む (Aは適宜対応)			
3. 設備機器の基礎	建築図に記載のあるもの	○				6. 便所・洗面まわり（水廻り）	洗面カウンター・洗面化粧台	○	○	○	照明・20ℓ外電源 E、給排水 M											屋内消火栓BOX類	(○)	○	○			各工事毎、 周囲補修含む (Aは適宜対応)			
屋外・屋上のコンクリート基礎	○				化粧鏡		○														シャッターへの電源供給	○				感知器共 E					
屋上基礎で躯体にアンカーしない軽微なもの	○	○			衛生器具					○											シャッターから付属のスイッチ センサーへの配管工事		○								
機器取付用アンカー・架台	○	○			身障者用手摺																防火扉への電源供給		○			感知器共 E					
					衛生器具取付補強下地		○																								
					紙巻器																	シャッターからの電源供給	○				感知器共 E				
							7. フリーアクセスフロア	コンセント			○												シャッターからの電源供給	○				感知器共 E			
					床パネルの切り込み加工																										
					一時撤去・再設置																										
					撤去・新設			○																							
					8. その他	二重ピット及びびトレチのマンホールふた																									
						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ																									
						点検口（天井・床下）	○																								
						洗面器ライニング	○	○																							
4. その他	地下ピット内の通気・通水・換気パイプ			○			家具（実習台等）設置工事	○	○	○	本体 A 20ℓ外電源 E、給排水・ガス M																				



工事場所：富士見市大字勝瀬400-1
富士見市立勝瀬中学校



案内図 NOSCALE



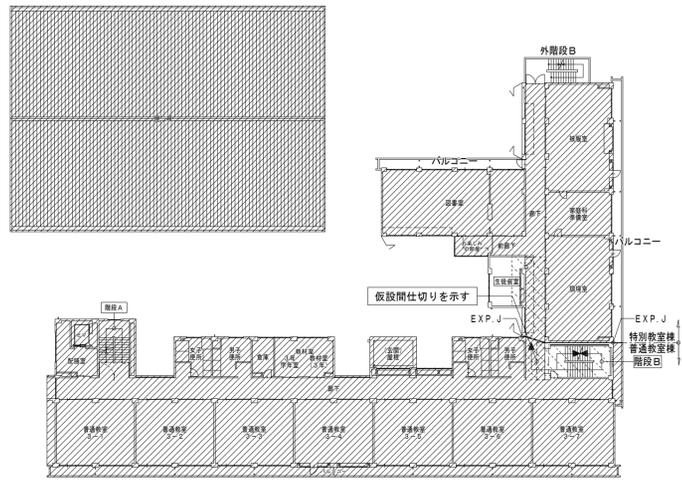
配置図 S=1/300



凡例： は、工事建物を示す。

<p>(有) 桑子建築設計事務所 さいたま市大宮区榎引町1-330-4 TEL 048-783-5566 一級建築士登録第67048号 桑子 尚</p>		<p>承認 設計 担当</p>	<p>縮尺 A1: 1/200 A3: 1/600 設計年月日 2023.3.15</p>	<p>工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務) 図面名称 案内図、配置図</p>	<p>No. A-12</p>
--	--	-----------------	---	--	-----------------

令和7年度：特別教室棟外壁 長寿命化改修工事
 〈工事範囲図〉(第2期工事)

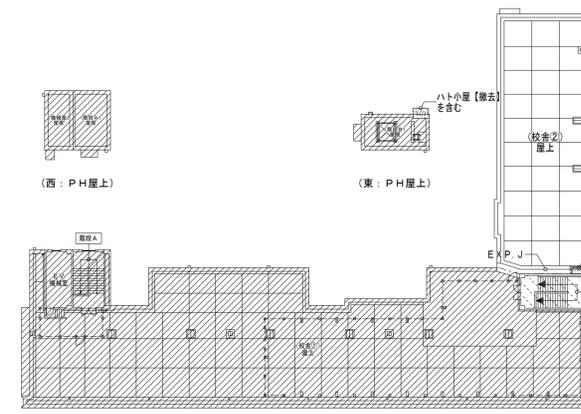


3階平面図 S=1/400

内部改修：工事順位
 ②3階：夏休み～9月工事
 ・階段B
 ・生徒会室
 *仮設間仕切りは、工事順位毎盛り替え

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 生徒会室【改修】
 ・内装改修(P S壁改修)
 内部E X P、J (外部と共に)【撤去・新設】
 他、上記に係る設備工事(別途)

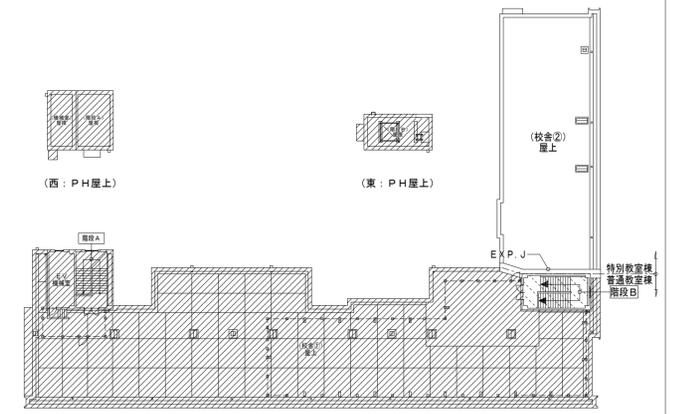


改修前 R階平面図 S=1/400

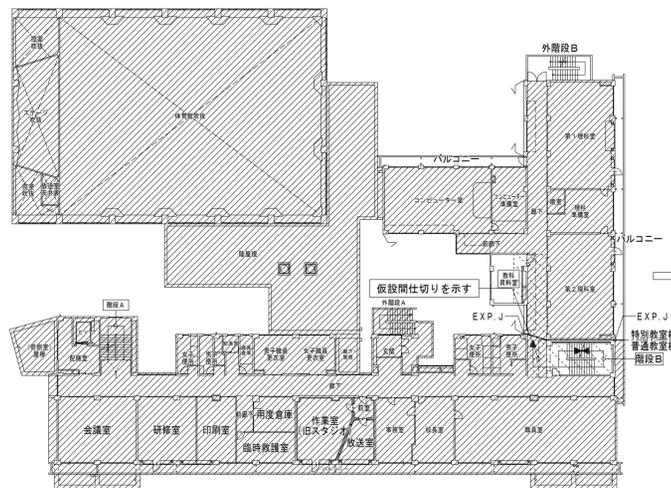
内部改修：工事順位
 ②PH階：夏休み～9月工事
 ・階段B

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 他、上記に係る設備工事(別途)



改修後 R階平面図 S=1/400

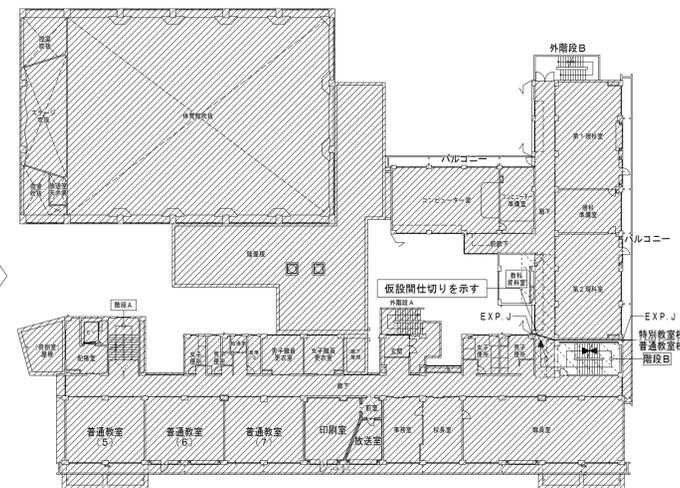


改修前 2階平面図 S=1/400

内部改修：工事順位
 ②2階：夏休み～9月工事
 ・階段B
 ・教科資料室
 *仮設間仕切りは、工事順位毎盛り替え

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 教科資料室【改修】
 ・内装改修(P S壁改修)
 内部E X P、J (外部と共に)【撤去・新設】
 他、上記に係る設備工事(別途)

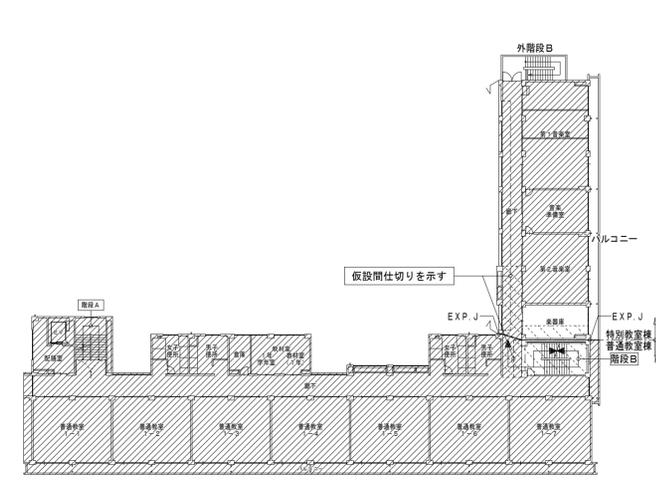


改修後 2階平面図 S=1/400

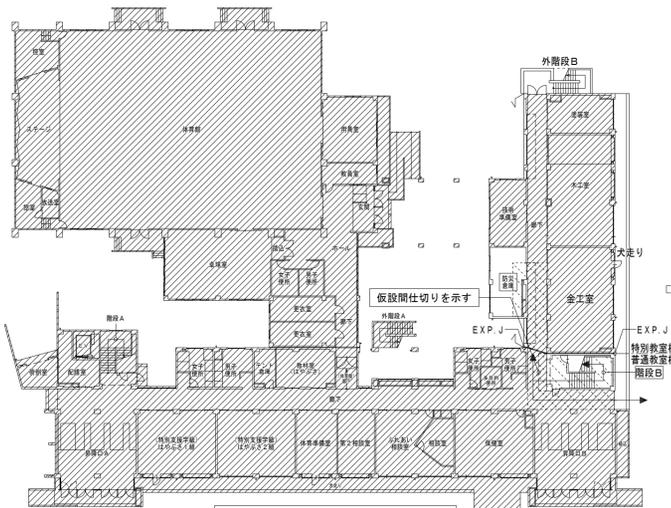
内部改修：工事順位
 ②5階：夏休み～9月工事
 ・階段B
 ・廊下、楽器庫
 *仮設間仕切りは、工事順位毎盛り替え

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 廊下、楽器庫【改修】
 ・内装改修(P S壁改修)
 内部E X P、J (外部と共に)【撤去・新設】
 他、上記に係る設備工事(別途)



5階平面図 S=1/400

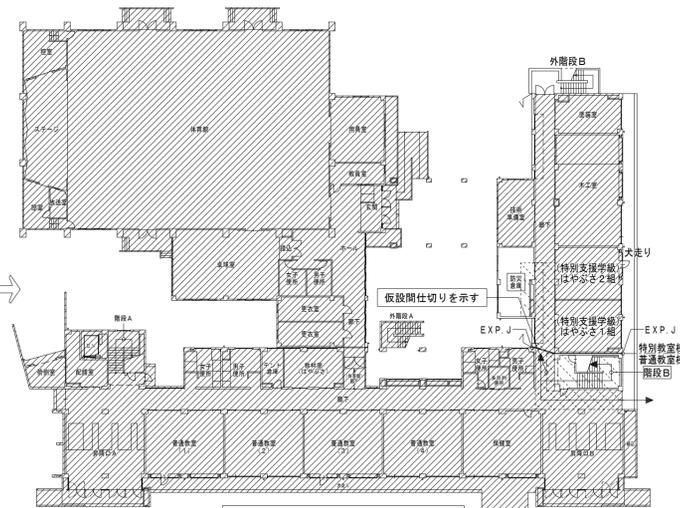


改修前 1階平面図 S=1/400

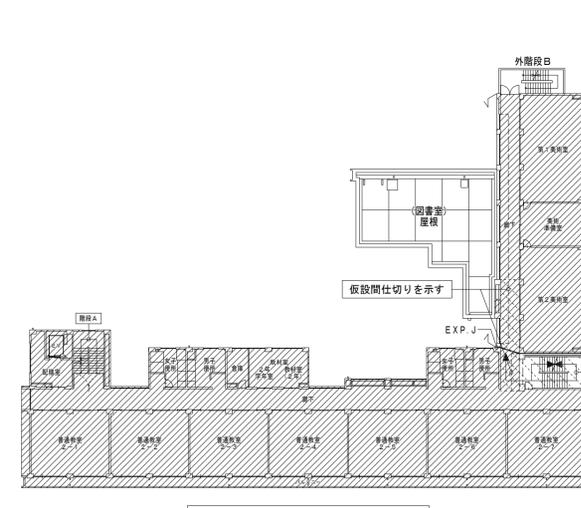
内部改修：工事順位
 ②1階：夏休み～9月工事
 ・階段B
 ・防災倉庫
 *仮設間仕切りは、工事順位毎盛り替え

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 防災倉庫【改修】
 ・内装改修(P S壁改修)
 内部E X P、J (外部と共に)【撤去・新設】
 他、上記に係る設備工事(別途)



改修後 1階平面図 S=1/400

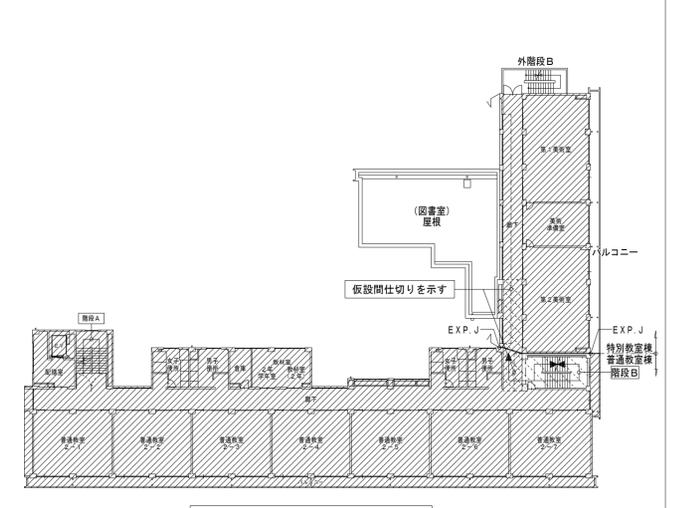


改修前 4階平面図 S=1/400

内部改修：工事順位
 ②4階：夏休み～9月工事
 ・階段B
 *仮設間仕切りは、工事順位毎盛り替え

※工事対象：特別教室棟
 ・既存外壁アスベスト除去工事
 ・外部改修(外壁・防水)
 ・(E X P、J、ハト小屋含む)
 ・(廊下側)外部サッシ改修
 ・(カバー工法)
 ・一部、内部改修
 (普通教室棟、特別教室棟)

*一部、内部改修
 階段B【改修】
 ・既存内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修
 廊下【改修】
 ・内装改修(P S壁改修)
 内部E X P、J (外部と共に)【撤去・新設】
 他、上記に係る設備工事(別途)



改修後 4階平面図 S=1/400

①夏休み工事、②夏休み～9月工事 (各期間毎の事前準備は協議による)
 凡例：
 [斜線] は、工事対象外を示す。
 [点線] は、工事完了箇所を示す。
 [破線] は、工事動線を示す。
 [点線] は、サッシ改修範囲を示す。
 [点線] は、床養生(ブルーシート敷)を示す。

※以降、各図において、上記工事内容に伴う該当箇所について【工事範囲】とする。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認	設計	担当	縮尺	A1:1/400
			AS:1/800	
			設計年月日	2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)	
図面名称	工事範囲図(第2期工事)、(外部改修：工事範囲・サッシ改修範囲) (内部改修：工事箇所・内部改修・工事動線(参考))	
No.	A-13	

仕 上 表 1																				
<p>外部仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>外 壁</p> <p>改修前 ・外装 コンクリート打放し、複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】 ・上裏 コンクリート打放し、外装塗材E (アクリルタイル) 吹付 【既存躯体修繕・下地処理】 ・外巾木: モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体修繕・下地処理】 ・既存BR補強部: 押出成形セメント板 t60 2-ASE (アクリルシリコン樹脂系エナメル) 塗 【既存下地調整】、シール【撤去】 ・既存柱補強部: 鋼板巻 t9.0 FE塗 【既存下地調整】</p> <p>改修後 ・外装 アスベスト除去、躯体修繕・下地処理の上、 アスファルト防水層 (A-2) 防水型複層塗材E 超低汚染・超耐熱解緩発熱低熱性高耐熱樹脂系 (凹凸・水系・つやあり) 【新規仕上】 ・上裏 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 水性アクリルシリコン樹脂系耐火用仕上塗材 【新規仕上】 ・外巾木: 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 基礎木専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】 ・既存BR補強部: 下地調整の上、外装仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】 ・既存柱補強部: 鋼板巻の上、FE塗替 【新規仕上】</p> </td> <td> <p>【既存躯体修繕・下地処理】 躯体修繕 クラック (0.2mm以上) Uカットウレタンシール材充填 浮き (一般部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (16本/m²、ステンレスピン) (縦幅部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (5本/m、ステンレスピン) (躯体長寿命化改修) 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 欠損・腐蝕 (鉄筋露出部) 周囲カッター入れ (深さ10mm程度)、ハブリ出し、錆落とし・清掃の上、 コンクリート面、混和剤2倍希釈液 (要補修リテーム含有パウダー専用混和剤) 塗布 鉄筋腐り 防錆ペースト (要補修リテーム含有ポリマーセメントペースト) 厚毛塗り ハブリ部: 防錆モルタル (厚付処理用) 要補修リテーム含有ポリマーセメントモルタル) 厚塗り 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 下地処理 水洗工法 (5-15MPa) (外壁) 下地調整材C-2 (段差修正後、パターン復元)、(上裏・外巾木) 下地調整材C-1 (段差修正後、パターン復元) ※吹付アスベスト (外壁・上裏) は【全面除去 (下地調整材まで)】とする。(詳しくは、別図「外装吹付アスベスト除去工事 特記事項」による)</p> </td> <td> <p>改修前 ・床 (立上り共) : モルタル防水金ゴテ、(1種2階のみ) モルタル防水金ゴテの上、ウレタン塗膜防水 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・手摺 : ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ、φ1.125</p> <p>改修後 ・床 (立上り共) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2、高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 : 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 : (外壁による) ・手摺 : ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p> </td> <td> <p>改修前 ・床 (立上り共) 【下地処理】 ・下地処理 全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメント塗布 ・ドレン防錆処理 錆落とし、防錆塗装</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (70~80mm2/箇所) 【新規仕上】</p> </td> <td> <p>【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、フェンス基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p> </td> <td> <p>改修前 ・(空筒・荷割室屋根) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p> </td> <td> <p>改修前 ・(PH屋根・階段A、B、EV機械室) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付 階段B基礎 (高耐久樹脂系C基礎)、天端ウレタン塗膜防水</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p> </td> <td> <p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p> </td> <td> <p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・(階段部) RC基礎: ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング打替 ・空木 水切りテープ設置</p> </td> <td> <p>改修前 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】 ・(PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】、FD : 鉄線製 【既存下地調整】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【撤去】 ・外部天井: LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【石綿含有なし 下地共撤去】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【撤去】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【撤去】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋: コンクリート立上り壁 (t1.500×500、H4.000) 【撤去】 ・屋上貫通配管 100φ 【撤去】 (機種設置) ・EXP. J金物: (屋上) 空木: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部立上り: 鉄板 #26 (0.5mm) H=100 【撤去】 (外部) 床面: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】 (内部) 壁・天井: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】、床: ステンレス製 t3.0 W=100 フラット 【撤去】</p> <p>改修後 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン (鋼製、アルミダイキャスト製キャップ共) 【新設】 (PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: 上部、ビルマス) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン 【新設】、FD : ノンタル系水性エポキシ樹脂塗料塗替 【既存再塗装】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【打替】 ・外部天井: LGS下地、(無石種) フレキシブルボード t4.0 目隠し張 EP塗 (1種・つや消し、反応硬化形低VOC水性塗料) 【下地共新設】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【新設】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【新設】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 FFE塗替 【既存再塗装】、塩ビ製カバー 【新設】 (シール交換済み) ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 FFE塗替 【既存再塗装】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋撤去部分: コンクリートバラベツ立上り 【新設】 (既存合わせ) ・屋上貫通配管撤去部分: (厚付用) 無収縮モルタル充填 【穴埋め】 ・EXP. J金物: (壁根・機種) 空木: アルミ製 t2.0 W80 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、滑接小口フタ 【新設】 (壁根・外壁) アルミ製 W485 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、外壁取扱い目地切りシーリング 【新設】 (内部床・内部床) アルミ製 W160 (化燃床タイプ: ビル床シート貼、クリアランス50) 【新設】 (内壁・内壁) (天井+天井) アルミ製 W160 (クリアランス50) 【新設】</p> </td> <td> <p>改修前 ・(丸天井) 鋼毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p> <p>改修後 ・(モルタル剛毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突共) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (5箇所)</p> </td> <td> <p>改修前 【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p> </td> <td> <p>改修前 ・(昇降口A底) ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p> </td> <td> <p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p> </td> <td> <p>改修前 ・外階段A (床・立上り無し) : 磁器質レンガタイル 【撤去】 段鼻: 磁器質レンガノスリップタイル 【撤去】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : モルタル金ゴテ 【下地処理】 段鼻: 磁器質ノスリップタイル 【撤去】 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・上裏 (外壁同様吹付) ・手摺 ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ</p> <p>改修後 ・外階段A (床) : 磁器質100角タイル・裏れ付き段鼻 【新規仕上】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2 高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】、端床シール 段鼻: ノスリップタイル 【新設】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 (外壁による) ・手摺 ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p> </td> <td> <p>改修前 【昇降口A底】 ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p> </td> <td> <p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p> </td> </tr> </table>		<p>外 壁</p> <p>改修前 ・外装 コンクリート打放し、複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】 ・上裏 コンクリート打放し、外装塗材E (アクリルタイル) 吹付 【既存躯体修繕・下地処理】 ・外巾木: モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体修繕・下地処理】 ・既存BR補強部: 押出成形セメント板 t60 2-ASE (アクリルシリコン樹脂系エナメル) 塗 【既存下地調整】、シール【撤去】 ・既存柱補強部: 鋼板巻 t9.0 FE塗 【既存下地調整】</p> <p>改修後 ・外装 アスベスト除去、躯体修繕・下地処理の上、 アスファルト防水層 (A-2) 防水型複層塗材E 超低汚染・超耐熱解緩発熱低熱性高耐熱樹脂系 (凹凸・水系・つやあり) 【新規仕上】 ・上裏 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 水性アクリルシリコン樹脂系耐火用仕上塗材 【新規仕上】 ・外巾木: 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 基礎木専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】 ・既存BR補強部: 下地調整の上、外装仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】 ・既存柱補強部: 鋼板巻の上、FE塗替 【新規仕上】</p>	<p>【既存躯体修繕・下地処理】 躯体修繕 クラック (0.2mm以上) Uカットウレタンシール材充填 浮き (一般部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (16本/m²、ステンレスピン) (縦幅部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (5本/m、ステンレスピン) (躯体長寿命化改修) 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 欠損・腐蝕 (鉄筋露出部) 周囲カッター入れ (深さ10mm程度)、ハブリ出し、錆落とし・清掃の上、 コンクリート面、混和剤2倍希釈液 (要補修リテーム含有パウダー専用混和剤) 塗布 鉄筋腐り 防錆ペースト (要補修リテーム含有ポリマーセメントペースト) 厚毛塗り ハブリ部: 防錆モルタル (厚付処理用) 要補修リテーム含有ポリマーセメントモルタル) 厚塗り 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 下地処理 水洗工法 (5-15MPa) (外壁) 下地調整材C-2 (段差修正後、パターン復元)、(上裏・外巾木) 下地調整材C-1 (段差修正後、パターン復元) ※吹付アスベスト (外壁・上裏) は【全面除去 (下地調整材まで)】とする。(詳しくは、別図「外装吹付アスベスト除去工事 特記事項」による)</p>	<p>改修前 ・床 (立上り共) : モルタル防水金ゴテ、(1種2階のみ) モルタル防水金ゴテの上、ウレタン塗膜防水 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・手摺 : ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ、φ1.125</p> <p>改修後 ・床 (立上り共) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2、高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 : 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 : (外壁による) ・手摺 : ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p>	<p>改修前 ・床 (立上り共) 【下地処理】 ・下地処理 全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメント塗布 ・ドレン防錆処理 錆落とし、防錆塗装</p>	<p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (70~80mm2/箇所) 【新規仕上】</p>	<p>【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、フェンス基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・(空筒・荷割室屋根) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p>	<p>改修前 ・(PH屋根・階段A、B、EV機械室) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付 階段B基礎 (高耐久樹脂系C基礎)、天端ウレタン塗膜防水</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p>	<p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・(階段部) RC基礎: ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング打替 ・空木 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】 ・(PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】、FD : 鉄線製 【既存下地調整】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【撤去】 ・外部天井: LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【石綿含有なし 下地共撤去】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【撤去】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【撤去】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋: コンクリート立上り壁 (t1.500×500、H4.000) 【撤去】 ・屋上貫通配管 100φ 【撤去】 (機種設置) ・EXP. J金物: (屋上) 空木: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部立上り: 鉄板 #26 (0.5mm) H=100 【撤去】 (外部) 床面: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】 (内部) 壁・天井: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】、床: ステンレス製 t3.0 W=100 フラット 【撤去】</p> <p>改修後 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン (鋼製、アルミダイキャスト製キャップ共) 【新設】 (PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: 上部、ビルマス) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン 【新設】、FD : ノンタル系水性エポキシ樹脂塗料塗替 【既存再塗装】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【打替】 ・外部天井: LGS下地、(無石種) フレキシブルボード t4.0 目隠し張 EP塗 (1種・つや消し、反応硬化形低VOC水性塗料) 【下地共新設】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【新設】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【新設】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 FFE塗替 【既存再塗装】、塩ビ製カバー 【新設】 (シール交換済み) ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 FFE塗替 【既存再塗装】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋撤去部分: コンクリートバラベツ立上り 【新設】 (既存合わせ) ・屋上貫通配管撤去部分: (厚付用) 無収縮モルタル充填 【穴埋め】 ・EXP. J金物: (壁根・機種) 空木: アルミ製 t2.0 W80 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、滑接小口フタ 【新設】 (壁根・外壁) アルミ製 W485 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、外壁取扱い目地切りシーリング 【新設】 (内部床・内部床) アルミ製 W160 (化燃床タイプ: ビル床シート貼、クリアランス50) 【新設】 (内壁・内壁) (天井+天井) アルミ製 W160 (クリアランス50) 【新設】</p>	<p>改修前 ・(丸天井) 鋼毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p> <p>改修後 ・(モルタル剛毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p>	<p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突共) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (5箇所)</p>	<p>改修前 【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・(昇降口A底) ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p>	<p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p>	<p>改修前 ・外階段A (床・立上り無し) : 磁器質レンガタイル 【撤去】 段鼻: 磁器質レンガノスリップタイル 【撤去】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : モルタル金ゴテ 【下地処理】 段鼻: 磁器質ノスリップタイル 【撤去】 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・上裏 (外壁同様吹付) ・手摺 ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ</p> <p>改修後 ・外階段A (床) : 磁器質100角タイル・裏れ付き段鼻 【新規仕上】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2 高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】、端床シール 段鼻: ノスリップタイル 【新設】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 (外壁による) ・手摺 ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p>	<p>改修前 【昇降口A底】 ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p>	<p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p>
<p>外 壁</p> <p>改修前 ・外装 コンクリート打放し、複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】 ・上裏 コンクリート打放し、外装塗材E (アクリルタイル) 吹付 【既存躯体修繕・下地処理】 ・外巾木: モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体修繕・下地処理】 ・既存BR補強部: 押出成形セメント板 t60 2-ASE (アクリルシリコン樹脂系エナメル) 塗 【既存下地調整】、シール【撤去】 ・既存柱補強部: 鋼板巻 t9.0 FE塗 【既存下地調整】</p> <p>改修後 ・外装 アスベスト除去、躯体修繕・下地処理の上、 アスファルト防水層 (A-2) 防水型複層塗材E 超低汚染・超耐熱解緩発熱低熱性高耐熱樹脂系 (凹凸・水系・つやあり) 【新規仕上】 ・上裏 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 水性アクリルシリコン樹脂系耐火用仕上塗材 【新規仕上】 ・外巾木: 躯体修繕・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 基礎木専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】 ・既存BR補強部: 下地調整の上、外装仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】 ・既存柱補強部: 鋼板巻の上、FE塗替 【新規仕上】</p>	<p>【既存躯体修繕・下地処理】 躯体修繕 クラック (0.2mm以上) Uカットウレタンシール材充填 浮き (一般部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (16本/m²、ステンレスピン) (縦幅部) アンカーピンニング部分樹脂注入工法 (5本/m、ステンレスピン) (躯体長寿命化改修) 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 欠損・腐蝕 (鉄筋露出部) 周囲カッター入れ (深さ10mm程度)、ハブリ出し、錆落とし・清掃の上、 コンクリート面、混和剤2倍希釈液 (要補修リテーム含有パウダー専用混和剤) 塗布 鉄筋腐り 防錆ペースト (要補修リテーム含有ポリマーセメントペースト) 厚毛塗り ハブリ部: 防錆モルタル (厚付処理用) 要補修リテーム含有ポリマーセメントモルタル) 厚塗り 【要補修リテーム併用・表面保護工法】 下地処理 水洗工法 (5-15MPa) (外壁) 下地調整材C-2 (段差修正後、パターン復元)、(上裏・外巾木) 下地調整材C-1 (段差修正後、パターン復元) ※吹付アスベスト (外壁・上裏) は【全面除去 (下地調整材まで)】とする。(詳しくは、別図「外装吹付アスベスト除去工事 特記事項」による)</p>	<p>改修前 ・床 (立上り共) : モルタル防水金ゴテ、(1種2階のみ) モルタル防水金ゴテの上、ウレタン塗膜防水 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・手摺 : ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ、φ1.125</p> <p>改修後 ・床 (立上り共) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2、高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 : 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 : (外壁による) ・手摺 : ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p>	<p>改修前 ・床 (立上り共) 【下地処理】 ・下地処理 全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメント塗布 ・ドレン防錆処理 錆落とし、防錆塗装</p>																	
<p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (70~80mm2/箇所) 【新規仕上】</p>	<p>【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、フェンス基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・(空筒・荷割室屋根) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突・フェンス基礎・階段) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p>	<p>改修前 ・(PH屋根・階段A、B、EV機械室) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付 階段B基礎 (高耐久樹脂系C基礎)、天端ウレタン塗膜防水</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p>	<p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・(階段部) RC基礎: ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング打替 ・空木 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】 ・(PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】、FD : 鉄線製 【既存下地調整】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【撤去】 ・外部天井: LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【石綿含有なし 下地共撤去】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【撤去】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【撤去】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋: コンクリート立上り壁 (t1.500×500、H4.000) 【撤去】 ・屋上貫通配管 100φ 【撤去】 (機種設置) ・EXP. J金物: (屋上) 空木: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部立上り: 鉄板 #26 (0.5mm) H=100 【撤去】 (外部) 床面: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】 (内部) 壁・天井: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】、床: ステンレス製 t3.0 W=100 フラット 【撤去】</p> <p>改修後 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン (鋼製、アルミダイキャスト製キャップ共) 【新設】 (PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: 上部、ビルマス) 【新設】、RD (タテ・ヨコ型) : 改修用ドレン 【新設】、FD : ノンタル系水性エポキシ樹脂塗料塗替 【既存再塗装】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【打替】 ・外部天井: LGS下地、(無石種) フレキシブルボード t4.0 目隠し張 EP塗 (1種・つや消し、反応硬化形低VOC水性塗料) 【下地共新設】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【新設】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【新設】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 FFE塗替 【既存再塗装】、塩ビ製カバー 【新設】 (シール交換済み) ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 FFE塗替 【既存再塗装】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋撤去部分: コンクリートバラベツ立上り 【新設】 (既存合わせ) ・屋上貫通配管撤去部分: (厚付用) 無収縮モルタル充填 【穴埋め】 ・EXP. J金物: (壁根・機種) 空木: アルミ製 t2.0 W80 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、滑接小口フタ 【新設】 (壁根・外壁) アルミ製 W485 (耐火等 t1.2.5 遮炎性能、クリアランス50)、勾配付き、外壁取扱い目地切りシーリング 【新設】 (内部床・内部床) アルミ製 W160 (化燃床タイプ: ビル床シート貼、クリアランス50) 【新設】 (内壁・内壁) (天井+天井) アルミ製 W160 (クリアランス50) 【新設】</p>	<p>改修前 ・(丸天井) 鋼毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p> <p>改修後 ・(モルタル剛毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】</p>													
<p>改修前 ・(屋上) 校舎①、校舎② ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60、タテヨコφ3000) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ W400 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突共) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (5箇所)</p>	<p>改修前 【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・(昇降口A底) ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p>	<p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p>	<p>改修前 ・外階段A (床・立上り無し) : 磁器質レンガタイル 【撤去】 段鼻: 磁器質レンガノスリップタイル 【撤去】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : モルタル金ゴテ 【下地処理】 段鼻: 磁器質ノスリップタイル 【撤去】 ・手間壁 : (外壁同様吹付)、空木: 防水モルタル金ゴテ 【下地処理】 ・上裏 (外壁同様吹付) ・手摺 ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ</p> <p>改修後 ・外階段A (床) : 磁器質100角タイル・裏れ付き段鼻 【新規仕上】 ・外階段B (屋上階段 (床・立上り共)) : ウレタン塗膜防水密着工法 X-2 高耐久シリコン系保護塗料 【新規仕上】、端床シール 段鼻: ノスリップタイル 【新設】 ・手間壁 : (外壁による)、空木 外壁同様吹付 【新規仕上】 ・上裏 (外壁による) ・手摺 ステンレス製パイプ 【クリーニング】</p>	<p>改修前 【昇降口A底】 ・防水押えコンの上、合成高分子系フーニングシート防水 S-F-2、立上り共 空木 (天端・側面) : ウレタン塗膜防水 X-2 (昇降口B底) ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】</p>	<p>昇降口底 【撤去】 ・既存シート防水撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ) 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗、ケレン清掃 ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (タテ) ・空木 水切りテープ設置 出入口底 (外壁による)</p>														
<p>防 水</p> <p>改修前 ・(浴室室屋根) (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突共) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (5箇所)</p> <p>改修後 ・(浴室室屋根) (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (側溝) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (立上) 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 (空木・壁面) 高耐久ウレタン塗膜防水密着工法 (燻突共) 高耐久ウレタン防水用保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (5箇所)</p>	<p>改修前 【撤去】 ・伸縮目地撤去 ・ドレン上置撤去 (タテ・ヨコ) ・立上りモルタル撤去、立上り防水層撤去 ・側溝部モルタル撤去 (W400)、コンクリート基礎撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・撤去部ケレン清掃、撤去部仮防水処理 ・側溝勾配調整 モルタル厚塗り 120~50 ・目地撤去部: アスファルト系シーリング材充填 (パッカー材共) 空木 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 側溝 (燻突部) 下地平滑処理 エポキシ系樹脂モルタル塗布 H150 燻突 (立上り・空木共) 下地平滑処理 ポリマーセメントモルタル塗布 階段防り (欠損部) 下地処理 モルタル修繕 L300以内 壁面 (立上り) Vカット処理 H150 防水層立上げ、シール処理 R・D廻り 新り モルタル修正 (タテ・ヨコ) 空木・燻突 水切りテープ設置</p>	<p>改修前 ・(PH屋根・階段A、B、EV機械室) ・コンクリート直均し (1/100)、 アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 伸縮目地 エラストイト (20×60) 排水溝: 防水モルタル金ゴテ 立上り: 防水モルタル金ゴテ 空木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同様吹付 階段B基礎 (高耐久樹脂系C基礎)、天端ウレタン塗膜防水</p> <p>改修後 【浴室室屋根】 (長寿命化・高耐久仕様) ・(平面) ウレタン塗膜防水通気緩衝工法 X-1 (立上・空木) ウレタン塗膜防水工法 X-2 (RC基礎) ウレタン塗膜防水工法 X-2 高耐久高反射シリコン系保護塗料 脱気筒 (ステンレス製) 【新設】 (各屋根1箇所) 【新規仕上】</p>	<p>改修前 【撤去】 ・ドレン上置撤去 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング撤去 【下地処理】 ・下地全面高圧水洗 ・下地補修 全体の5%程度 (ひび割れ、浮き補修) ・全面下地処理 ポリマーセメントモルタル塗布 ・(階段部) RC基礎: ポリマーセメントモルタル塗布 ・ドレン廻り: 新り・モルタル修繕 (ヨコ) ・空木壁面入隅: 三角シーリング打替 ・空木 水切りテープ設置</p>	<p>改修後 ・壁根: VP 100φ (根引き部: 上部、ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】、FD : 鉄線製 【既存下地調整】 ・(PH・EV機械室・バルコニー先端・昇降口底・荷割室屋根・玄関屋根) 75φ (根引き部: ビルマス付き) 【撤去】、RD (タテ・ヨコ型) : 鉄線製 (キャップ共) 上皿 【撤去】、FD : 鉄線製 【既存下地調整】 ・打組目地: W2.5×2.0 (PS-2、ポリサルファイド系) 【打替】 ・既存新設スリット部: W5.0×100 (バックアップ材入り) 【撤去】 ・外部天井: LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【石綿含有なし 下地共撤去】 ・フラットホーム先端: 合成ゴム製スリット部 (70×70) 【撤去】 ・壁面フェンス: スチール製メッシュフェンス H1.800 (上部内窓付き)、コンクリート基礎 250×250×H400、250×550×H400 【撤去】 ・屋上丸埋: 丸埋 1.9φ 100φ ④4.500 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上タラップ: 丸埋 22φ W400 6段 SOP塗 【既存下地調整】 ・屋上突出物 (燻突): モルタル剛毛引き 複層塗材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁による)、SUS製トップカバー t1.5 HL 曲げ加工品 (既存のまま)、立上り (防水による) ・屋上ハト小屋: コンクリート立上り壁 (t1.500×500、H4.000) 【撤去】 ・屋上貫通配管 100φ 【撤去】 (機種設置) ・EXP. J金物: (屋上) 空木: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部立上り: 鉄板 #26 (0.5mm) H=100 【撤去】 (外部) 床面: 編組鉄 (CPL) t4.5 W=80 SOP塗 【撤去】、壁部: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】 (内部) 壁・天井: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】、床: ステンレス製 t3.0 W=100 フラット 【撤去】</p>																

内部仕上げ		床		巾 木		壁 (アルミパーテーション間仕切りは、各室詳細図・建具表による)		天 井		廻り縁		天井高 (CH)		室名札		備考 (水廻り及び特別なユニット類を記す)	
共通	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】		・木製 H=80 SOP塗 【既存のまま】 ・既存BR補強部: 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部: LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】				塩ビ製 【撤去】		3.050		室名札 (突出) 【撤去】			
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO WAX仕様) 【新設】		・(木質化) 県産品材 30×100 雲編塗 【新設】	・モルタル金ゴテ VP塗 (石綿含有なし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去部】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】				塩ビ製 【新設】		3.050		室名札 (突出) 【新設】			
廊 下	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 (石綿含有なし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去部】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】				塩ビ製 【撤去】		2.600					
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO WAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 雲編塗 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 雲編塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【下地共新設】 (通気口取付)	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】				塩ビ製 【新設】		2.600					
廊下流し	改修前	・(アスファルト防水+シンダークンクリートの上、) 強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】				塩ビ製 【撤去】		2.600				・ステンレス製シンク流し (深漬し付) 【撤去】	
	改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.5 (フラット防滑・NO WAX仕様) 周囲SUS目地入り 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 雲編塗 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 雲編塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 雲編塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】				塩ビ製 【新設】		2.600				・ステンレス製家具流し (深漬し付) 【新設】	
階段A・B	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ 内装用吹付タイル 【既存下地調整】 ※吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】	・(モルタル剛毛引き ひる石吹付の上、) LGS下地 吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】 ・吹付アスベスト (内壁) は、【全面除去 (下地調整材まで)】とする 【CB壁撤去部】				塩ビ製 【撤去】		3.770 3.270 2.170		-		・(内用) ステンレス製壁付き手摺 (既存のまま)	
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (耐摩耗性・全層模様仕様) 【新設】 (階段表示) ・点字ブロック (ゴム床タイル、薄型) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 EP-G塗 【CB壁撤去部】	・化粧石膏ボード 19.5 【新設】	塩ビ製 【新設】	3.770 3.270 2.170			木製階段表示 (各階、各階端) (平付) 【新設】					・(外用) 木製壁付き手摺35φ 【新設】	
1階配膳室・荷割室	改修前	・人造石研ぎ出し 真鍮目地入り 【下地処理】 (荷割室) ・モルタル金ゴテ 目地切り 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・ソフト巾木 H=100 【撤去】 (荷割室)	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・コンクリート打放し、アクリル系リシン吹付 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・コンクリート打放し、アクリル系リシン吹付 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】 ・LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【下地共新設】				塩ビ製 【撤去】		2.600 (荷割室) 3.050				・手洗い器ライニング 【撤去】 (荷割室) なし	
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO WAX仕様) 【新設】 (荷割室) ・下地処理の上、(塗床) 水性無機質浸透型床材 (屋外・NS仕様) 【新規仕上】 (目地切り無し)	・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】 (荷割室) ・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 (内外兼用) 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】 (荷割室) ・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 (内外兼用) 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】 (荷割室) ・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系仕上塗材 (内外兼用) 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600 (荷割室) 3.050			室名札 (平付) 【新設】					・SK流しライニング 【新設】 (荷割室) なし	
(1階を除く) 2~5階配膳室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・(EV廻り) ソフト巾木 H=100 【撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・(EV廻り) ソフト巾木 H=100 【撤去】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】				塩ビ製 【撤去】		2.600				・手洗い器ライニング 【撤去】	
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO WAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(EV廻り) ソフト巾木 H=60 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(EV廻り) ソフト巾木 H=60 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】			室名札 (平付) 【新設】		2.600				・SK流しライニング 【新設】	

特記事項

仕 上 表 2

内部仕上げ		階	室名	床	巾 木	壁 (アルミパーテーション間仕切は、各室詳細図・建具表による)	天 井	廻り縁	天井高 (CH)	室名札	備考 (水廻り及び特別なユニット類を記す)
共通	1階	テント倉庫・教材室 倉庫 (1) 、 (2)	改修前	・モルタル金ゴ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴ下地 VP塗 【既存下地調整】 ・木製下地、シナ合板 t5.5 目隠し強 SOP塗 【間仕切壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】	
			改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・間仕切壁：LGS (W65) 下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り EP-G塗 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】	
	3～5階	倉庫・教材室 ↓ 多目的室 (学年会議)	改修前	・モルタル金ゴ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴ下地 VP塗 【既存下地調整】 ・木製下地、シナ合板 t5.5 目隠し強 SOP塗 【間仕切壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】	
			改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・簡易軽量移動間仕切 (t30、後付タイプ) 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】	・簡易軽量スライディングウォール (間仕切) 【新設】
1階	昇降口A・B	改修前	・モルタル金ゴ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】 ・入道石等出し 真鍮目地入り 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・人形 H=120 【既存のまま】	・モルタル金ゴ下地 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】 ・コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 (既存のまま)	塩ビ製 【撤去】	2.800 2.600	室名札 (平付) 【撤去】	・昇降口A：排水溝 【撤止】 ・木製スノコ 【撤去】 ・荷掛け産板 【撤去】	
		改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】 ・(人形部) 防滑性ビニル床シート (凸部) t2.5 (壁際・完全壁外対応・掃除業者仕様)、(高耐久) 専用床部シート 【新設】 (スロープ部共)	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.800 2.600	室名札 (平付) 【新設】	・昇降口A：排水溝 【清掃済】 ・吸音塩ビ製スノコ 【新設】 ・アルミ製ハンガーレール 【新設】 ・木製 (持ち合い) ベンチ 【新設】	
	(階段下) A：ポンプ室 ↓ B：緑化・清掃倉庫	改修前	・モルタル金ゴ下 (既存のまま)	・モルタル H=100 (既存のまま)	・モルタル金ゴ下 (既存のまま)	・モルタル刷毛引き (既存のまま)	-	2.130	室名札 (平付) 【撤去】		
		改修後	・【清掃】	・【清掃】	・【清掃】	・【清掃】	-	2.130	室名札 (平付) 【新設】		
	木工室	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴ下 【下地処理】 ・モルタル下地、フローリングブロック (ブナ) t15 ウレタン塗装 【下地処理 (研削)】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】 ・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】 ・既存B R補強部：木製 H=80 EP-G塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴ下 VP塗 【既存下地調整】 ・既存B R補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・既存B R補強部：鋼板巻き t9.0 EP-G塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050 3.090	室名札 (突出) 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】	
		改修後	・モルタル下地、フローリングブロック (ブナ) t15 ウレタン塗装 (3回塗) 【新規仕上】 【既存再塗装】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 (既存再塗装) ・(鋼板部) 下地調整の上、SOP塗替 (既存再塗装) ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	・ステンレス製家具流し・意下収納棚 【新設】	
	金工室 ↓ (特別支援学級) はやぶさ1組、2組	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴ下 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 (既存のまま) ・既存B R補強部：木製 H=80 EP-G塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴ下 VP塗 【既存下地調整】 ・既存B R補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】		
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 (既存再塗装) ・(木質化) 木間縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】 ・(美壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	・昇降 (耐火・遮音システム) 【新設】	
	塗装室	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴ下 (既存のまま)	・モルタル H=60 VP塗 (既存のまま) ・PS壁：H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴ下 VP塗 (既存のまま) ・PS壁：CB積み t100 【撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【一時撤去】	
		改修後	-	・PS壁：木製 H=80 SOP塗 【新設】	・PS壁：LGS (W65) 下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 EP-G塗 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	・ステンレス製シンク流し 【再取付】	
	技術準備室	改修前	・モルタル下地、フローリングブロック (ブナ) t15 ウレタン塗装 【下地処理 (研削)】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ下 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (平付) 【撤去】		
		改修後	・下地処理の上、ウレタン塗装 (3回塗) 【既存再塗装】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (平付) 【新設】		
防災倉庫	改修前	・モルタル金ゴ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ下 VP塗 (石積含有みなし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】			
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=80 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) 19.5 EP-G塗 【CB壁撤去部】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】			
体育準備室 ↓ 普通教室 (3)	改修前	・モルタル金ゴ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 (既存のまま) ・既存B R補強部：木製 H=80 EP-G塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴ下 VP塗 【既存下地調整】 ・既存B R補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・簡易間仕切壁：(木間縁下地) 構造用パーティクルボード t9.0 片面張り 【間仕切壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】			
	改修後	・(普通教室による)	・(普通教室による)	・(普通教室による)	・(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)			
第2相談室 普通教室 (3)	改修前	・モルタル金ゴ下地、タイルカーペット t6.5 【タイルカーペット撤去】	・木製 H=80 SOP塗 (既存のまま) ・既存B R補強部：木製 H=80 EP-G塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴ下 VP塗 【既存下地調整】 ・既存B R補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・簡易間仕切壁：(体育準備室による)	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】			
	改修後	・(普通教室による)	・(普通教室による)	・(普通教室による)	・(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)			

特記事項	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書(国交省)」に準ずる。	新規室名札は、製作にあたり改修後の室名について確認すること。	記号凡例	SOP：合成樹脂調合ペイント	DP：耐候性塗料	壁LGS：軽量鉄骨下地 (特記なき限り) 65形、(昇降) S65・R75、(ライニング) LGS下地65形
	既存アスベスト含有は、外壁吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、階段A B内装用吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、特別教室棟(長尺塩ビ床材)、給湯室(給湯器配管保温材：別塗、機械設備)とする。	新規サイン(案内ボード)は、製作にあたり改修後の表記スタイルについて確認すること。		EP：合成樹脂エマルジョンペイント	OS：オイルステイン	天井LGS：軽量鉄骨下地 (特記なき限り) 19形、(覆材) 25形
	新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。	新規黒板・ホワイトボードは、製作にあたり改修後の文字・ラインについて確認すること。		EP-G：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	CL：クイヤラッカー	既存CB：建築用(空洞)コンクリートブロックA種
	フローリングブロックのウレタン塗装は(2液、3回塗)とする。	隠壁：(木質化) 県産品材 t12 本実縦張 は、【検】とする。		VP：塩化ビニル樹脂エナメル	WP：木材保護塗料	軽鉄下地、昇降ボード壁：耐火構造 (1時間耐火) FP60NP-0175 遮音：S01-0110 (同等仕様)
			AE：アクリル樹脂エナメル	UC：ウレタンクリア(内装・家具：1液、床：2液)		

仕 上 表 3

内部仕上げ											
階	室名	床	巾木	壁 (アルミパーテーション間仕切り、各室詳細図・建具表による)	天井	廻り縁	天井高 (CH)	室名札	備考 (水廻り及び特別なユニット類を記す)		
1階	ふれあい相談室 ↓ 普通教室 (4)	改修前	・モルタル金ゴテ下地、コルクタイル t3.2 【コルクタイル撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ、ビニールクロス貼 【クロス撤去・下地処理】 ・モルタル金ゴテ AE塗 【既存下地調整】	・防音壁：LGS下地、両面石膏ボード t12.5 二重張 (GW充填) の上、 構造用パーティクルボード t9.0 CL塗 【間仕切り壁撤去】	・LGS下地、石膏ボード t9.5の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2,100 2,800 3,050	室名札 【突出】 【撤去】	/
		改修後	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)		
	相談室 ↓ 普通教室 (4)	改修前	・モルタル金ゴテ下地、タイルカーベット t6.5 【タイルカーベット撤去】	・ソフト巾木 H=60 【撤去】	・モルタル金ゴテ、ビニールクロス貼 【クロス撤去】 ・防音壁 (ふれあい相談室による)	・LGS下地、石膏ボード t9.5の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2,400	室名札 (平付) 【撤去】		
		改修後	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	・ (普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)	(普通教室による)		
	保健室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】 ・ (流し前) 強化剤入り モルタル金ゴテ 周囲真鍮目地入り 【下地処理】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部：木製 H=80 EP-G塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付け隠カルクシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・ (流し前) 半温帯質100円タイル 【タイル撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,050	室名札 【突出】 【撤去】	・吊下げカーテンレール、【撤去】 ・ステンレス製流し、コンロ台 【撤去】	
		改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】 ・ (流し前) ビニル床シート t2.5 (フラット防滑・NO MAX仕様) 周囲SUS目地入り 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・ (モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ (流し前) 下地処理の上、不燃化粧板 t3.0 (抗菌) 貼 周囲アルミ見切り 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,050	室名札 【突出】 【新設】	・吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】 ・ステンレス製流し、調理台 【新設】	
2階	第1理科室	改修前	・ (アスファルト防水+シンダーコンクリートの上、) 強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】 ・既存BR補強部：木製 H=80 EP-G塗 【既存のまま】 ・壁壁部：木製 H=80 EP-G塗 【撤去】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付け隠カルクシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・壁壁部：木下地、石膏ボード t12.5+付け隠カルクシウム板 t6.0 EP-G塗 【撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,050	室名札 【突出】 【撤去】	・実験台 【撤去】 ・ステンレス製シンク流し 【撤去】 ・床排水溝 【廃止】	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (耐薬品性・NO MAX仕様) 【新設】	・ (木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】 ・壁壁部：木製 H=80 SOP塗 【新設】	・ (モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ (木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】 ・壁壁部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付け隠カルクシウム板 t6.0 EP-G塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,050	室名札 【突出】 【新設】	・実験台 【新設】 ・ステンレス製家具流し、調理台 【新設】	
	第2理科室	改修前	・ (アスファルト防水+シンダーコンクリートの上、) 強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】 ・既存BR補強部：木製 H=80 EP-G塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部：LGS下地、石膏ボード t12.5+付け隠カルクシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,050	室名札 【突出】 【撤去】	・ (第1理科室と同じ)	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (耐薬品性・NO MAX仕様) 【新設】	・ (木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・ (モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ (木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,050	室名札 【突出】 【新設】	・ (第1理科室と同じ)	
	理科準備室	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・ (壁壁部分) 木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・ (壁壁部分) 木軸壁下地、シナ合板 t5.5 目隠し張 SOP塗 【間仕切り壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,050	室名札 【突出】 【撤去】	・実験台 【撤去】 ・ステンレス製シンク流し・作業台 (タイル貼) 【撤去】 ・薬品庫 (家具) 【一時移動】 ・薬品庫 (CB積み・天壇RC) 【撤去】	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (耐薬品性・NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・ (モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,050	室名札 【突出】 【新設】	・実験台 【新設】 ・ステンレス製家具流し・窓下収納棚 【新設】 ・薬品庫 (家具) 【再設置】	
暗室 【撤去】	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】 ・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・木軸壁下地、シナ合板 t5.5 目隠し張 SOP塗 【間仕切り壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,050	室名札 (平付) 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】		
	改修後	・ (理科準備室による)	・ (理科準備室による)	・ (理科準備室による)	・ (理科準備室による)	(理科準備室による)	(理科準備室による)	(理科準備室による)	・ (理科準備室による)		
コンピューター室 ↓ 大研修室	改修前	・軽量コンクリート製OAフロア t40の上、タイルカーベット t7.0 (帯電防止) H=47 【OAフロア・下地共撤去】 ・敷居：木造床組 (大引・根太組) 下地、ラワン合板 t12の上、タイルカーベット t7.0 (帯電防止) H=347 【木造床組・下地共撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・木調縁下地、有孔シナ合板 t5.5 SOP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3,100 2,668	室名札 【突出】 【撤去】	・アルミ枠平面ホワイトボード 【撤去】 ・既存収納、生徒用机 【移動】		
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・木製 H=127 SOP塗 【新設】	・下地調整の上、SOP塗 【既存再塗装】 ・一部、有孔シナ合板 t5.5 SOP塗 【新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,147	室名札 【突出】 【新設】	・アルミ枠平面ホワイトボード 【新設】		
コンピューター準備室 ↓ 大研修室準備室	改修前	・木造床組 (大引・根太組) 下地、ラワン合板 t12の上、タイルカーベット t7.0 (帯電防止) H=150 【木造床組・下地共撤去】 ・モルタル金ゴテ下地、タイルカーベット t7.0 (帯電防止) 【タイルカーベット撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴテ EP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2,900	室名札 【突出】 【撤去】	/		
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・木製 H=80 SOP塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗 【既存再塗装】 ・壁高ざ：LGS (W5) 下地、石膏ボード t12.5+(覆質) t9.5 EP-G塗 (下地共新設)	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3,050	室名札 【突出】 【新設】			
(同上) 前廊下	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴテ EP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2,600	/			
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・ (木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ (木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2,600				
教科資料室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 (石綿含有みなし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2,600	室名札 (平付) 【撤去】	/		
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・LGS下地、石膏ボード t12.5+t9.5 EP-G塗 【CB壁撤去部】	・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2,600	室名札 (平付) 【新設】			

特記事項	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書(国交省)」に準ずる。 既存アスベスト含有は、外壁吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、階段AB内装用吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、特別教室棟(長尺塩ビ床材)、給湯室(給湯器配管保温材：別塗、機械設備)とする。 新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。 フローリングブロックのウレタン塗装は(2液、3回塗)とする。	新規室名札は、製作にあたり改修後の室名について確認すること。 新規サイン(案内板)は、製作にあたり改修後の表記スタイルについて確認すること。 新規黒板・ホワイトボードは、製作にあたり改修後の文字・ラインについて確認すること。 隠壁：(木質化) 県産品材 t12 本実縦張 は、【給】とする。	記号凡例	SOP：合成樹脂調合ペイント EP：合成樹脂エマルジョンペイント EP-G：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント VP：塩化ビニル樹脂エナメル AE：アクリル樹脂エナメル	DP：耐候性塗料 OS：オイルステイン CL：クイヤラッカー WP：木材保護塗料 UC：ウレタンクリア(内装・家具：1液、床：2液)	壁LGS：軽量鉄骨下地(特記なき限り)65形、(界壁)S65・R75、(ライニング)LGS下地65形 天井LGS：軽量鉄骨下地(特記なき限り)19形、(覆方)25形 既存CB：建築用(空洞)コンクリートブロックA種 軽鉄下地、昇降ボード壁・耐火構造(1時間耐火)FP60NP-0175.遮音：S01-0110 (同等仕様)
------	--	--	------	---	--	--

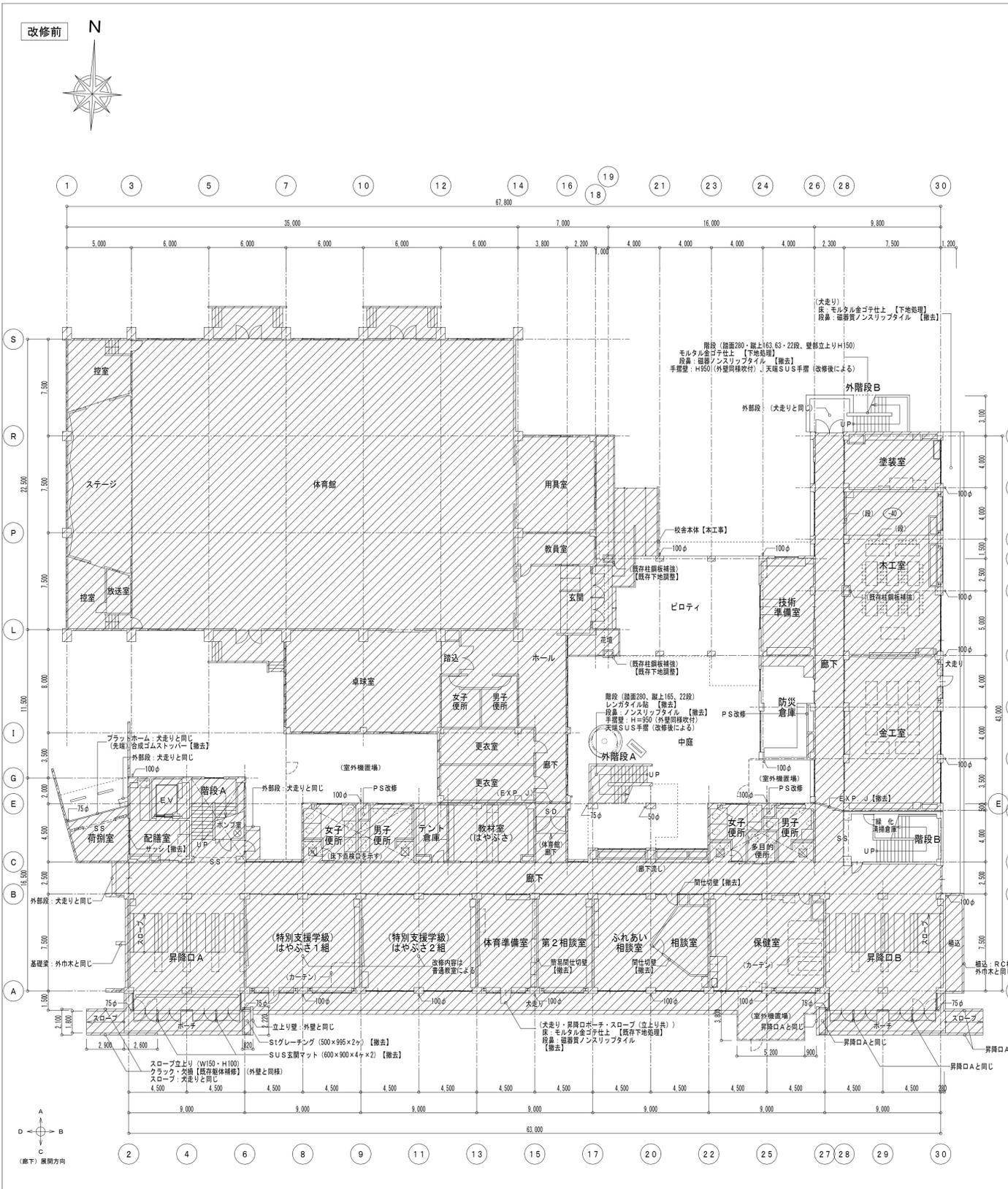
仕 上 表 4										
内部仕上げ										
階	室 名	床	巾 木	壁 (アルミパーテーション間仕切は、各室詳細図・建具表による)	天 井	廻り縁	天井高 (CH)	室名札	備考 (水廻り及び特別なユニット類を記す)	
2階	玄 関	改修前	・モルタル金ゴ子下地、せつ器質レンガタイル 【タイル撤去 (張付けモルタル共)】	・床タイル上げ H=150 【撤去】 ・モルタル H=60 VP塗 (既存のまま)	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、アルミスパンドレル (W100) t1.0 【下地共撤去】	2.870	室名札 【撤去】	・アクリル総合案内板 【撤去】 ・(外部) ステンレス製カギBOX・ポスト 【撤去】	
		改修後	・磁器質100角 (屋外床・無軸) 【新設】	・床タイル上げ H=150 【新設】 ・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W156) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共新設】	左記天井専用 【新設】	2.870	室名札 【撤去】	・木製総合案内板 【新設】 ・(外部) ステンレス製カギBOX・ポスト 【新設】
	給湯室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】 ・PS壁 (CB積み t100)、(流し廻り) 半磁器質100角タイル 【撤去】	・LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し張 VP塗 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.650 2.525	室名札 (平付) 【撤去】	・ステンレス製流し、コンロ台 【撤去】 上部、吊り戸棚 【撤去】 レンジフード 【撤去】 (機械設備)
		改修後	・ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・PS壁・LGS (W65) 下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) t9.5 の上、 (流し廻り) 不燃化粧板 t3.0 (抗菌) 貼 【新設】 周囲アルミ見切り	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.650	室名札 (平付) 【新設】	・ミニキッチン 【新設】 上部、吊り戸棚 【新設】 レンジフード 【新設】 (機械設備)
	建具倉庫 (旧シャワー室・脱衣室) ↓ 倉庫	改修前	・モルタル金ゴ子下地、磁器質25角タイル 【下地共撤去】 ・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】 ・床段差コンクリート 【撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【撤去】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】 ・半磁器質100角タイル 【下地共撤去】	・LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し張 VP塗 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.650 2.375 2.475	室名札 (平付) 【撤去】	・シャワールーム一式 【撤去】 ・シャワー設置一式 【撤去】 (機械設備) ・手洗い器ライニング 【撤去】
		改修後	・下地処理 (樹脂モルタル補修) の上、ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・木製 H=80 SOP塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】	
職員更衣室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】	・スチールロッカー 【一時移動】 *移動先は、学校の指示による	
	改修後	・ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・ソフト巾木 H=60 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・間仕切壁: LGS (W65) 下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) t9.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】 (天井裏まで)	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 【新設】	・スチールロッカー 【再設置】	
3階	被服室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部: 木製 H=80 EP-G塗 【既存のまま】 ・扉裏部: 木製 H=80 EP-G塗 【撤去】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部: LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】 ・扉裏部: 木下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 【撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】	
		改修後	・ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	・ステンレス製家具流し 【新設】
	調理室	改修前	・(アスファルト防水+シンダーコンクリートの) 強化剤入り モルタル金ゴ子 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】 ・既存BR補強部: 木製 H=80 EP-G塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】 ・既存BR補強部: LGS下地、石膏ボード t12.5+付い酸カルシウム板 t6.0 EP-G塗 (周囲シーリング) 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】	・アルミ枠上下式黒板 (2連・黒板・掲示板) 【撤去】 ・調理台 【撤去】 ・ステンレス製シンク流し 【撤去】 ・床排水溝 【撤去】 ・洗濯機パン 【一時撤去】
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート 12.0 (耐熱性・NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部、ボード部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	・アルミ枠Uスライダ半曲面ホワイトボード 【新設】 ・調理台 【新設】 ・ステンレス製家具流し 【新設】 ・洗濯機パン 【再取付】
	家庭科準備室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】	・ステンレス製流し台 【撤去】 上部、吊り戸棚 【撤去】 ・手洗い器ライニング 【撤去】
		改修後	・ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】	
図書室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】 ・木製下地、ラワン合板 t5.5の上、ビニルクロス貼 【間仕切壁撤去】	・LGS下地、繊維系吸音テックス t12 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 (突出) 【撤去】		
	改修後	・ビニル床シート 12.0 (木目調・NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】 ・(隔壁) LGS下地、石膏ボード t12.5+ (硬質) t9.5 両面張り (ガラスウール t50充填) EP-G塗 【新設】	・LGS下地、石膏ボード t9.5換気の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 (突出) 【新設】		
お楽しみ部屋	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴ子 VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】	・(仕切り) 木棚 【撤去】	
	改修後	・ビニル床シート 12.0 (木目調・NO MAX仕様) 【新設】 (●色変更)	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】 ・鋼製ローパーテーション (H=1,900) 【新設】	・LGS下地、石膏ボード t9.5換気の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】	・ローパーテーション 【新設】 ・木製 (木隠み) ベンチ 【新設】 (下部書架)	
生徒会室	改修前	・モルタル金ゴ子下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴ子 VP塗 (石綿含有みなし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.600	室名札 (平付) 【撤去】		
	改修後	・ビニル床シート 12.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・LGS下地、石膏ボード t12.5+t9.5 EP-G塗 【CB壁撤去部】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	2.600	室名札 (平付) 【新設】		
改修前										
改修後										

特記事項	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書(国交省)」に準ずる。	新規室名札は、製作に当たり改修後の室名について確認すること。	記号凡例	SOP: 合成樹脂調合ペイント	DP: 耐候性塗料	壁LGS: 軽量鉄骨下地 (特記なき限り) 65形、(界壁) S65・R75、(ライニング) LGS下地65形
	既存アスベスト含有は、外壁吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、階段AB内装用吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、特別教室棟(長尺塩ビ床材)、給湯室(給湯器配管保温材: 別塗、機械設備)とする。	新規サイン(案内板)は、製作に当たり改修後の表記スタイルについて確認すること。		EP: 合成樹脂エマルジョンペイント	OS: オイルステイン	天井LGS: 軽量鉄骨下地 (特記なき限り) 19形、(屋外) 25形
	新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。	新規黒板・ホワイトボードは、製作に当たり改修後の文字・ラインについて確認すること。		EP-G: つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	CL: クリヤラッカー	既存CB: 建築用(空洞)コンクリートブロックA種
	フローリングブロックのウレタン塗装は(2液、3回塗)とする。	隠壁: (木質化) 県産品材 t12 本実縦張 は、【給】とする。		VP: 塩化ビニル樹脂エナメル	WP: 木材保護塗料	軽鉄下地、界壁ボード壁・耐火構造 (1時間耐火) FP60NP-0175 遮音: S01-0110 (同等仕様)
				AE: アクリル樹脂エナメル	UC: ウレタンクリヤ(内装・家具: 1液、床: 2液)	

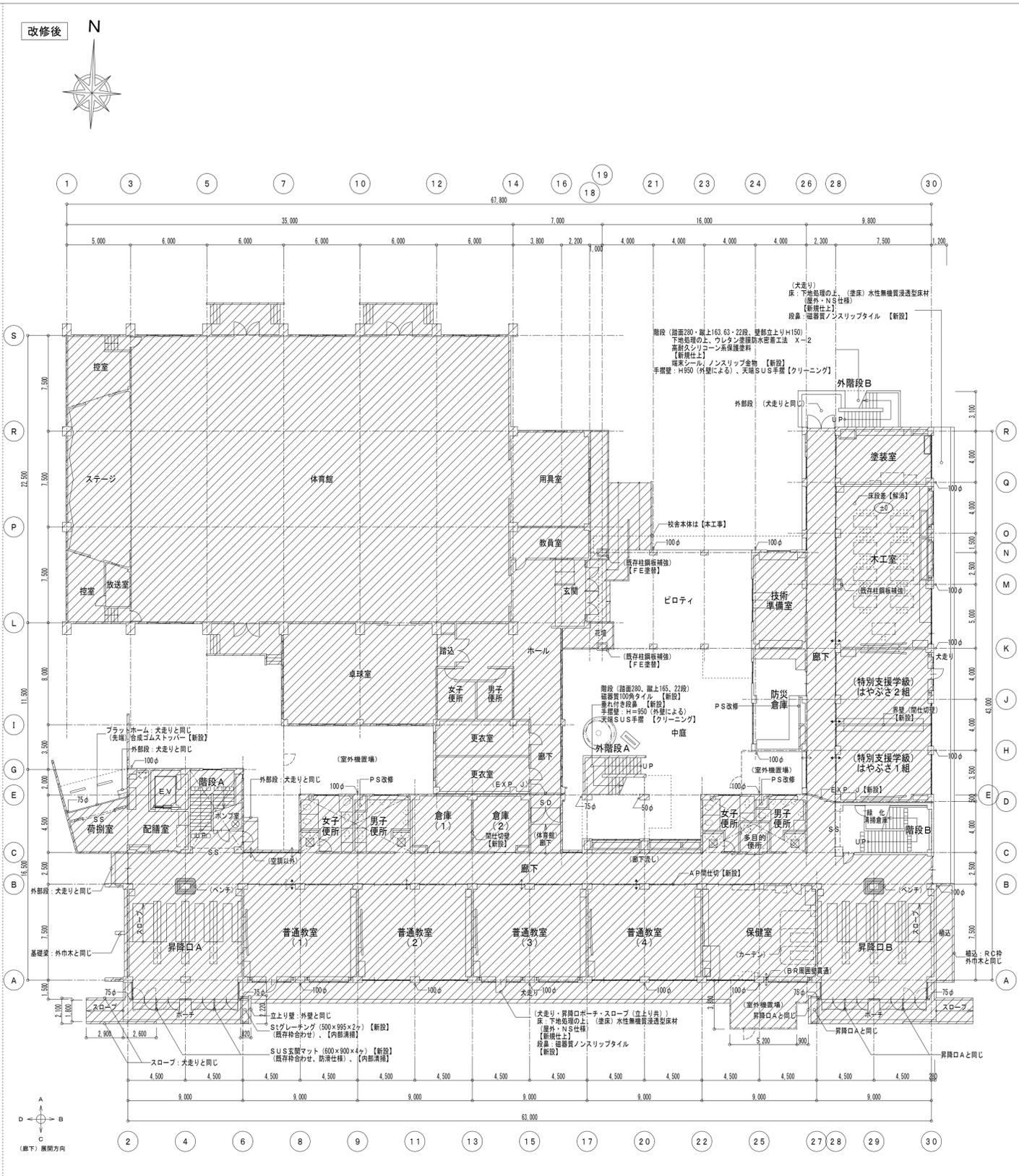
仕上表 5

内部仕上げ			床	巾木	壁 (アルミパーテーション間仕切り、各室詳細図・建具表による)	天井	廻り縁	天井高 (CH)	室名札	備考 (水廻り及び特別なユニット類を記す)	
4階	第1美術室 ↓ 美術室	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・ステンレス製家具流し 【新設】	
	第2美術室 ↓ 多目的教室	改修前	・(アスファルト防水+シンダーコンクリートの上、)強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】 ・駐土庫 (CB積み) 【撤去】 ・床排水溝 【廃止】	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】		
	美術準備室	改修前	・強化剤入り モルタル金ゴテ 【下地処理】	・モルタル H=60 VP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・ステンレス製シンク流し 【撤去】	
		改修後	・下地処理の上、ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.5 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・ステンレス製家具流し 【新設】	
5階	第1音楽室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】 ・段部：木造床組 (大引・根太組) 下地、板張り t5.0+合板 t5.5の上、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【床組下地共撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【撤去】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・木調縁下地、有孔シナ合板 t5.5 目隠し張 SOP塗 【下地共撤去】	・LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張+岩綿吸音板 t12 (ノコギリ形天井) 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	2.500 2.650 2.800 3.400	室名札 【撤去】	・楽器櫃 【撤去】 ・ピアノ 【一時移動】	
		改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・木調縁下地、有孔シナ合板 (寒冷砂裏打) t5.5 目隠し張 SOP塗 【下地共新設】 (周囲木製見切縁) ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・UDスライダー半曲面ホワイトボード 【新設】 ・ピアノ 【再設置】 ・スチールパーテーション 片引き戸付 (楽器用出入口) 【新設】	
	第2音楽室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存のまま】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】 ・木調縁下地、有孔シナ合板 t5.5 目隠し張 SOP塗 【下地共撤去】	・LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張+岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・ピアノ 【一時移動】	
		改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・(木質化) 県産品材 30×100 蜜蝋塗 【新設】	・(モルタル部) 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・木調縁下地、有孔シナ合板 (寒冷砂裏打) t5.5 目隠し張 SOP塗 【下地共新設】 (周囲木製見切縁) ・(木質化) 木調縁下地、県産品材 t12 本実縦張 蜜蝋塗 【下地共新設】	・LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・UDスライダー半曲面ホワイトボード 【新設】 ・ピアノ 【再設置】 ・スチールパーテーション 片引き戸付 (楽器用出入口) 【新設】	
	音楽準備室	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・楽器櫃 【撤去】 ・手洗い器ライニング 【撤去】	
		改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	・LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・楽器櫃 【新設】 ・スチールパーテーション 片引き戸付 (楽器用出入口) 【新設】	
楽器庫	改修前	・モルタル金ゴテ下地、合成樹脂系長尺床材 t2.5 【長尺床材撤去】	・木製 H=80 SOP塗 【既存下地調整】	・モルタル金ゴテ VP塗 (石綿含有みなし) 【既存下地調整】 【CB壁撤去】	・LGS下地、化粧石膏ボード 19.0 【下地共撤去】	塩ビ製 【撤去】	3.050	室名札 【撤去】	・楽器櫃 【撤去】		
	改修後	・ビニル床シート t2.0 (NO MAX仕様) 【新設】	・下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】	・下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 ・LGS下地、石膏ボード t12.5+t9.5 EP-G塗 【CB壁撤去部】	・LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	塩ビ製 【新設】	3.050	室名札 【新設】	・楽器櫃 【新設】 ・スチールパーテーション 片引き戸付 (楽器用出入口) 【新設】		
各階	男女授所 PS改修【本工事】	改修前	PS 周囲W500程度 (シート養生) ・長尺塩ビシート t2.0	PS壁 【(CB積み t100) 全て撤去】 ・SUS巾木 H=100	PS壁 【(CB積み t100) 全て撤去】 ・CB積み+LGS (W50) 下地、耐水合板 t12+ポリ合板 t3.8 (アルミジョイナー共)	周囲W500程度 【下地撤去】 ・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 (段部アルミ金物共)	塩ビ製 【撤去】	2.500 2.770	室名札 【平付】 【撤去】		
		改修後	PS 周囲W500程度 (清掃) ・長尺塩ビシート t2.0	PS壁 【新設】 ・SUS巾木 H=100	PS壁 【下地共新設】 ・LGS (W65) 下地、耐水合板 t12+ポリ合板 t3.8 (アルミジョイナー共)	周囲W500程度 【下地新設】 ・LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 (段部アルミ金物共)	塩ビ製 【新設】	2.500 2.770	室名札 【突出】 【新設】		
	EV (工事対象外)	改修前									
		改修後									
	特記事項	改修前	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書(国交省)」に準ずる。 既存アスベスト含有は、外壁吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、階段AB内装吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、 特別教室棟(長尺塩ビ床材)、給湯室(給湯器配管保温材:別塗、機械設備)とする。 新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。 フローリングブロックのウレタン塗装は(2液、3回塗)とする。	新規室名札は、製作に当たり改修後の室名について確認すること。 新規サイン(案内板)は、製作に当たり改修後の表記スタイルについて確認すること。 新規黒板・ホワイトボードは、製作に当たり改修後の文字・ラインについて確認すること。 隠壁:(木質化)県産品材 t12 本実縦張 は、【捨】とする。	記号凡例	SOP:合成樹脂調合ペイント EP:合成樹脂エマルジョンペイント EP-G:つや有り合成樹脂エマルジョンペイント VP:塩化ビニル樹脂エナメル AE:アクリル樹脂エナメル	DP:耐候性塗料 OS:オイルステイン CL:クリヤラッカー WP:木材保護塗料 UC:ウレタンクリア(内装・家具:1液、床:2液)	壁LGS:軽量鉄骨下地(特記なき限り)65形、(界壁)S65・R75、(ライニング)LGS下地65形 天井LGS:軽量鉄骨下地(特記なき限り)19形、(屋外)25形 既存CB:建築用(空洞)コンクリートブロックA種 軽鉄下地、界壁ボード壁:耐火構造(1時間耐火)FP60NP-0175.遮音:S01-0110 (同等仕様)			
		改修後									

特記事項	改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「公共建築工事標準仕様書(国交省)」に準ずる。 既存アスベスト含有は、外壁吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、階段AB内装吹付タイル(仕上塗材・下地調整材)、 特別教室棟(長尺塩ビ床材)、給湯室(給湯器配管保温材:別塗、機械設備)とする。 新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。 フローリングブロックのウレタン塗装は(2液、3回塗)とする。	新規室名札は、製作に当たり改修後の室名について確認すること。 新規サイン(案内板)は、製作に当たり改修後の表記スタイルについて確認すること。 新規黒板・ホワイトボードは、製作に当たり改修後の文字・ラインについて確認すること。 隠壁:(木質化)県産品材 t12 本実縦張 は、【捨】とする。	記号凡例	SOP:合成樹脂調合ペイント EP:合成樹脂エマルジョンペイント EP-G:つや有り合成樹脂エマルジョンペイント VP:塩化ビニル樹脂エナメル AE:アクリル樹脂エナメル	DP:耐候性塗料 OS:オイルステイン CL:クリヤラッカー WP:木材保護塗料 UC:ウレタンクリア(内装・家具:1液、床:2液)	壁LGS:軽量鉄骨下地(特記なき限り)65形、(界壁)S65・R75、(ライニング)LGS下地65形 天井LGS:軽量鉄骨下地(特記なき限り)19形、(屋外)25形 既存CB:建築用(空洞)コンクリートブロックA種 軽鉄下地、界壁ボード壁:耐火構造(1時間耐火)FP60NP-0175.遮音:S01-0110 (同等仕様)
------	---	---	------	---	--	--



改修前 1階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)



改修後 1階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

(普通教室(*)：改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事)
 (参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、バージョン・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整) 建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
 (凡例)
 ①空調配管改修用 ↑【撤去・新設】 ↑【新設】 ↓(変更前)
 ②屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修
 P.S配管改修用 ↑【新設】(5階)

凡例： は、工事対象外を示す。

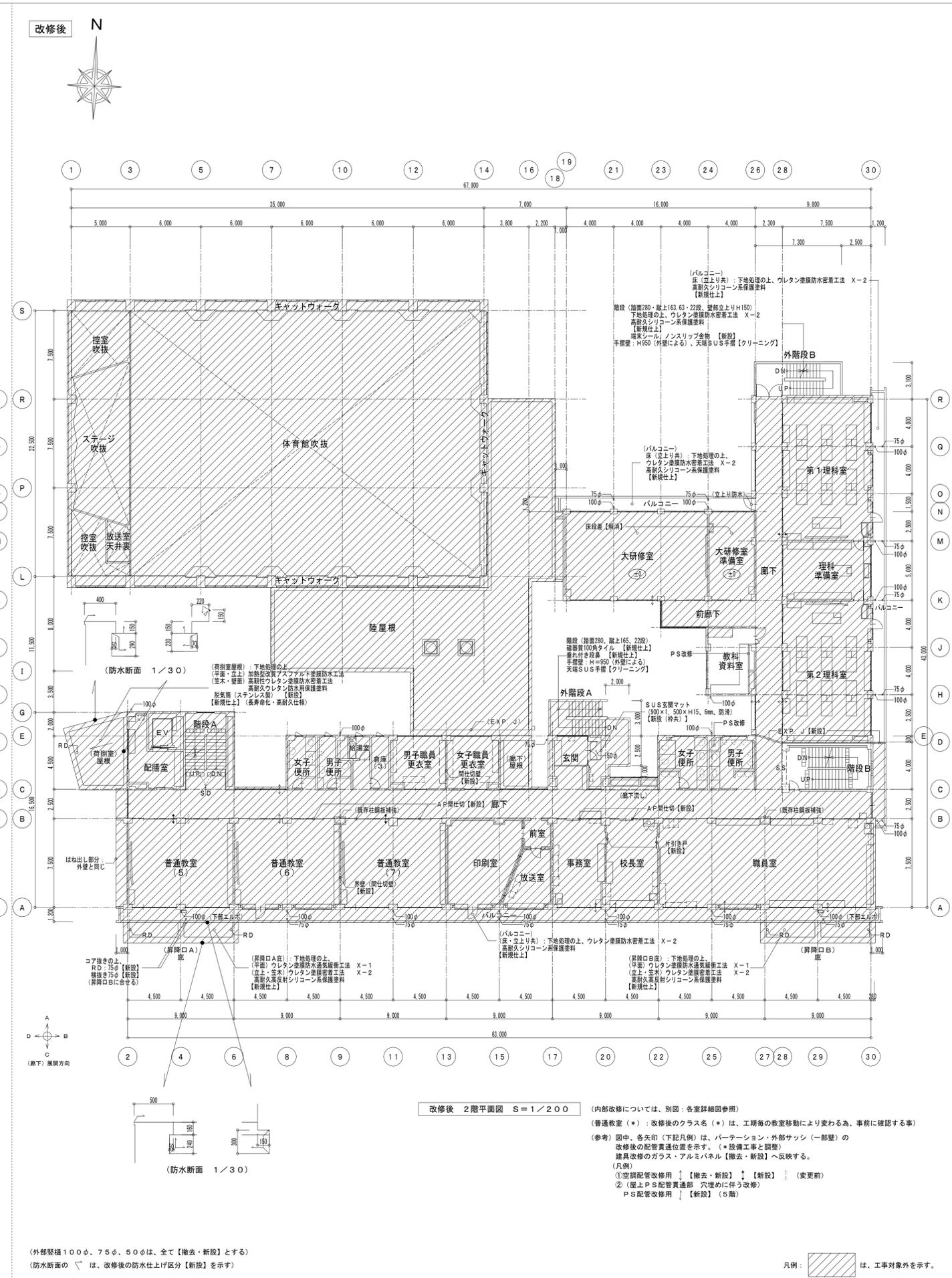
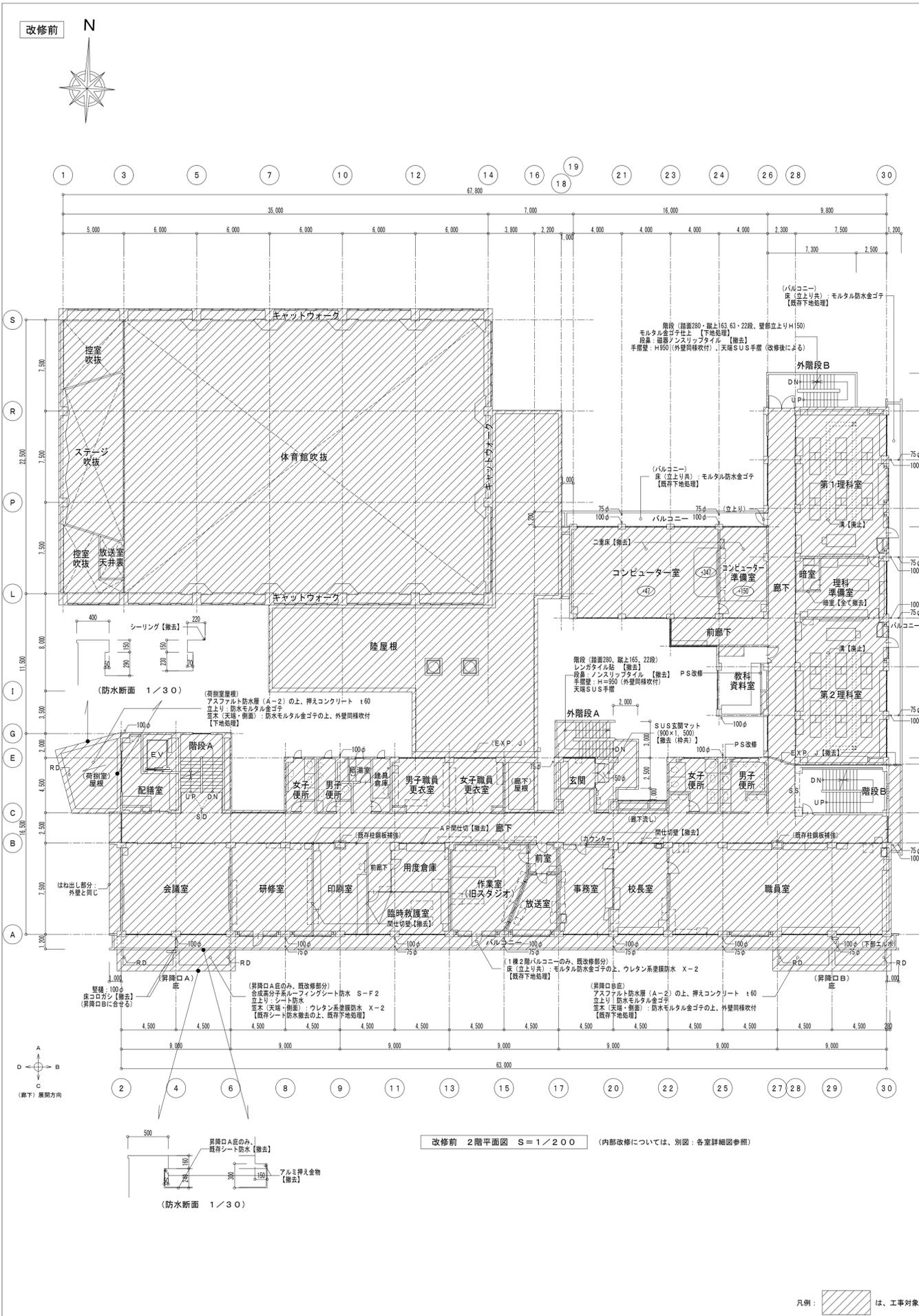
(外部壁種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)

凡例： は、工事対象外を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67040号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 1階平面図 No. A-19



改修前 2階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細参照)

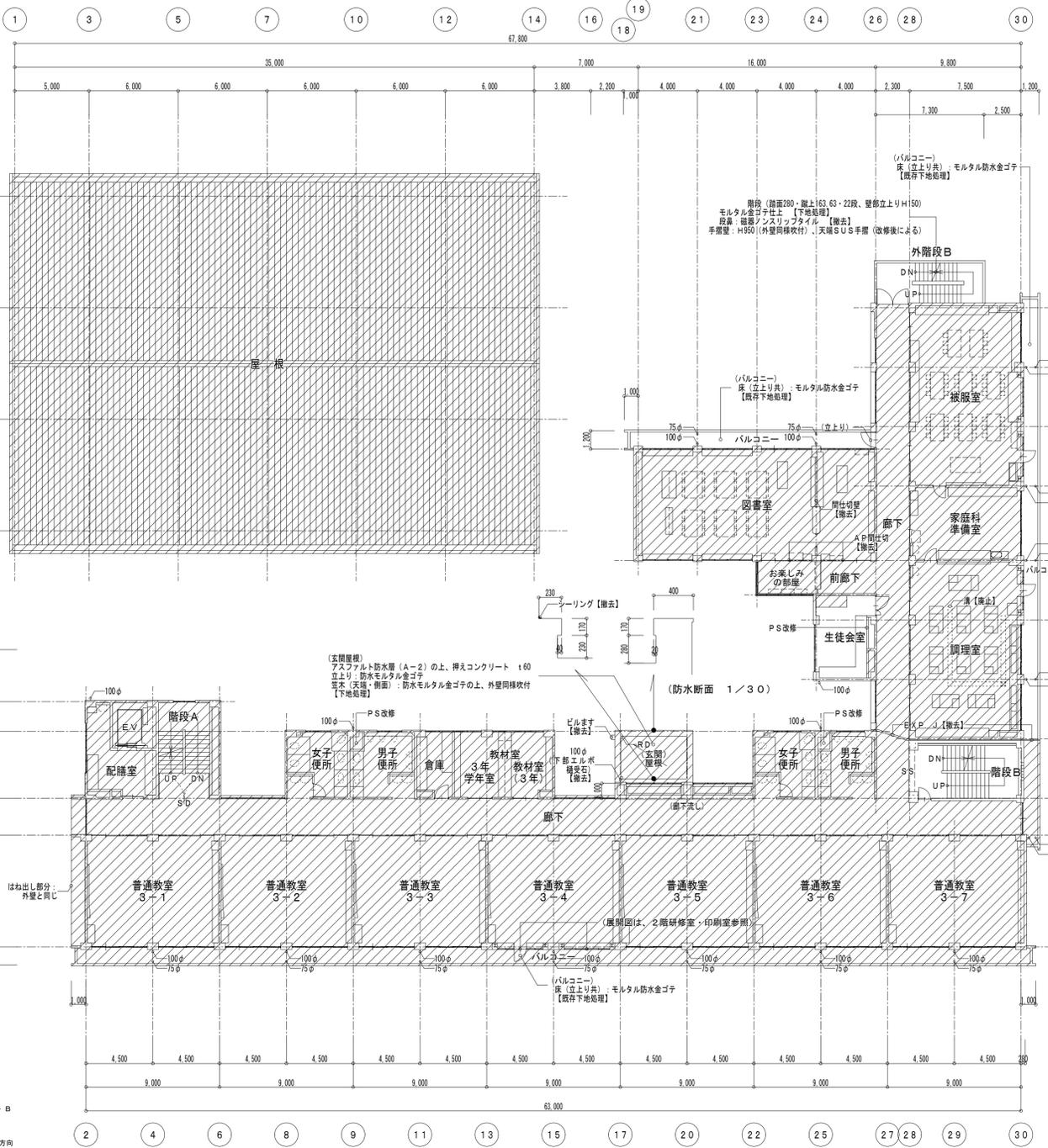
改修後 2階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細参照)

凡例： は、工事対象外を示す。

凡例： は、工事対象外を示す。

改修前

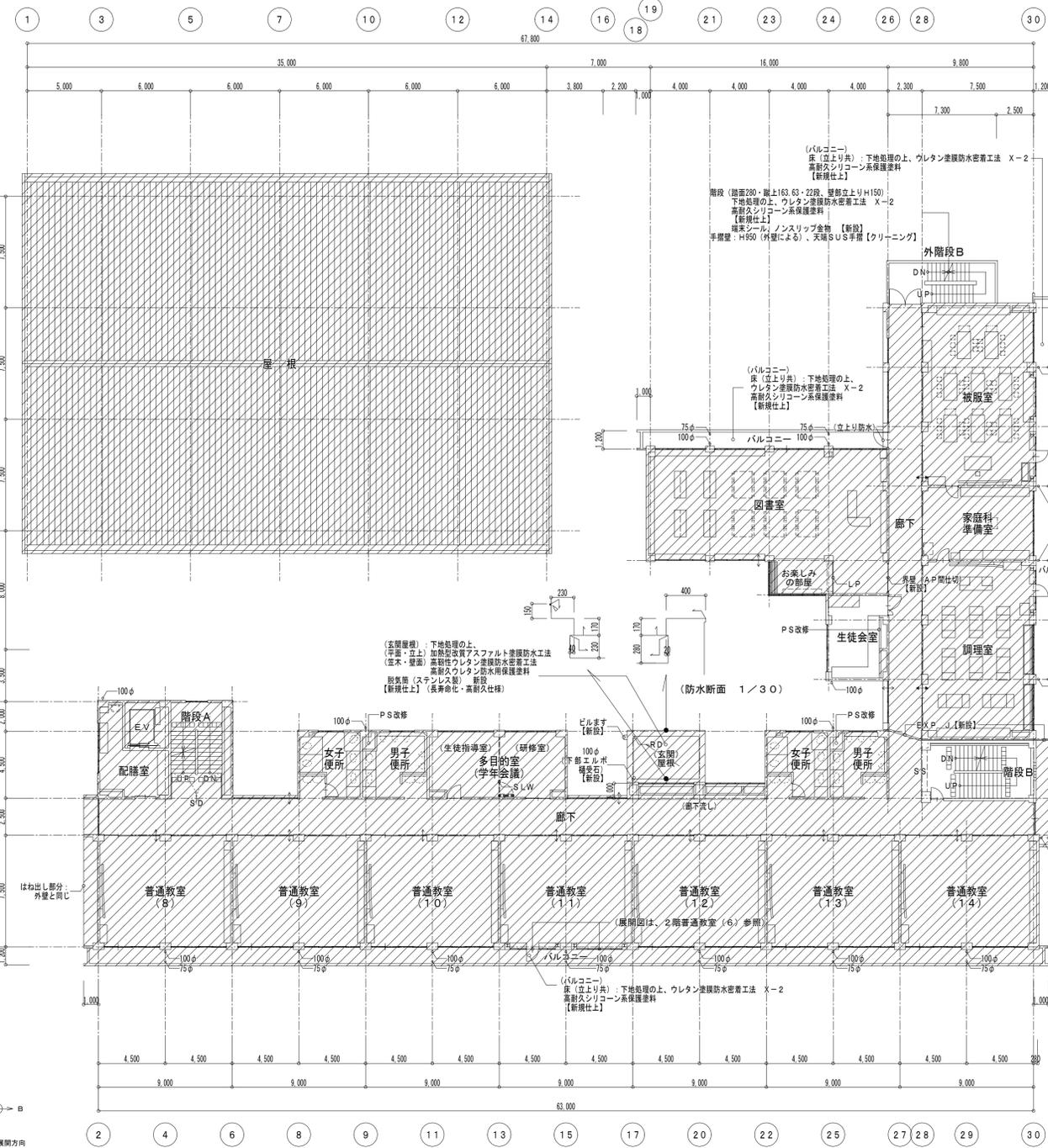
N



改修前 3階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

改修後

N



改修後 3階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

(普通教室*)：改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事
 (参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、バージョン・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整) 建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
 (凡例)
 ①空調配管改修用 ↑【撤去・新設】 ↓【新設】 (変更前)
 ②屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修
 P.S配管改修用 ↑【新設】(5階)

凡例： は、工事対象外を示す。

(外部堅種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)
(防水断面の は、改修後の防水仕上り区分【新設】を示す)

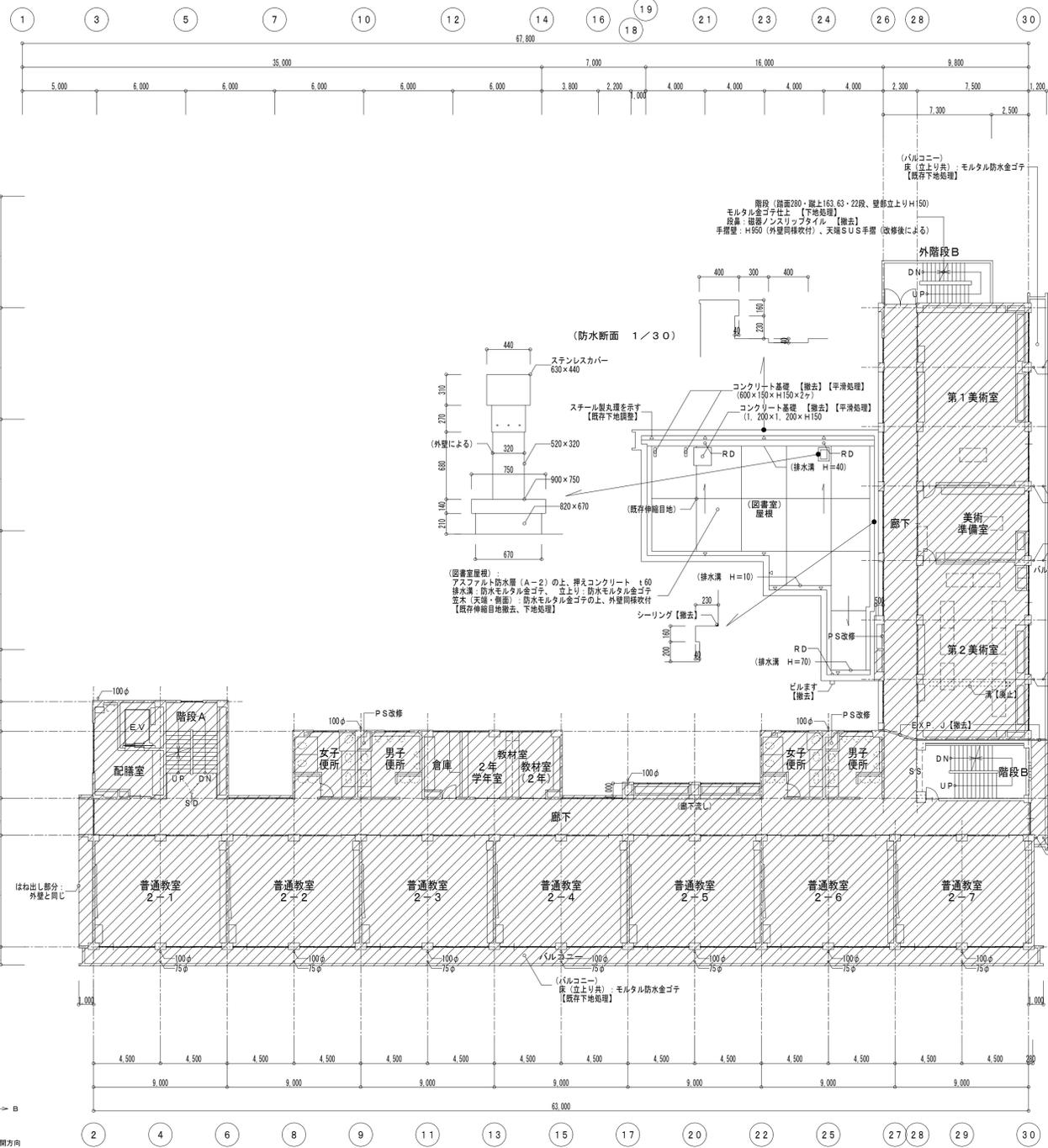
凡例： は、工事対象外を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

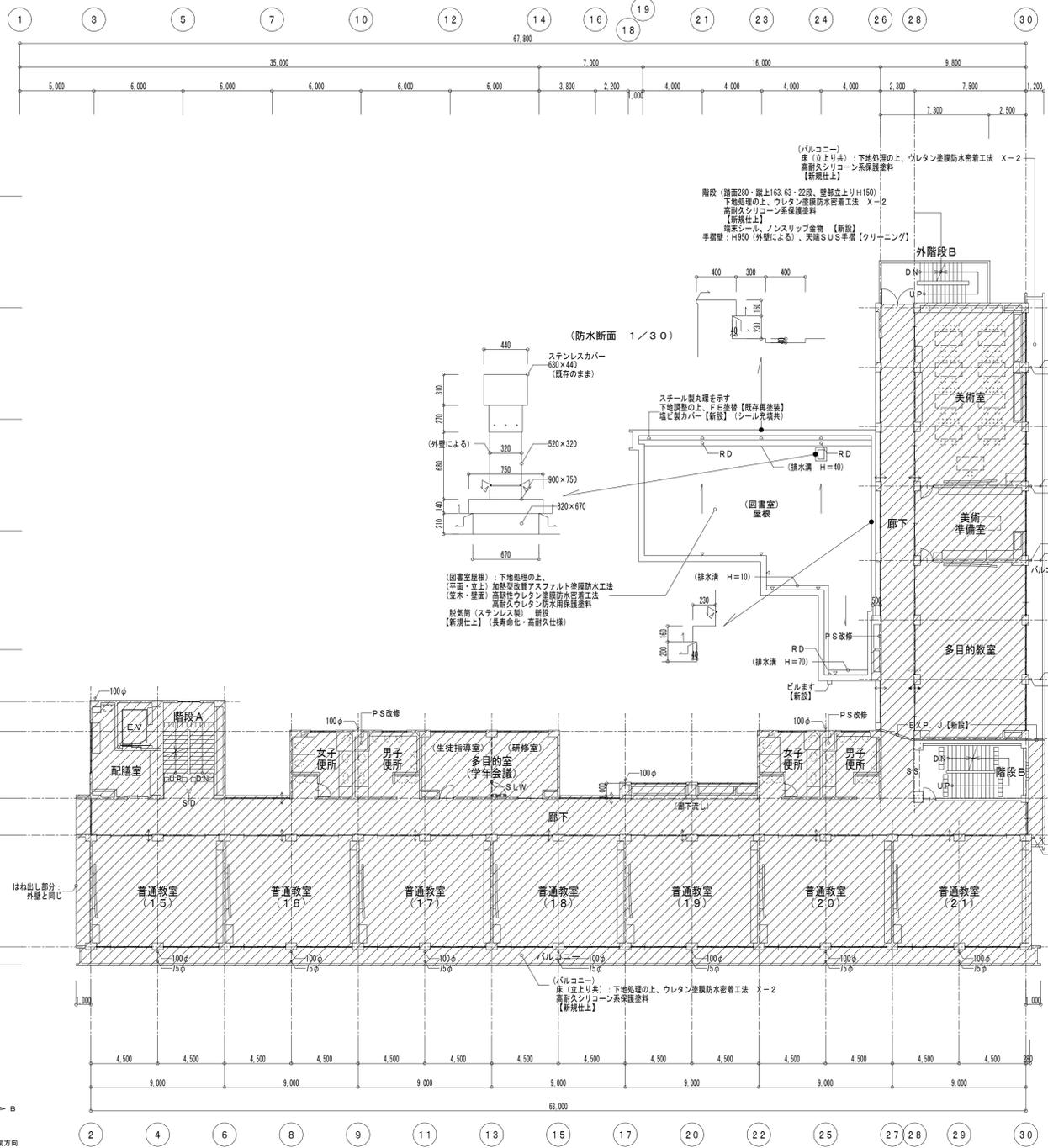
工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 3階平面図

改修前



改修前 4階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

改修後



改修後 4階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

凡例: は、工事対象外を示す。

(外部壁種 100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)
(防水断面の は、改修後の防水仕上区分【新設】を示す)

凡例: は、工事対象外を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認設計担当
縮尺 A1:1/200, 30
A3:1/400, 60
設計年月日
2023.1.15

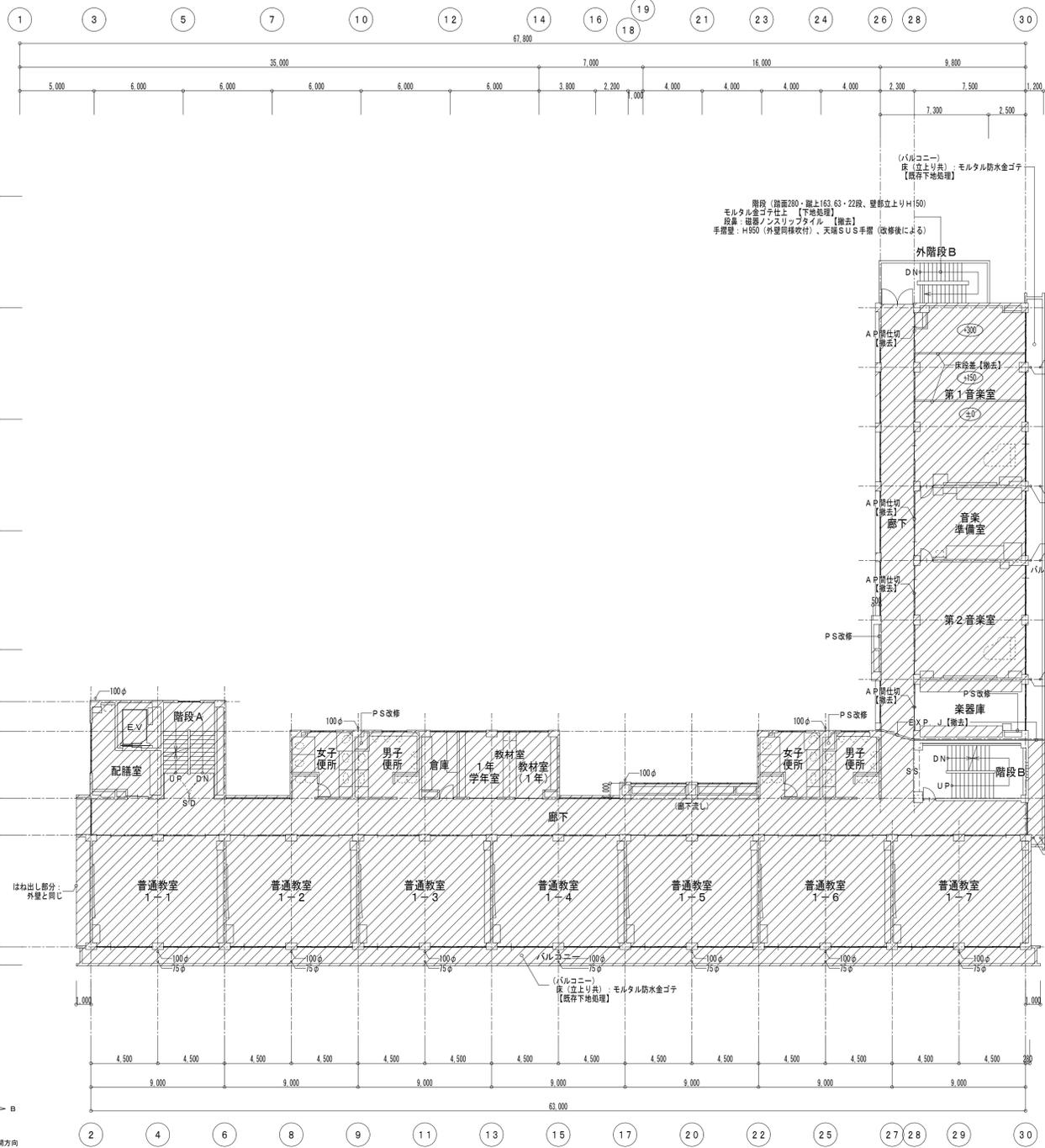
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)

図面名称 改修前・後 4階平面図

No. A-22

(内部改修については、別図：各室詳細図参照)
(普通教室(*)：改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事)
(参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、バージョン・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整)
建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
(凡例)
①空調配管改修用 ↑ 【撤去・新設】 ↑ 【新設】 ↓ (変更前)
②屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修
P.S配管改修用 ↓ 【新設】 (5階)

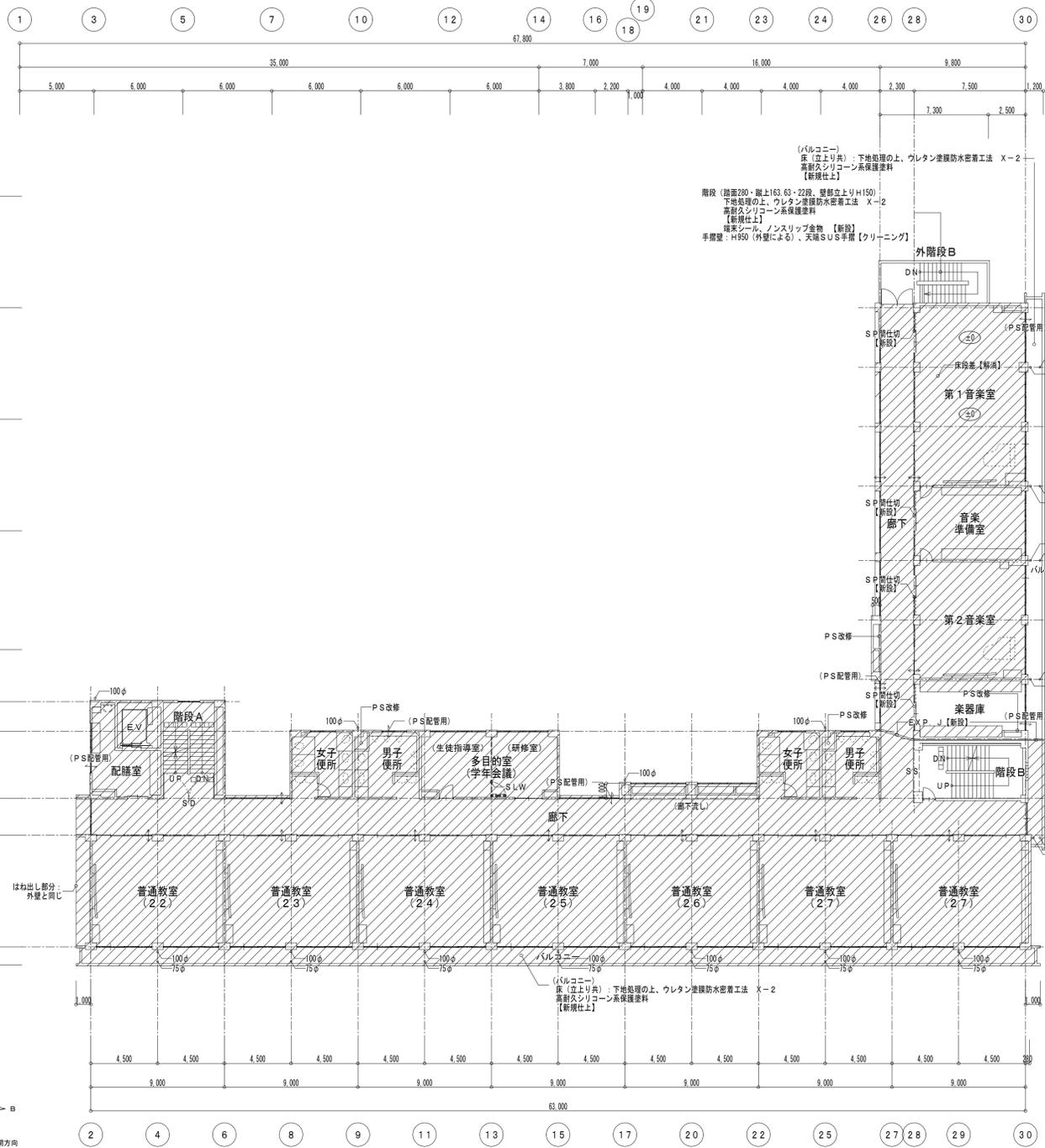
改修前



改修前 5階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

凡例： は、工事対象外を示す。

改修後



改修後 5階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

凡例： は、工事対象外を示す。

(バルコニー)
床(立上り共)：下地処理の上、ウレタン塗膜防水密着工法 X-2
高耐久シリコン系保護塗料
【新規仕上】
階段(踏面200・蹴上163・63・22段、壁部立上りH150)
下地処理の上、ウレタン塗膜防水密着工法 X-2
高耐久シリコン系保護塗料
【新規仕上】
床(立上り共)：下地処理の上、ウレタン塗膜防水密着工法 X-2
高耐久シリコン系保護塗料
【新規仕上】
手摺壁：H950(外壁同様仕様)、天端SUS手摺【クリーニング】

(内部改修については、別図：各室詳細図参照)
(普通教室*)：改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事
(参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、バージョン・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整) 建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
(凡例)
①空調配管改修用 ↑【撤去・新設】 ↓【新設】 (変更前)
②屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修
P.S配管改修用 ↑【新設】(5階)

(外部壁種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)

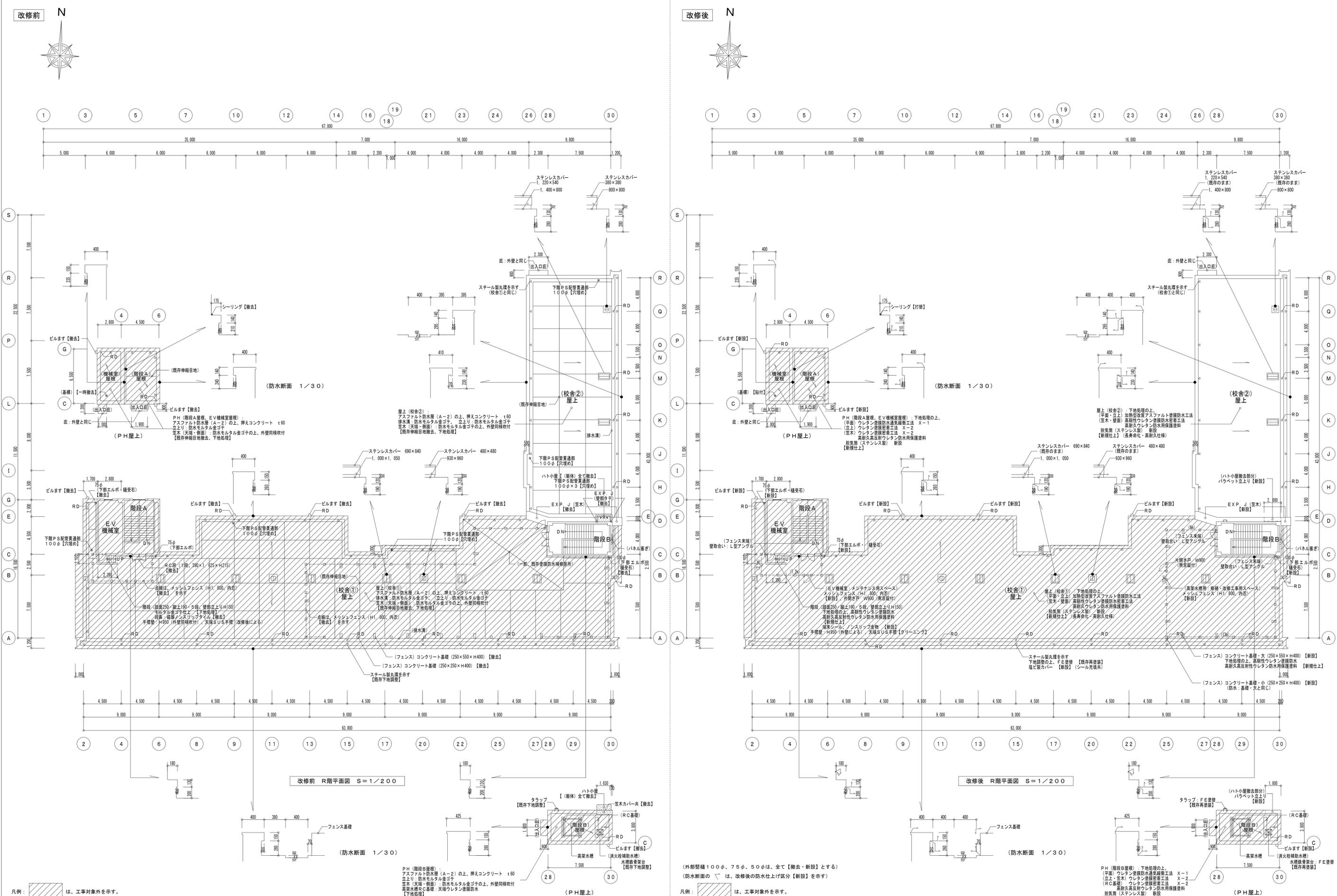
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榎引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日
2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 5階平面図

改修前

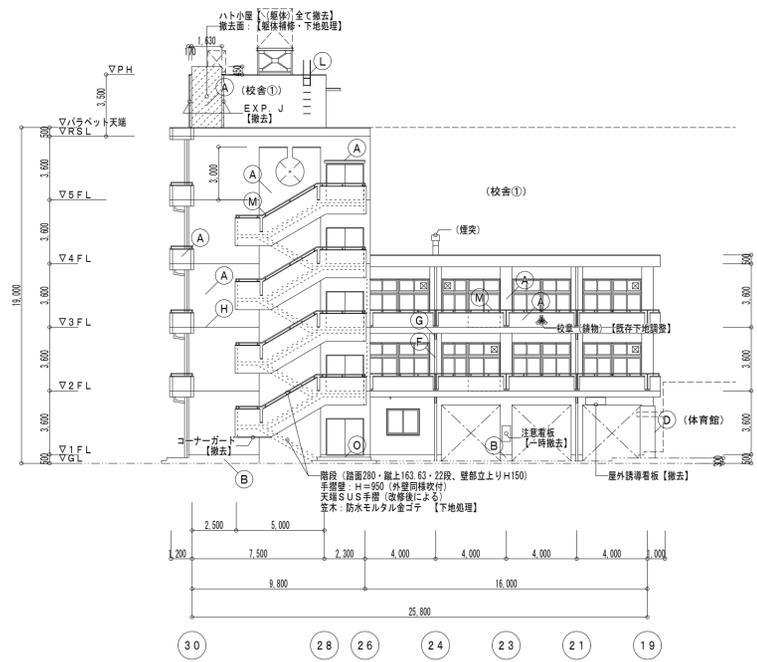
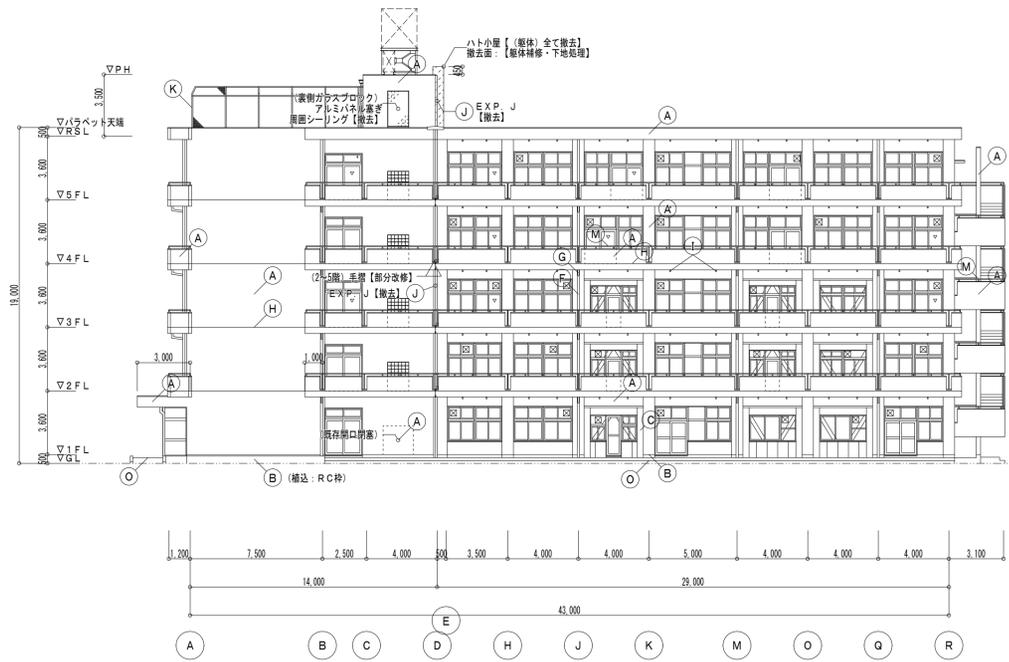
改修後



凡例: は、工事対象外を示す。

凡例: は、工事対象外を示す。

改修前



校舎②：外壁劣化調査数量表（参考）

クラック (0.2mm以上)	351	(本)
欠損	294.45	(㎡)
腐蝕	20	(ヶ所)
亀裂	61	(ヶ所)

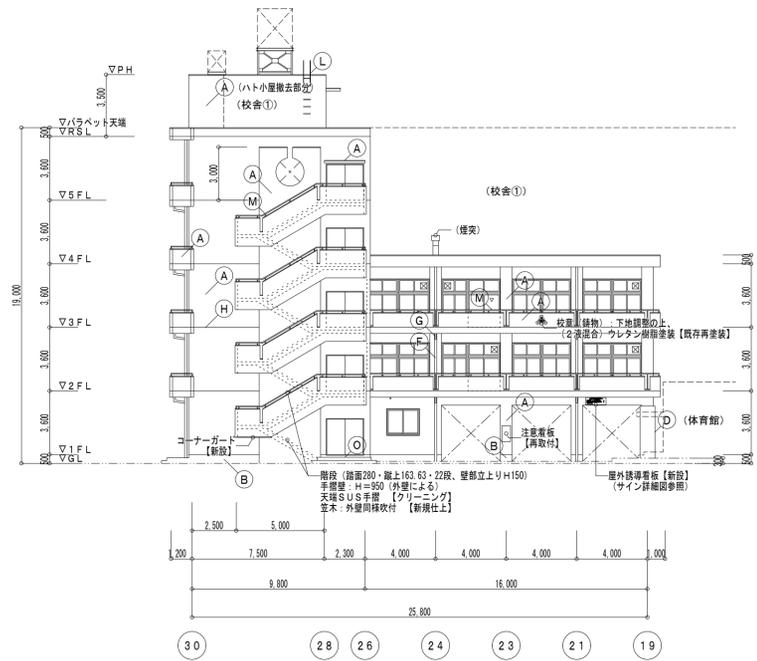
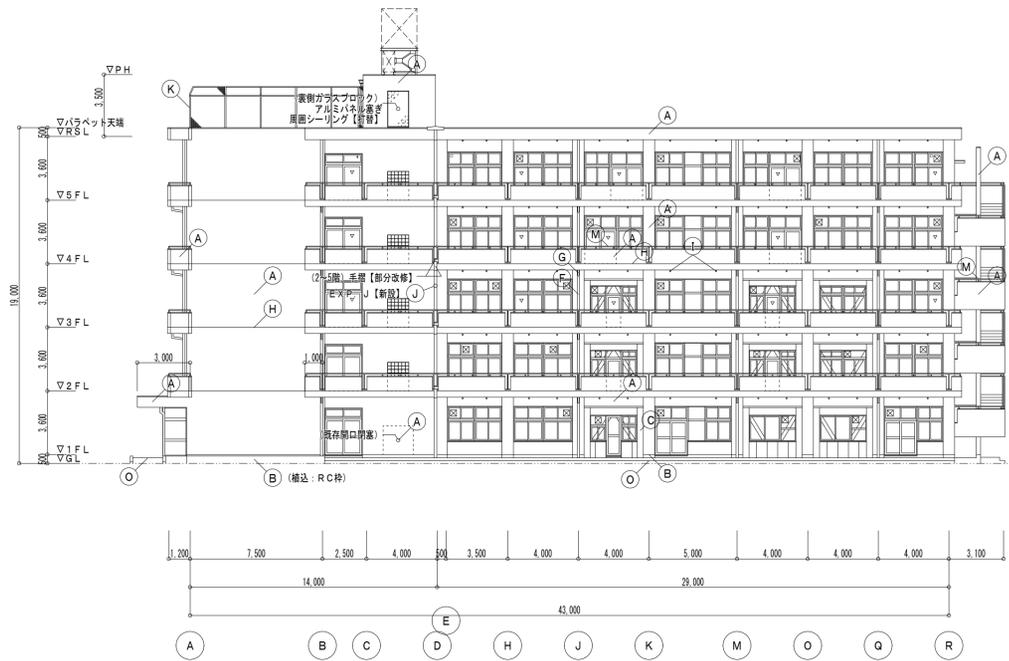
改修前 東側立面図 S=1/200

注) この数量は、設計時における足場が無い状態の調査結果である。工事における詳細調査の結果、数量増加の調査が生じる事を考慮すること。その調査結果は、図面化した上で監理員に説明・提出し、承認を得た後、施工すること。調査の際は、数量の比較調査を行える様、劣化の程度に合わせて軽微なものも区別すること。

改修前 北側立面図 S=1/200

記号	改修前 外部仕上表
A	外壁：コンクリート打放し、雑塗塗料E（アクリルタイル）收付 【收付タイル：アスベスト除去工事】【既存躯体修繕：下地処理】
B	外周木：モルタル金ゴゴ仕上 【既存躯体修繕：下地処理】
C	既存BR補強部：押出成形セメント板 t60 2-ASE（アクリルシリコン樹脂エナメル）塗、周囲・目地シール 【既存下地調整】、シール【撤去】
D	既存柱補強部：鋼板巻き t9.0 FE塗 【既存下地調整】
E	既存新設スリット部：W50×100（バックアップ材入り） シール【撤去】
F	壁種：VP 100φ（RD横引き部：上部、ビルます付） 【撤去（組み金物共）】
G	壁種：VP 75φ（RD横引き部：上部、ビルます付） 【撤去（組み金物共）】
H	打継目地：W2.5×2.0（PS-2、ポリサルファイド系） シール【撤去】
I	天井裏換気パイプ（縦貫場仕様）50φ（1スパン・2ヶ所）、防虫網付き 【既存下地調整】
J	EXP、J金物：ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】
K	屋上フェンス：スチール製メッシュフェンス HI.800（上部内窓付き） 【（基礎共）撤去】
L	屋上タラップ：丸鋼 22φ W400 6段 【既存下地調整】
M	手摺：ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱：42.7φ 【改修後による】
N	高層水櫃：鉄骨架台 【撤去（既存下地調整）】
O	外部床：モルタル金ゴゴ仕上 【既存下地処理】
□	換気扇を示す（設調図による）
	鉄部（外壁付属物）は全て 【撤去（下地調整）】
	※外部サッシは、全て【撤去（カバ工法）】。昇降口・玄関・SDは【撤去（特共）】 （詳しくは建具表による）
	（サッシは、現況非常用出入口表示を示す）

改修後



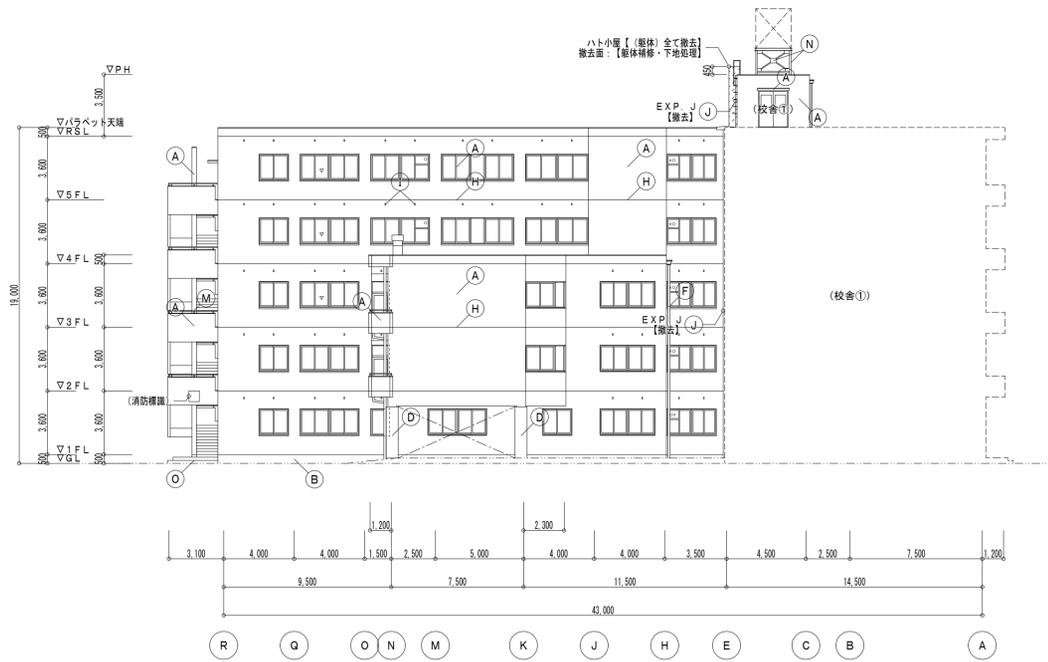
改修後 東側立面図 S=1/200

改修後 北側立面図 S=1/200

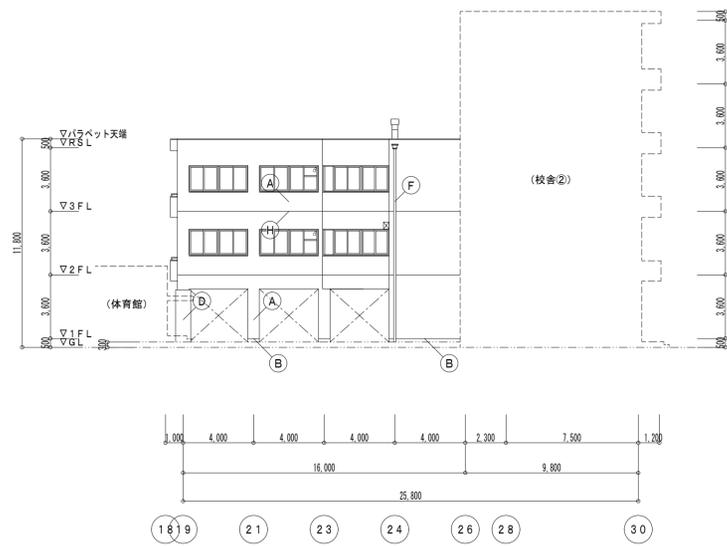
記号	改修後 外部仕上表
A	外壁：收付アスベスト【全面撤去】、躯体修繕・下地処理の上、 防水型雑塗塗料E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 【新規仕上】
B	外周木：躯体修繕・下地処理の上、 基礎中水車用塗料（水性アクリルシリコン系） 【新規仕上】
C	既存BR補強部：下地調整の上、外壁仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】
D	既存柱補強部：下地調整の上、FE塗替 【既存再塗装】
E	既存新設スリット部：W50×100（バックアップ材入り） シール【打替】
F	壁種：VP 100φ（RD横引き部：上部、ビルます（大）角VP（アミフタ付）） 【新設（組み金物共）】
G	壁種：VP 75φ（RD横引き部：上部、ビルます（大）角VP（アミフタ付）） 【新設（組み金物共）】
H	打継目地：W2.5×2.0（PS-2、ポリサルファイド系） シール【打替】（仕上げあり）
I	天井裏換気パイプ（一般外壁と共に收付） 【換気孔部分は、收付で塞がない様に養生する事】
J	EXP、J金物：アルミ製 W160（耐火仕様、クリアランス50） 【新設】
K	屋上フェンス：スチール製メッシュフェンス HI.800（上部内窓付き） 【（基礎共）新設】
L	屋上タラップ：丸鋼 22φ W400 6段 FE塗替 【既存再塗装】
M	手摺：ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱：42.7φ 【クリーニング】
N	高層水櫃：鉄骨架台 FE塗替 【既存再塗装】
O	外部床：下地処理の上、（塗床）水性無機質浸透型防水（屋外・NS仕様） 【新規仕上】（目地付リブ付）
□	換気扇を示す（設調図による）
	鉄部（外壁付属物）は全て 下地調整の上、FE塗替【既存再塗装】、（軽微なものは外壁と共に收付）
	※外部サッシは、全て【新設（カバ工法）】。昇降口・玄関・SDは【新設】 （詳しくは建具表による）
	（サッシは、改修後非常用出入口表示を示す）

工事対象は、工事範囲図による

改修前



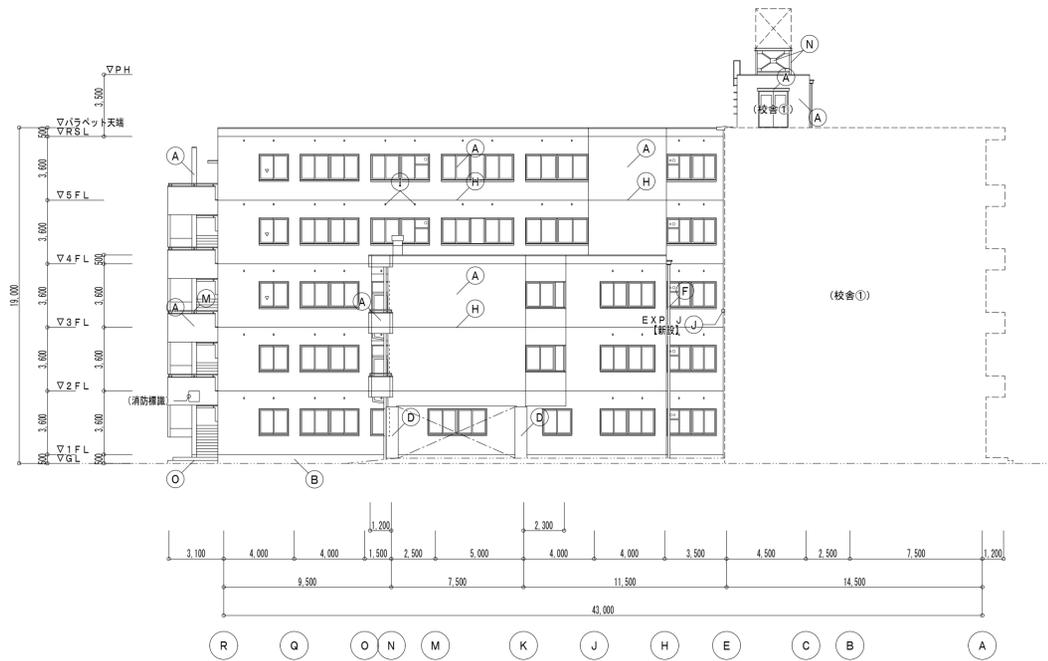
改修前 西側立面図 S=1/200



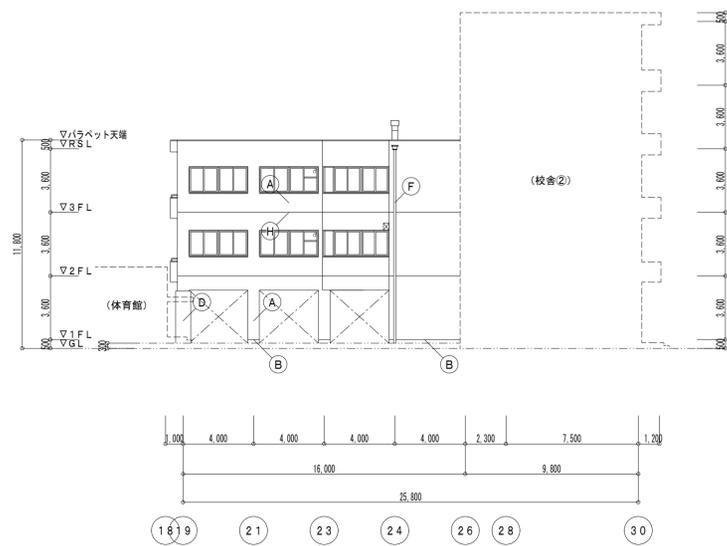
改修前 南側立面図 S=1/200

記号	改修前 外部仕上表
A	外壁：コンクリート打放し、遮断塗料E（アクリル系）付与 【改付タイル：アスベスト除去工事】【既存躯体補修：下地処理】
B	外周木：モルタル金ゴテ仕上 【既存躯体補修：下地処理】
C	既存BR補強部：押出成形セメント板 t60 2-ASE（アクリルシリコン樹脂エナメル）塗、周囲・目地シール 【既存下地調整】、シール【撤去】
D	既存柱補強部：鋼板巻き t9.0 FE塗 【既存下地調整】
E	既存新設スリット部：W50×100（バックアップ材入り） シール【撤去】
F	壁種：VP 100φ（RD横引き部：上部、ビルます付） 【撤去（組み金物共）】
G	壁種：VP 75φ（RD横引き部：上部、ビルます付） 【撤去（組み金物共）】
H	打組目地：W25×20（PS-2、ポリサルファイド系） シール【撤去】
I	天井裏換気パイプ（縦貫場仕様）50φ（1スパン・2ヶ所）、防虫網付き 【既存下地調整】
J	EXP、J金物：ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】
K	屋上フェンス：スチール製メッシュフェンス HI.800（上部内窓付き） 【（基礎共）撤去】
L	屋上タラップ：丸鋼 22φ W400 6段 【既存下地調整】
M	手摺：ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱：42.7φ （改修後による）
N	高層水櫃：鉄骨架台 【既存下地調整】
O	外部床：モルタル金ゴテ仕上 【既存下地処理】
□	換気扇を示す（設調図による）
鉄部（外壁付属物）は全て 【既存下地調整】	
※外部サッシは、全て【撤去（カバ工法）】。昇降口・玄関・SDは【撤去（特共）】 （詳しくは建具表による）	
（サッシは、現況非常用出入口表示を示す）	

改修後



改修後 西側立面図 S=1/200



改修後 南側立面図 S=1/200

記号	改修後 外部仕上表
A	外壁：改付アスベスト【全面撤去】、躯体補修・下地処理の上、 防カビ塗膜塗付E 超低汚染・超耐候無機複合塗料【新規仕上】
B	外周木：躯体補修・下地処理の上、 基礎中水専用塗料（水性アクリルシリコン系）【新規仕上】
C	既存BR補強部：下地調整の上、外壁仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】
D	既存柱補強部：下地調整の上、FE塗替 【既存再塗装】
E	既存新設スリット部：W50×100（バックアップ材入り） シール【打替】
F	壁種：VP 100φ（RD横引き部：上部、ビルます（大）角VP（アミタ付）） 【新設（組み金物共）】
G	壁種：VP 75φ（RD横引き部：上部、ビルます（大）角VP（アミタ付）） 【新設（組み金物共）】
H	打組目地：W25×20（PS-2、ポリサルファイド系） シール【打替】（仕上げあり）
I	天井裏換気パイプ（一般外壁と共に改付） （換気孔部分は、改付で塞がない様に養生する事）
J	EXP、J金物：アルミ製 W160（耐火仕様、クリアランス50） 【新設】
K	屋上フェンス：スチール製メッシュフェンス HI.800（上部内窓付き） 【（基礎共）新設】
L	屋上タラップ：丸鋼 22φ W400 6段 FE塗替 【既存再塗装】
M	手摺：ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱：42.7φ 【クリーニング】
N	高層水櫃：鉄骨架台 FE塗替 【既存再塗装】
O	外部床：下地処理の上（塗床）水性無機質浸透型床材（屋外・NS仕様） 【新規仕上】（目地切り無し）
□	換気扇を示す（設調図による）
鉄部（外壁付属物）は全て 下地調整の上、FE塗替【既存再塗装】、（軽微なものは外壁と共に改付）	
※外部サッシは、全て【新設（カバ工法）】。昇降口・玄関・SDは【新設】 （詳しくは建具表による）	
（サッシは、改修後非常用出入口表示を示す）	

工事対象は、工事範囲図による

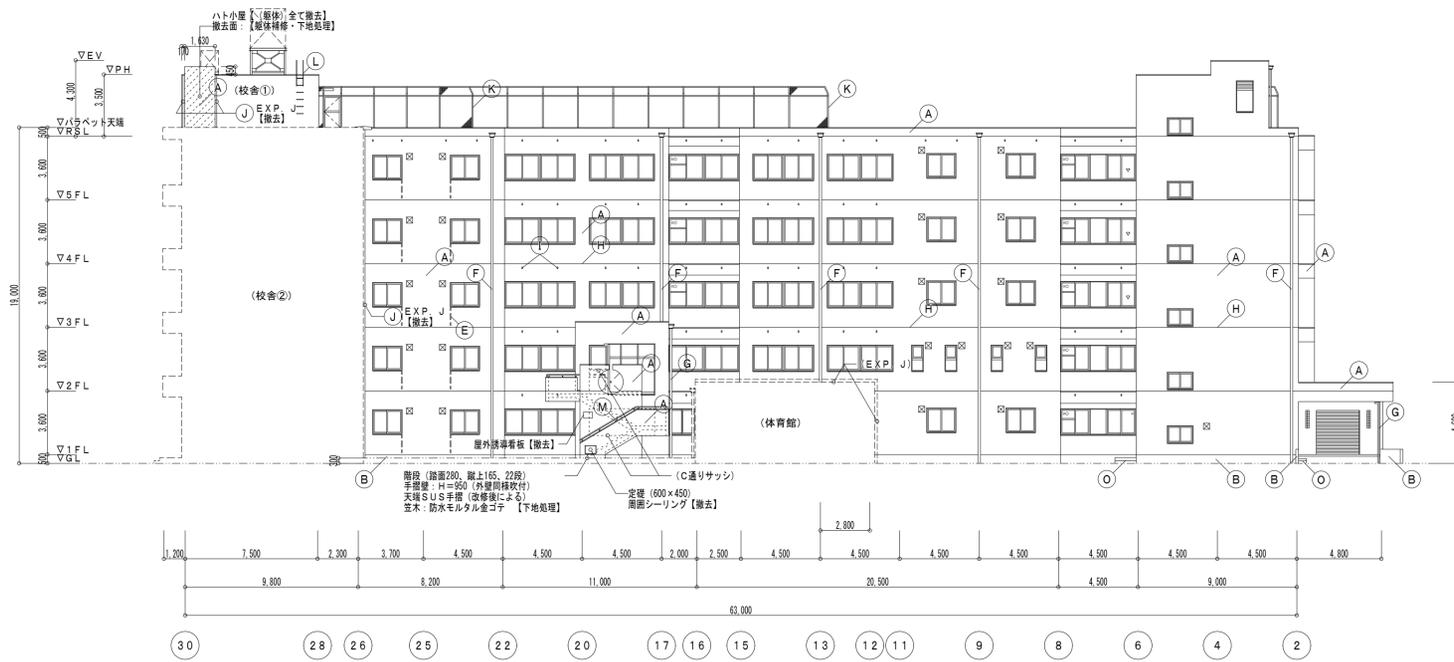
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当

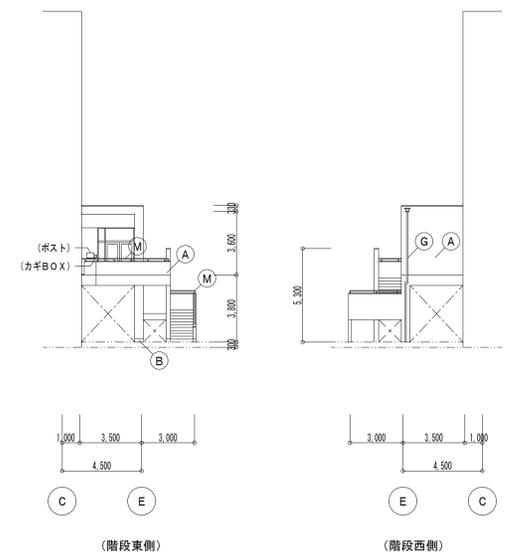
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日
2023.1.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第2期工事）（ゼロ債務）
図面名称 改修前・後 立面図2

改修前

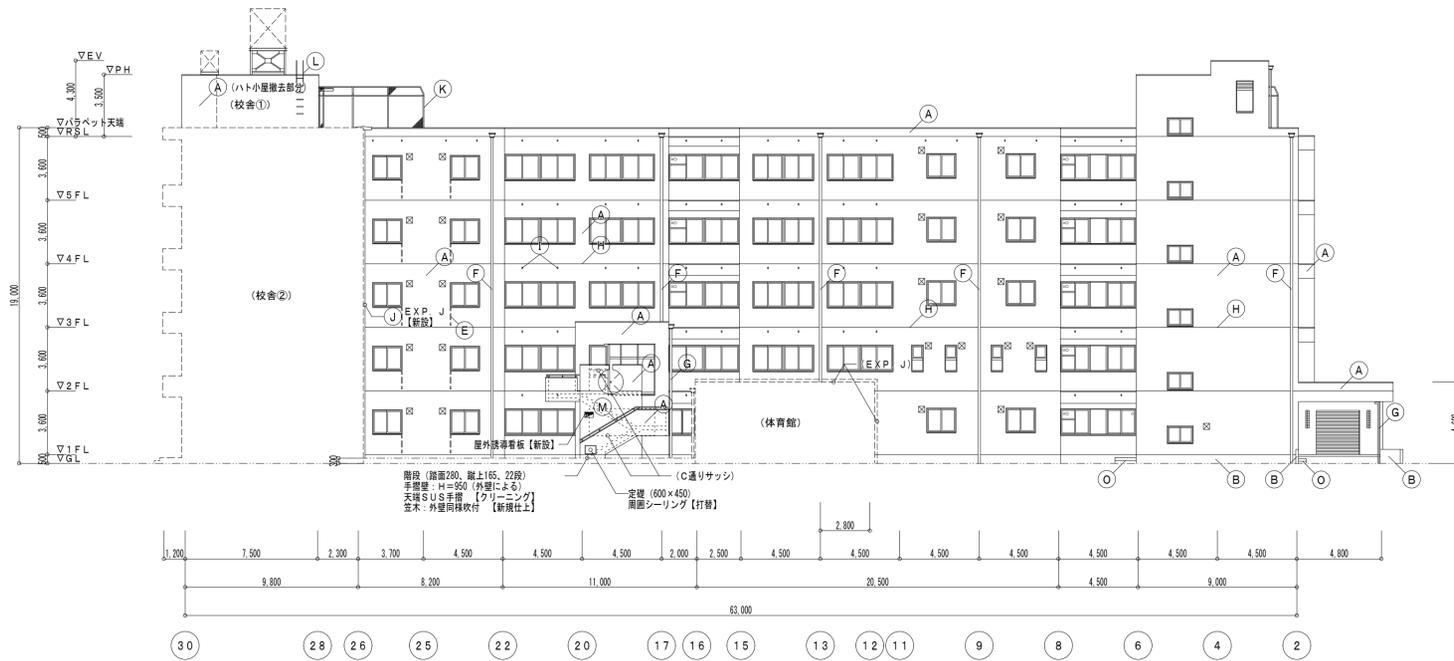


改修前 北側立面図 S=1/200

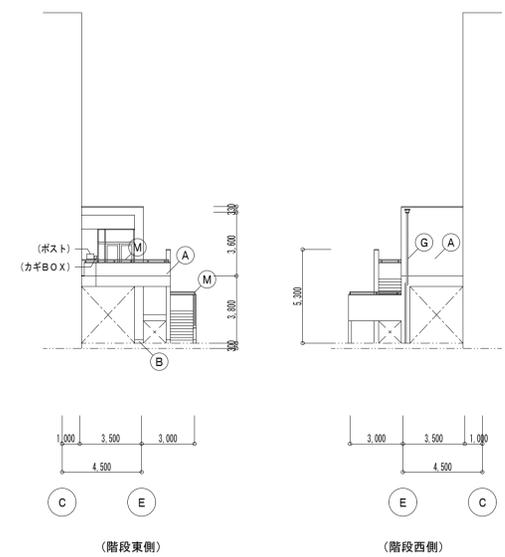


記号	改修前 外部仕上表
A	外壁: コンクリート打放し、雑塗塗料E (アクリルタイル) 取付 【取付タイル: アスベスト除去工事】 【既存躯体補修: 下地処理】
B	外木目: モルタル金ゴゴ仕上 【既存躯体補修: 下地処理】
C	既存BR補強部: 押出成形セメント板 t60 2-ASE (アクリルシリコン樹脂エナメル) 塗、周囲・目地シール 【既存下地調整】、シール【撤去】
D	既存柱補強部: 鋼板巻き t9.0 FE塗 【既存下地調整】
E	既存新設スリット部: W50×100 (バックアップ材入り) シール【撤去】
F	壁種: VP 100φ (RD横引き部: 上部、ビルます付) 【撤去 (痛み全物共)】
G	壁種: VP 75φ (RD横引き部: 上部、ビルます付) 【撤去 (痛み全物共)】
H	打継目地: W25×20 (PS-2、ポリサルファイド系) シール【撤去】
I	天井裏換気パイプ (経費場ビ板) 50φ (1スパン・2ヶ所)、防虫網付き 【既存下地調整】
J	EXP、J金物: ステンレス製 t1.5 W=85 曲げ加工 【撤去】
K	屋上フェンス: スチール製メッシュフェンス HI.800 (上部内窓付き) 【基礎共】 撤去
L	屋上タラップ: 丸鋼 22φ W400 6段 【既存下地調整】
M	手摺: ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ 【改修後による】
N	高置水櫃: 鉄骨架台 【既存下地調整】
O	外部床: モルタル金ゴゴ仕上 【既存下地処理】
□	換気扇を示す (設調図による)
鉄部 (外壁付属物) は全て 【撤去 (カバ工法)】。昇降口・玄関・SDは【撤去 (特共)】 (詳しくは建具表による)	

改修後



改修後 北側立面図 S=1/200

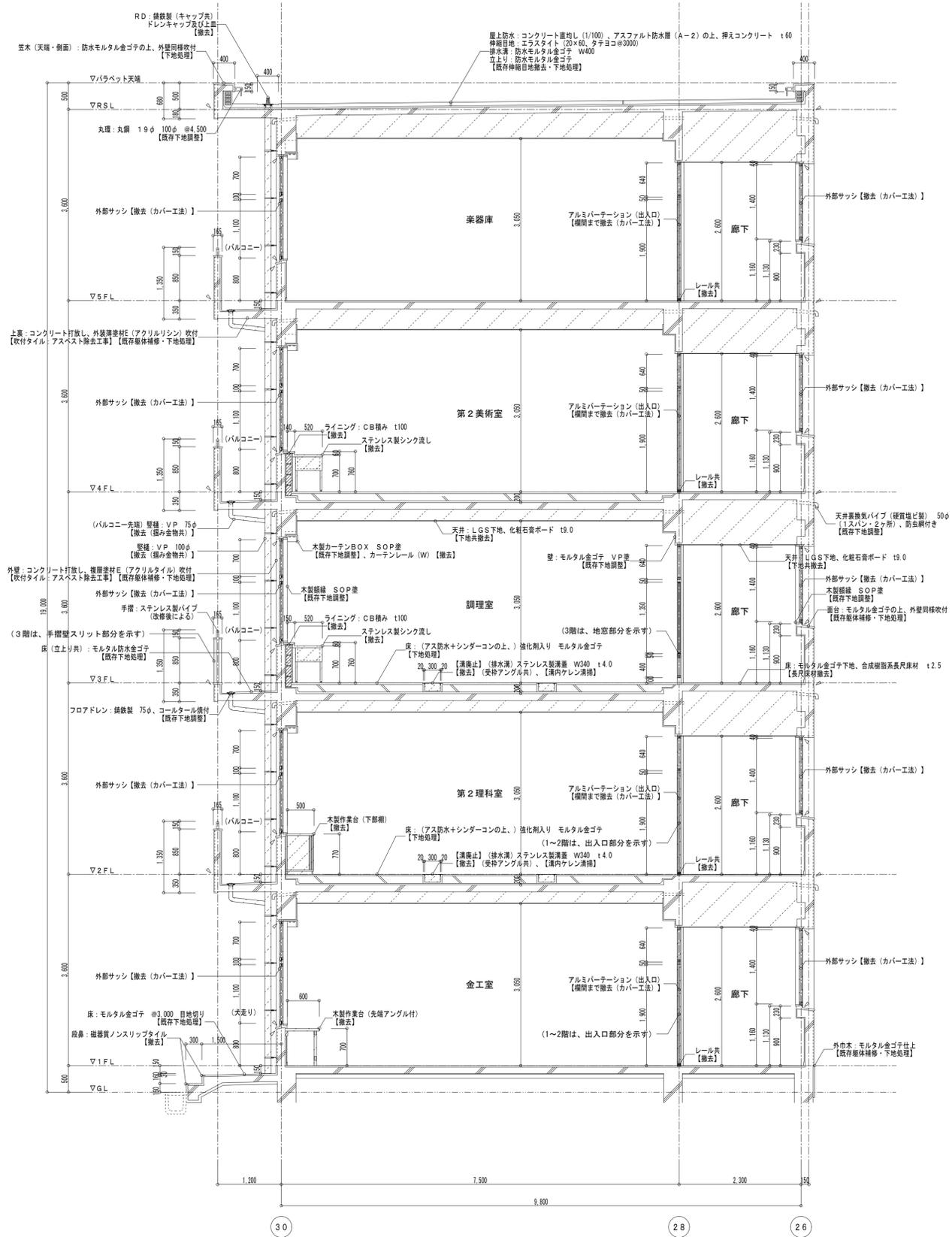


記号	改修後 外部仕上表
A	外壁: 取付アスベスト【全面撤去】。躯体補修・下地処理の上、 防炎型保護塗料E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 【新規仕上】
B	外木目: 躯体補修・下地処理の上、 基礎中水専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】
C	既存BR補強部: 下地調整の上、外壁仕上と同様 【新規仕上】、シール【打替】
D	既存柱補強部: 下地調整の上、FE塗替 【既存再塗装】
E	既存新設スリット部: W50×100 (バックアップ材入り) シール【打替】
F	壁種: VP 100φ (RD横引き部: 上部、ビルます (大) 角VP (アミフタ付)) 【新設 (痛み全物共)】
G	壁種: VP 75φ (RD横引き部: 上部、ビルます (大) 角VP (アミフタ付)) 【新設 (痛み全物共)】
H	打継目地: W25×20 (PS-2、ポリサルファイド系) シール【打替】 (仕上げあり)
I	天井裏換気パイプ (一般外壁と共に取付) 【換気孔部分は、取付で塞がない様に養生する事】
J	EXP、J金物: アルミ製 W160 (耐火仕様、クリアランス50) 【新設】
K	屋上フェンス: スチール製メッシュフェンス HI.800 (上部内窓付き) 【基礎共】 新設
L	屋上タラップ: 丸鋼 22φ W400 6段 FE塗替 【既存再塗装】
M	手摺: ステンレス製パイプ 48.6φ、支柱: 42.7φ 【クリーニング】
N	高置水櫃: 鉄骨架台 FE塗替 【既存再塗装】
O	外部床: 下地処理の上、(塗床) 水性無機質浸透型防水 (屋外・NS仕様) 【新規仕上】 (目地付リブ)
□	換気扇を示す (設調図による)
鉄部 (外壁付属物) は全て 下地調整の上、FE塗替【既存再塗装】。(軽微なものは外壁と共に取付) 【新規仕上】	
※外部サッシは、全て【新設 (カバ工法)】。昇降口・玄関・SDは【新設】 (詳しくは建具表による)	

工事対象は、工事範囲図による

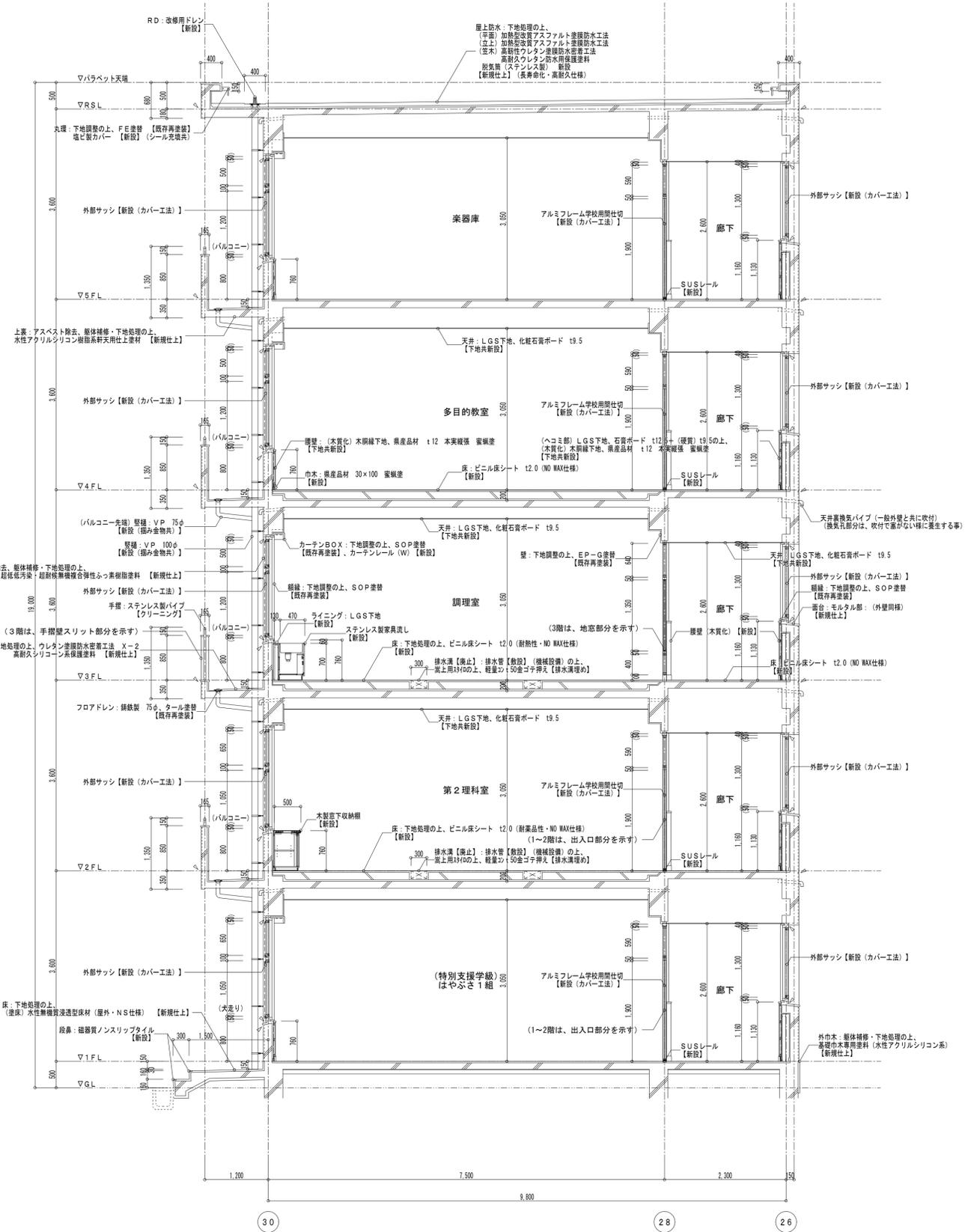
改修前

改修後



改修前 (校舎②) 矩図 S=1/50

凡例：
 は、【撤去】範囲を示す。
 は、シーリング【全て撤去】を示す。



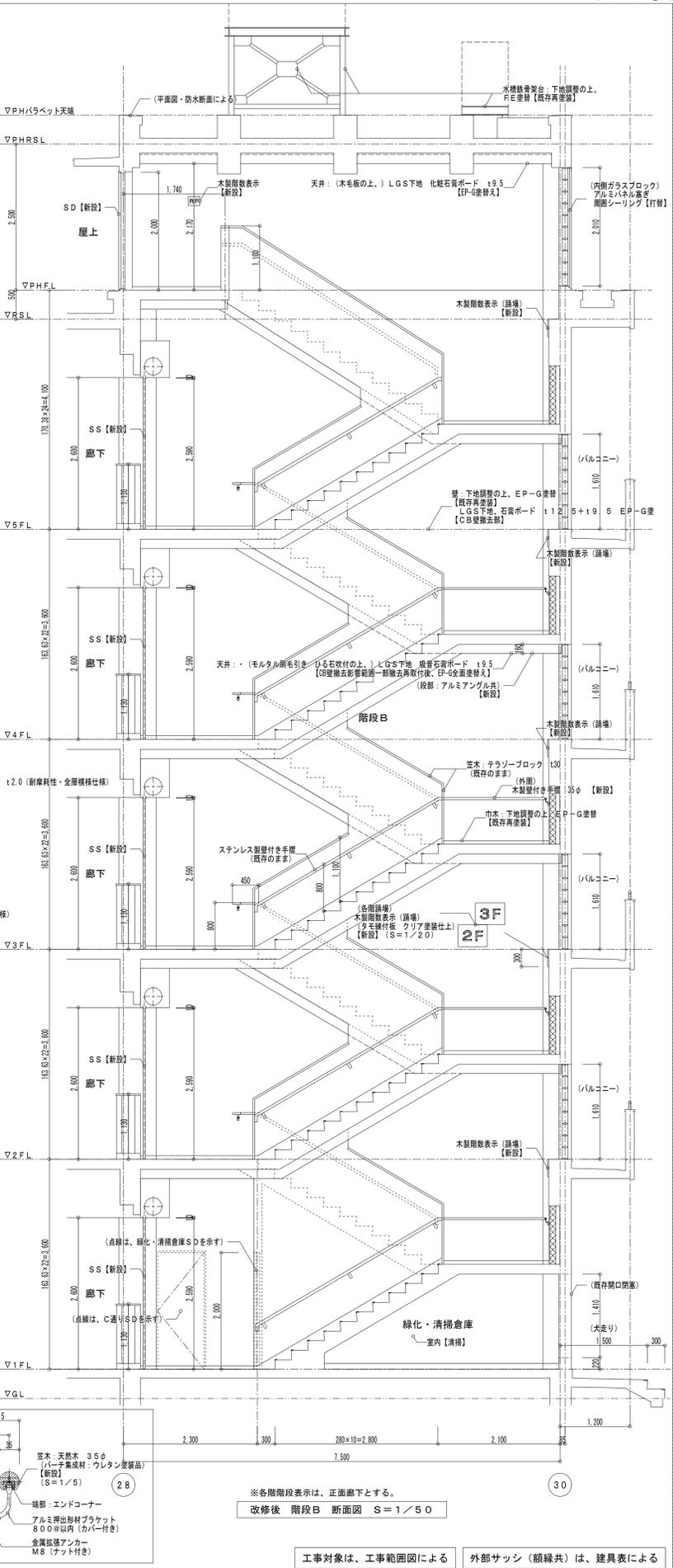
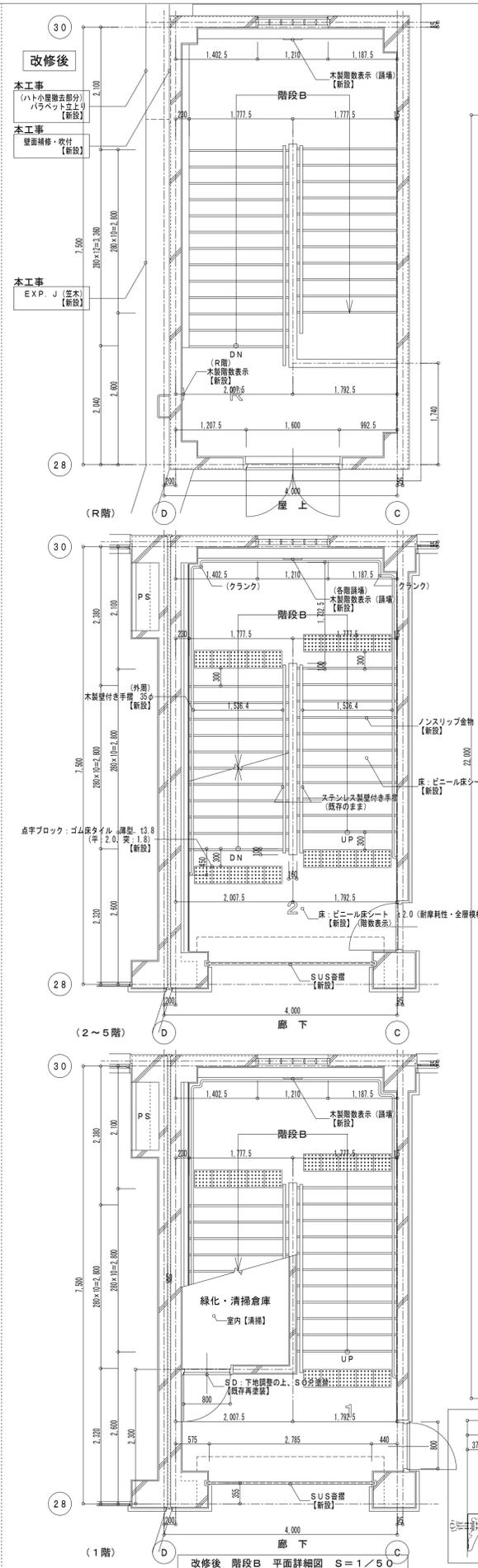
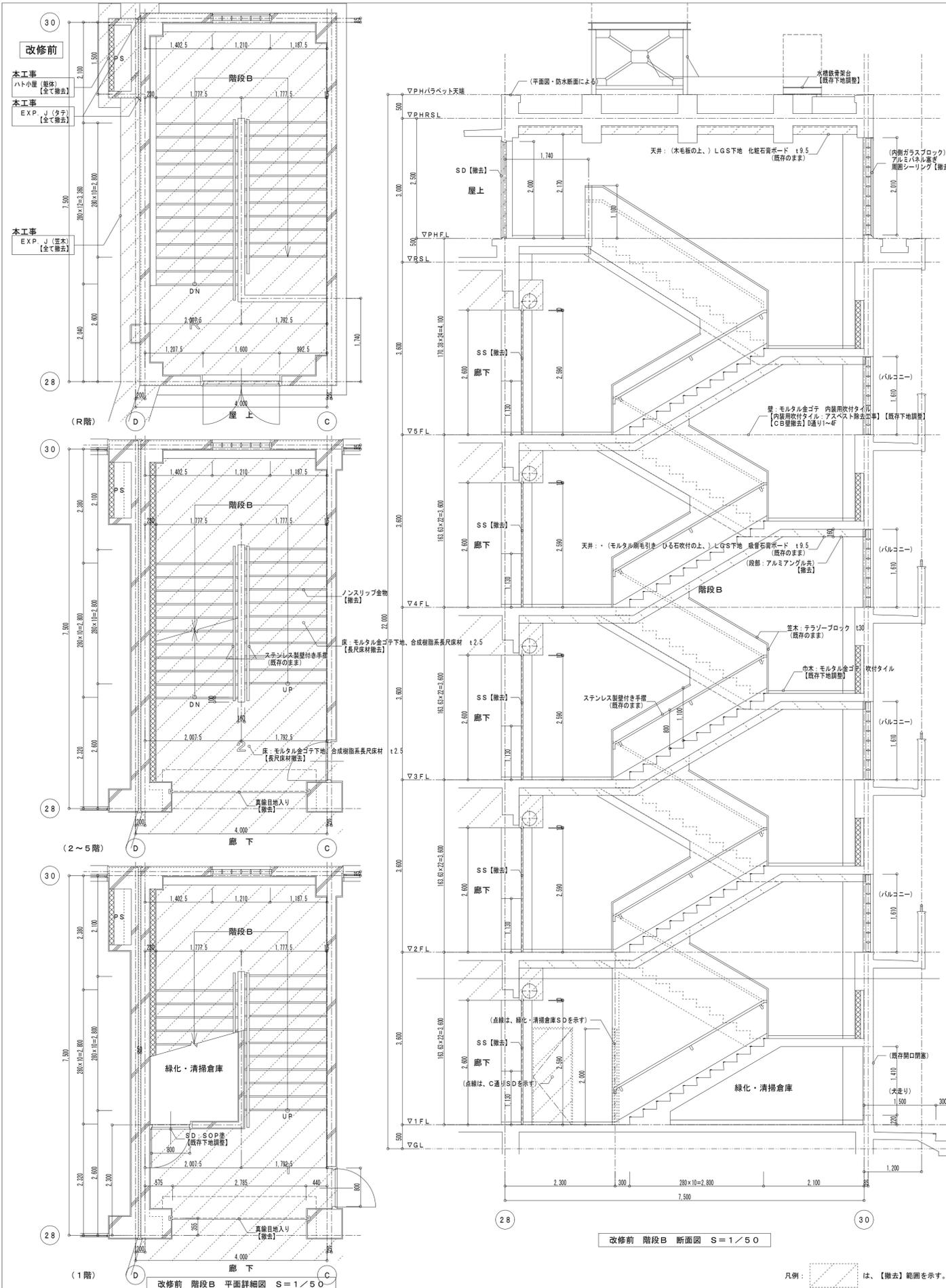
改修後 (校舎②) 矩図 S=1/50

工事対象は、工事範囲図による
 外部サッシ(顔線緑)は、建具表による
 凡例： は、シーリング【全て打替】を示す。

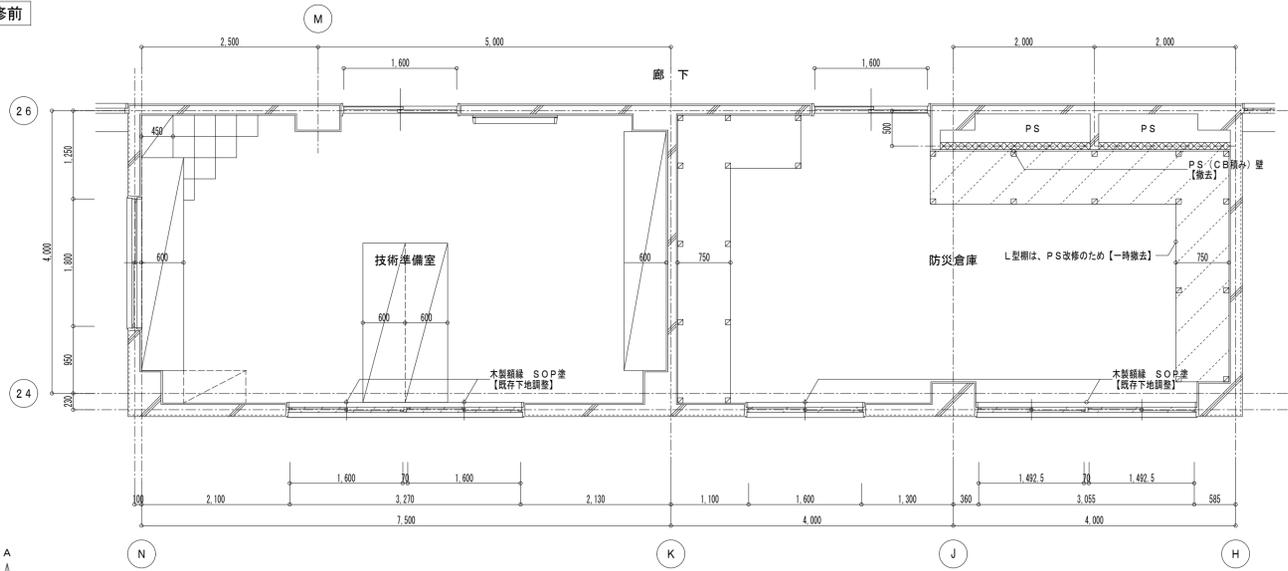
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認	設計	担当	縮尺	A1:1/50
			A3:1/100	
			設計年月日	2023.3.15

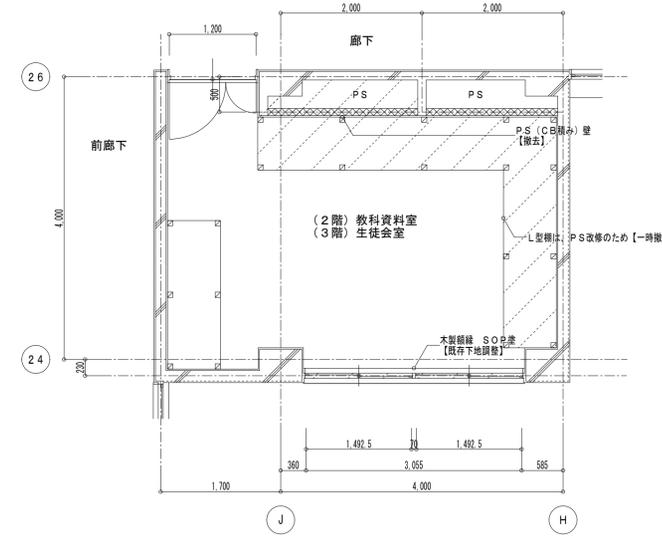
工事名称	市立瀨瀬中学校長寿寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称	改修前・後(校舎②)矩図
No.	A-28



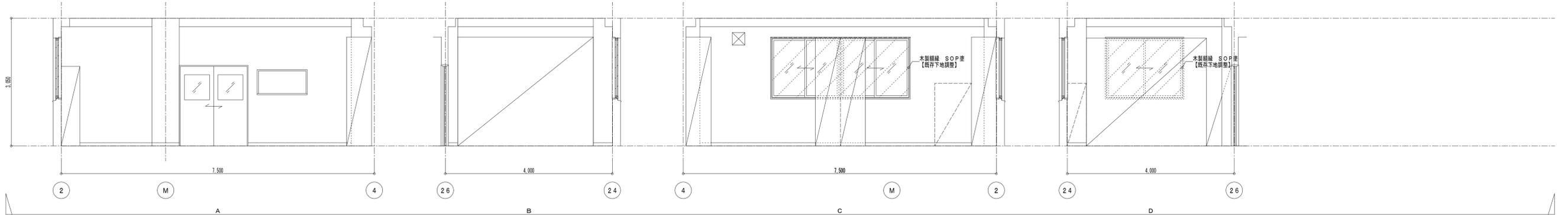
改修前



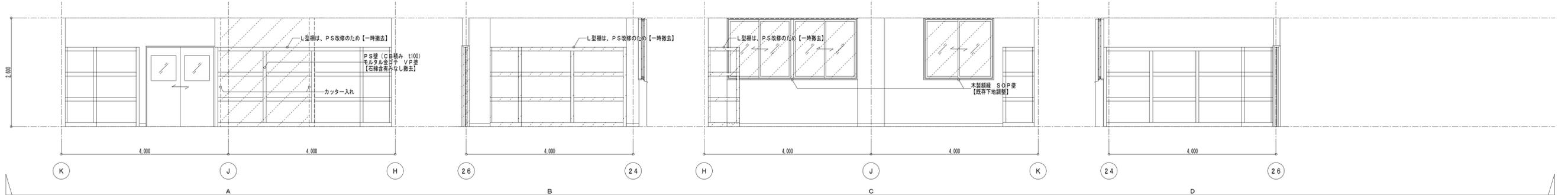
改修前 (1階) 技術準備室・防災倉庫 平面詳細図 S=1/50 (木製縁の塗り替えは、見え掛り部分とする)
*PS改修・木製懸縁替えの影響範囲の毛布・ダンボール屋の移動も本工事とする。



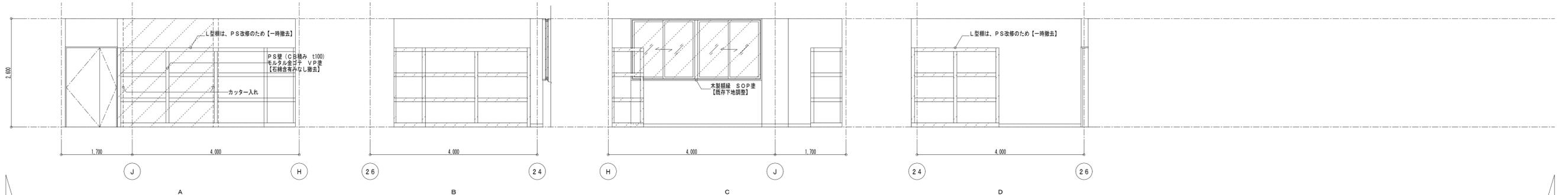
改修前 (2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 平面詳細図 S=1/50 (木製縁の塗り替えは、見え掛り部分とする)



改修前 (1階) 技術準備室 平面詳細図 S=1/50



改修前 (1階) 防災倉庫 平面詳細図 S=1/50



改修前 (2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 平面詳細図 S=1/50

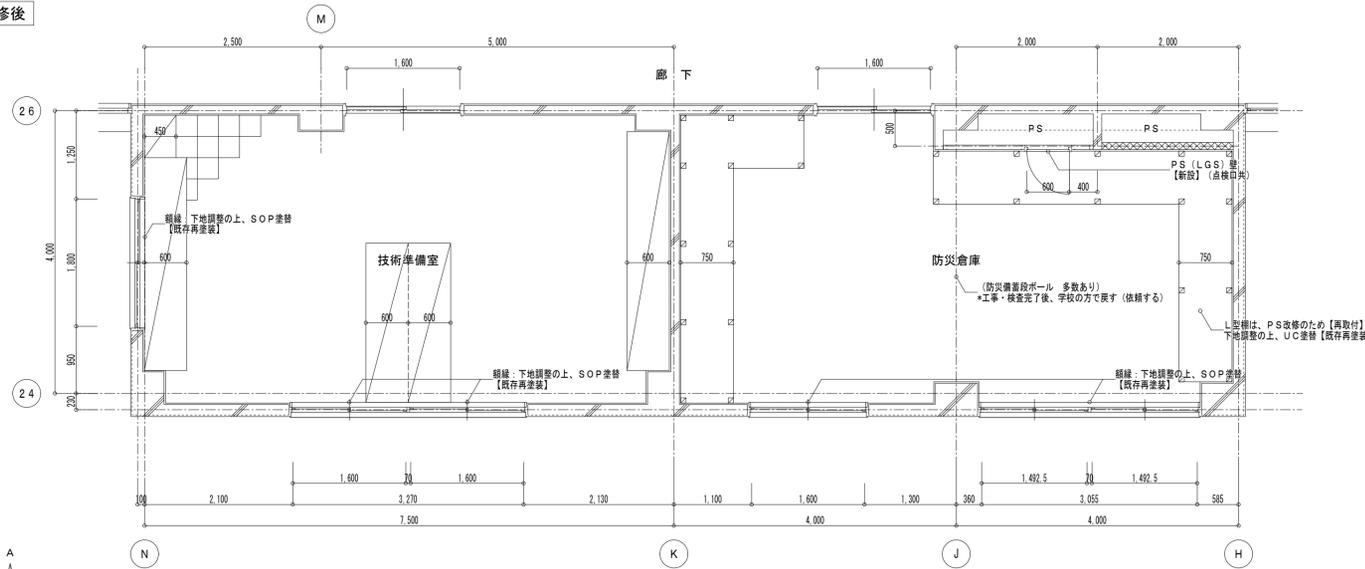
凡例: は、【撤去】範囲を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区船引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 貴

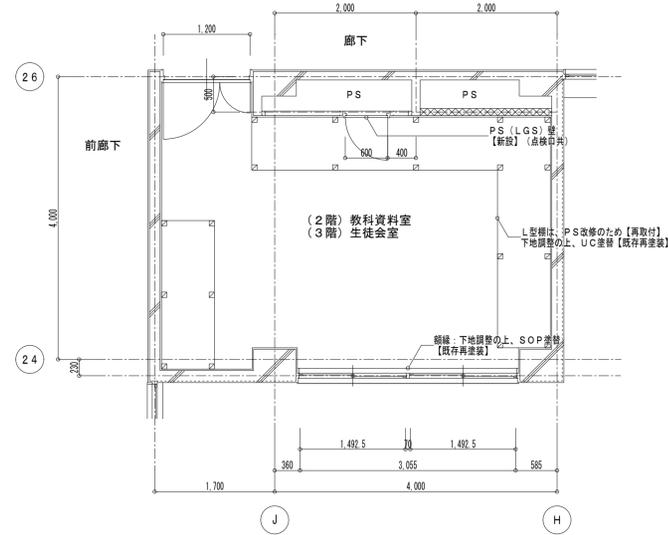
承認	設計	担当	縮尺 A1:1/50 A3:1/100
			設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第2期工事) (ゼロ債務)
図面名称 改修前 (1階) 技術準備室・防災倉庫、(2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 詳細図

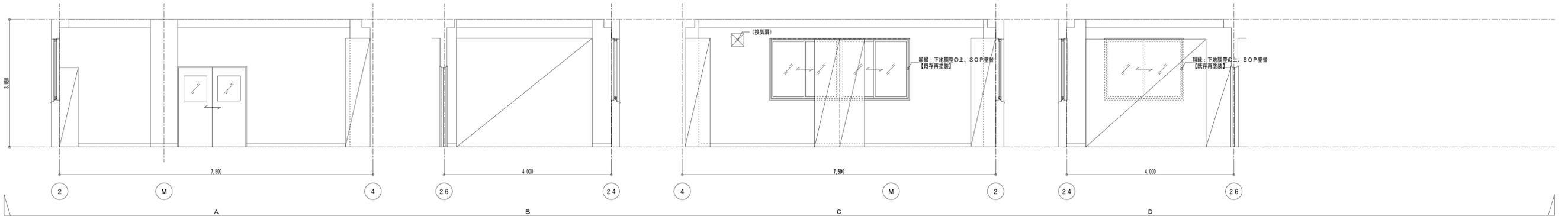
改修後



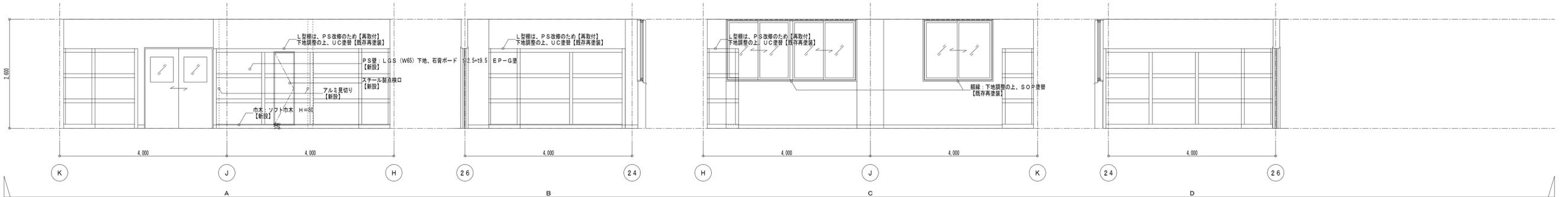
改修後 (1階) 技術準備室・防災倉庫 平面詳細図 S=1/50 (木製欄の塗り替えは、見え掛り部分とする)



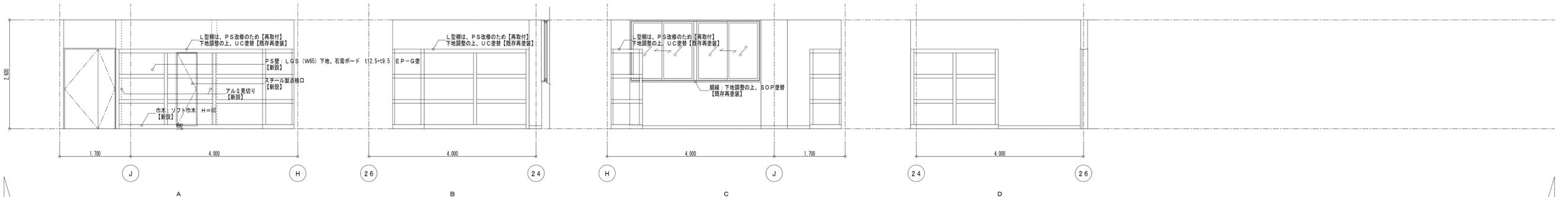
改修後 (2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 平面詳細図 S=1/50 (木製欄の塗り替えは、見え掛り部分とする)



改修後 (1階) 技術準備室 平面詳細図 S=1/50



改修後 (1階) 防災倉庫 平面詳細図 S=1/50



改修後 (2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 平面詳細図 S=1/50

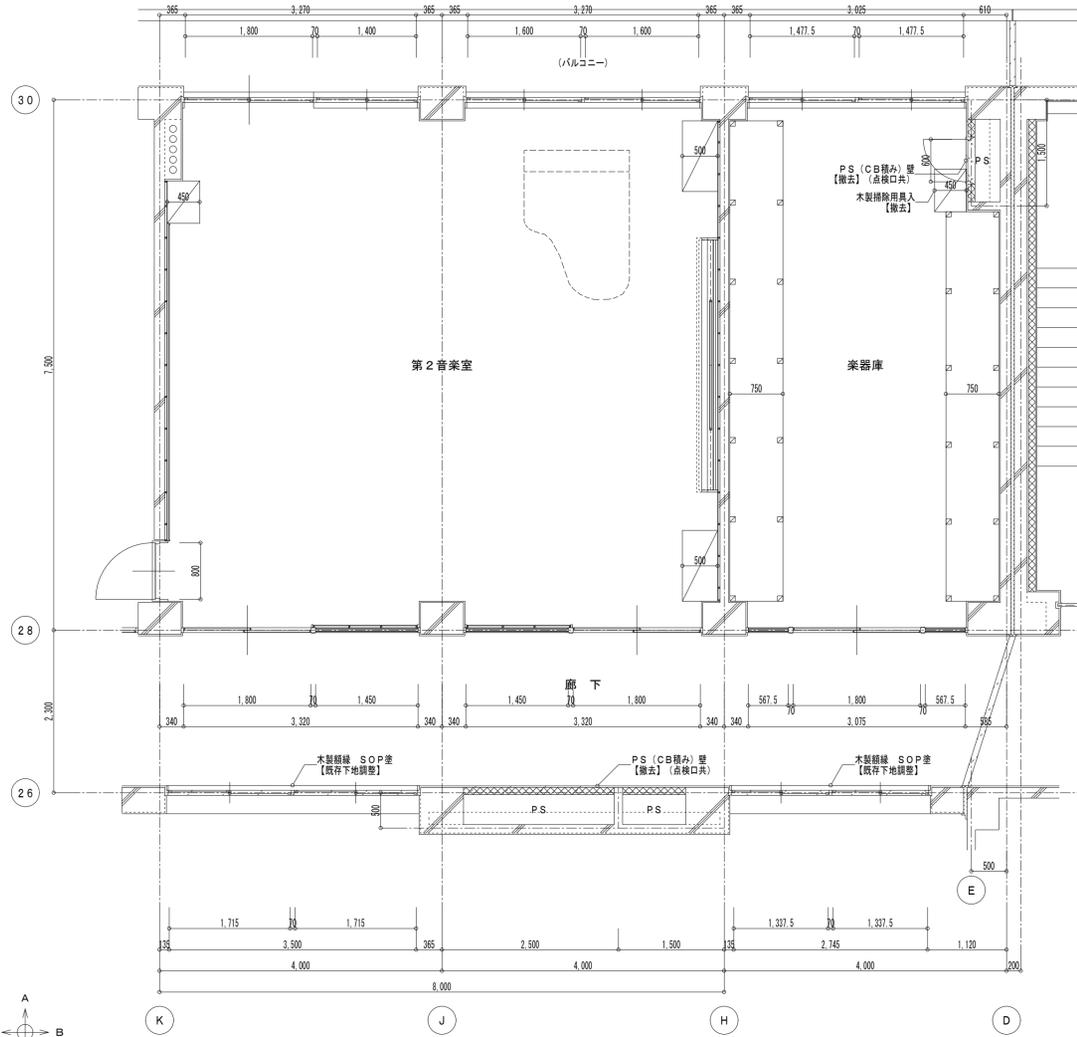
工事対象は、工事範囲図による 外部サッシ(顔縁共)は、建具表による

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区扇町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

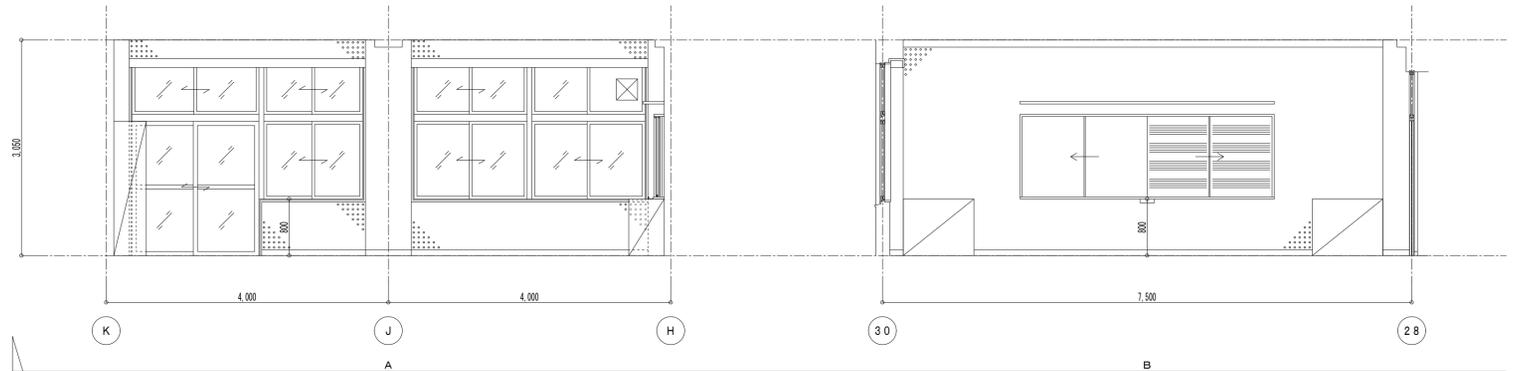
承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/50
 A3:1/100
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修後 (1階) 技術準備室・防災倉庫、(2階) 教科資料室、(3階) 生徒会室 詳細図 No. A-31

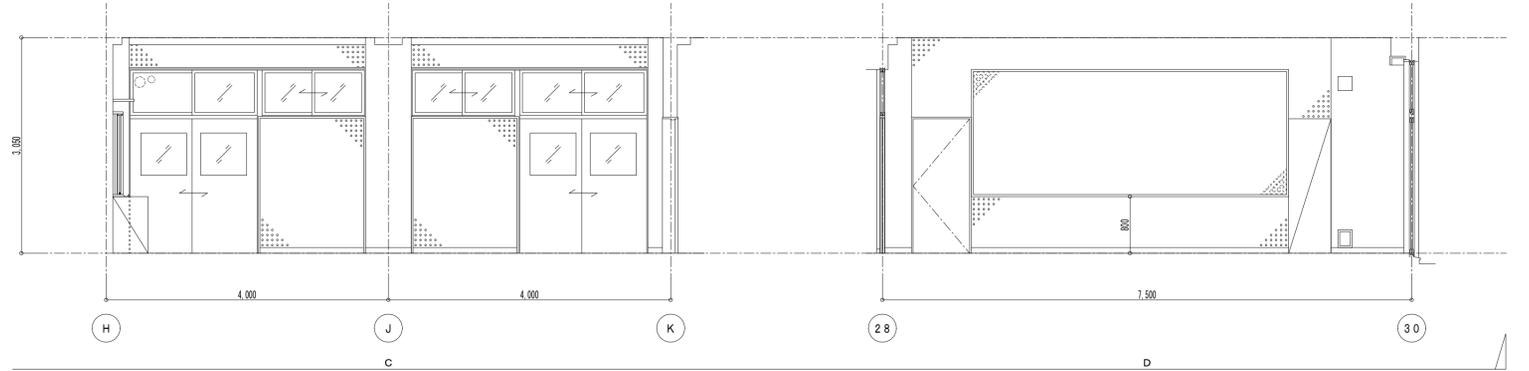
改修前



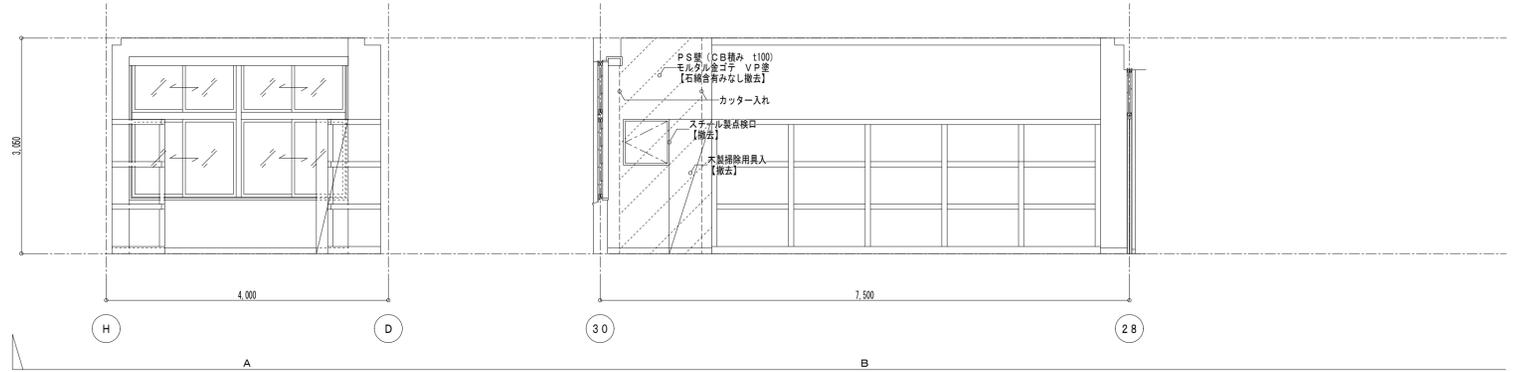
改修前 第2音楽室・楽器庫 平面詳細図 S=1/50



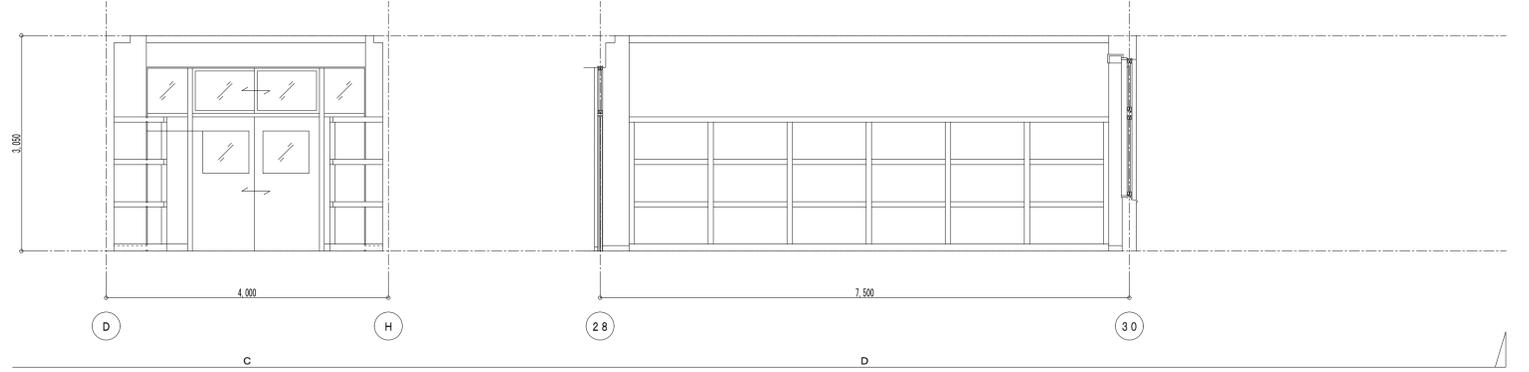
改修前 第2音楽室 展開図 S=1/50



改修前 第2音楽室 展開図 S=1/50



改修前 楽器庫 展開図 S=1/50

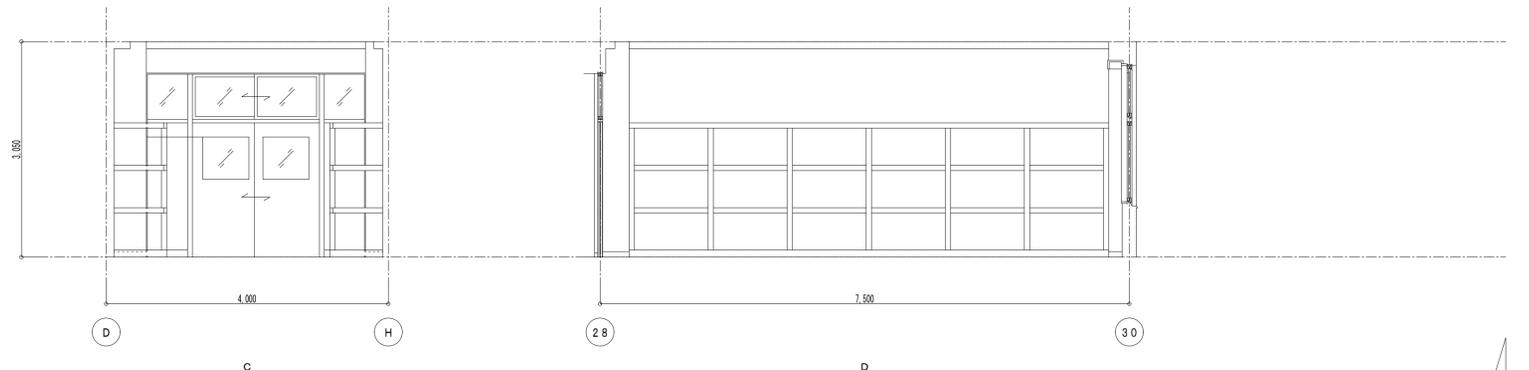
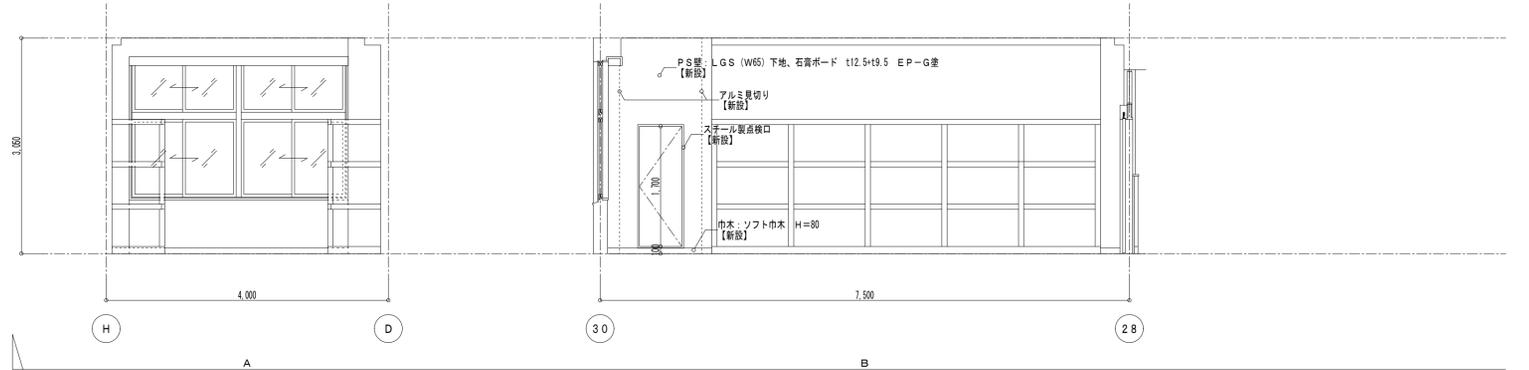
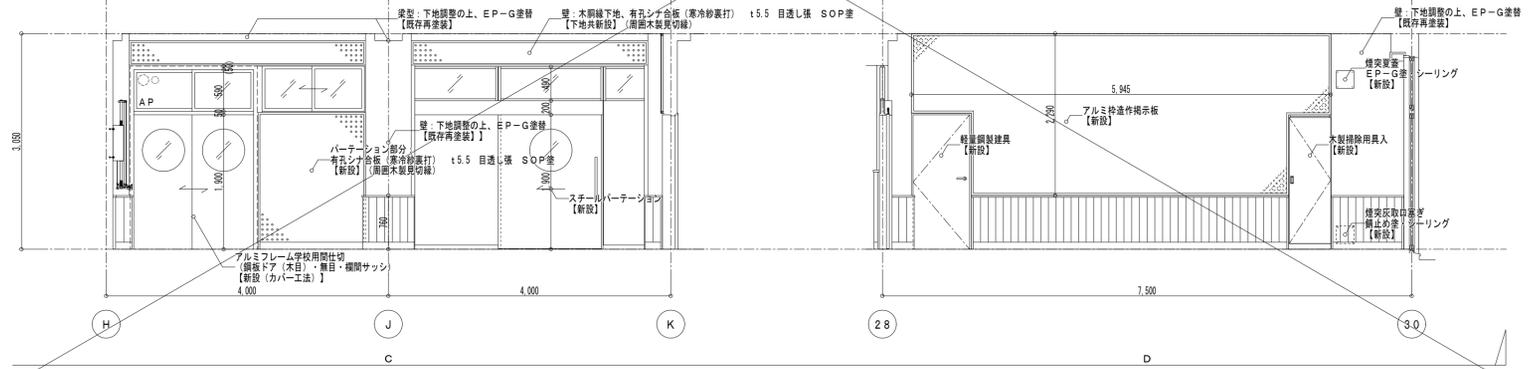
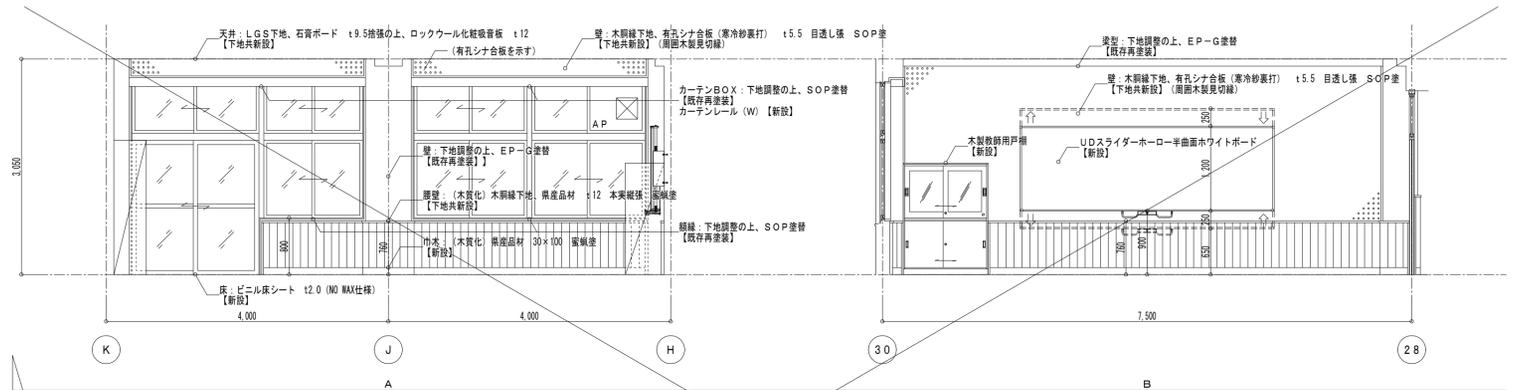
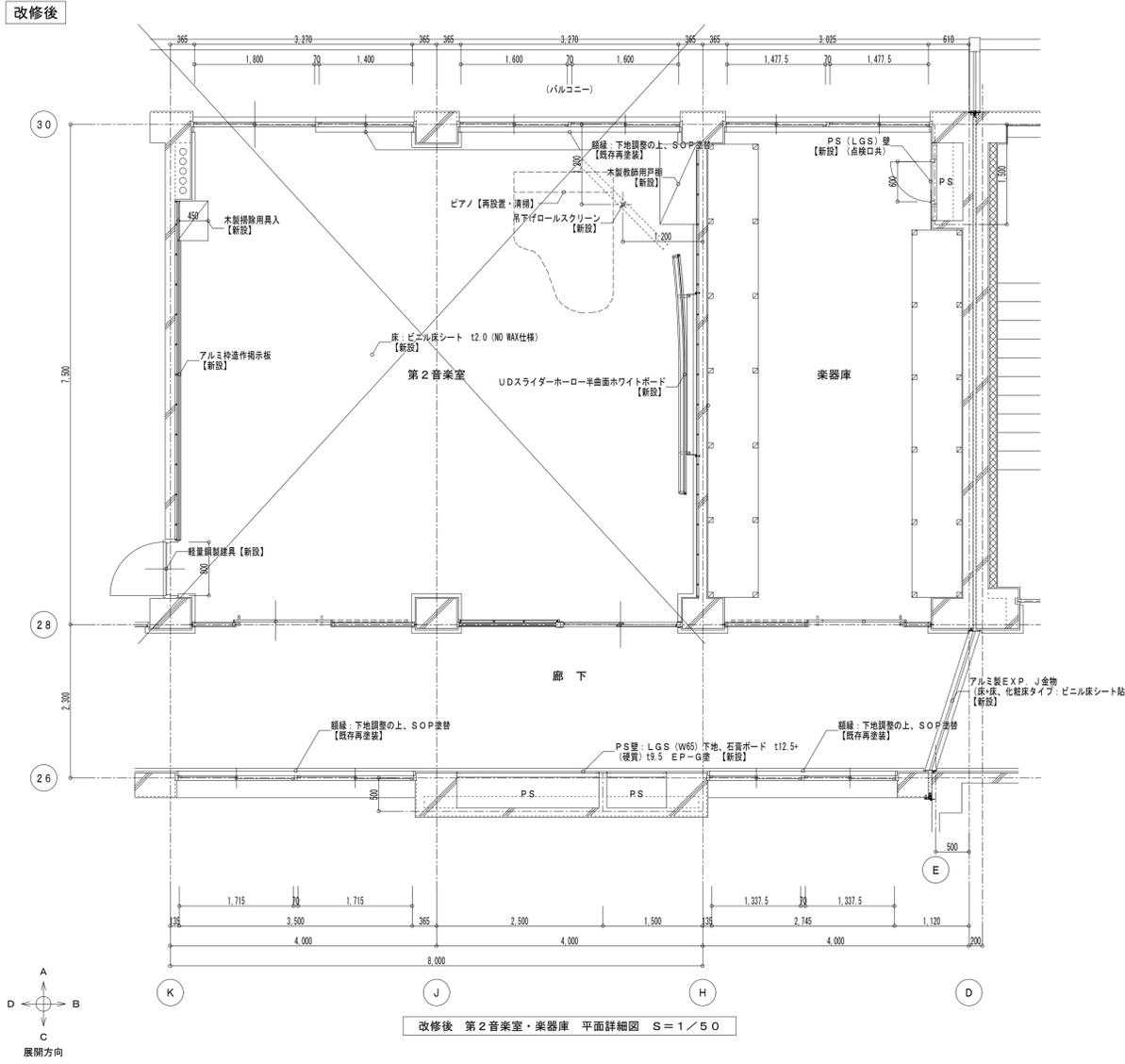


凡例: は、【撤去】範囲を示す。

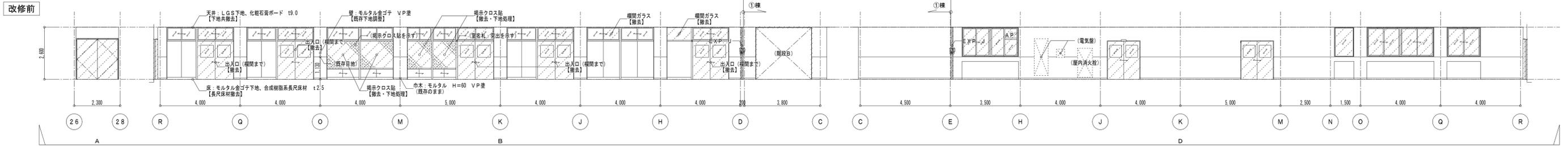
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/50
 A3:1/100
 設計年月日 2023.3.15

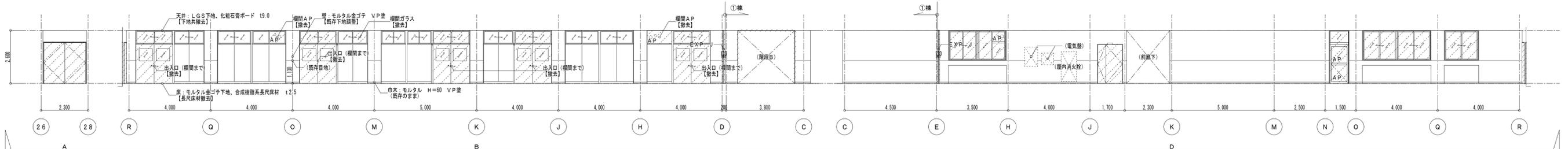
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 第2音楽室・楽器庫 詳細図



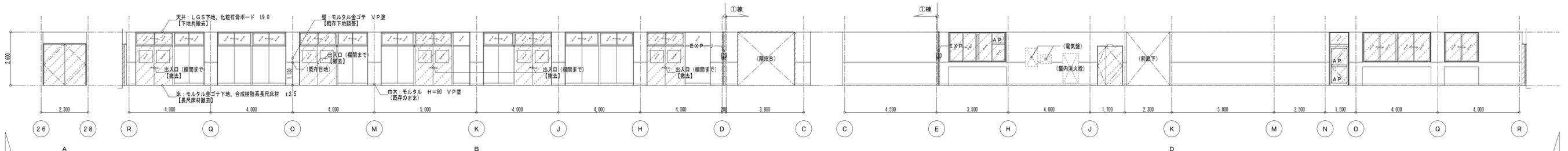
工事対象は、工事範囲図による 外部サッシ (顔縁共) は、建具表による



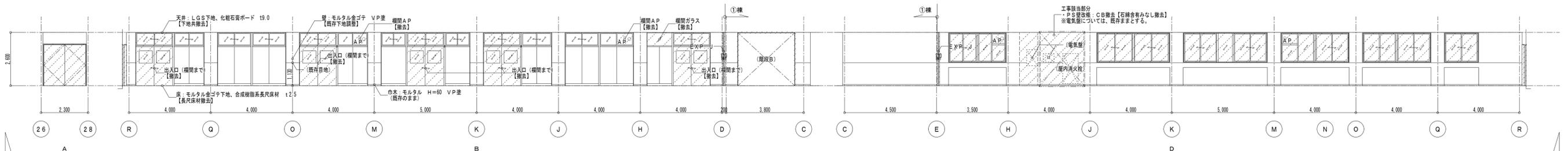
改修前 ②棟: (1階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略) ※各階共通: 室名札は、【全て撤去】とする



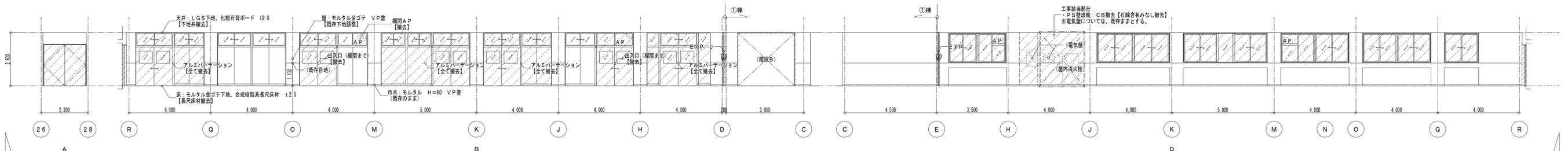
改修前 ②棟: (2階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)



改修前 ②棟: (3階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)



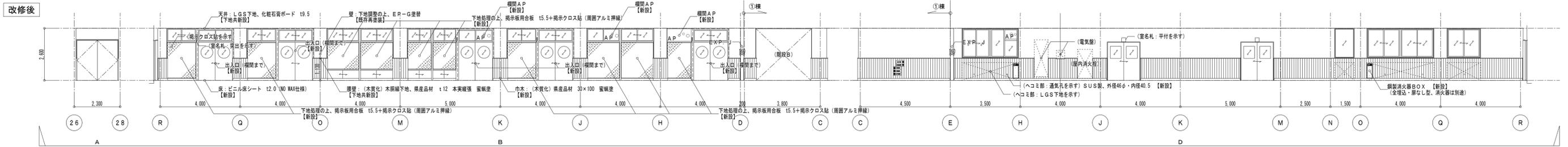
改修前 ②棟: (4階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)



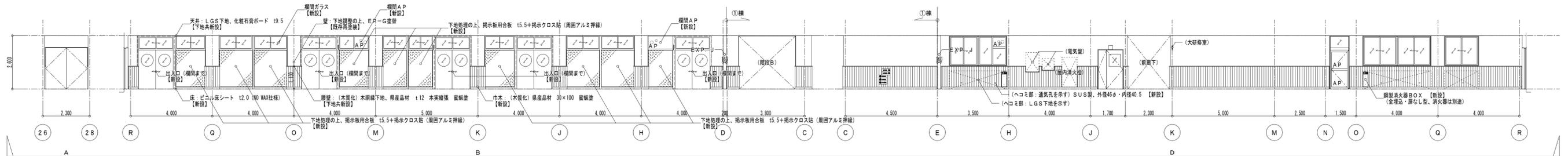
改修前 ②棟: (5階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)

※1. 既存黒板・掲示板・家具の軽微なものは、別図各キープラン・詳細図参照。
 ※2. 既存室名札は、【全て撤去】とする。

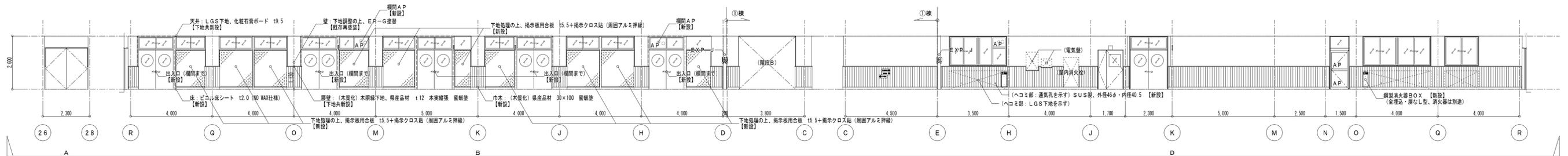
凡例: は、【撤去】範囲を示す。



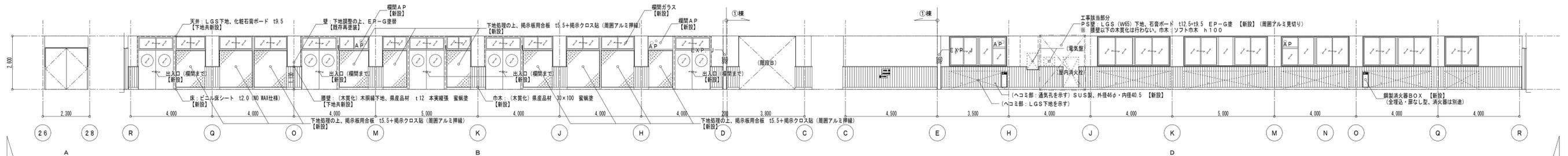
改修後 ②棟: (1階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略) ※各階共通: 室名札は、【全て新設】とする



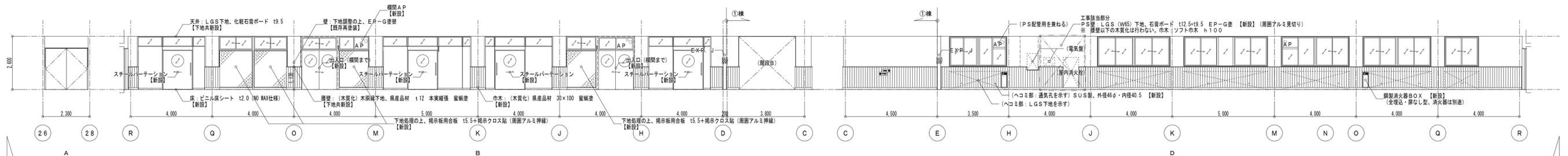
改修後 ②棟: (2階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)



改修後 ②棟: (3階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)



改修後 ②棟: (4階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)

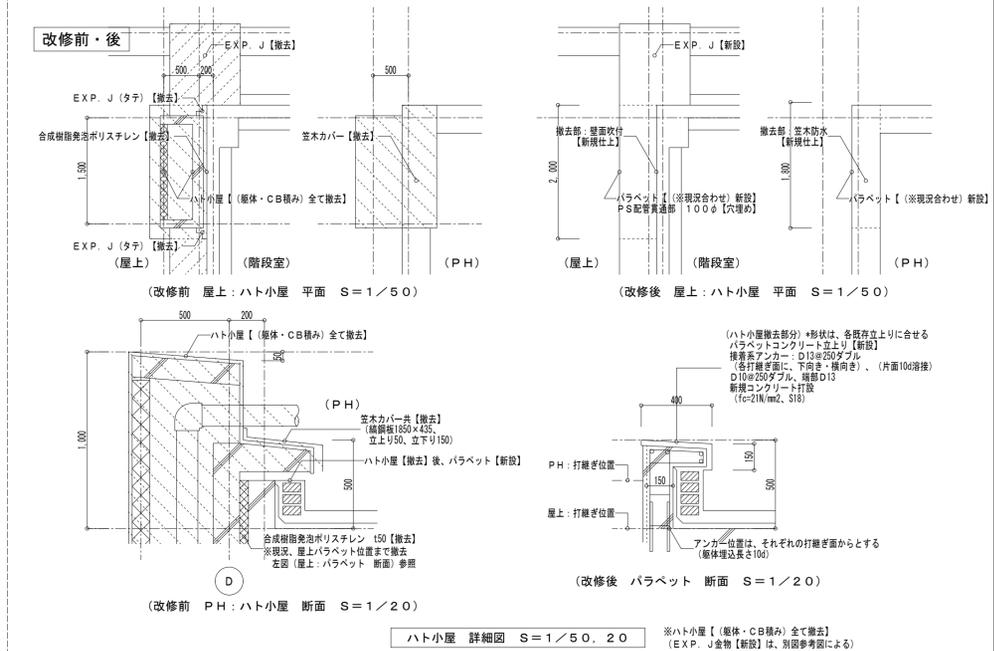
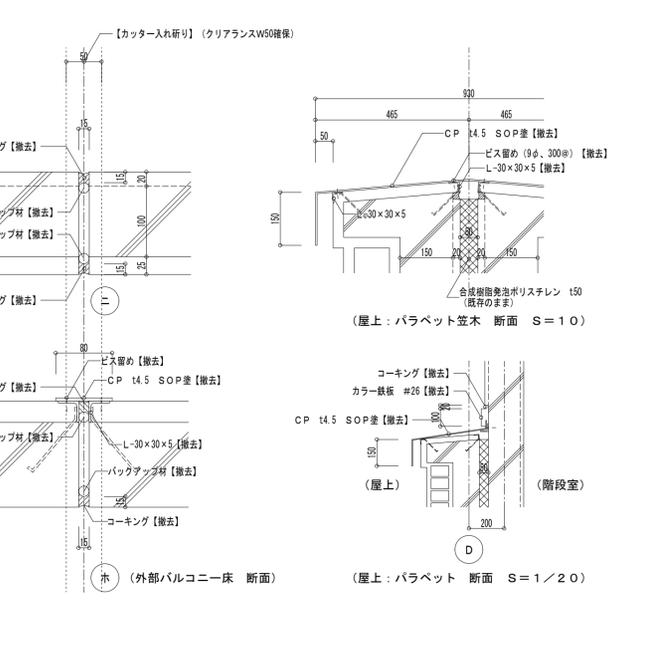
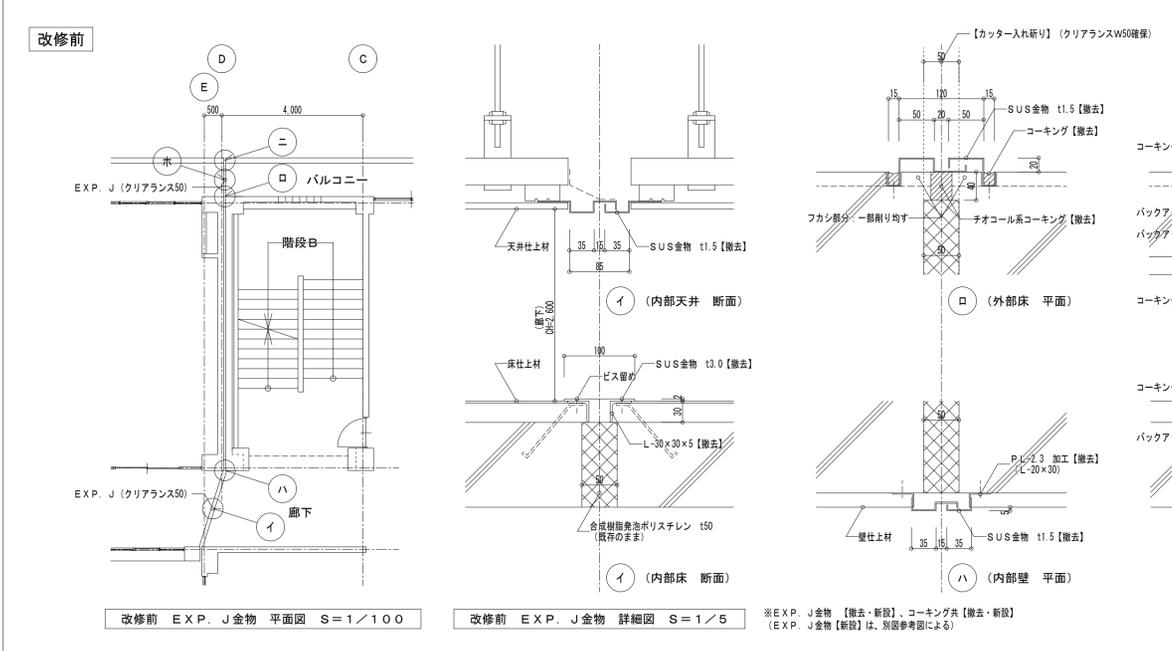
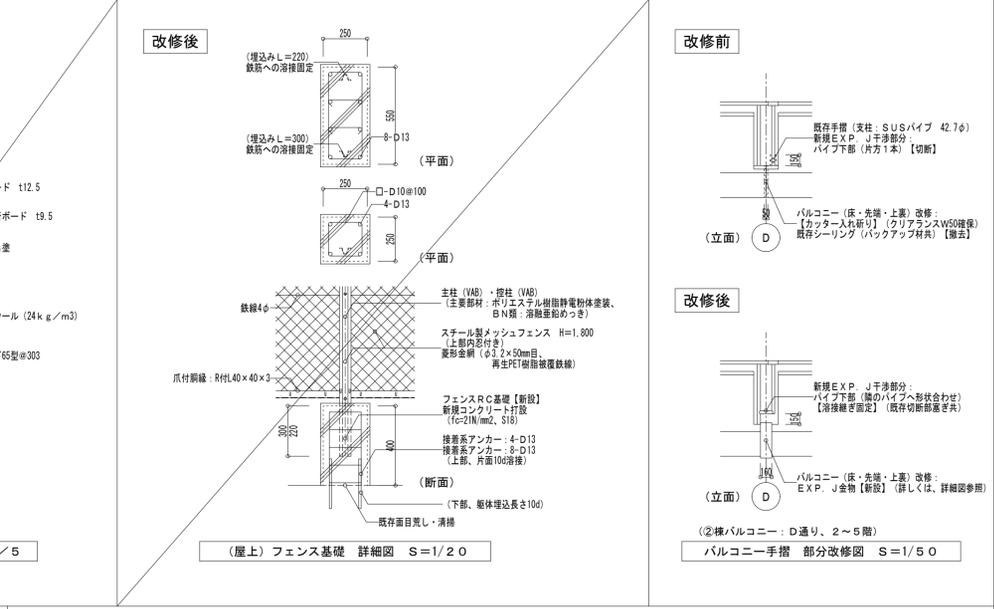
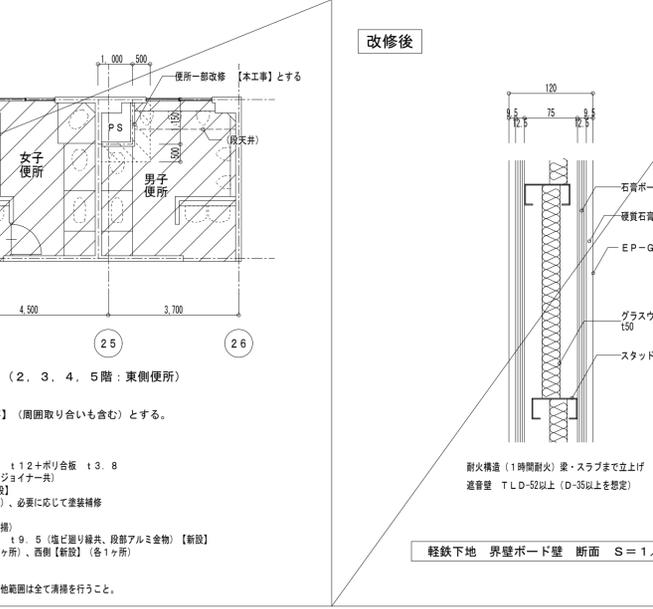
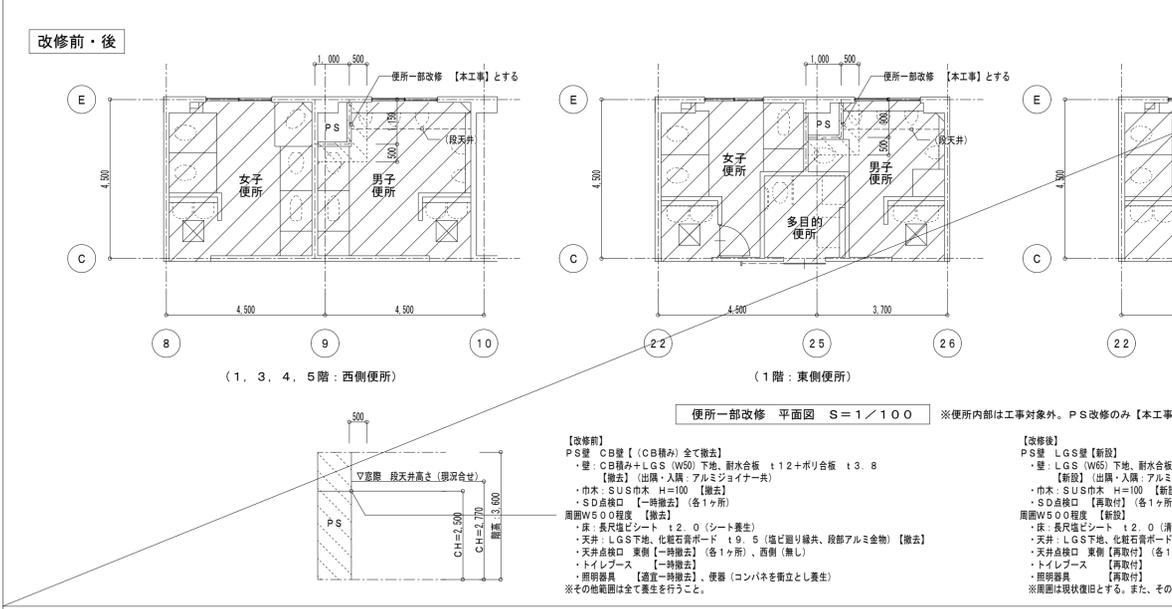
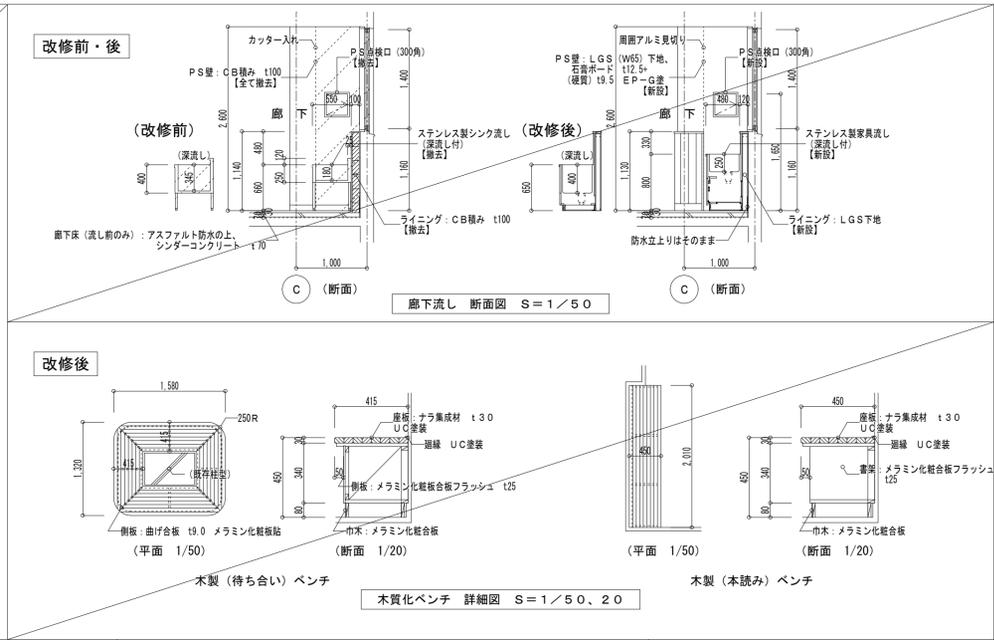
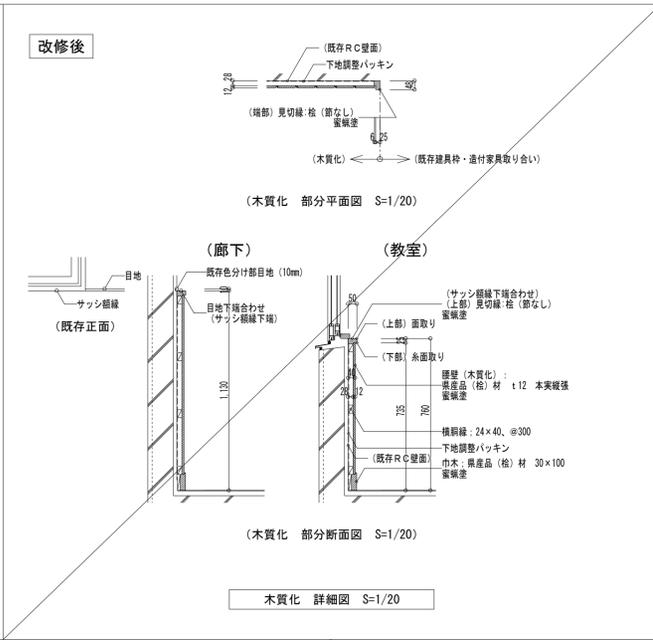
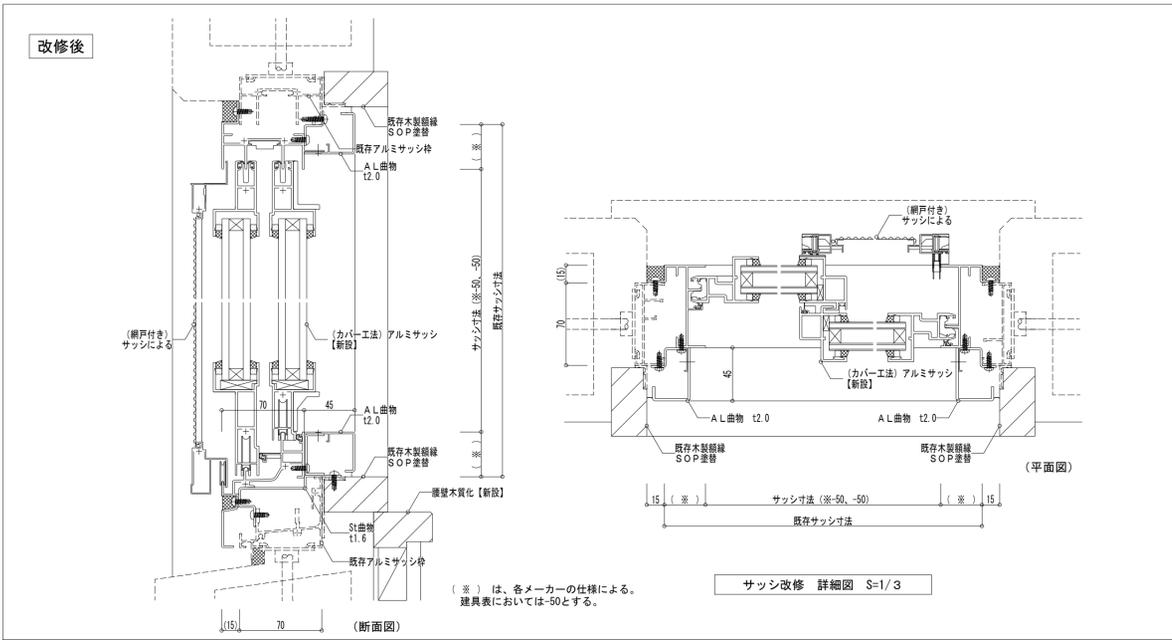


改修後 ②棟: (5階) 廊下 展開図 S=1/100 (C側展開図は省略)

※1. 既存黒板・掲示板・家具の経費などは、別図各キープラン・詳細参照。
 ※2. 室名札は、【全て新設】とする。

工事対象は、工事範囲図による

外部サッシ (緑線共) は、建具表による

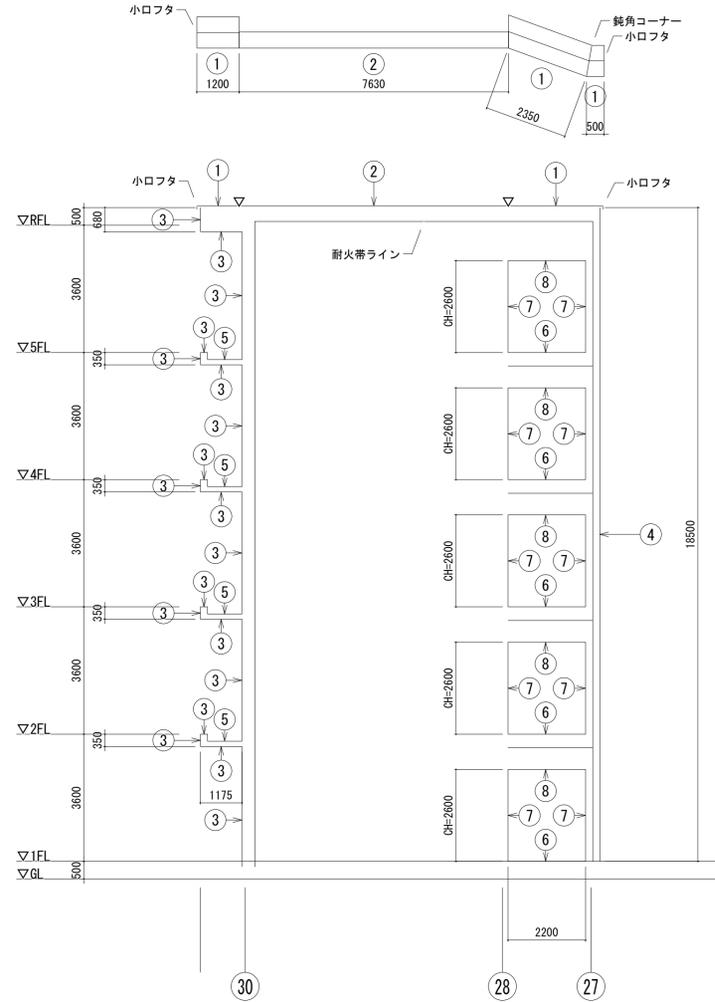


【耐震 Exp. j. C. 特記仕様】

【共通事項】

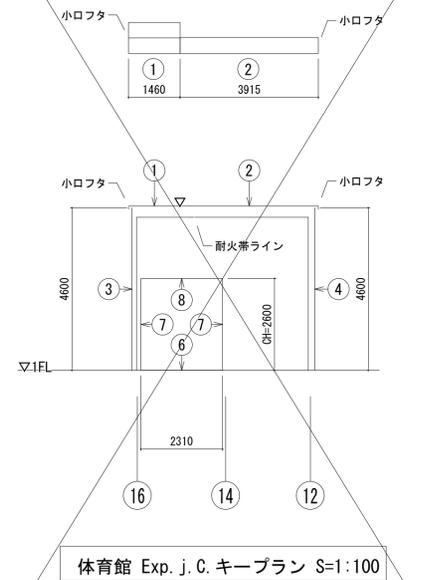
・一般社団法人 日本免震構造協会 (JSSI) 「免震エキスパンションジョイントガイドライン」の性能指標 A 種に準じ、振動台実験により損傷しないことを確認した A 種相当製品とする。

(校舎 屋根 Exp. j. C. 平面 S=1:100)



校舎 Exp. j. C. キープラン S=1:100

(体育館 屋根 Exp. j. C. 平面 S=1:100)

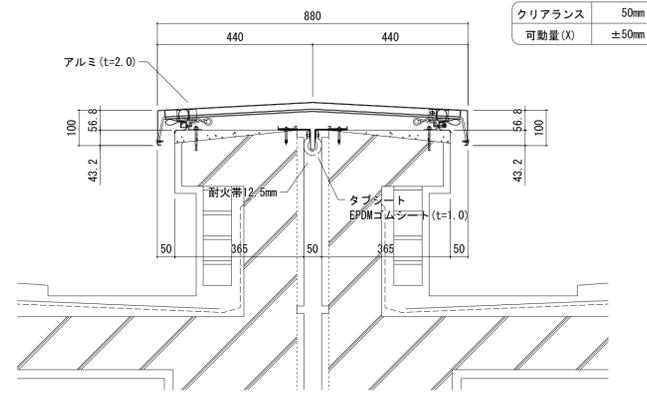


体育館 Exp. j. C. キープラン S=1:100

※既存クリアランス部分のスタイロフォーム・シーリング (バックアップ材共) は、新規 EXP. J の耐火帯と干渉する範囲について撤去する。
また、既存 EXP. J 撤去後の取付部は、新規 EXP. J に合わせて形状 (段差・幅等) を調整すること。

① 屋根+屋根 Exp. j. C. (アルミ製)

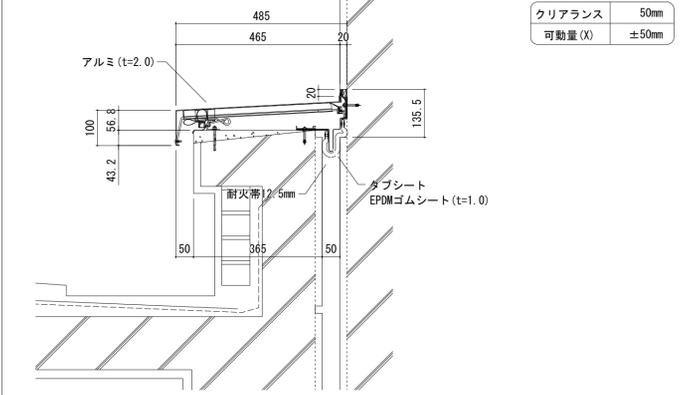
H880-APR (耐火仕様)



クリアランス 50mm
可動量 (X) ±50mm

② 外壁-屋根 Exp. j. C. (アルミ製)

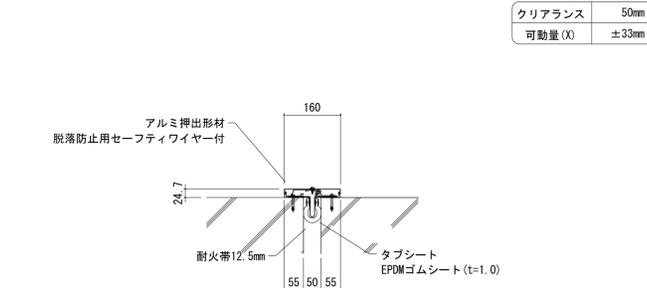
H485-APW (耐火仕様)



クリアランス 50mm
可動量 (X) ±50mm

③ 外壁+外壁 Exp. j. C. (アルミ製)

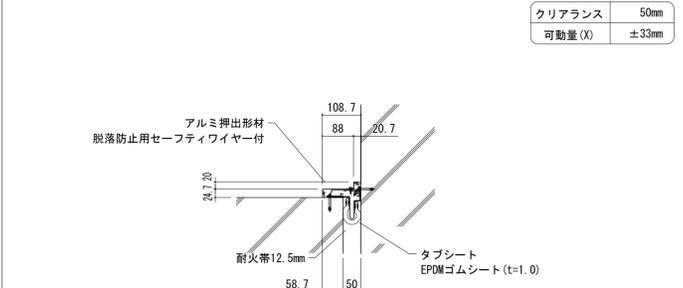
S05-AEW (耐火仕様)



クリアランス 50mm
可動量 (X) ±33mm

④ 外壁コーナー Exp. j. C. (アルミ製)

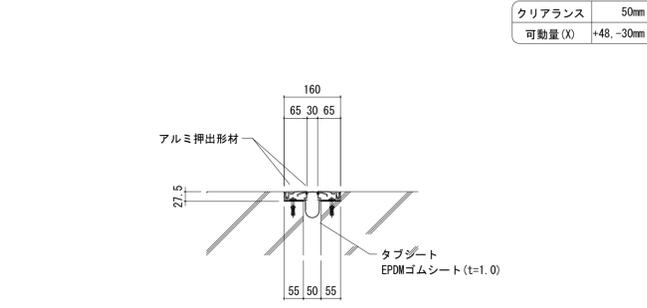
S05-AEWC (耐火仕様)



クリアランス 50mm
可動量 (X) ±33mm

⑤ 床+床 Exp. j. C. (アルミ製)

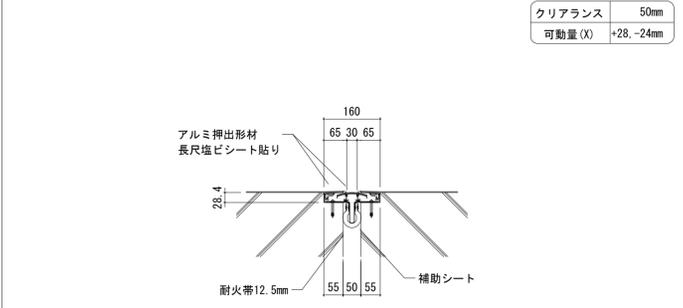
S05-AFX



クリアランス 50mm
可動量 (X) +48, -30mm

⑥ 床+床 Exp. j. C. (アルミ製)

S05-KFX-B (耐火仕様)

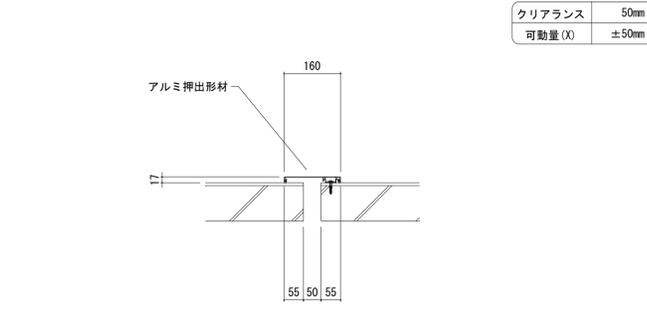


クリアランス 50mm
可動量 (X) +28, -24mm

※1階は耐火帯無し

⑦ 内壁+内壁 Exp. j. C. (アルミ製)

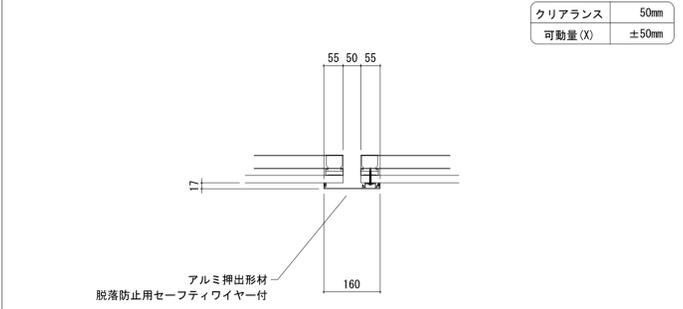
S05-ACW



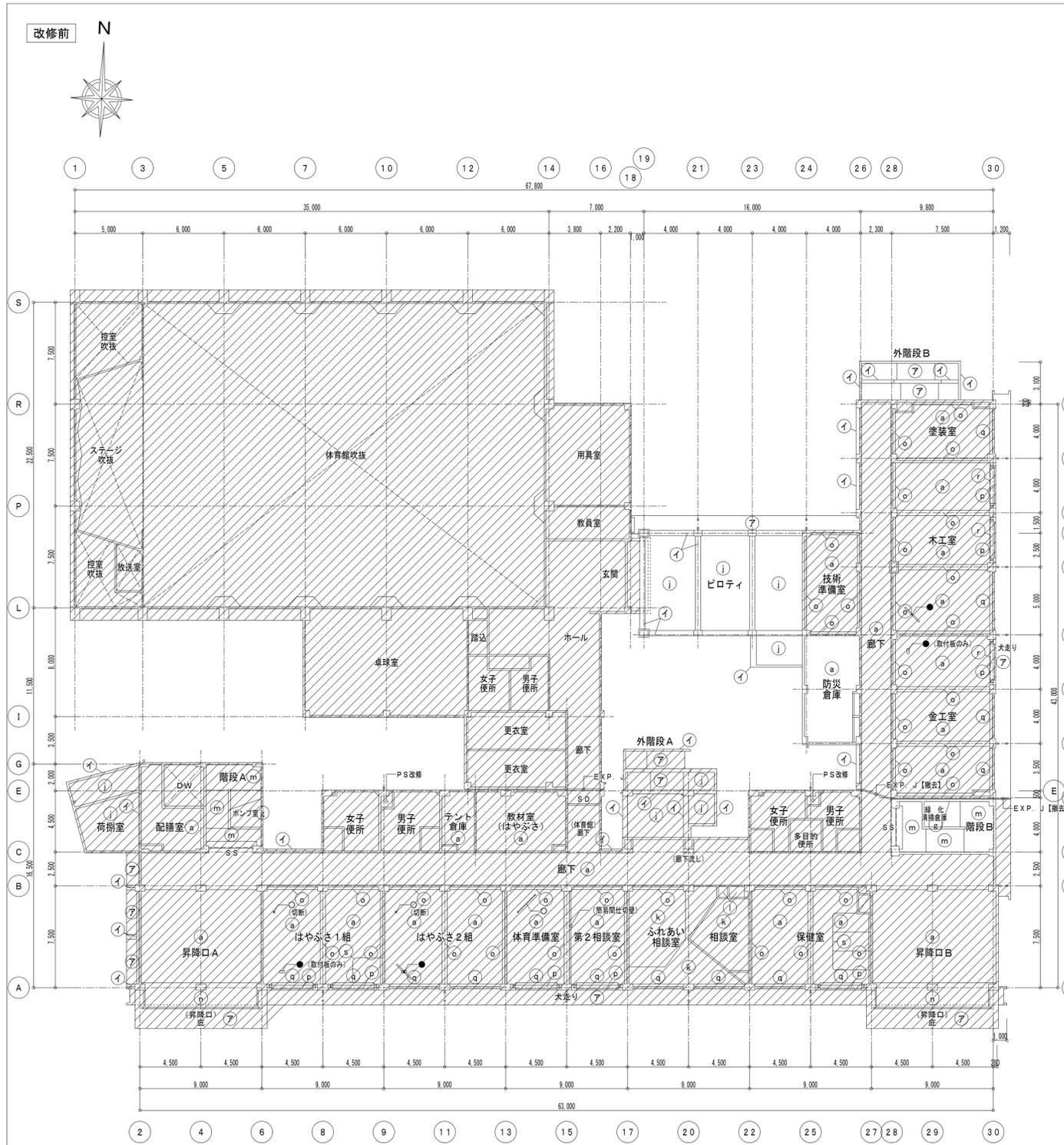
クリアランス 50mm
可動量 (X) ±50mm

⑧ 天井+天井 Exp. j. C. (アルミ製)

S05-ACW

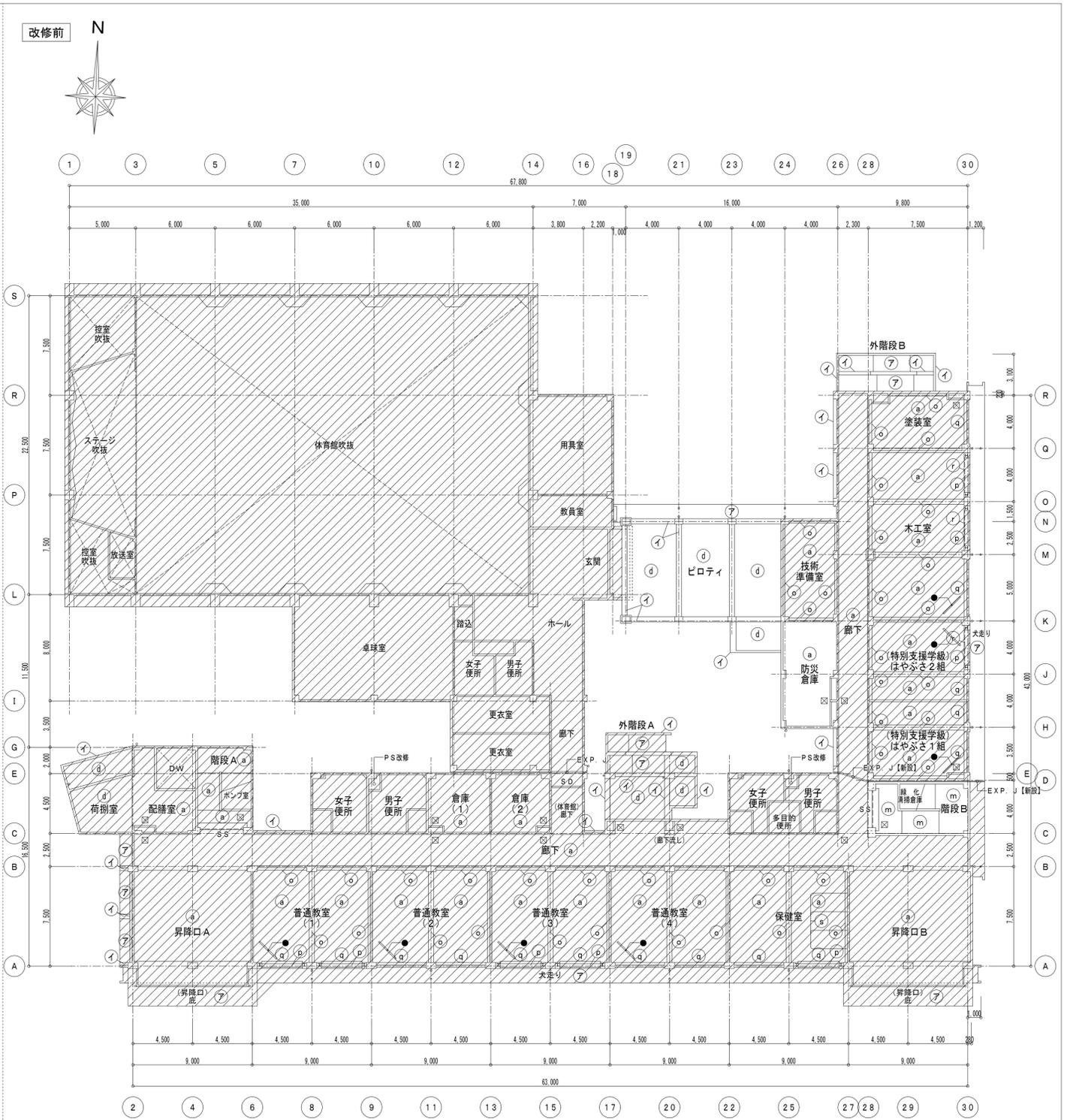


クリアランス 50mm
可動量 (X) ±50mm



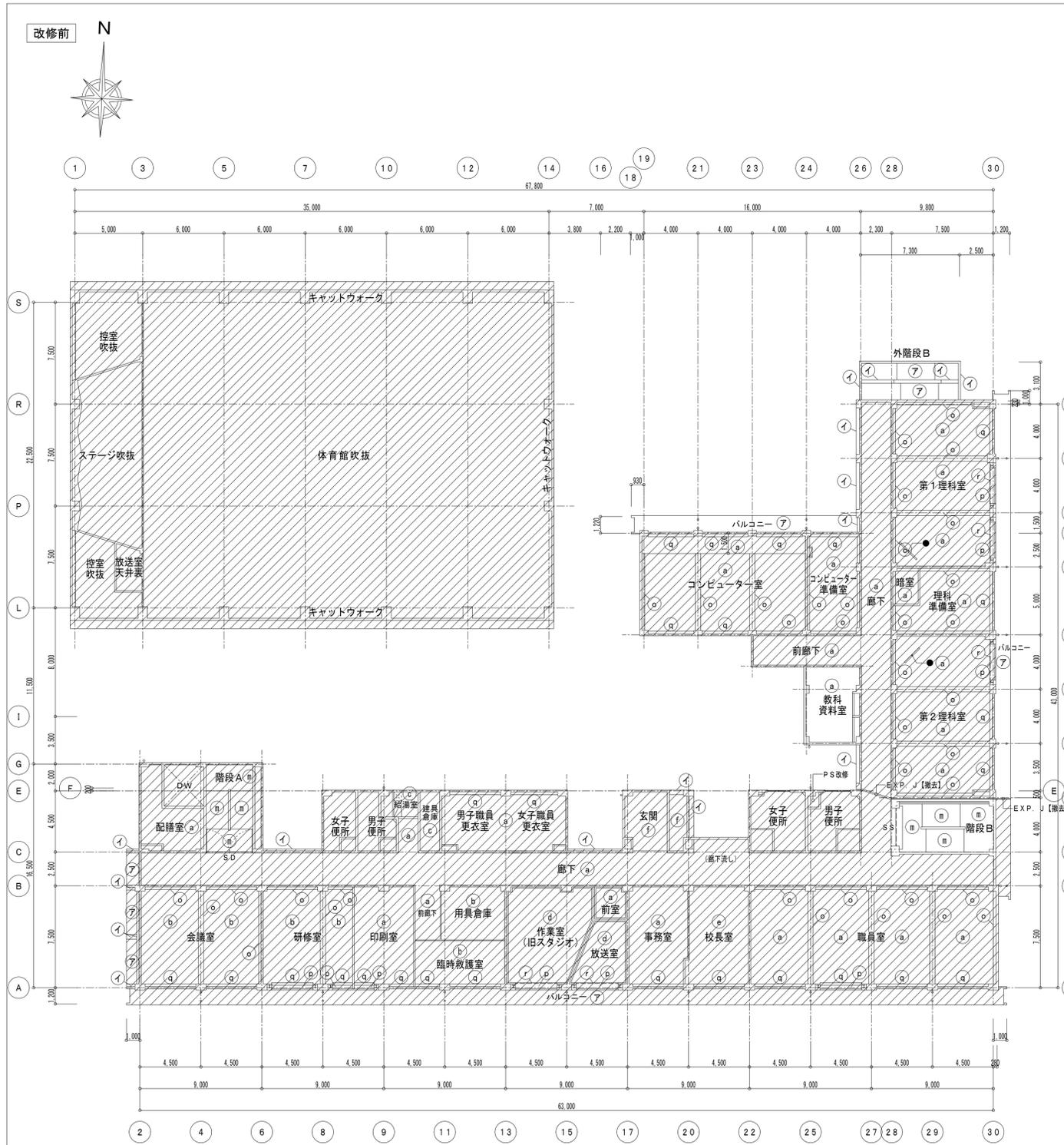
改修前 1階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t10 【(8)壁撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t1.5 目隠し床の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し床 アクリル系リシン吹付 【石練金具のみなし 下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し床 VP塗 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 階上の、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 階上の、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	{h: ひる石吹付の上、} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【(8)壁撤去影響範囲一時撤去】
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	{コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【(8)壁撤去影響範囲一時撤去】
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)	o	梁型：モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p	{既B R部分} BR高さ：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】 {B R撤去共}
		q	木製カーテンBOX：200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
		r	{既B R部分} カーテンレール (S) 【撤去】
		s	はやぶさ1組、保健室：吊下げカーテンレール 【下地共撤去】
		t	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
		u	各教室・各特別教室：吊下げ地面掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
		v	天井点検口 (アルミ枠50角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
		w	外部 (上表)：コンクリート打放し、外装塗装材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
		x	外部 (梁下・壁下)：コンクリート打放し、複層塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

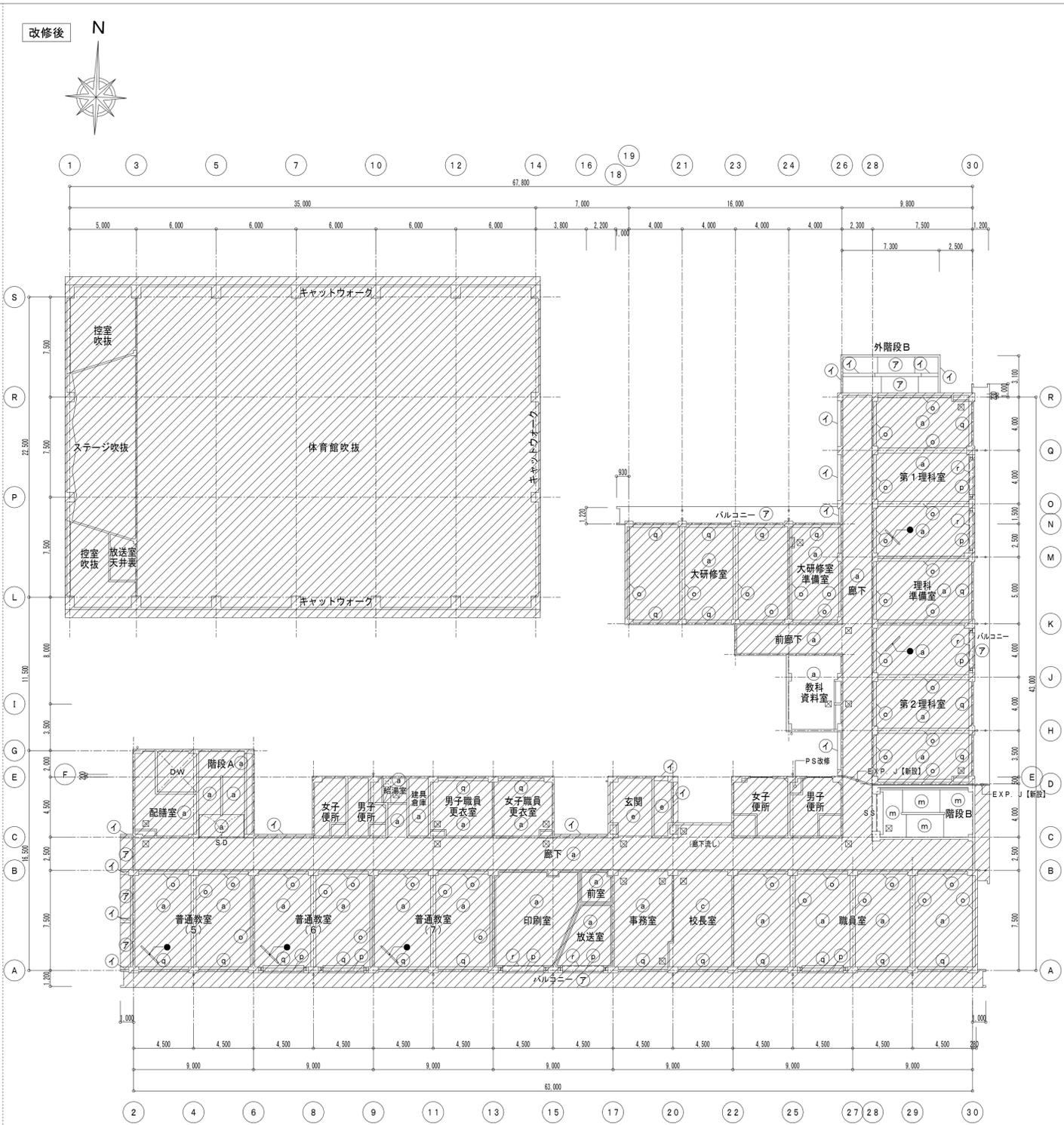


改修後 1階天井伏図 S=1/200

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可) 新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【(8)壁撤去影響範囲再取付】	i	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の、ロックワール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	j	{既B R部分} カーテンレール (SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共新設】	k	保健室：吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石練) フレキシブルボード t4.0 目隠し床 EP塗 (1種・つ消滅) 【下地共新設】	l	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4・3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W150) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共新設】	m	{h: ひる石吹付の上、} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【(8)壁撤去影響範囲再取付】 【EP-G塗替え】
f		n	天井点検口 (アルミ枠50角) は、各PS部分に【新設】とする。(吊り： ☒ 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要け。(設備位置出しに合わせる) 天井1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
g		o	梁型：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
h		p	{既B R部分} BR高さ：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 {B R撤去共}
		q	外部 (上表)：躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
		r	外部 (梁下・壁下)：アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水空透層塗材E 超低汚染・超耐候複合弾性防水塗層塗材 【新設仕上】



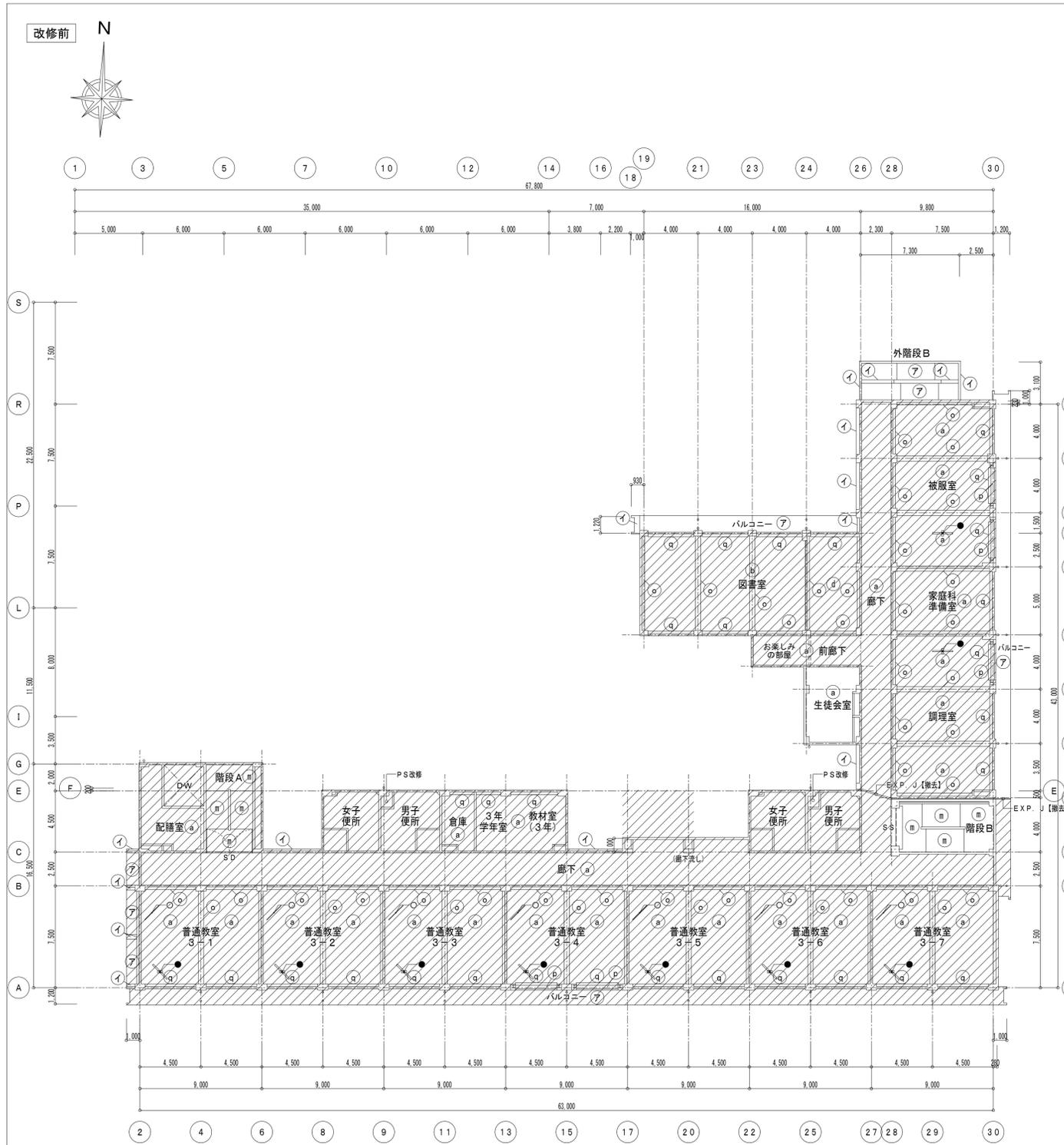
改修前 2階天井伏図 S=1/200



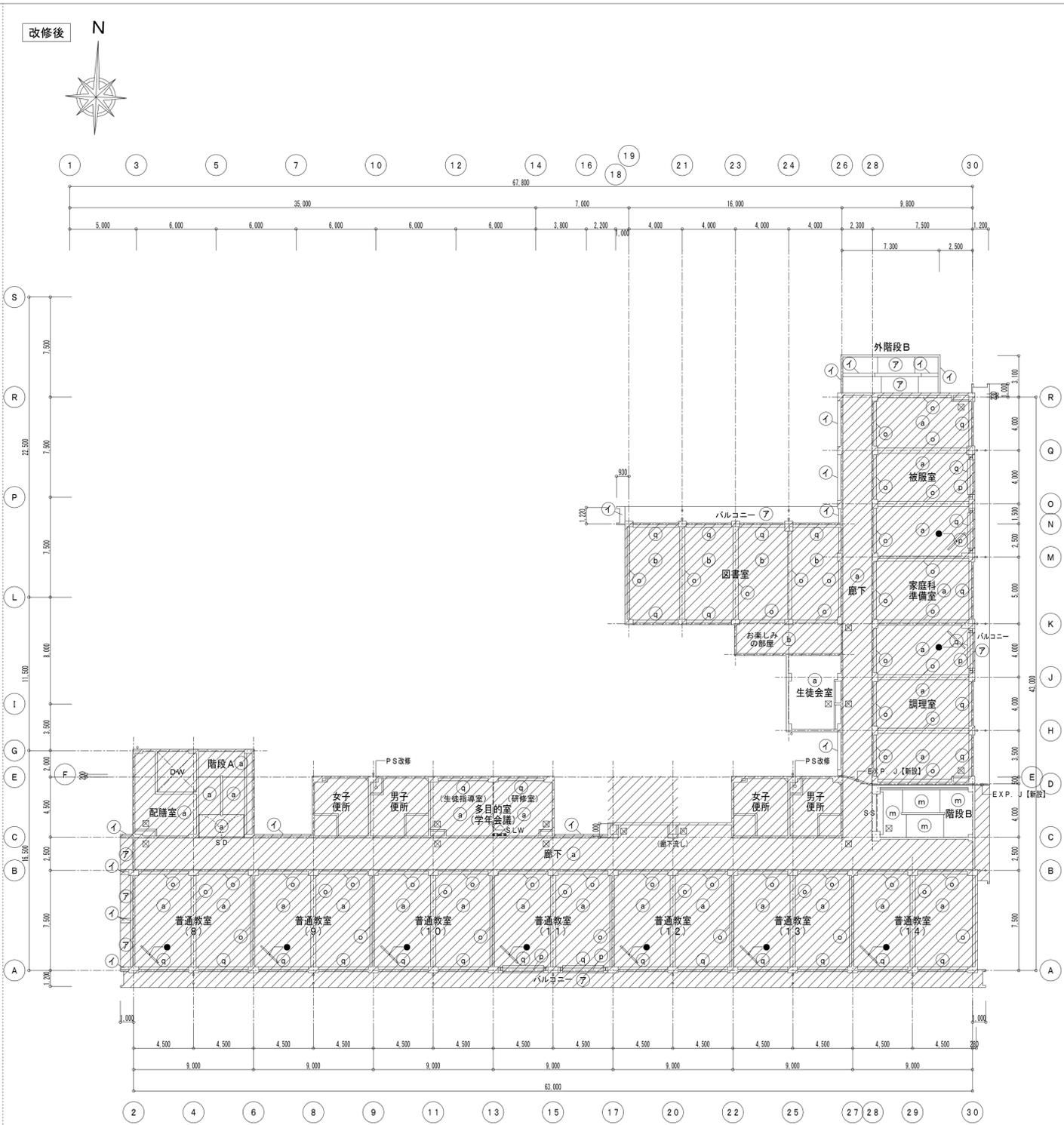
改修後 2階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.0 【改修撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し壁の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX:200×115 SOP差 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】	r	(既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 VP差 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	s	保健室、吊下げカーテンレール 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 階上の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP差 【下地共撤去】	●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 階上の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	(h:ひる石吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】	○	各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
f	LGS下地、アルミスパンドレル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	●	天井点検口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩じ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
g	モルタル刷毛引き仕上 【既存のまま】	o	梁型：モルタル金ゴテ VP差 【既存下地調整】	ア	外部 (上表)：コンクリート打放し、外装塗装材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 【既存のまま】	p	(既B R部分) BR差ぎ：ポリ合板 t2.5 EP-G差 【既存下地調整】 (B R撤去共)	イ	外部 (梁下・壁下)：コンクリート打放し、覆層塗装材E (アクリルタイル) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し壁の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP差替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の上、ロックワール化粧吸音板 t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の上、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共撤去】	r	(既B R部分) カーテンレール (SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の上、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5階上の上、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共撤去】	s	保健室：吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿) フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 EP差 (1種・つ消滅) 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP差 【下地共撤去】	●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W150) (不燃・木目印刷鋼板) t0.5 【下地共撤去】	m	(h:ひる石吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】	○	天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(吊り： 廻縁 (塩じ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要ける。(設備位置出しに合わせる) 天井高1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
f	LGS下地、アルミスパンドレル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	●	天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(吊り： 廻縁 (塩じ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要ける。(設備位置出しに合わせる) 天井高1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
g	モルタル刷毛引き仕上 【既存のまま】	o	梁型：下地調整の上、EP-G差替 【既存再塗装】	ア	外部 (上表)：躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 【既存のまま】	p	(既B R部分) BR差ぎ：下地調整の上、EP-G差替 【既存再塗装】 (B R撤去共)	イ	外部 (梁下・壁下)：アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水空層層塗材E 超低汚染・超耐候無機複合弾性防水塗層塗材E 【新設仕上】



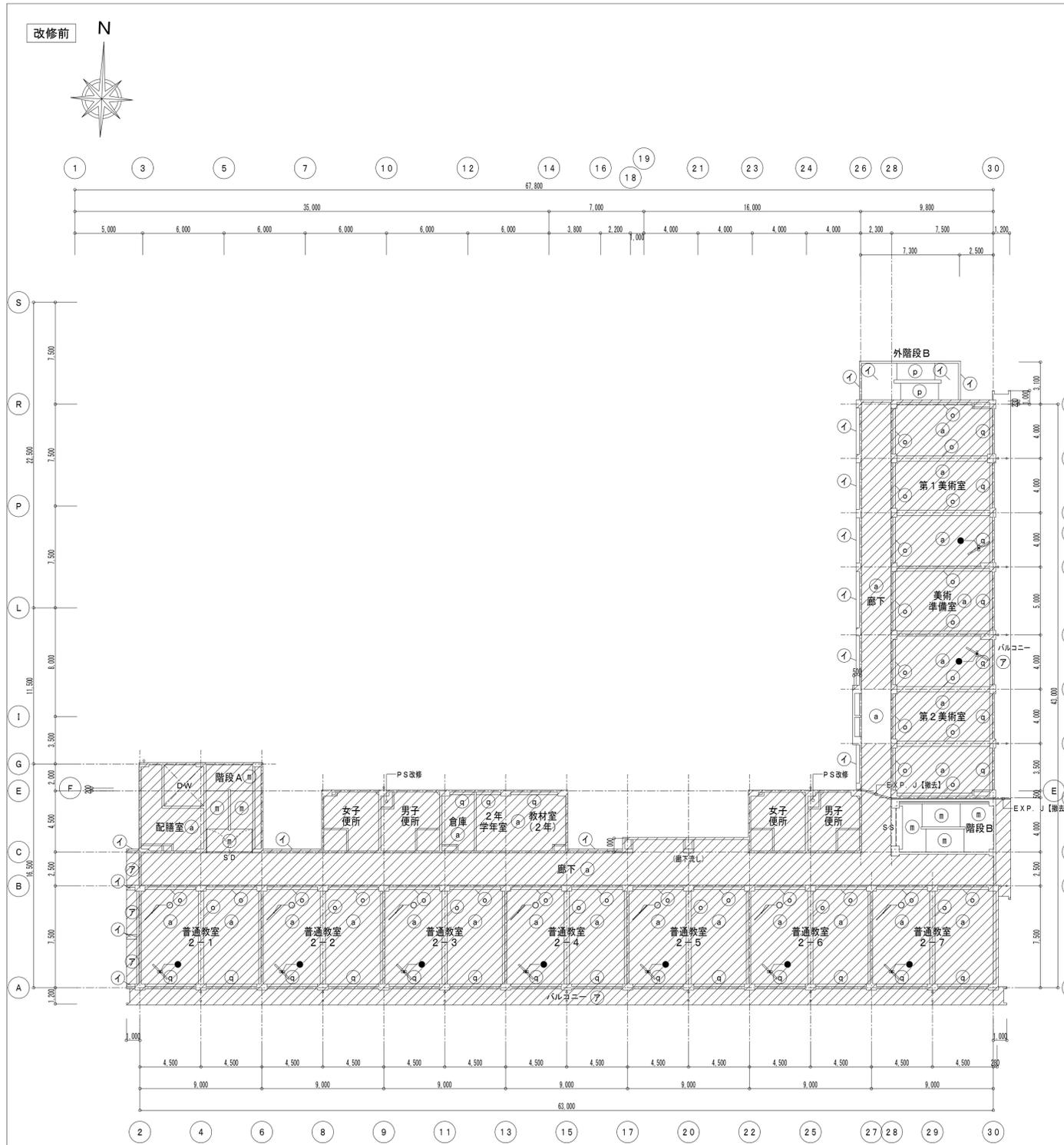
改修前 3階天井伏図 S=1/200



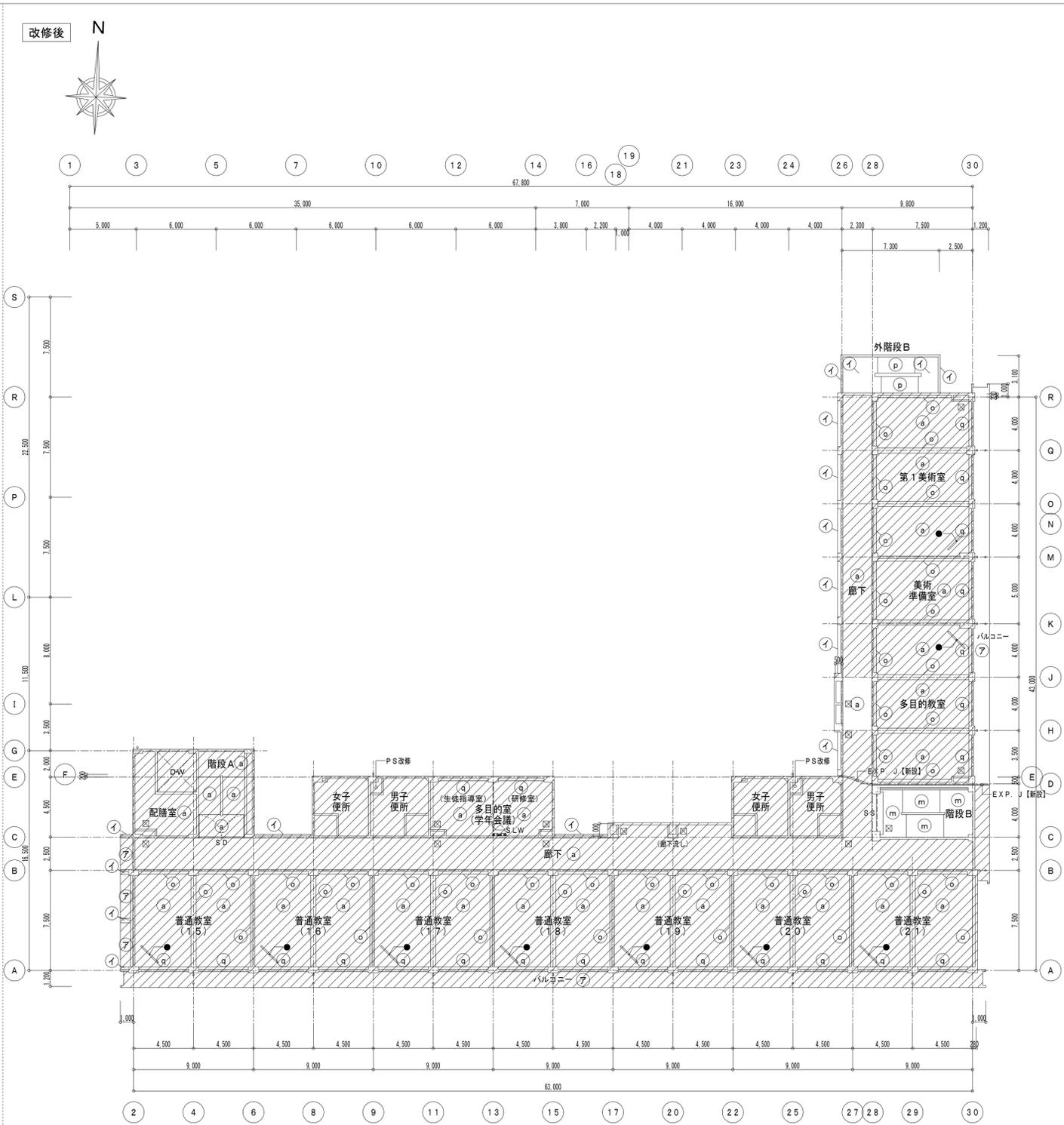
改修後 3階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井厚が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.0 【改修撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し壁の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX:200×115 SOP差 【既存下地調整】、カーテンレール(W)【撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】	r	(既BR部分)カーテンレール(S) 【撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 VP差 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	s	保護室、吊下げカーテンレール 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 階差の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP差 【下地共撤去】	●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 階差の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	(h:ひる石吹付の上、)LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】	o	各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	○	天井点検口(アルミ枠450角)は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁(塩ビ製(仕上表を参照))は、天井と共に【撤去】とする。
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)	o	梁型：モルタルゴ子 VP差 【既存下地調整】	ア	外部(上表)：コンクリート打放し、外装塗装E(アクリルリシン)吹付 【吹付タイル・アスベスト撤去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p	(既BR部分)BR差ぎ：ポリ合板 t2.5 EP-G差 【既存下地調整】(BR撤去共)	イ	外部(梁下・壁下)：コンクリート打放し、覆層塗材E(アクリルリシン)吹付(外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト撤去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井厚が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.0 【改修撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し壁の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP差替 【既存再塗装】、カーテンレール(SUS、W)【新設】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】	r	(既BR部分)カーテンレール(SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し壁 VP差 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	s	保護室：吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 階差の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP差 【下地共撤去】	●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 階差の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	(h:ひる石吹付の上、)LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】	o	天井点検口(アルミ枠450角)は、各PS部分に【新設】とする。(吊り： 廻縁(塩ビ製(仕上表を参照))は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分(特記なき限り)は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要がある。(設備位置出しに合わせる) 天井厚1.5m以上は、撤止め基準(国土交通省仕様)による。
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	○	天井点検口(アルミ枠450角)は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁(塩ビ製(仕上表を参照))は、天井と共に【撤去】とする。
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)	o	梁型：モルタルゴ子 VP差 【既存下地調整】	ア	外部(上表)：コンクリート打放し、外装塗装E(アクリルリシン)吹付 【吹付タイル・アスベスト撤去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p	(既BR部分)BR差ぎ：ポリ合板 t2.5 EP-G差 【既存下地調整】(BR撤去共)	イ	外部(梁下・壁下)：コンクリート打放し、覆層塗材E(アクリルリシン)吹付(外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト撤去工事】、【既存躯体補修・下地処理】



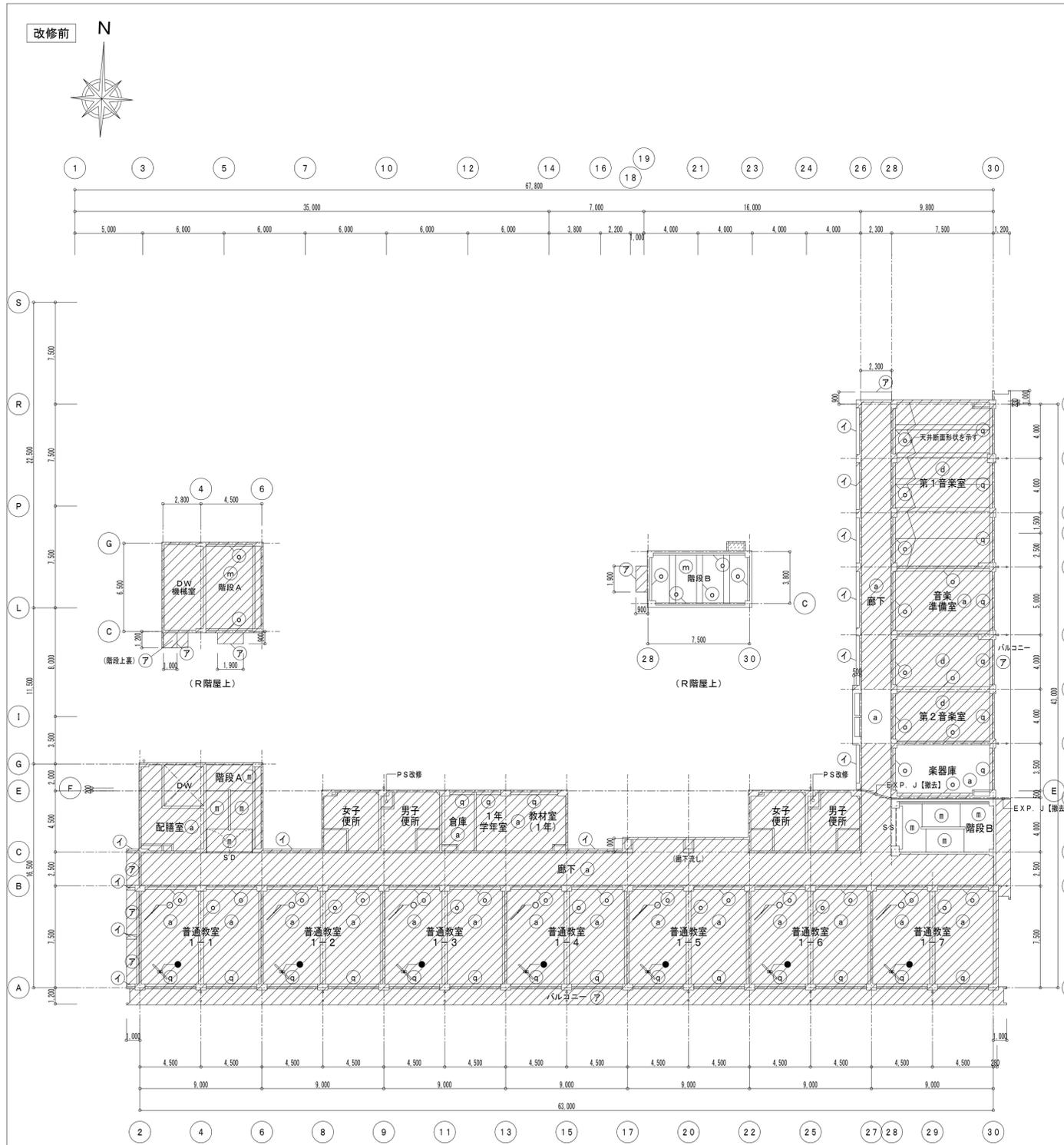
改修前 4階天井伏図 S=1/200



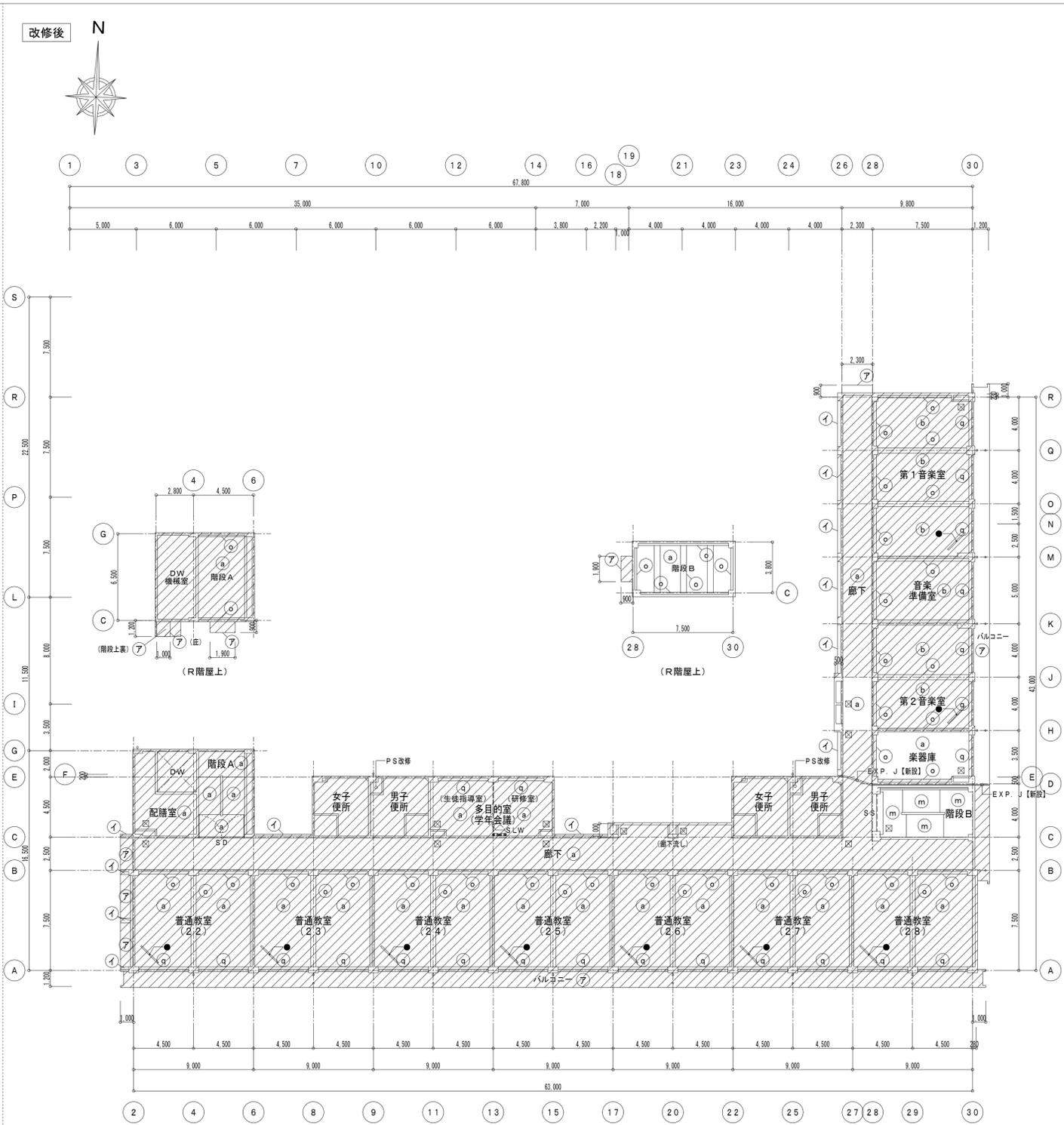
改修後 4階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.0 【08撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目透し床の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し床 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し床 VP塗 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 床強の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 床強の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	{h: ひる石吹付の上、} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【08撤去影響範囲一時撤去】
f	LGS下地、アルミサンドレール t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	{コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【既存のまま】
g	モルタル剛毛引き仕上 (既存のまま)	o	梁型：モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】
h	モルタル剛毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p	{既BR部分} BR高さ：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】 {BR撤去共}
		q	木製カーテンBOX：200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
		r	{既BR部分} カーテンレール (S) 【撤去】
		s	保健室：吊下げカーテンレール 【下地共撤去】
		t	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現況撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
		u	各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【08撤去影響範囲一時撤去】
		v	天井点検口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
		w	外部 (上表)：コンクリート打放し、外装遮熱材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】
		x	外部 (梁下・壁下)：コンクリート打放し、遮熱塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可) 新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.5 【08撤去影響範囲再取付】	i	
b	LGS下地、石膏ボード t9.5床強の上、ロックワール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	j	
c	LGS下地、石膏ボード t9.5床強の上、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共新設】	k	
d	LGS下地、(無石綿) フレキシブルボード t4.0 目透し床 EP塗 (1種・つ消滅) 【下地共新設】	l	
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W150) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共新設】	m	{h: ひる石吹付の上、} LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【08撤去影響範囲再取付】【EP-G塗替え】
f		n	天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(尺例： 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要がある。(設備位置出しに合わせる) 天井高1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
g		o	梁型：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
h		p	{既BR部分} BR高さ：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 {BR撤去共}
		q	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
		r	{既BR部分} カーテンレール (SUS、S) 【新設】
		s	保健室：吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
		t	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
		u	天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(尺例： 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする要がある。(設備位置出しに合わせる) 天井高1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
		v	外部 (上表)：躯体修繕・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
		w	外部 (梁下・壁下)：アスベスト除去、躯体修繕・下地処理の上、 防水塗膜塗材E 超低汚染・超耐候無機複合弾性防水塗膜塗材E 【新設仕上】



改修前 5階天井伏図 S=1/200



改修後 5階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t1.0 【改修撤去影響範囲一時撤去】	i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目透し床の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し床 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目透し床 VP塗 【下地共撤去】	k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m	(h: ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲一時撤去】
f	LGS下地、アルミサンドレール t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)	o	梁型：モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p	(既B R部分) BR高さ：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】 (B R撤去共)
		q	木製カーテンBOX: 200x115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
		r	(既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】
		s	保健室：吊下げカーテンレール 【下地共撤去】
		t	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現況撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
		u	各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現況撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
		v	天井点検口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
		w	外部 (上表) : コンクリート打放し、外装塗装材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
		x	外部 (梁下・壁下) : コンクリート打放し、覆層塗装材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル・アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可) 新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲再取付】	i	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックワール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	j	(既B R部分) カーテンレール (SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックワール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共新設】	k	保健室：吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿) フレキシブルボード t4.0 目透し床 EP塗 (1種・つ消滅) 【下地共新設】	l	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W150) (不燃・木目印刷鋼板) t0.5 【下地共新設】	m	(h: ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【改修撤去影響範囲再取付】 【EP-G塗替え】
f		n	天井点検口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする。 (設備位置出しに合わせる) 天井高1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様) による。
g		o	梁型：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
h		p	(既B R部分) BR高さ：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 (B R撤去共)
		q	外部 (上表) : 躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
		x	外部 (梁下・壁下) : アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水塗層塗材E 超低汚染・超耐候複合弾性防水塗層塗材E 【新設仕上】

改修前

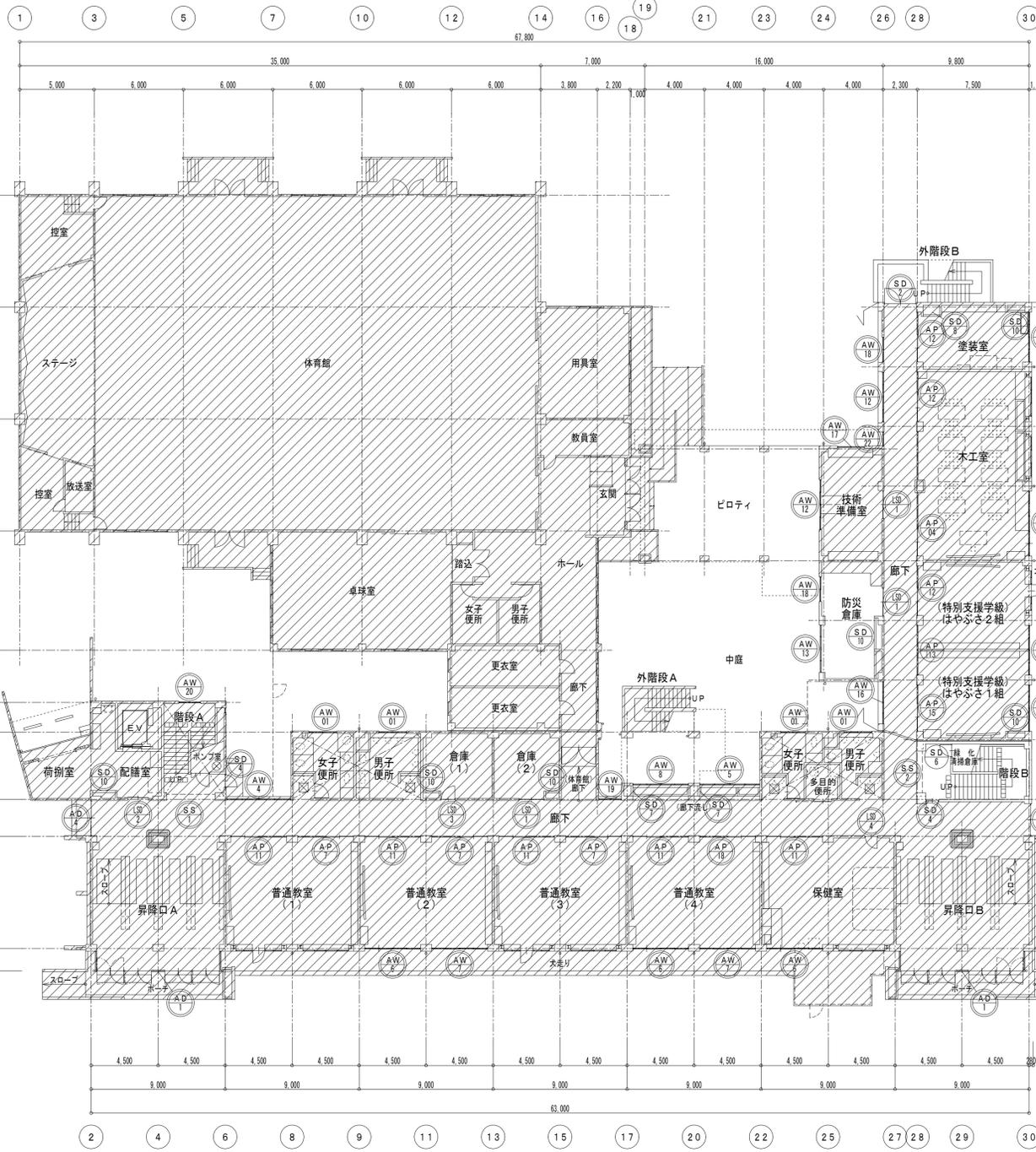
N



改修前 1階建具表キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 1階建具表キープラン S=1/200

凡例: は、サッシ改修範囲を示す。

凡例: は、サッシ改修範囲を示す。

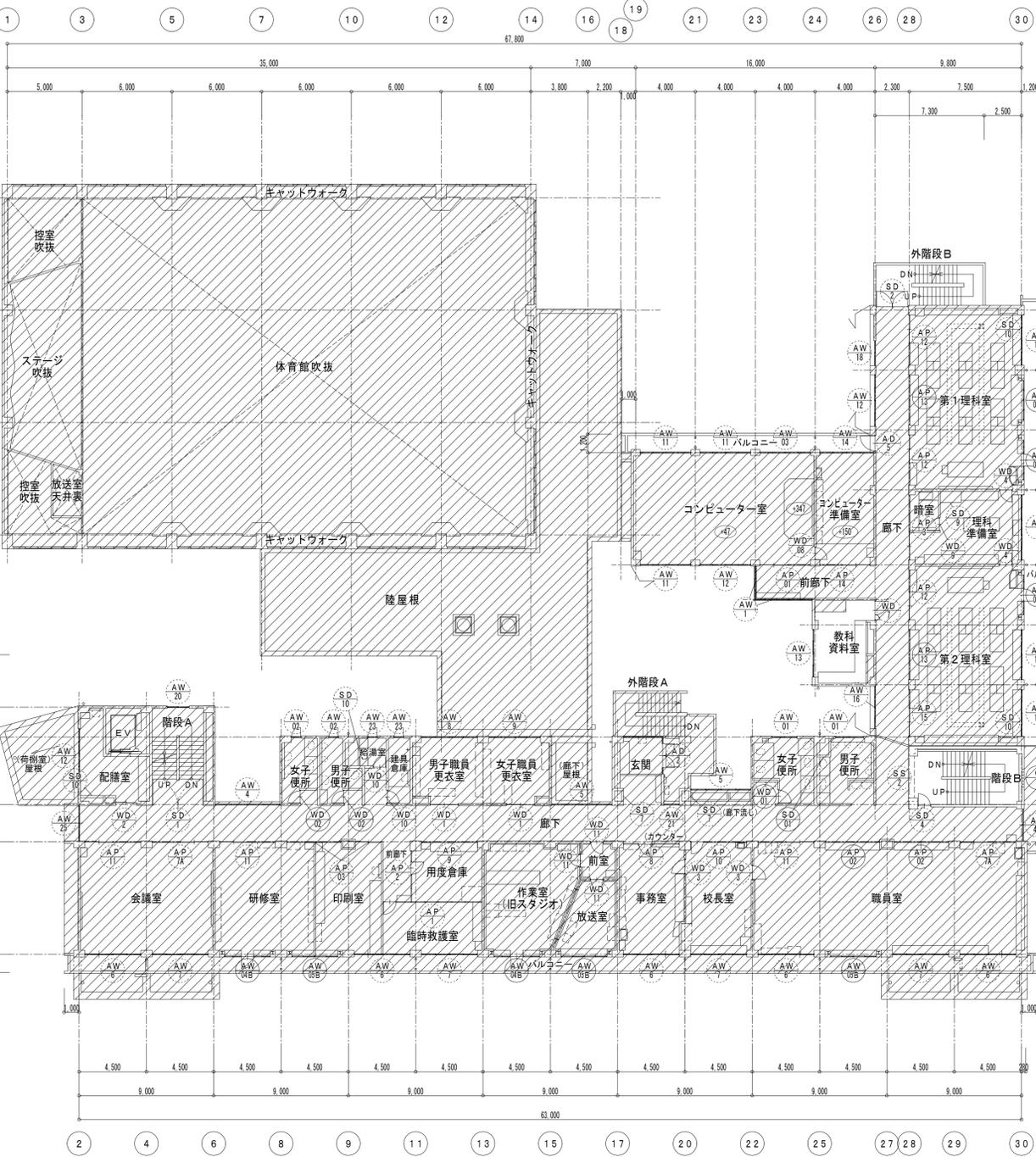
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 1階建具表キープラン

改修前

N



改修前 2階建具表キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 2階建具表キープラン S=1/200

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

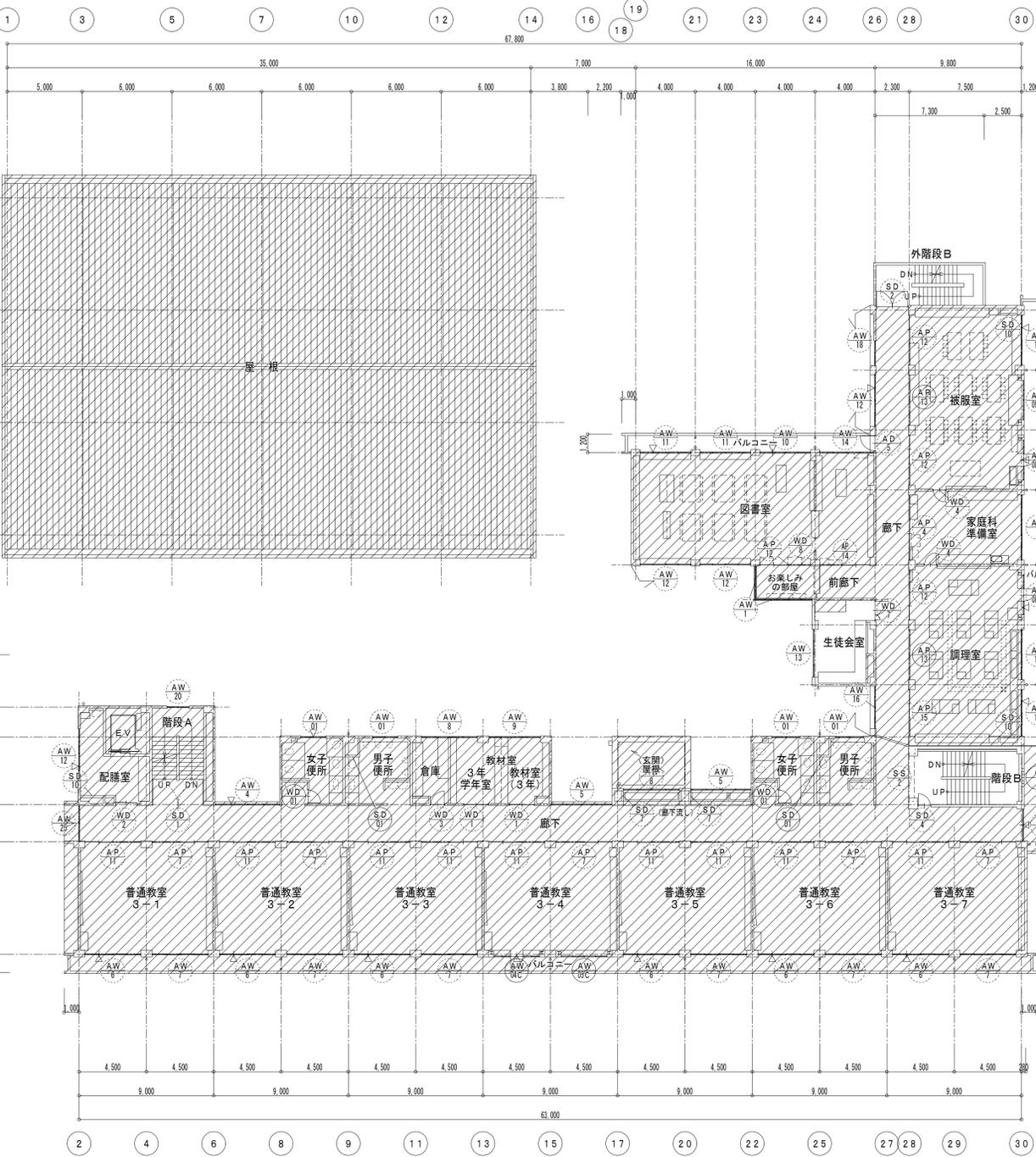
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 2階建具表キープラン

改修前

N



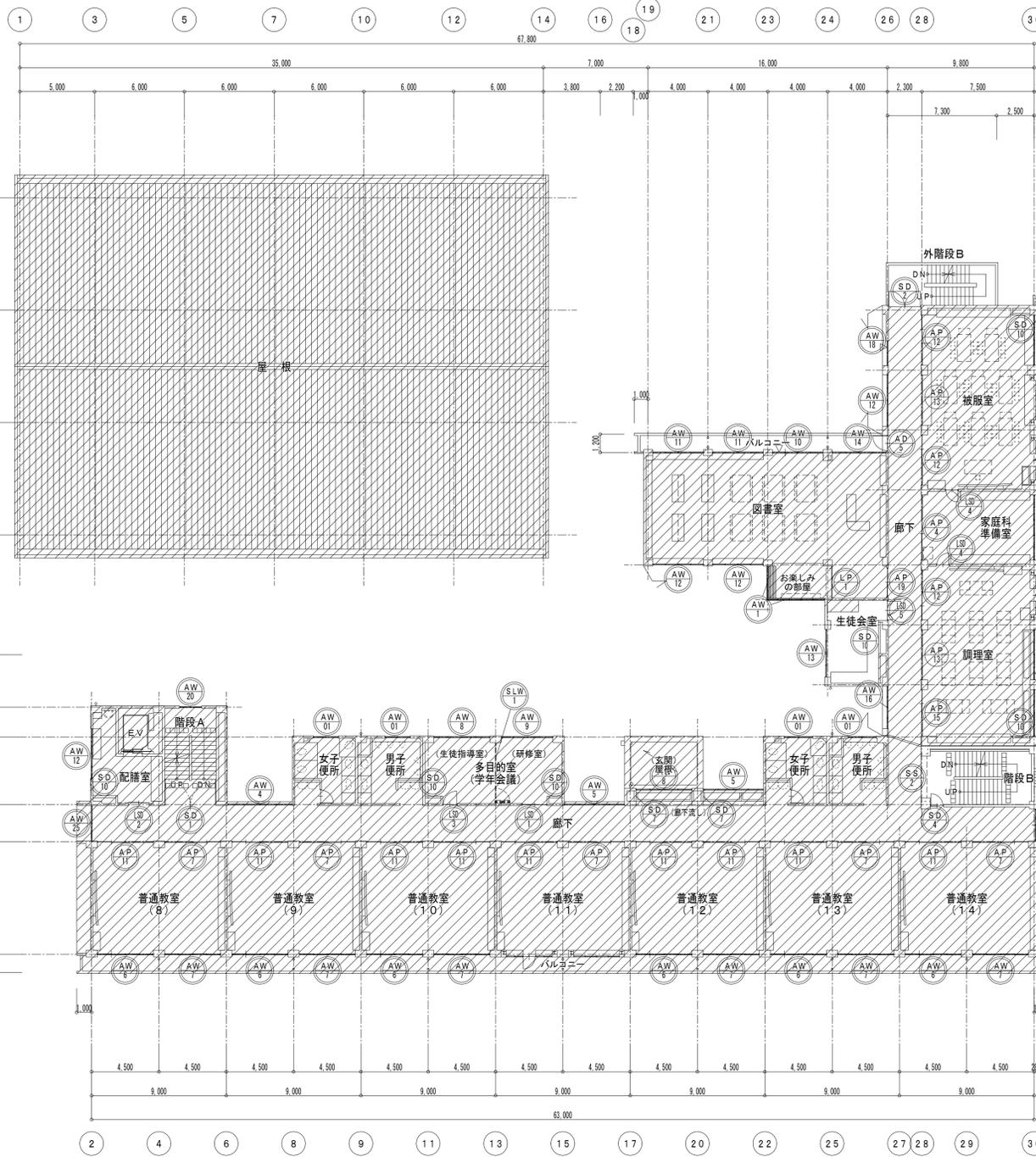
改修前 3階建具表キープラン S=1/200

(▽) は、既存図：非常用出入口を示す

凡例： は、サッシ改修範囲を示す。

改修後

N



改修後 3階建具表キープラン S=1/200

(▽) は、改修後：非常用出入口を示す

凡例： は、サッシ改修範囲を示す。

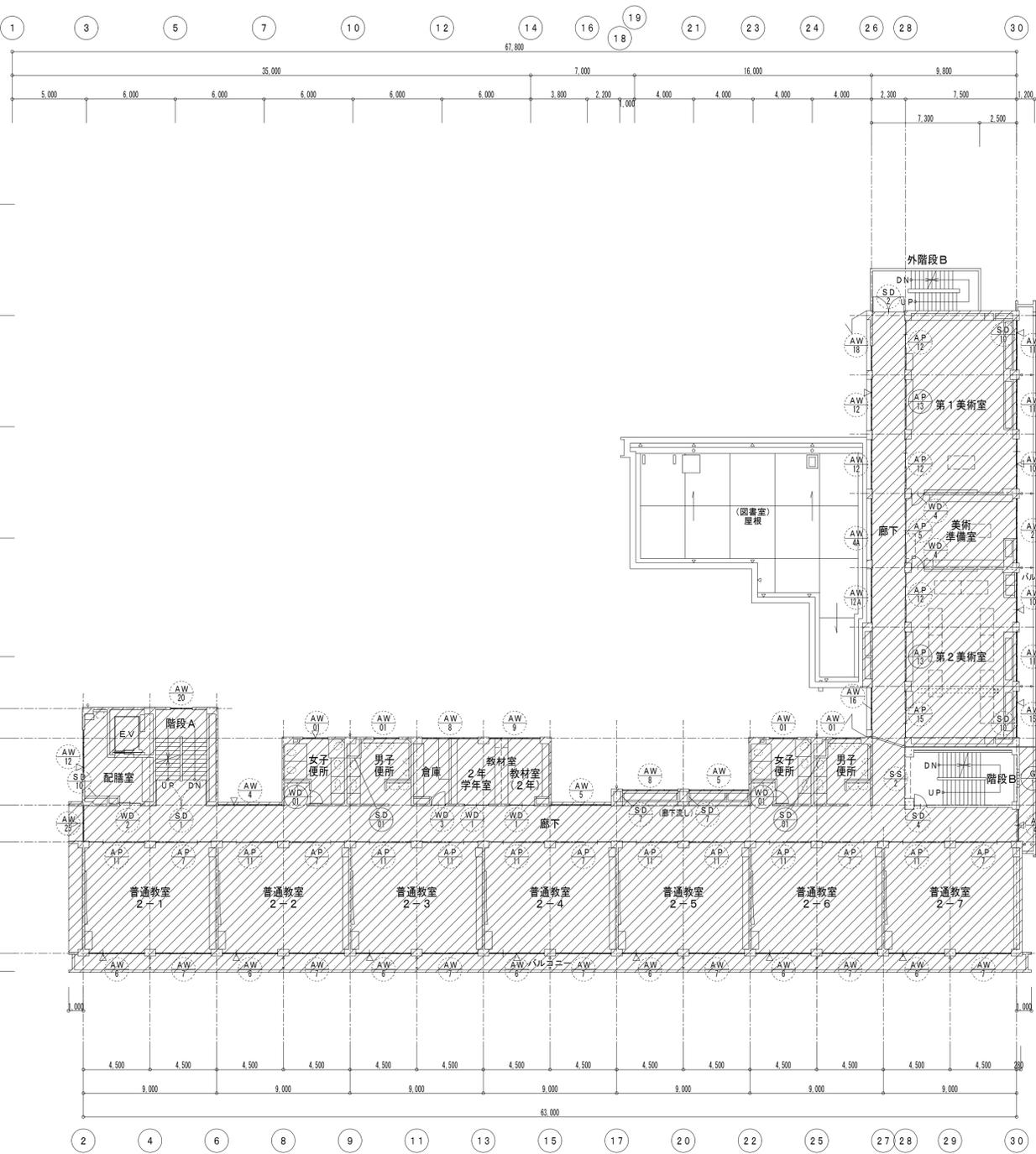
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 3階建具表キープラン

改修前

N



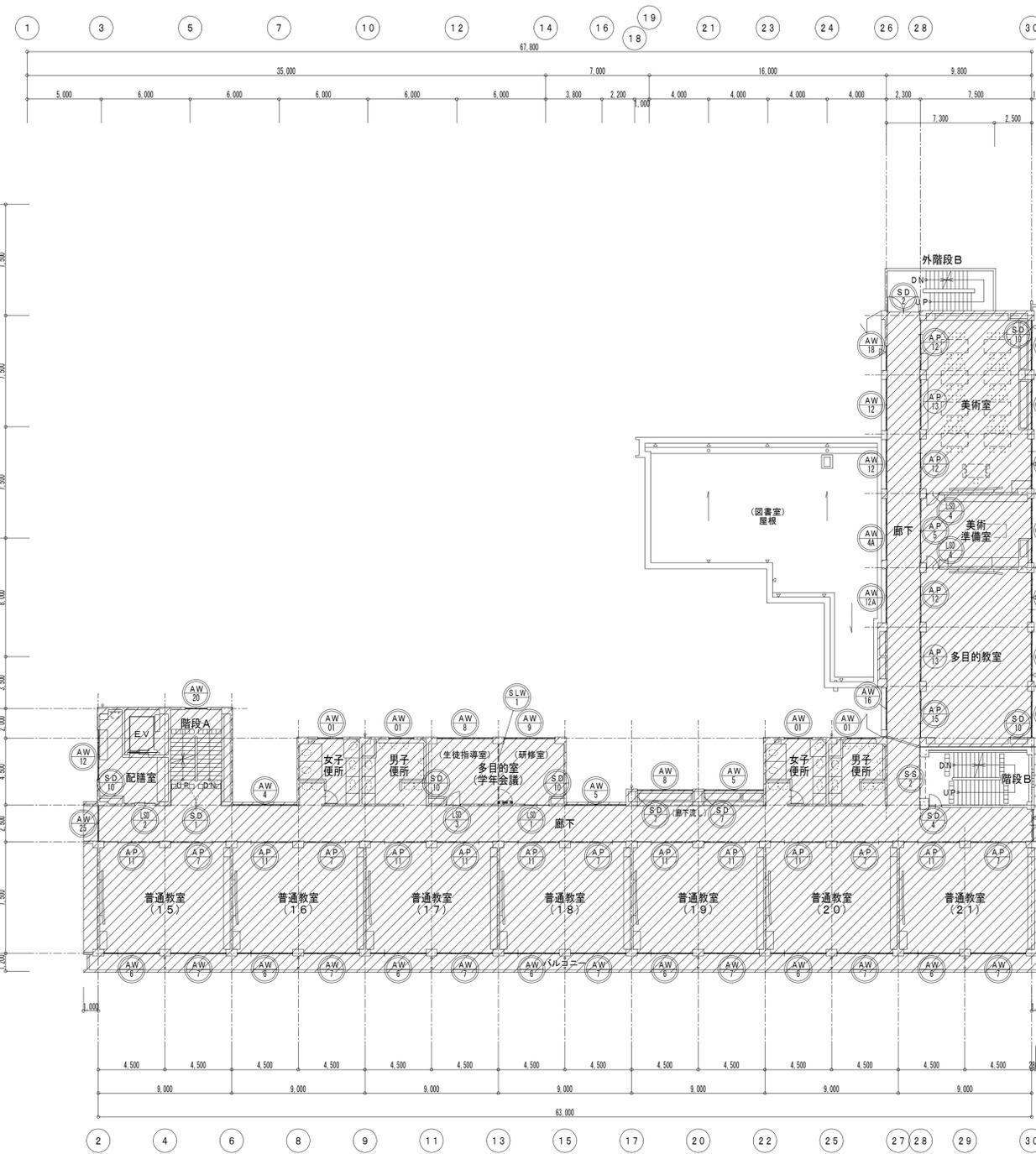
改修前 4階建具表キープラン S=1/200

(▽は、既存図：非常用出入口を示す)

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

改修後

N



改修後 4階建具表キープラン S=1/200

(▽は、改修後：非常用出入口を示す)

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

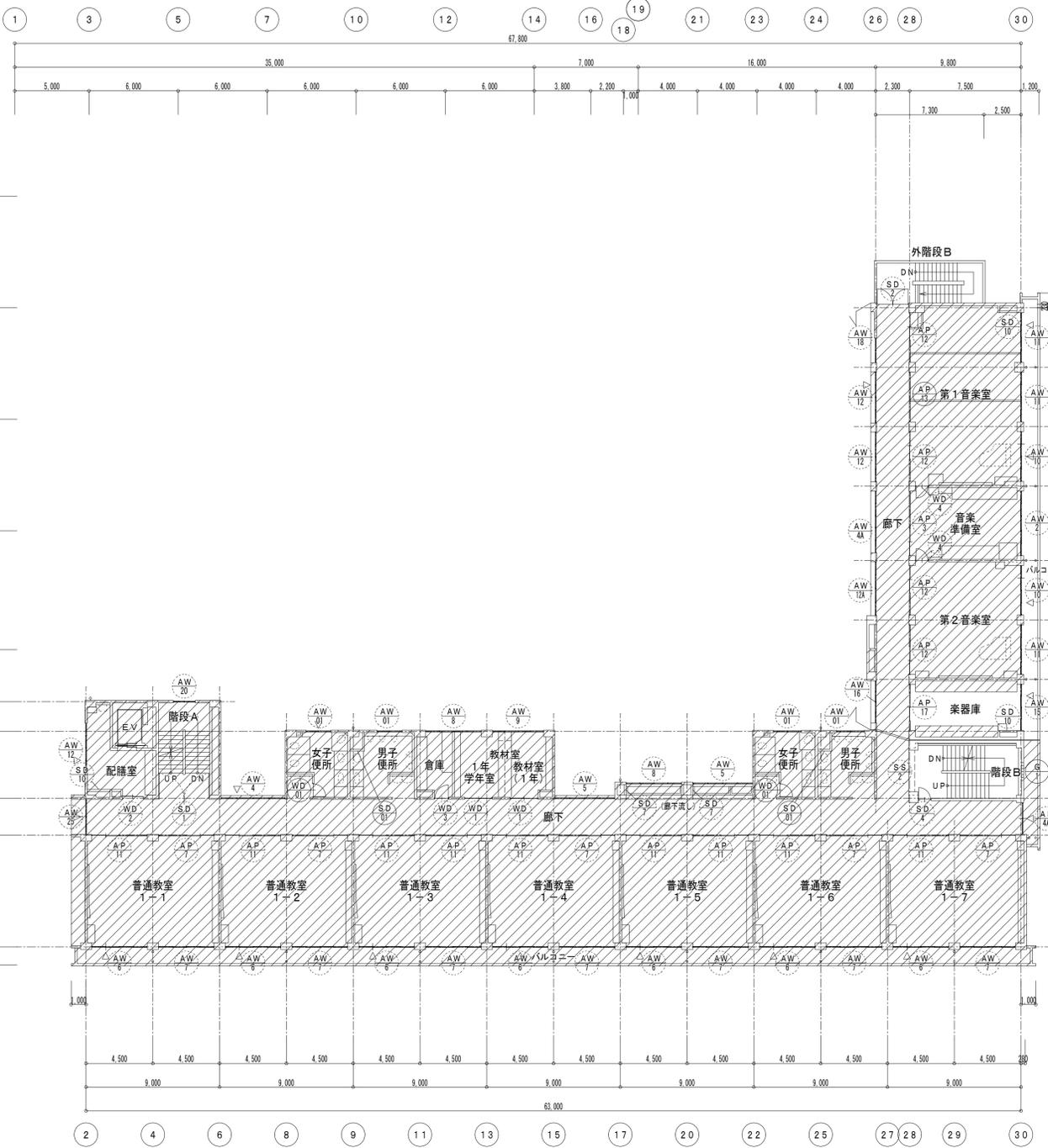
承認 設計 担当

縮尺 A1: 1/200
 A3: 1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 4階建具表キープラン

改修前

N



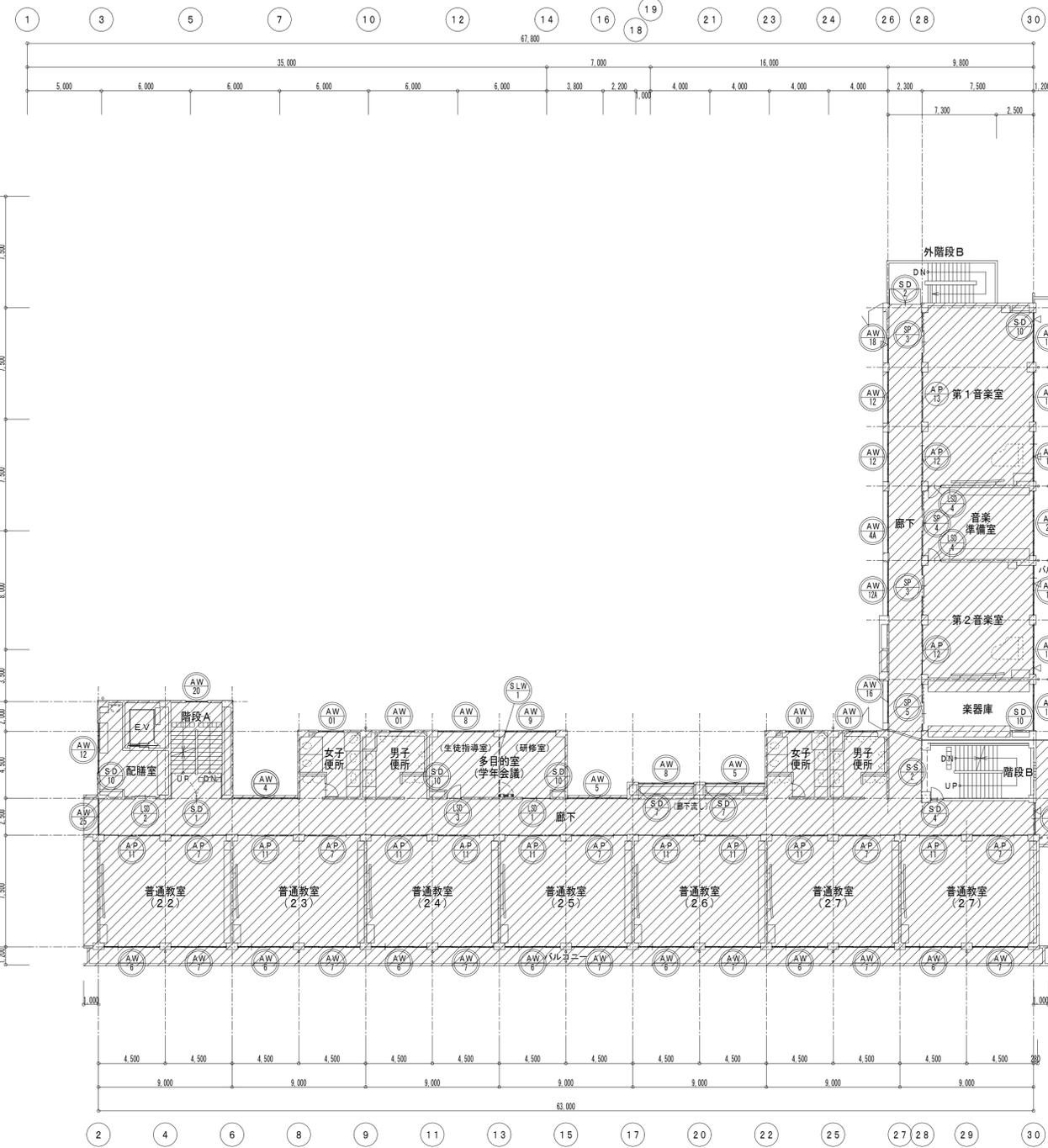
改修前 5階建具表キープラン S=1/200

(▽) は、既存図：非常用出入口を示す

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

改修後

N



改修後 5階建具表キープラン S=1/200

(▽) は、改修後：非常用出入口を示す

凡例：は、サッシ改修範囲を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 5階建具表キープラン

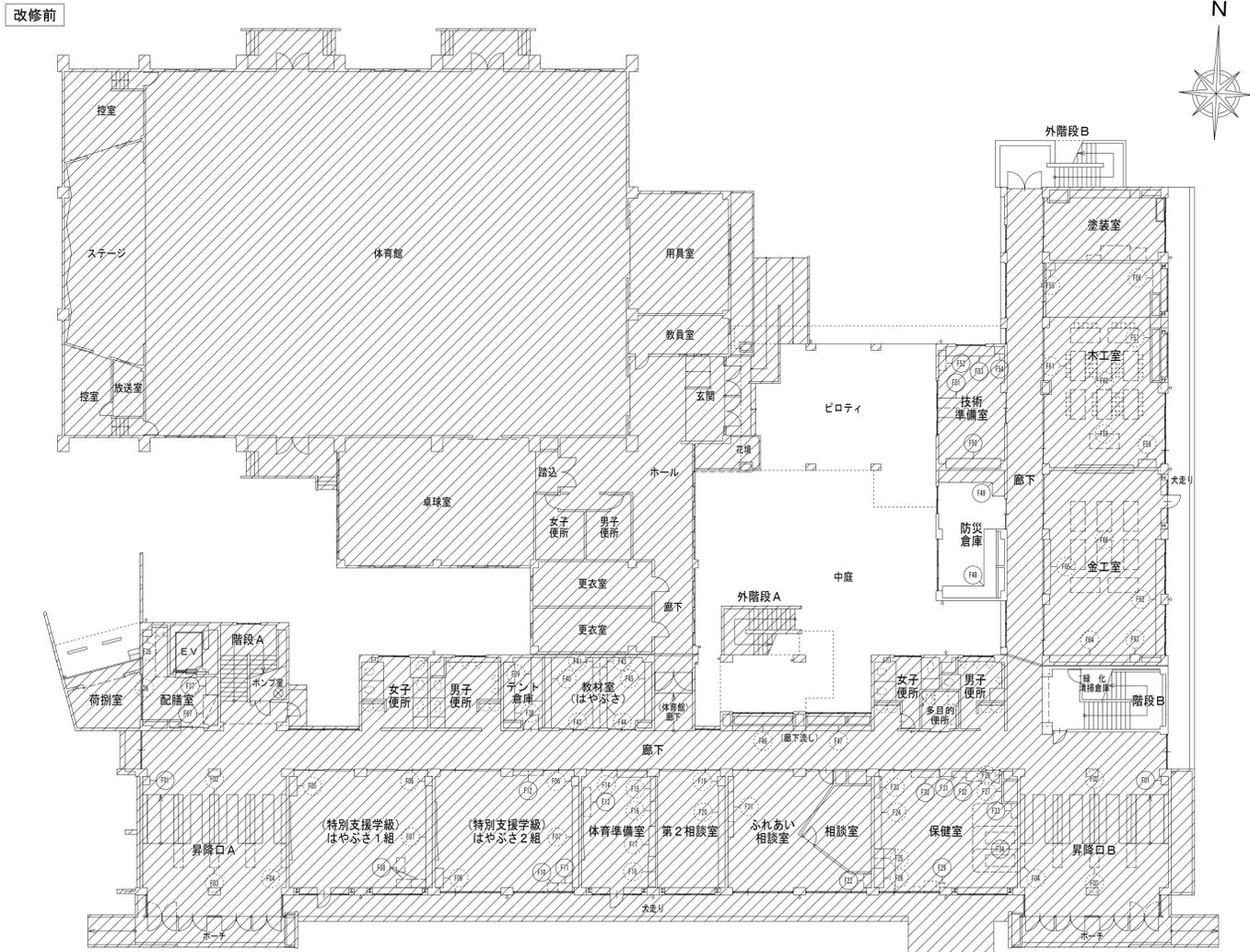
記号・型式	AD-1 アルミ製開き戸・F1X窓	AD-2 アルミ製開き戸・F1X窓	AD-3 アルミ製開き戸・F1X窓	AD-4 アルミ製開き戸・F1X窓	AD-5 アルミ製開き戸・F1X窓
姿図					
場所・数量	昇降口	2箇所	玄関	1箇所	配膳室
仕上・見込	アルミシルバー	100mm	アルミシルバー	100mm	アルミシルバー
ガラス	輸入透明 t6.8、覆:アクリル t5.0		輸入型 t6.8	アルミシルバー	アルミシルバー
金物	フランス滑り、フロアヒンジ、シリンドー錠、他標準金物一式		フランス滑り、フロアヒンジ、シリンドー錠、他標準金物一式	シリンドー錠錠、溝型レール、他標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(特共)】、外部シーリング共【撤去】		【撤去(特共)】、外部シーリング共【撤去】	【撤去(特共)】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 掃き出し部分の下端は(水切共)【撤去】
記号・型式	AW-1 アルミ製引違い窓・折り曲がりF1X窓	AW-2 アルミ製引違い窓・F1X窓	AW-3 アルミ製引違い窓・F1X窓	AW-4 アルミ製引違い窓・F1X窓	AW-5 アルミ製引違い窓
姿図					
場所・数量	(コンピューター室) 前廊下、(図書室) お楽しみ部屋	2箇所	(2~5階) 特別教室準備室	4箇所	木工室
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0、(F1X部) 透明 t5.0	透明 t3.0、(換気扇部) AP t1.5	(腰部) 網入型 t6.8、透明 t3.0、AP t1.5	透明 t3.0、AP t1.5	透明 t3.0、AP t1.5
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】、内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 掃き出し部分の下端は(水切共)【撤去】、内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 掃き出し部分の下端は(水切共)【撤去】、内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-6 アルミ製引違い窓	AW-7 アルミ製引違い窓	AW-8 アルミ製引違い窓	AW-9 アルミ製引違い窓	AW-10 アルミ製引違い窓
姿図					
場所・数量	(1棟) 廊下、男子職員更衣室、倉庫・学年室	8箇所	女子職員更衣室、学年室、物材室	4箇所	進修室、図書室、第1・2美術室、第1・2音楽室
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	(腰部) 網入型 t6.8、透明 t3.0、AP t1.5	透明 t3.0、(コンピューター室) 網入型 t6.8、AP t1.5	透明 t3.0、(コンピューター室) 網入型 t6.8
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 掃き出し部分の下端は(水切共)【撤去】、内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-11 アルミ製引違い窓	AW-12 アルミ製引違い窓	AW-13 アルミ製引違い窓	AW-14 アルミ製引違い窓	AW-15 アルミ製引違い窓
姿図					
場所・数量	(2棟) 廊下	5箇所	技術準備室	1箇所	防災倉庫、(2棟) 廊下
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0、AP t1.5	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-16 アルミ製F1X窓	AW-17 アルミ製F1X窓	AW-18 アルミ製F1X窓	AW-19 アルミ製F1X窓	AW-20 アルミ製F1X窓
姿図					
場所・数量	(2棟) 廊下	5箇所	技術準備室	1箇所	防災倉庫、(2棟) 廊下
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0、AP t1.5	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-21 アルミ製F1X窓	AW-22 アルミ製F1X窓	AW-23 アルミ製F1X窓	AW-24 アルミ製F1X窓	AW-25 アルミ製F1X窓
姿図					
場所・数量	(1棟) 廊下	1箇所	防災倉庫、(2棟) 廊下	6箇所	(1棟) 廊下
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-26 アルミ製F1X窓	AW-27 アルミ製F1X窓	AW-28 アルミ製F1X窓	AW-29 アルミ製F1X窓	AW-30 アルミ製F1X窓
姿図					
場所・数量	(2棟) 廊下	5箇所	技術準備室	1箇所	防災倉庫、(2棟) 廊下
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】
記号・型式	AW-31 アルミ製F1X窓	AW-32 アルミ製F1X窓	AW-33 アルミ製F1X窓	AW-34 アルミ製F1X窓	AW-35 アルミ製F1X窓
姿図					
場所・数量	(1棟) 廊下	1箇所	防災倉庫、(2棟) 廊下	6箇所	(1棟) 廊下
仕上・見込	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー	70mm	アルミシルバー
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
改修内容	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】	【撤去(カーエ工法)】、外部シーリング共【撤去】 内部縦線 SOP塗【既存下地調整】

記号・型式	AD1 アルミ製両開き戸・F1X窓(一部、自由開き)		AD2 ステンレス製両開き戸・F1X窓		AD3 アルミ製引違い戸・引違い窓・F1X窓		AD4 アルミ製引違い戸・引違い窓		AD5 アルミ製片開き戸・F1X窓	
姿図										
場所・数量	昇降口A、B 2箇所		玄関 1箇所		(改修前による)		AD-4 (1棟:1階) 廊下 1箇所 AD-4A (1棟:1~5階) 廊下 5箇所		(2棟:2,3階) 廊下 2箇所	
仕上・見込	アルミシルバー 100mm		HL 100mm				アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm	
ガラス	網入透明 16.8		網入透明 6.8				網入透明 6.8 AP t3.0		アルミ製強化透明 4.0 AP t3.0	
金物	丸線把手、フランス差出し(上下)、フロアヒンジ、サムターン付シリンダー錠(特)・(引)・(締切)プレート、他標準金物一式 廊下部は、内側長尺シート新設のため、クリアランスを確保の事(覆れ防止)。廊下部: (障風風・砂埃防止)モヘアシール、汎用モヘアアタッチメント取付。		丸線把手、フランス差出し(上下)、フロアヒンジ、サムターン付シリンダー錠(特)・(引)・(締切)プレート、他標準金物一式 他標準金物一式				丸線把手、フランス差出し(上下)、フロアヒンジ、サムターン付シリンダー錠(特)・(引)・(締切)プレート、他標準金物一式		丸線把手、フランス差出し(上下)、フロアヒンジ、サムターン付シリンダー錠(特)・(引)・(締切)プレート、他標準金物一式 丸線把手、フランス差出し(上下)、フロアヒンジ、サムターン付シリンダー錠(特)・(引)・(締切)プレート、他標準金物一式	
改修内容	【新設(特共)】、外部シーリング【新設】、内部アルミ化粧【新設】		【新設(特共)】、外部シーリング共【新設】、内部アルミ化粧【新設】		【撤去(特共)】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)	
記号・型式	AW2 アルミ製引違い窓・折り曲がりF1X窓		AW2A アルミ製引違い窓・F1X窓		AW3 アルミ製引違い戸・引違い窓・F1X窓		AW4 アルミ製引違い窓・F1X窓		AW5 アルミ製引違い窓	
姿図										
場所・数量	(大研修室) 前廊下、(図書室) お楽しみ部屋 2箇所		AW-2 理科準備室 1箇所 AW-2A 家庭科準備室、美術準備室、音楽準備室 3箇所		木工室 1箇所		AW-4 (1棟)廊下、廊下 5箇所 AW-4A (2棟:4,5階)廊下 2箇所		(1棟)廊下、廊下 9箇所	
仕上・見込	アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm	
ガラス	Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) F1X部: 単板ガラス(学校用強化透明 5.0)90度向き付け		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)		学校用強化透明 4.0 AP t1.5		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)	
金物	可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼	
改修内容	【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)	
記号・型式	AW8 アルミ製引違い窓		AW9 アルミ製引違い窓		AW10 アルミ製引違い窓		AW11 アルミ製引違い窓		AW12 アルミ製引違い窓	
姿図										
場所・数量	(1棟)廊下、廊下、男子職員更衣室、多目的室 8箇所		女子職員更衣室、多目的室 4箇所		理科室、図書室、美術室、多目的教室、第1・2音楽室 6箇所		AW-11 特別支援学級、第1・2理科室、大研修室、図書室 1箇所 AW-11A 保健室、調理室、美術室、多目的教室、第1音楽室、第2音楽室 8箇所		AW-12 配膳室、技術準備室、(2棟)廊下、大研修室、図書室 11箇所 AW-12A (2棟:4,5階)廊下 2箇所	
仕上・見込	アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm	
ガラス	Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) F1X部: 単板ガラス(学校用強化透明 5.0)90度向き付け		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)		学校用強化透明 4.0 AP t1.5		Low-E複層ガラス(学校用強化透明 4.0) AP t1.5(断熱材サンド)	
金物	可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		可動網戸、他標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼	
改修内容	【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】 引き出し部分の下降は(水切共)【新設】(引き出しサッシ部分のH寸法はそのまま)	
記号・型式	AW16 アルミ製引違い窓		AW17 アルミ製引違い窓		AW18 アルミ製引違い窓		AW19 アルミ製引違い窓		AW20 アルミ製引違い窓	
姿図										
場所・数量	(2棟)廊下 5箇所		技術準備室 1箇所		防災倉庫、(2棟)廊下 6箇所		(1棟)廊下 1箇所		(1棟)廊下 1箇所	
仕上・見込	アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm	
ガラス	学校用強化透明 4.0		網入型 16.8		学校用強化透明 4.0		学校用強化透明 4.0		学校用強化透明 4.0	
金物	標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼	
改修内容	【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】	
記号・型式	AW24 アルミ製F1X窓・ガラリ		AW25 アルミ製引違い窓				AW26 アルミ製ガラリ		AW27 アルミ製F1X窓	
姿図										
場所・数量	(屋上)EV機械室 1箇所		(1棟)廊下 4箇所		(共通事項) ・複層ガラス(スクールベア エコガラス タイプ) → 居室(教室) に設置 ・Low-E複層ガラス(断熱性能) → 居室(教室、配膳室)、(給湯室) (内) 固定網戸 に設置 ・可動網戸(防虫網 合成樹脂製) → 居室(教室、配膳室)、(給湯室) (内) 固定網戸 に設置 ・網戸 25mm以上、網目16~18メッシュ ・ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼 ・網戸網対応(GI-1)					
仕上・見込	アルミシルバー 70mm		アルミシルバー 70mm							
ガラス	網入型 16.8		学校用強化透明 4.0							
金物	標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼		標準金物一式 ガラス室内面: 飛散防止フィルム貼							
改修内容	【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】		【新設(カバー工法)】、周囲シーリング【新設】、内部化粧【SOP塗替】				【既存のまま】、外部シーリング【撤去・新設】			

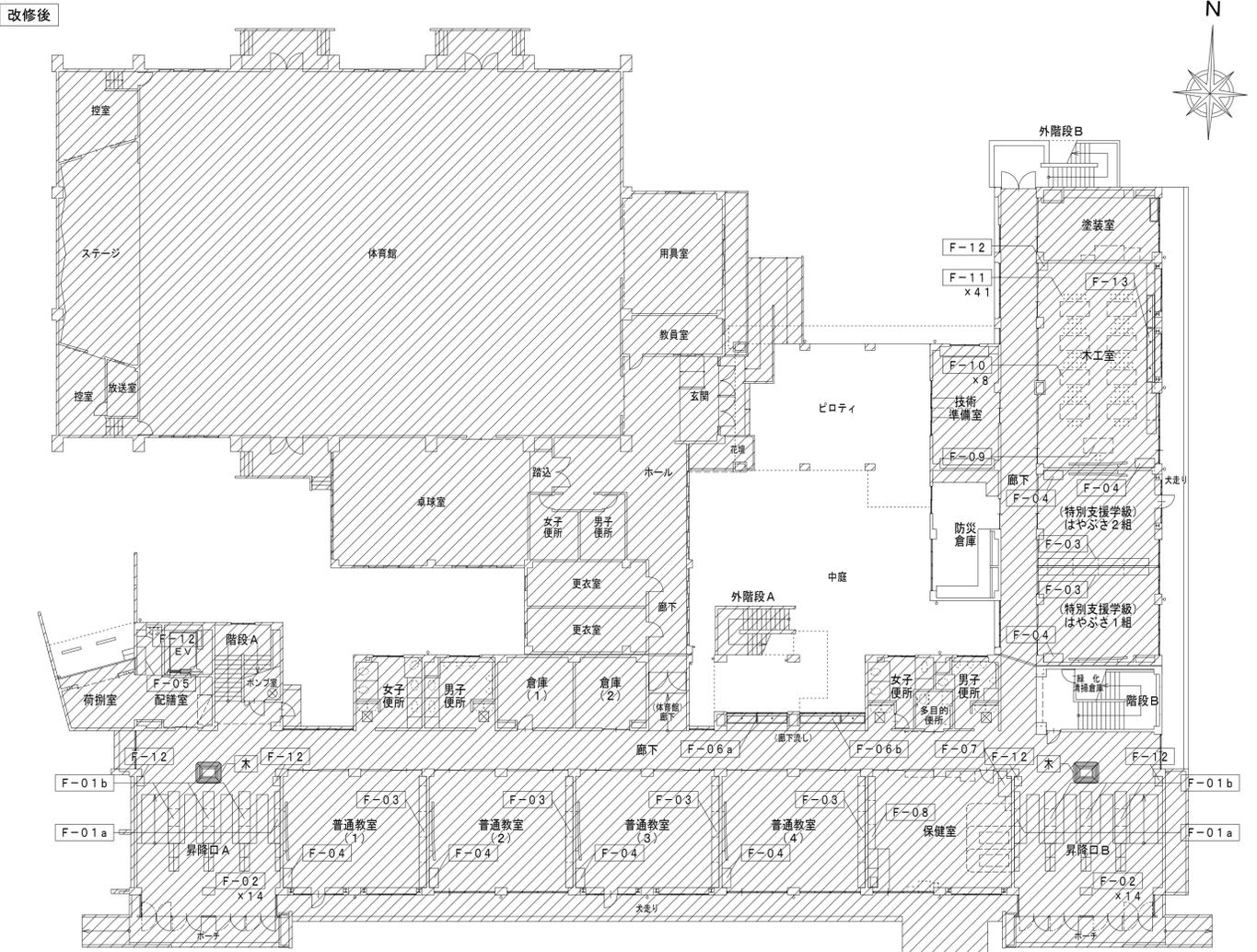
Table with columns for drawing type (e.g., SD, AP, G), drawing details, location, quantity, materials, and modification content. It lists various window and door types across different building sections.

注・アルミ製パーテーションは、(特記なき限り) 廊下からの取図を示す。【視界クロス改修】・【欄間改修】の位置については、展開図と合わせて確認すること。
・アルミ製パーテーションの出入口部分の溝形は、【撤去・新設】とする。

改修後 建具表 2 S=1/100		凡例: ○ は、既存改修建具を示す。 ○ は、撤去建具を示す。 ○ は、新設建具を示す。		※カバー工法部分の寸法は、既建具より(-50)とした寸法を示す				
記号・型式	SD1 スチール製開きフラッシュ戸 (潮戸あり)・戸袋付 (特定防火設備 (遮煙性能・煙感運動))	SD2 スチール製開きフラッシュ戸	SD3 スチール製開きフラッシュ戸	SD4 スチール製開きフラッシュ戸 (特定防火設備 (常閉))	SD5 スチール製開きフラッシュ戸	SD6 スチール製開きフラッシュ戸	SD7 スチール製開きフラッシュ戸	SD8 スチール製開きフラッシュ戸
姿図								
場所・数量	(2-5階) 階段A 4箇所	外階段B 5箇所	(階段A・B) PH 2箇所	(1階)階段A: (各階) 階段B 5箇所	(階段A下) ボンブ室 1箇所	(階段B下) 緑化・清掃倉庫 1箇所	廊下渡し、玄関: PS 10箇所	塗装室 (原料保管庫) 1箇所
仕上・見込	防錆・焼付塗装 100mm	防錆・焼付塗装 100mm	防錆・焼付塗装 86mm	防錆・焼付塗装 86mm	スチール SOP塗 86mm	スチール SOP塗 86mm	防錆・焼付塗装 60mm	スチール SOP塗 86mm
ガラス	-	-	網入型 16.8	-	-	-	-	-
金物	オートレンジ、ケースハンドル、順位調整器、他標準金物一式	D.C. フランス差し、握玉 (内) シリンダー錠、他標準金物一式	D.C. フランス差し、握玉 (外) サムターン (内) シリンダー錠、他標準金物一式	D.C (ストッパー無し)、(階段B) 握玉錠、戸当り、他標準金物一式 階段A: 握玉 (内) サムターン	握玉 (内) サムターン (外) シリンダー錠、他標準金物一式	握玉 (内) サムターン (外) シリンダー錠、他標準金物一式	シリンダー錠付錠、他標準金物一式	フランス差し、握玉シリンダー錠、他標準金物一式
改修内容	【新設】	【新設】、外部シーリング共【新設】	【新設】、外部シーリング共【新設】	【新設】、(階段A) 外部シーリング共【新設】	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)	【新設】	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)
記号・型式	SD9 スチール製開きアングル戸	SD10 スチール製開きアングル戸	SD11 スチール製開きフラッシュ戸	SS1 スチール製シャッター (特定防火設備 (遮煙性能・煙感運動))	SS2 スチール製シャッター (特定防火設備 (遮煙性能・煙感運動))	SS3 スチール製シャッター	-	-
姿図	(改修前による)					(改修前による)	-	-
場所・数量	-	20-10 防災倉庫、教科書庫、生体室、美術室、PS 4箇所	(屋上) EV機械室 1箇所	(1階) 階段A 1箇所	(各階) 階段B 5箇所	-	-	-
仕上・見込	-	防錆・SOP塗装 60mm	防錆・焼付塗装 86mm	防錆塗装・焼付塗装	防錆塗装・焼付塗装	-	-	-
ガラス	-	-	-	-	-	-	-	-
金物	-	シリンダー錠付錠、他標準金物一式	D.C. 握玉 (内) サムターン (外) シリンダー錠、戸当り、他標準金物一式	手動式、障害物感知装置付、急降下制動装置付、SUS滑車、他標準金物一式	手動式、障害物感知装置付、急降下制動装置付、SUS滑車、他標準金物一式	手動式、障害物感知装置付、急降下制動装置付、SUS滑車、他標準金物一式	-	-
改修内容	【撤去 (特共)】	【新設】	【新設】	【新設 (BOX共)】	【新設 (BOX共)】	【新設 (BOX共)】	【既存のまま】	【新設】
記号・型式	AP1 アルミ製パーテーション	AP2 アルミ製パーテーション	AP3 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP4 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP5 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP6 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP7 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP8 スチール製パーテーション (学校用開き切)
姿図	(改修前による)	(改修前による)				(改修前による)		
場所・数量	-	-	理科準備室 1箇所	家庭科準備室 1箇所	美術準備室 1箇所	事務室 1箇所	AP7-1 普通教室 18箇所 AP7-2 職員室、普通教室 (5) 2箇所	事務室 1箇所
仕上・見込	-	-	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) 70mm
ガラス	-	-	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0, AP 1.1, 5 (AP×7A) AP×7【新設】	学校用強化透明 4.0
金物	-	-	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 縦開閉ガラス、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 縦開閉ガラス、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去 (特共)】	【全て撤去 (特共)】	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	【新設】	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	【新設】
記号・型式	AP9 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP10 → SP2 スチール製パーテーション (学校用開き切)	AP11 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP12 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP13 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP14 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP15 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP16 アルミ製パーテーション (学校用開き切)
姿図	(改修前による)					(改修前による)		(改修前による)
場所・数量	-	校長室 1箇所	普通教室 (5) (6)、普通教室、保健室・職員室 35箇所	2階音楽室 (AP×1) 1箇所	多目的教室 (AP×2) 1箇所	大研修室準備室 1箇所	はやぶさ1組、第2理科室、調理室、多目的教室 4箇所	音楽準備室 1箇所
仕上・見込	-	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) ロックウール充填	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	透明 13.0 縦開: (AP×2) ガラス×2【新設】	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) ロックウール充填
ガラス	-	強化型 4.0	学校用強化透明 4.0, AP 1.1, 5 (AP×18, ガラス×3) AP×2.1【新設】、(AP×1) ガラス×1【新設】	学校用強化透明 4.0, AP 1.1, 5 (AP×3, ガラス×2) AP×5【新設】、第2音楽室 (AP×1)	透明 13.0 縦開: (AP×2) ガラス×2【新設】	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0, AP 1.1, 5 (AP×1, ガラス×2) AP×3【新設】、(ガラス×1) AP×1【新設】	学校用強化透明 4.0
金物	-	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	アルミ枠 H=100、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 縦開閉ガラス、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去 (特共)】	【新設】	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	【新設】	出入口フラッシュ戸・無目・縦開サッシ【新設 (カバー工法)】 既存パネル部分 (両面): 下地処理の上、提示板用合板 15.5+提示クロス貼 両面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	【新設】	【新設】
記号・型式	AP17 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP18 → SP3 スチール製パーテーション (学校用開き切)	AP19 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP20 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP21 アルミ製パーテーション (学校用開き切)	AP22 → SP4 スチール製パーテーション (学校用開き切)	AP23 → SP4 スチール製パーテーション (学校用開き切)	AP24 → SP5 スチール製パーテーション (学校用開き切)
姿図	(改修前による)					(改修前による)		
場所・数量	-	AP-18 普通教室 (4) AP-18a 普通教室 (7) 1箇所	図書室 1箇所	(共通事項) アルミ製パーテーション 出入口の有効開口を広く取る為に、 引違戸・戸袋及び戸引込みの選定、 両面ガラス: 引違戸及び戸引込みの選定、 片引き戸: 引違戸及び戸引込みの選定、 ※扉・製作メーカー共同選定、監督員に承認を得る事。	第1音楽室、第2音楽室 2箇所	音楽準備室 1箇所	音楽準備室 1箇所	音楽準備室 1箇所
仕上・見込	-	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	透明 13.0 縦開: (AP×2) ガラス×2【新設】	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) ロックウール充填	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用開き切 ドアパネル・鋼板パネル (亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 10.6 (焼付塗装: 木目鋼板) ロックウール充填
ガラス	-	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	透明 13.0 縦開: (AP×2) ガラス×2【新設】	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0
金物	-	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式 パネル部分 (両面): 提示板用合板 15.5+提示クロス貼	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式 木製押縁 SOP塗	アルミ枠 H=100、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 縦開閉ガラス、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切苧、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸 (面付け)、引き棒、切苧、サムターン付シリンダー錠 縦開閉ガラス、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去 (特共)】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】



改修前 1階家具キープラン S=1/200



改修後 1階家具キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】家具を示す。詳細は、家具詳細図による。木 は、木製ベンチを示す。(部分詳細図：木質化ベンチ参照)

【1階】 既存家具リスト 凡例 (R) は、【撤去】家具を示す。(F) は、既存改修家具【塗替・一時移動再設置・(移設)】を示す。塗替(SOP・UC)は、(外側)SOP、(内側)UCを示す。(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

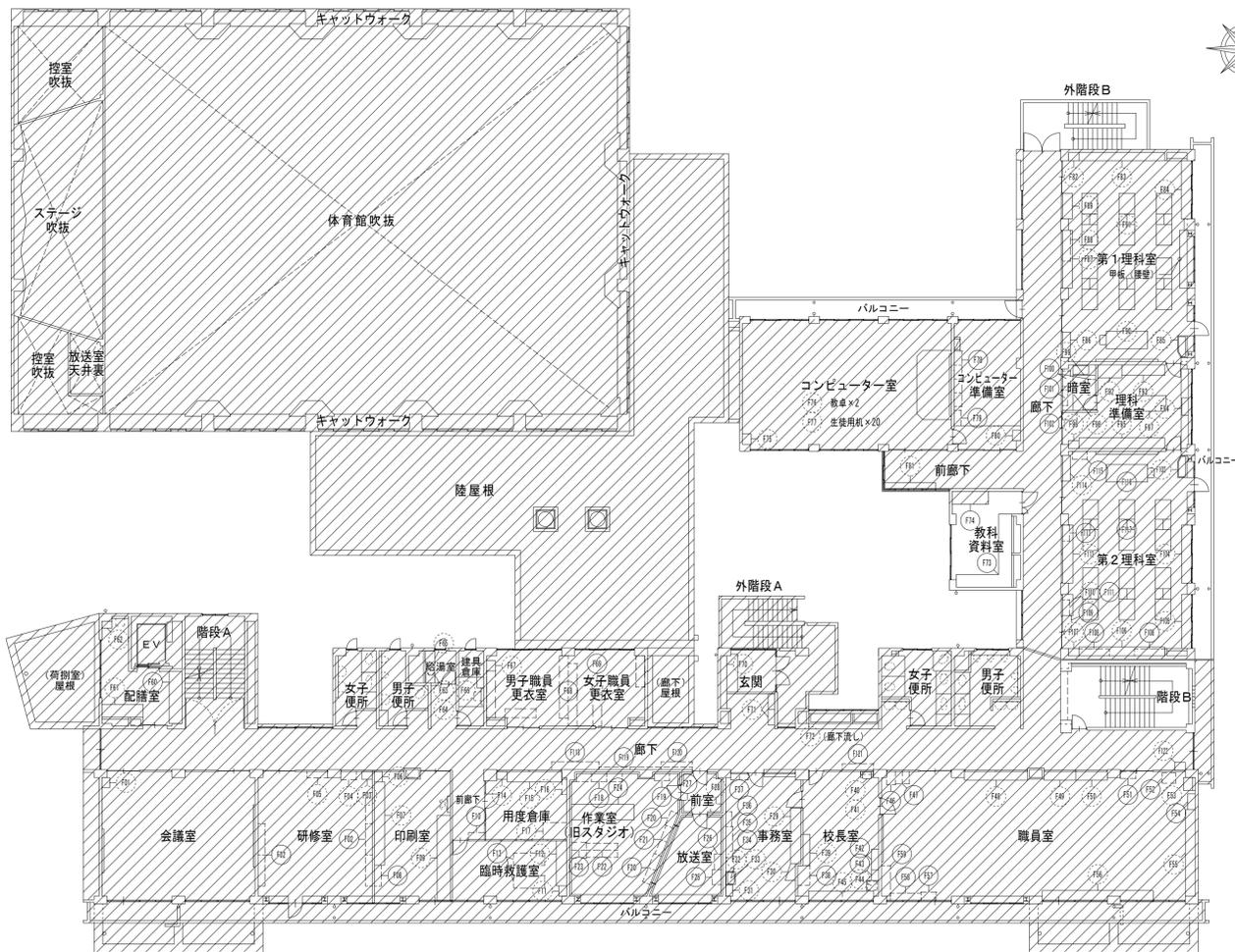
室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容
昇降口A・B	(R)	スチール製掃除用具	W450×D510×H1,790	2	(移設)	木工室	(R)	木製角椅子	W300×D300×H460	42	撤去	木工室	(R)	木製作業台	W7,100×D600×H700(先端アングル付)	1	撤去
	(F)	木製下足入	W3,020×D300×H1,870	16	撤去		(F)	木製作業台	W3,340×D450×H700(先端アングル付)	1	撤去		(F)	木製作業台	W4,900×D450×H700(先端アングル付)	1	撤去
はやぶさ1組	(R)	ステンレス製傘立	W1,500×D600×H600	6	撤去	配膳室	(R)	木製掃除用具入	W600×D400×H1,900	1	撤去	配膳室	(R)	(冷蔵庫)	(業務用・大型)	1	一時移動再設置
	(F)	ステンレス製傘立	W1,500×D300×H600	2	撤去		(F)	木製掃除用具入	W2,340×D750×H1,900	1	撤去						
はやぶさ2組	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去	テント倉庫	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去	テント倉庫	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去
	(F)	木製背置ロッカー	W6,185×D400×H1,320	1	撤去		(F)	木製掃除用具入	W3,730×D430×H1,800	1	撤去		(F)	木製掃除用具入	W3,520×D400×H1,800	1	撤去
体育準備室	(R)	スチール製ロッカー	W900×D510×H1,800	3	(移設)	廊下流し	(R)	ステンレス製流し	W3,750×Dライニング550・100×H1,140/660	1	撤去、(水栓5ヶ)	廊下流し	(R)	ステンレス製流し	W3,750×Dライニング550・100×H1,140/660	1	撤去、(水栓6ヶ)
	(F)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		(F)	ステンレス製深流し	W3,750×Dライニング550・100×H1,140/660	1	撤去		(F)	木製掃除用具入	W3,730×D430×H1,800	1	撤去
第2相談室	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去	防災倉庫	(R)	木製掃除用具入	W(3,250-3,500)×D750×H1,900	1	塗替(SOP・UC)、一時撤去再取付	防災倉庫	(R)	木製掃除用具入	W(4,400-1,000)×D750×H1,900	1	塗替(SOP・UC)
	(F)	木製掃除用具入	W6,185×D400×H1,320	1	撤去		(F)	木製掃除用具入	W3,380×D600×H2,750	1	塗替(SOP・UC)		(F)	木製掃除用具入	W3,010×D600×H2,750	1	塗替(SOP・UC)
ふれあい相談室	(R)	スチール製棚	W800×D450×H930	1	(移設)	技術準備室	(R)	木製掃除用具入	W2,250×D600×H2,750	2	塗替(SOP・UC)	技術準備室	(R)	スチール製棚	W880×D440×H1,500	1	(移設)
	(F)	木製掃除用具入	W1,340×D340×H940	1	撤去		(F)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	塗替(SOP・UC)		(F)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去
保健室	(R)	木製掃除用具入	W4,230×D400×H900	1	撤去	木工室	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去	木工室	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去
	(F)	コンロ台	W600×D550×H640	2	撤去		(F)	木製作業台	W1,900×D500×H760	1	撤去		(F)	木製作業台	W1,900×D500×H760	1	撤去
ふれあい相談室	(R)	ステンレス製流し台	W1,200×D550×H800/930	1	撤去	木工室	(R)	ステンレス製流し	W5,400×D550×H700・755	1	撤去、(水栓6ヶ)	木工室	(R)	木製製図板	W1,120×D500×H1,580	1	撤去
	(F)	押入	W1,400×D980×H3,040	1	撤去		(F)	木製製図板	(両替SUS/パイプ)	W1,820×D900/980×H760	1		撤去	(F)	木製製図板	W1,820×D900/980×H760	1
ふれあい相談室	(R)	木製掃除用具入	W450×D600×H1,900	1	撤去	木工室	(R)	木製掃除用具入	W290×D280×H2,020	1	一時移動再設置	木工室	(R)	木製後生用工作台	W1,800×D900×H700	8	撤去
	(F)	木製授業収納	W290×D280×H2,020	1	一時移動再設置												

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

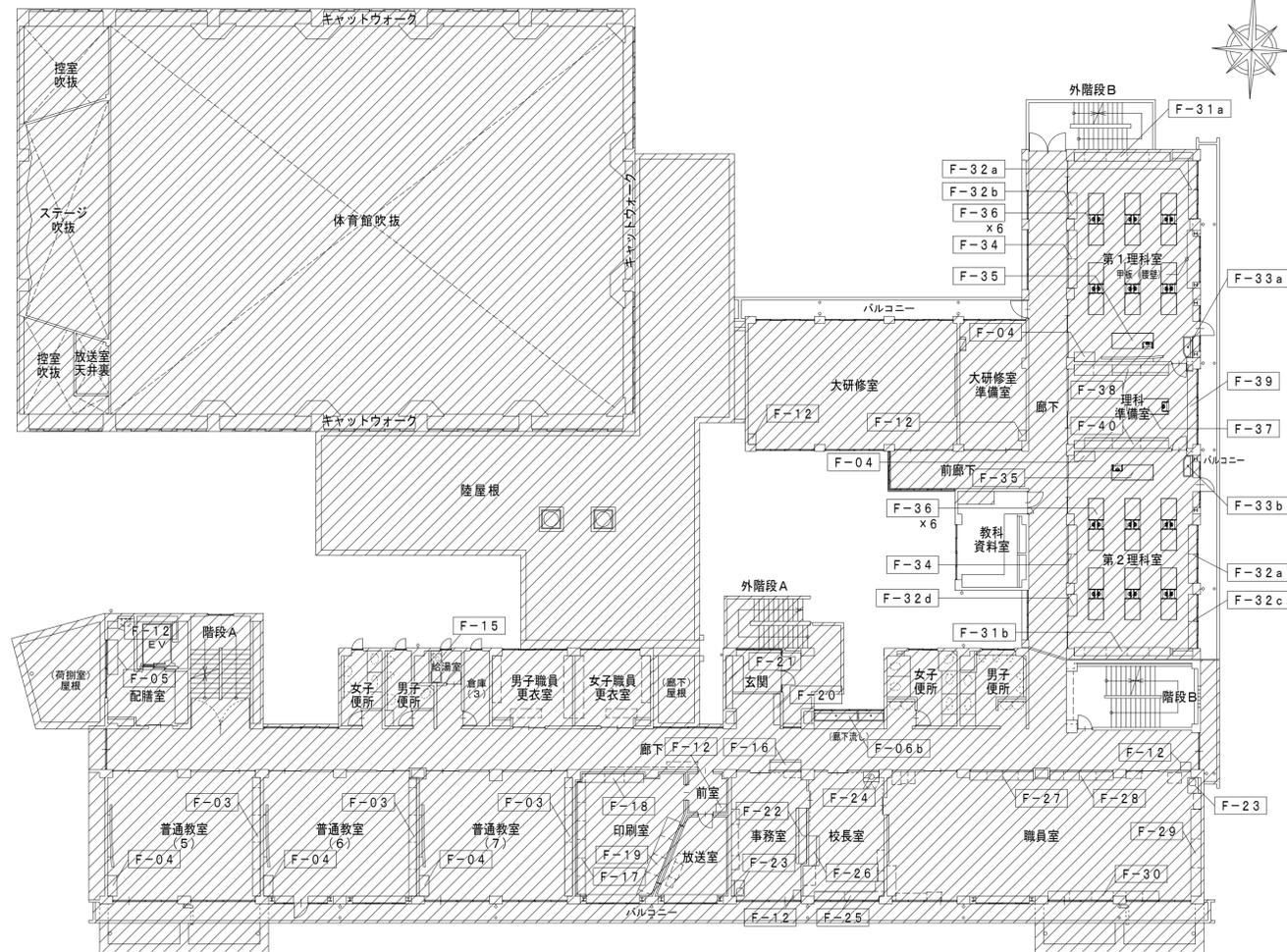
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 1階家具キープラン、既存家具リスト
No. A-52

改修前



改修前 2階家具キープラン S=1/200

改修後



改修後 2階家具キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】家具を示す。詳細は、家具詳細図による。

【2階】 既存家具リスト 凡例 (F0) は、【撤去】家具を示す。(F1) は、既存改修家具【塗替・一時移動再設置・(移設)】を示す。塗替(SOP・UC)は、(外側)SOP、(内側)UCを示す。(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容		
会議室	(F0)	木製掃除用具入	W600×D405×H1,900	1	撤去	事務室	(F1)	ステンレス製流し台	W750×D550×H810/100	1	撤去	湯沸室	(F1)	ステンレス製流し台	W1,200×D550×H800/930	1	撤去	理科準備室	(F1)	ステンレス製流し作業台(タイル貼)	W4,570×D555×H730/770	1	撤去、(水栓2ヶ)		
研修室	(F1)	スチール製戸棚	W1,800×D400×H1,850	5	(移設)		(F2)	木製吊り戸棚	W750×D370×H500	1	撤去		(F1)	木製吊り戸棚	W1,200×D380×H500	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W4,850×D450/600×H1,900	1	撤去		
	(F2)	木製掃除用具入	W600×D450/600×H1,900	1	撤去		(F4)	木製食器棚	W860×D350×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	コンロ台	W600×D500×H1,800	1	撤去		(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		
	(F4)	木製戸棚	W900×D400×H1,500	1	撤去		(F6)	スチール製戸棚	W1,800×D400×H1,850	1	一時移動再設置	建具倉庫	(F1)	木製棚	W600×D400×H1,800	1	撤去		(F1)	木製実験台	W2,400×D900×H850	1	撤去		
	(F6)	木製戸棚	W1,200×D370×H1,030	1	撤去		(F8)	木製棚	W800×D450×H730	1	一時移動再設置	職員更衣室	(F1)	木製掃除用具入	W600×D500×H1,900	1	撤去		(F1)	木製戸棚(天板SUS)	W2,700×D560×H800/820	1	撤去		
印刷室	(F1)	木製掃除用具入	W600×D400×H1,900	1	撤去		(F11)	スチール製戸棚	W1,000×D400×H900	1	一時移動再設置		(F1)	スチール製ロッカー	W900×D510×H1,800	17	一時移動再設置		(F1)	ステンレス製流し	W1,330×D550×H1,000/1,200	1	撤去、(水栓2ヶ)		
	(F1)	木製棚	W5,080×D450/600×H1,900	1	撤去	校長室	(F1)	大型耐火金庫	W1,142×D684×H1,580,620kg	1	一時移動再設置		(F1)	スチール製ロッカー	W600×D510×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	ステンレス製薬品庫	W900×D500×H900	2	一時移動再設置		
	(F1)	スチール製戸棚	W1,200×D400×H1,820	1	(移設)		(F1)	木製戸棚	W1,800×D460×H1,900	1	撤去	玄関	(F1)	木製下足入	W3,020×D380×H1,650	1	撤去		(F1)	スチール製薬品庫	W900×D320×H900	1	一時移動再設置		
	(F1)	木製作業台	W4,900×D750×H1760	1	撤去		(F4)	洗面化粧台	W750×D390×H720	1	撤去		(F1)	スチール製下足入	W900×D380×H880	2	撤去		(F1)	ステンレス製薬品庫	W900×D320×H900	1	一時移動再設置		
前廊下	(F1)	スチール製戸棚	W880×D400×H1,120	1	(移設)		(F1)	(洗面) 上部木製化粧棚	W730×D170×H380	1	撤去	廊下流し	(F1)	ステンレス製深流し	W3,750×Dライニング550・100×H1,140/660 深流しW1506	1	撤去、(水栓6ヶ)	第2理科室	(F1)	ステンレス製流し	W1,200×D550×H700/755	1	撤去		
臨時教壇室	(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		(F4)	木製戸棚	W1,200×D400×H900	1	一時移動再設置	教科資料室	(F1)	木製棚	W3,270×D3,490×D750×H1,900	1	撤去		(F1)	木製下戸棚	W3,340×D500×H770	1	撤去		
	(F1)	木製戸棚	W2,500×D450/600×H1,900	1	撤去		(F4)	木製ワードローブ	W600×D400×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	木製棚	W2,000×D750×H1,900	1	撤去		(F1)	木製下戸棚	W3,100×D500×H770	1	撤去		
	(F1)	ベッド	W1,800×D700×H600	2	(移設)		(F4)	木製戸棚	W700×D600×H760(プリンター置場)	1	撤去	コンピューター室	(F1)	木製掃除用具入	W600×D470×H1,900	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W4,900×D500×H770	1	撤去		
用度倉庫	(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W3,740×D500×H760	1	撤去		(F1)	教卓	W1,800×D800×H650	2	(移設)		(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		
	(F1)	木製棚	W3,100×D450/600×H1,900	1	撤去	職員室	(F1)	スチール製戸棚	W510×D760×H1,550	1	一時移動・再設置		(F1)	生体用机	W1,500×D800×H650	20	(移設)		(F1)	スチール製戸棚	W1,760×D400×H970	2	(移設)		
	(F1)	木製棚	W870×D300×H1,800	1	撤去		(F1)	スチール製戸棚	W400×D700×H700	2	一時移動・再設置	コンピューター準備室	(F1)	スチール製棚	W880×D440×H1,800	4	(移設)		(F1)	スチール製戸棚	W880×D500×H1,800	1	(移設)		
	(F1)	スチール製棚	W1,370×D990×H930	1	撤去		(F4)	スチール製戸棚	W3,650×D500×H1,900	1	撤去		(F1)	スチール製戸棚	W880×D400×H1,800	1	(移設)		(F1)	木製戸棚	W1,370×D500×H720	1	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W880×D450×H1,800	3	(移設)		(F4)	スチール製戸棚	W1,830×D500×H1,900	1	撤去		(F1)	木製掃除用具入	W600×D470×H1,900	1	撤去		(F1)	ステンレス製薬品庫	W930×D400×H900	1	(移設)		
	(F1)	スチール製棚	W880×D400×H1,800	1	(移設)		(F1)	スチール製戸棚	W1,830×D500×H800	1	撤去	前廊下	(F1)	スチール製下足入	W1,460×D550×H1,100	2	撤去		(F1)	木製戸棚	W3,300×D500×H770	1	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W680×D450×H1,800	3	(移設)		(F1)	スチール製戸棚	W880×D400×H880	1	一時移動再設置	第1理科室	(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去		(F1)	ステンレス製薬品庫	W930×D400×H900	1	(移設)		
	(F1)	スチール製棚	W680×D400×H1,800	1	(移設)		(F1)	(家庭用)		1	一時移動再設置		(F1)	木製戸棚	W1,500×D450×H1,900	3	撤去		(F1)	木製戸棚	W1,500×D450×H1,900	1	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W1,800×D400×H1,130	2	(移設)		(F1)	ステンレス製流し台	W750×D690・175×H920/800	1	撤去		(F1)	木製下戸棚	W3,340×D500×H770	1	撤去		(F1)	ステンレス製薬品庫	W830×D420×H1,180	1	(移設)		
	(F1)	スチール製棚	W680×D450×H1,900	2	(移設)		(F1)	スチール製食器棚	W900×D420×H2,150	1	一時移動・再設置		(F1)	ステンレス製流し	W1,200×D550×H700/755	1	撤去、(水栓2ヶ)		(F1)	木製教師用実験台	W2,740×D900×H850	1	撤去		
	(F1)	木製棚	W3,620×D900×H1,800	1	撤去		(F1)	スチール製戸棚	W5,000×D560×H1,900	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W1,500×D420×H1,900	1	撤去		(F1)	木製生体用実験台	W2,940×D900×H750	6	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W680×D500×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	木製戸棚	W6,340×D500×H760	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W3,500×D550×H770	1	撤去		(F1)	木製生徒用実験台	W2,940×D900×H750	6	撤去		
放送室	(F1)	スチール製棚	W880×D380×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	スチール製戸棚	W880×D480×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	木製戸棚	W1,800×D450×H900	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,740×D900×H850	1	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W680×D450×H1,800	1	一時移動再設置		(F1)	スチール製戸棚	W1,760×D400×H880	1	一時移動再設置		(F1)	木製戸棚	W1,500×D500×H770	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		
	(F1)	スチール製棚	W690×D450×H1,900	1	撤去		(F1)	スチール製戸棚	W1,760×D510×H940	1	一時移動再設置		(F1)	木製製用実験台	W2,740×D900×H850	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		
前室	(F1)	スチール製ヘルメット収納	W460×D700×H700	1	一時移動再設置		(F1)	スチール製戸棚	W1,760×D510×H940	1	一時移動再設置		(F1)	木製生体用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		
	(F1)	木製掃除用具入	W600×D450×H1,900	1	撤去	配膳室	(F1)	木製棚	W2,890×D750×H1,900	1	一時移動再設置		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		
	(F1)	木製棚	W3,200×D450/600×H1,900	1	撤去		(F1)	木製棚	W2,340×D750×H1,400	1	撤去		(F1)	理科準備室	(F1)	CB造薬品庫	W1,400×D750×H800	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去
	(F1)	木製棚	W970×D430×H800	1	撤去		(F1)	木製棚	W2,340×D750×H1,400	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W2,450×D450/600×H1,900	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		
	(F1)	木製掃除用具入	W600×D400×H1,900	1	撤去		(F1)	木製掃除用具入	W600×D400×H1,900	1	撤去		(F1)	木製戸棚	W2,450×D450/600×H1,900	1	撤去		(F1)	木製展示用実験台	W2,940×D900×H750	1	撤去		

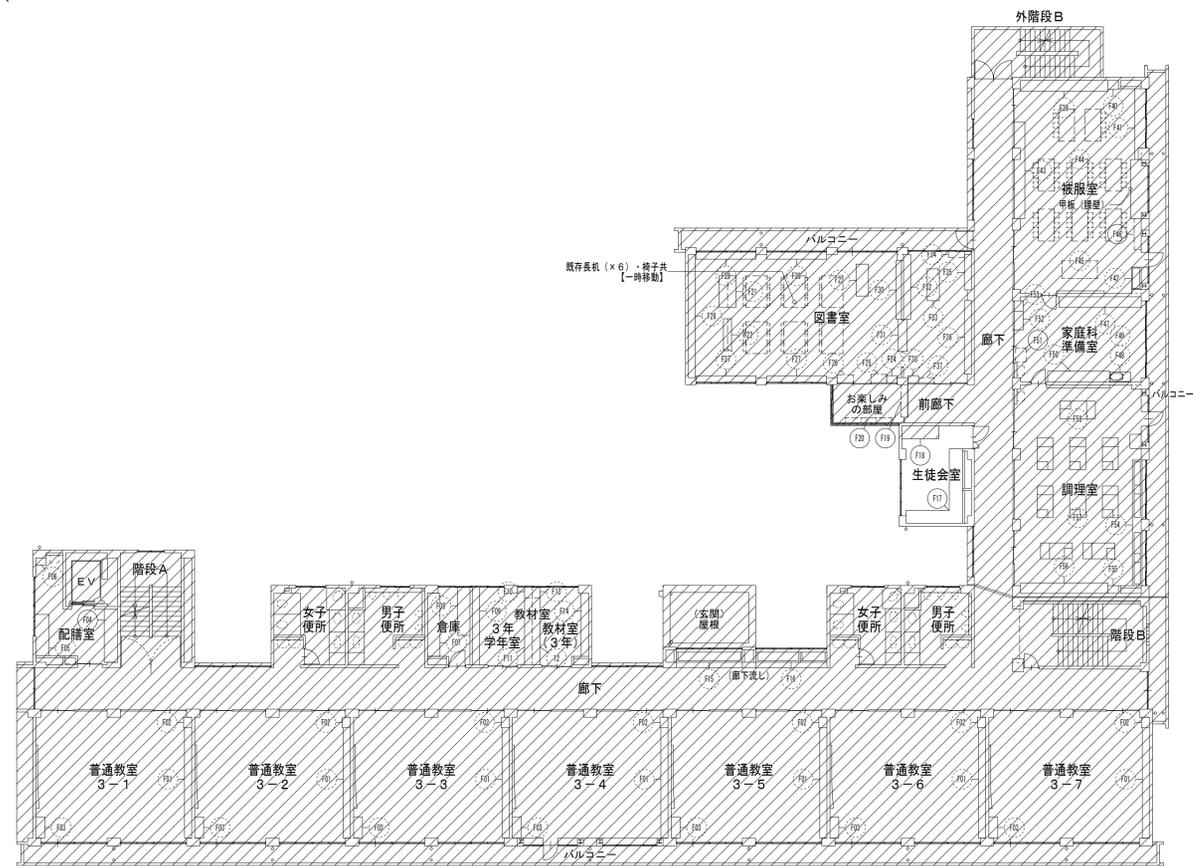
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 2階家具キープラン、既存家具リスト No. A-53

改修前

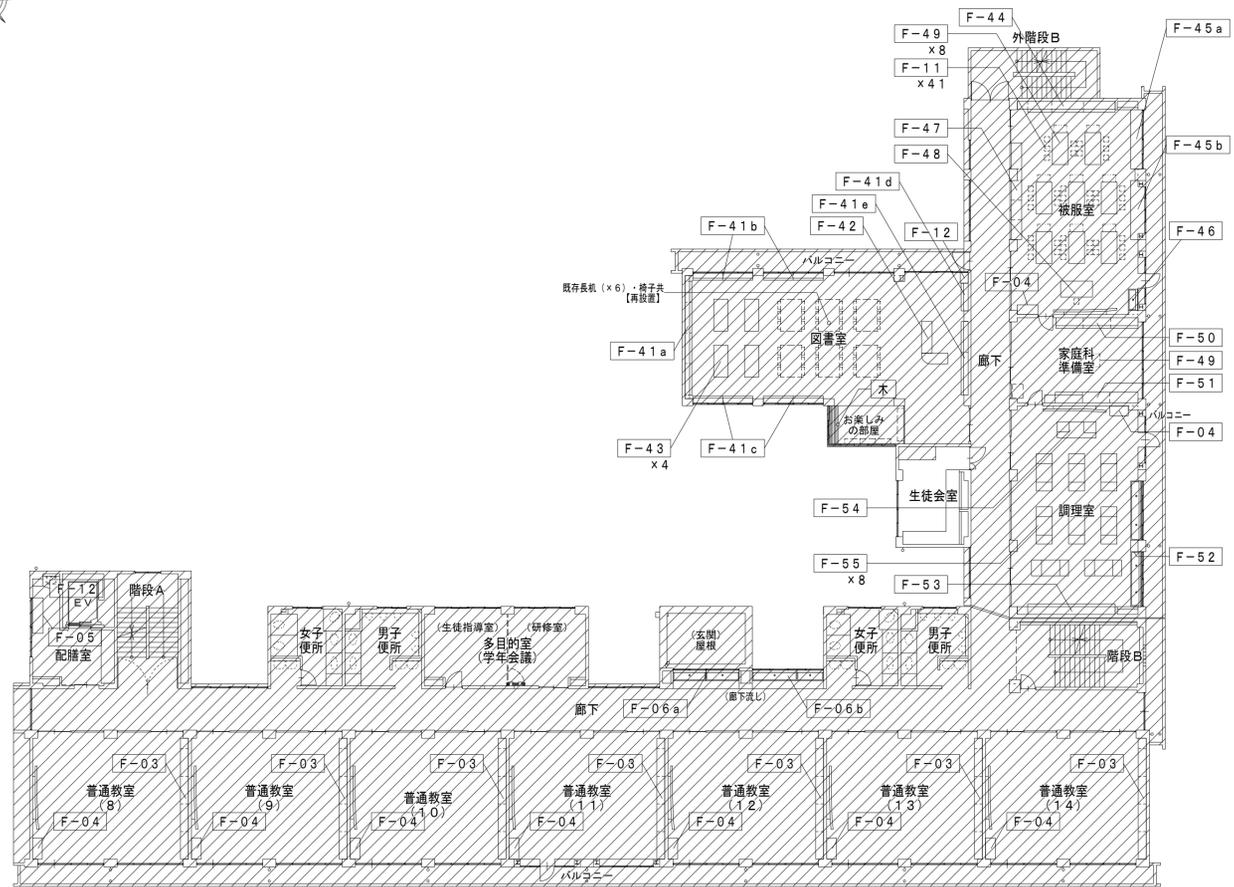
N



改修前 3階家具キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 3階家具キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】家具を示す。詳細は、家具詳細図による。木 は、木製ベンチを示す。(部分詳細図：木質化ベンチ参照)

【3階】 既存家具リスト 凡例 (R) は、【撤去】家具を示す。(F) は、既存改修家具【塗替・一時移動再設置・(移設)】を示す。塗替(SOP・UC)は、(外側)SOP、(内側)UCを示す。(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

Table with 10 columns: Room Name, Code, Type, Size (WxDxH), Quantity, Modification Content, Room Name, Code, Type, Size (WxDxH), Quantity, Modification Content. It lists furniture items to be removed or replaced across various rooms like classrooms, library, and restrooms.

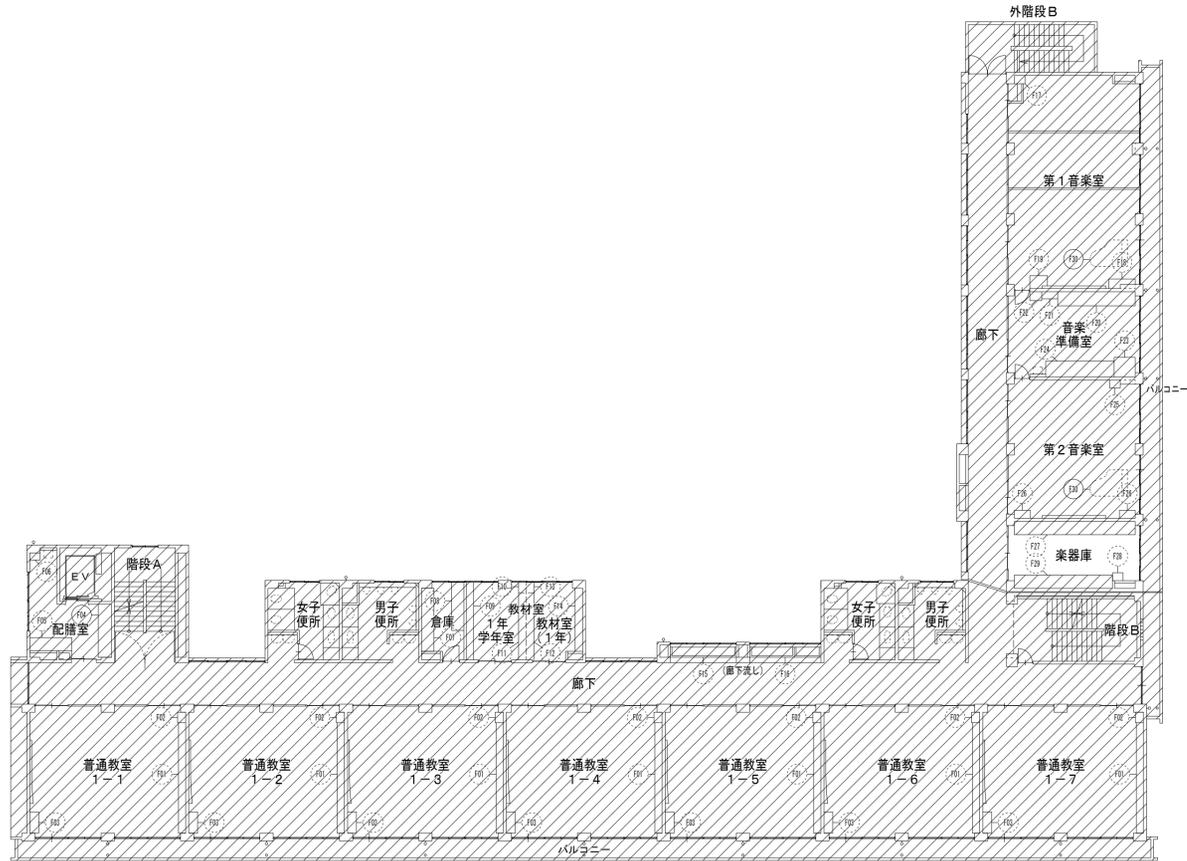
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榎引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 3階家具キープラン、既存家具リスト
No. A-54

改修前

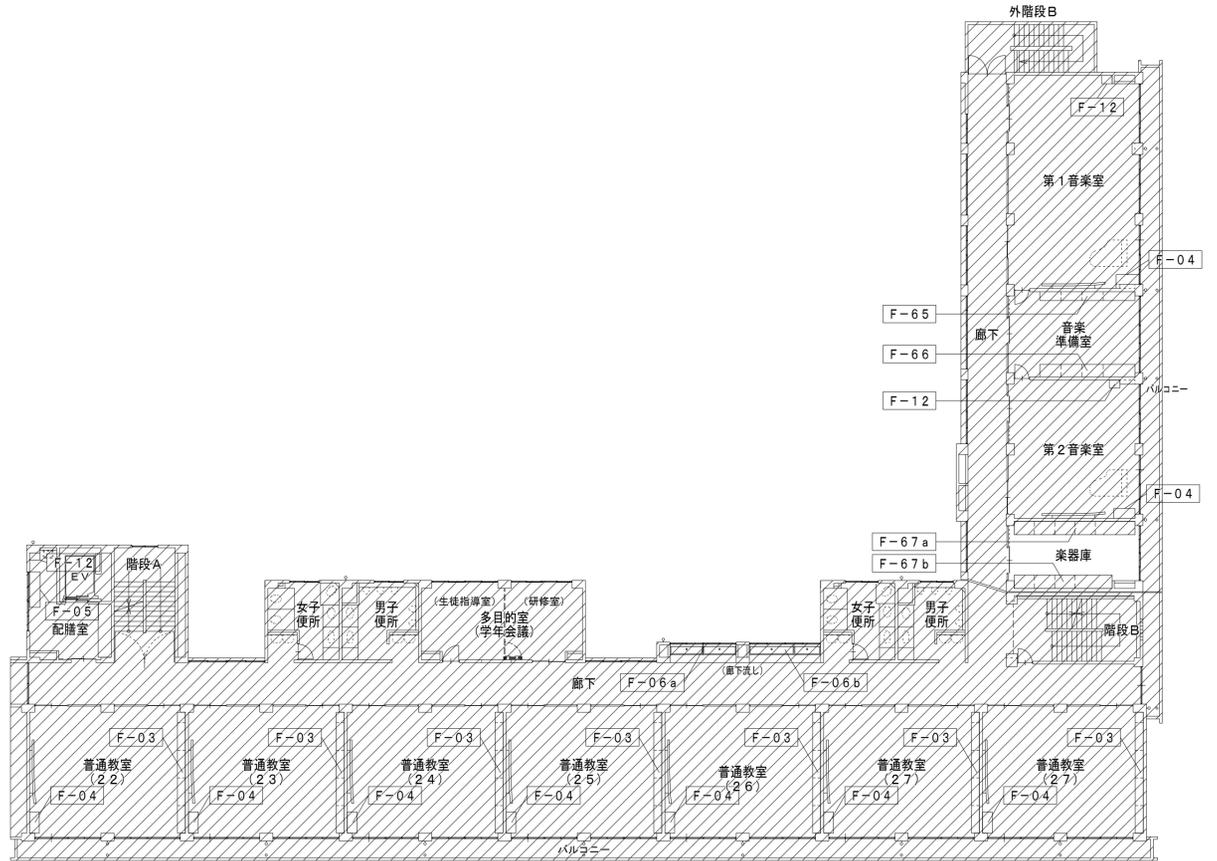
N



改修前 5階家具キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 5階家具キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】家具を示す。詳細は、家具詳細図による。

【5階】 既存家具リスト 凡例：(R)は、【撤去】家具を示す。(F)は、既存改修家具【塗替・一時移動再設置・(移設)】を示す。塗替(SOP・UC)は、(外側)SOP、(内側)UCを示す。(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

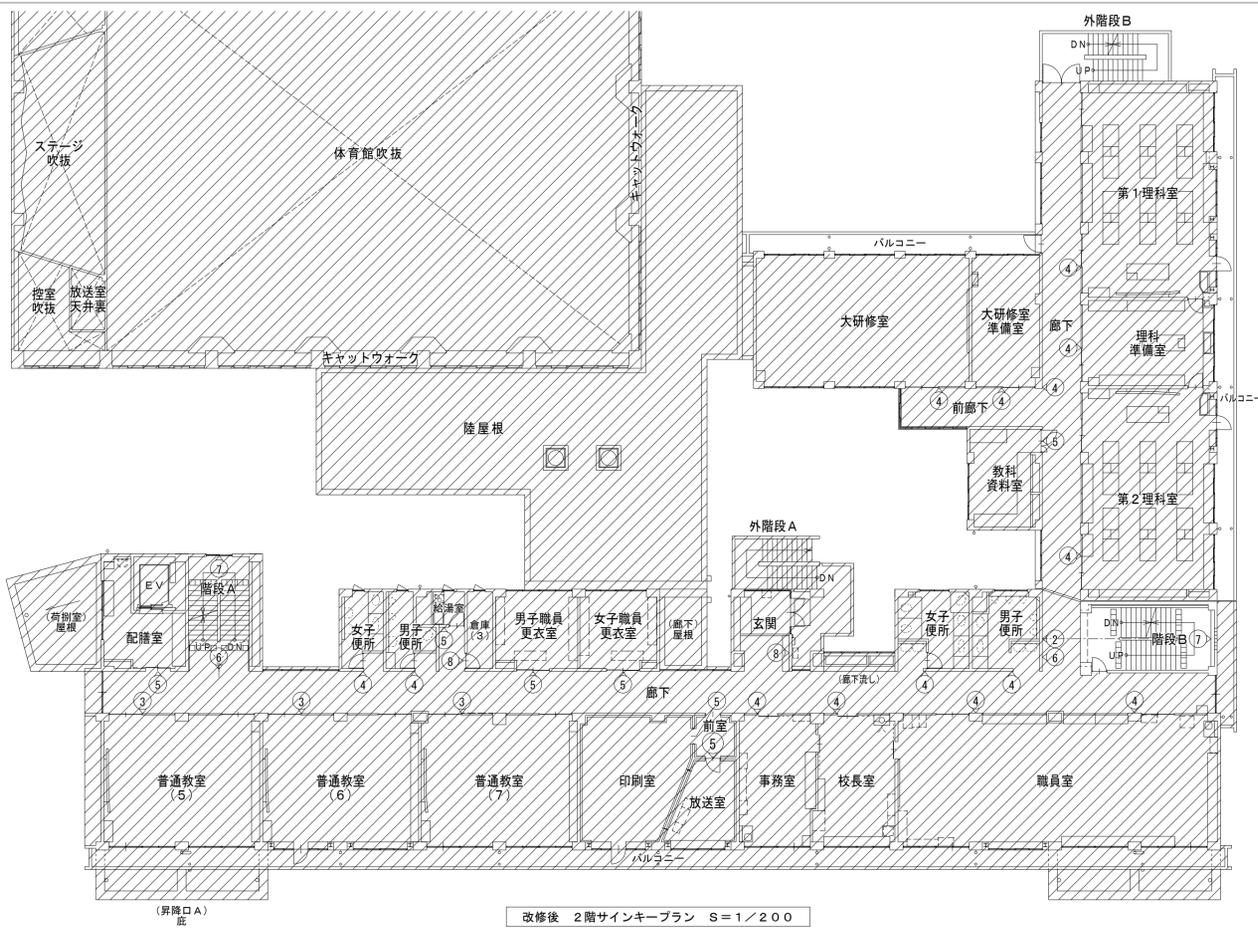
室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×D×H)	数量	改修内容
普通教室	(R)	木製背面ロッカー	W6, 185×D400×H1, 320	7	撤去												
	(R)	木製掃除用具入	W595×D450×H1, 900	7	撤去												
	(R)	木製教師用戸棚	W1, 200×D510×H1, 500	7	撤去												
配膳室	(R)	木製棚	W2, 890×D750×H1, 900	1	一時移動再設置												
	(R)	木製棚	W2, 340×D750×H1, 400	1	撤去												
倉庫	(R)	木製掃除用具入	W600×D400×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製棚	W3, 540×D700×H1, 900	1	撤去												
学年室	(R)	木製棚	W2, 720×D700×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製棚	W4, 330×D400×H1, 800	1	撤去												
教材室	(R)	木製掃除用具入	W600×D430×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製棚	W3, 730×D430×H1, 800	1	撤去												
	(R)	木製掃除用具入	W600×D430×H1, 900	1	撤去												
廊下	(R)	ステンレス製流し	W3, 750×Dライニング550・100×H1, 140/660	1	撤去、(水栓5ヶ)												
	(R)	ステンレス製深流し	W3, 750×Dライニング550・100×H1, 140/660	1	撤去、(水栓5ヶ)												
	(R)	深流し	W1, 500	1	撤去												
第1音楽室	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製教師用棚	W1, 000×D520・300(L型)×H800	1	撤去												
	(R)	木製教師用棚	W1, 500×D720×H800	1	撤去												
音楽準備室	(R)	木製戸棚	W4, 400×D600/800×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製戸棚	W900×D420×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製戸棚	W1, 200×D990×H2, 700	1	撤去												
第2音楽室	(R)	木製戸棚	W3, 800×D880×H2, 700	1	撤去												
	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製教師用棚	W1, 000×D500×H800	2	撤去												
楽器庫	(R)	木製戸棚	W6, 785×D750×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製掃除用具入	W600×D450×H1, 900	1	撤去												
	(R)	木製戸棚	W6, 505×D750×H1, 900	1	撤去												
第1・2音楽室	(F)	(ピアノ)	(グランドピアノ)	2	一時移動再設置												

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

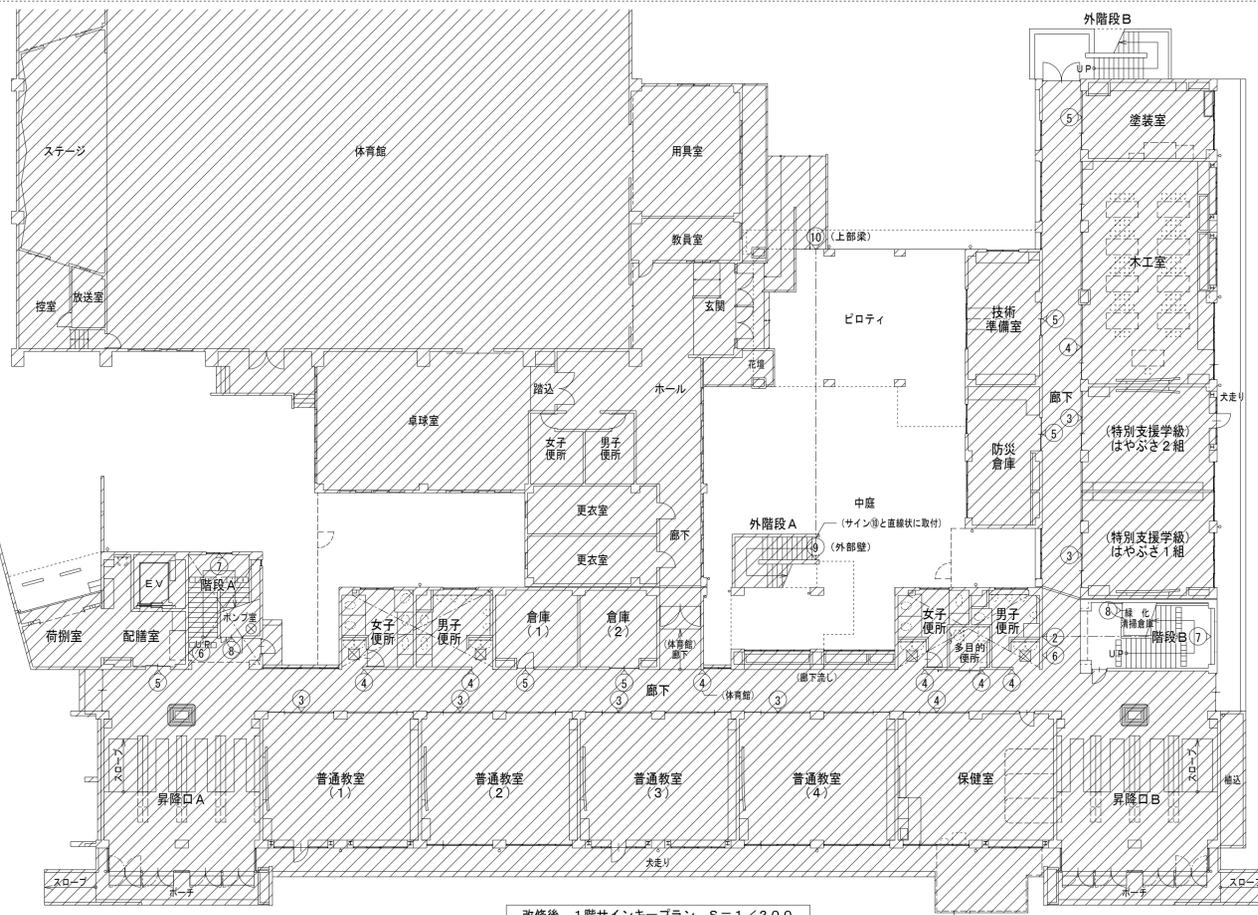
承認 設計 担当

縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

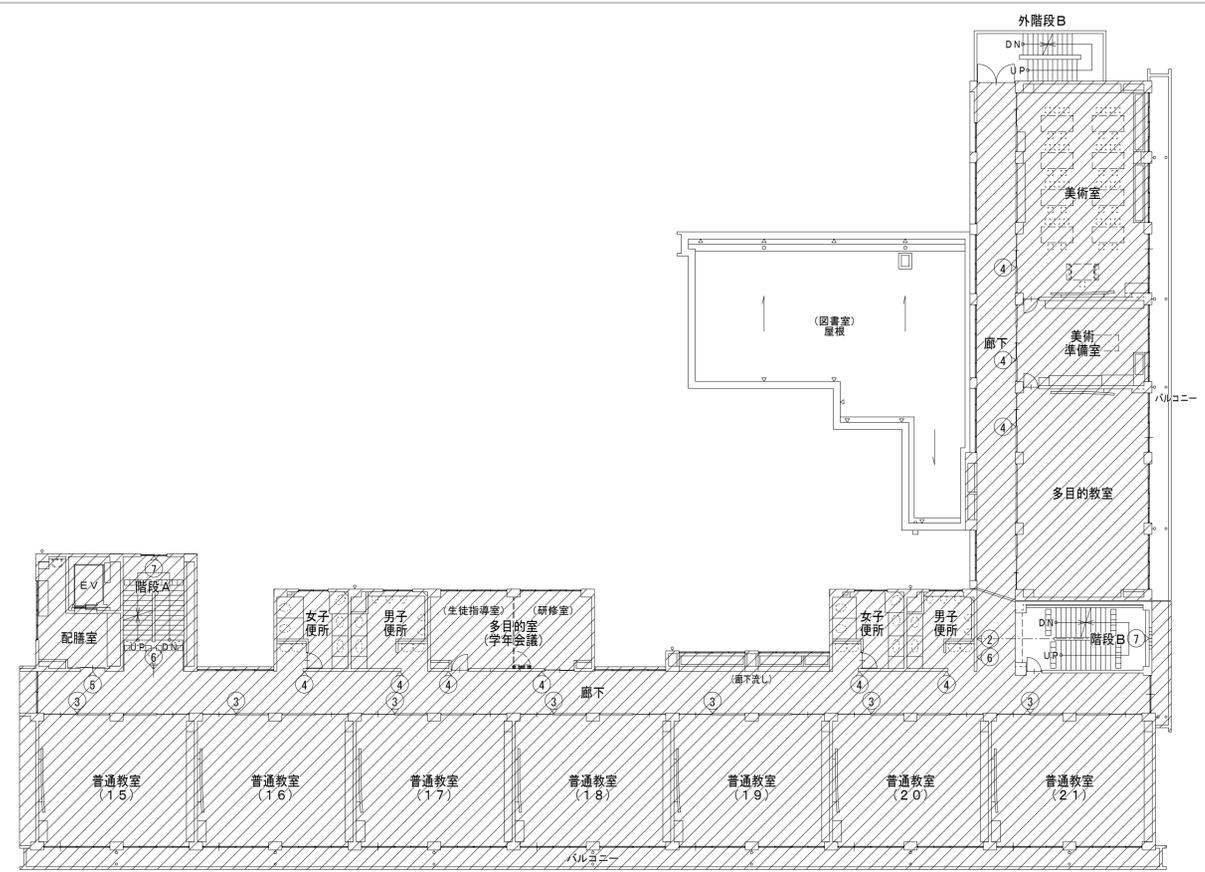
工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 5階家具キープラン、既存家具リスト



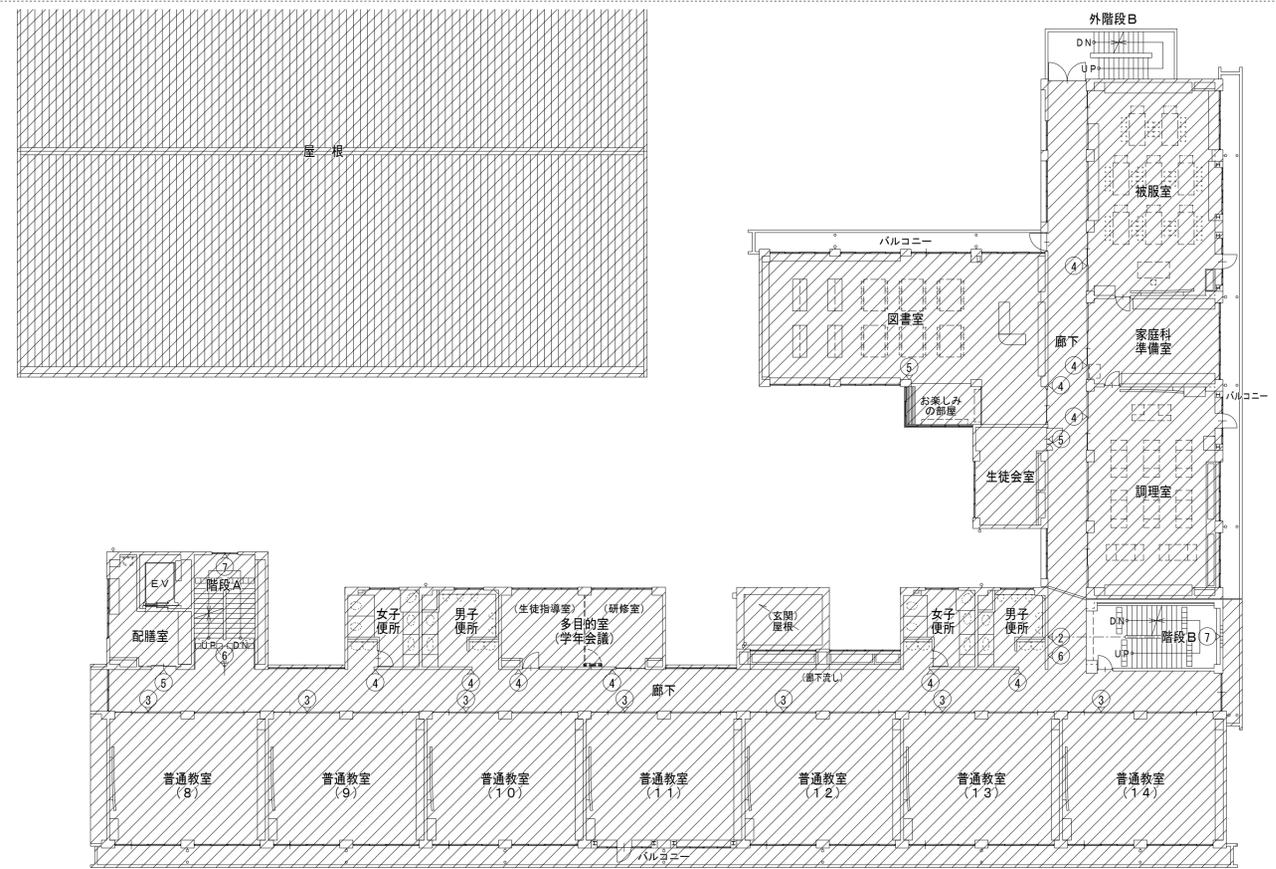
改修後 2階サインキープラン S=1/200



改修後 1階サインキープラン S=1/200

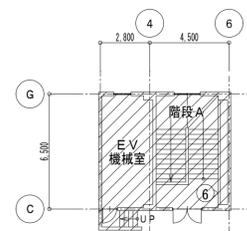


改修後 4階サインキープラン S=1/200

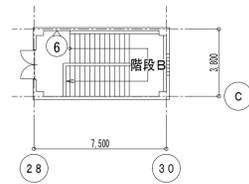


改修後 3階サインキープラン S=1/200

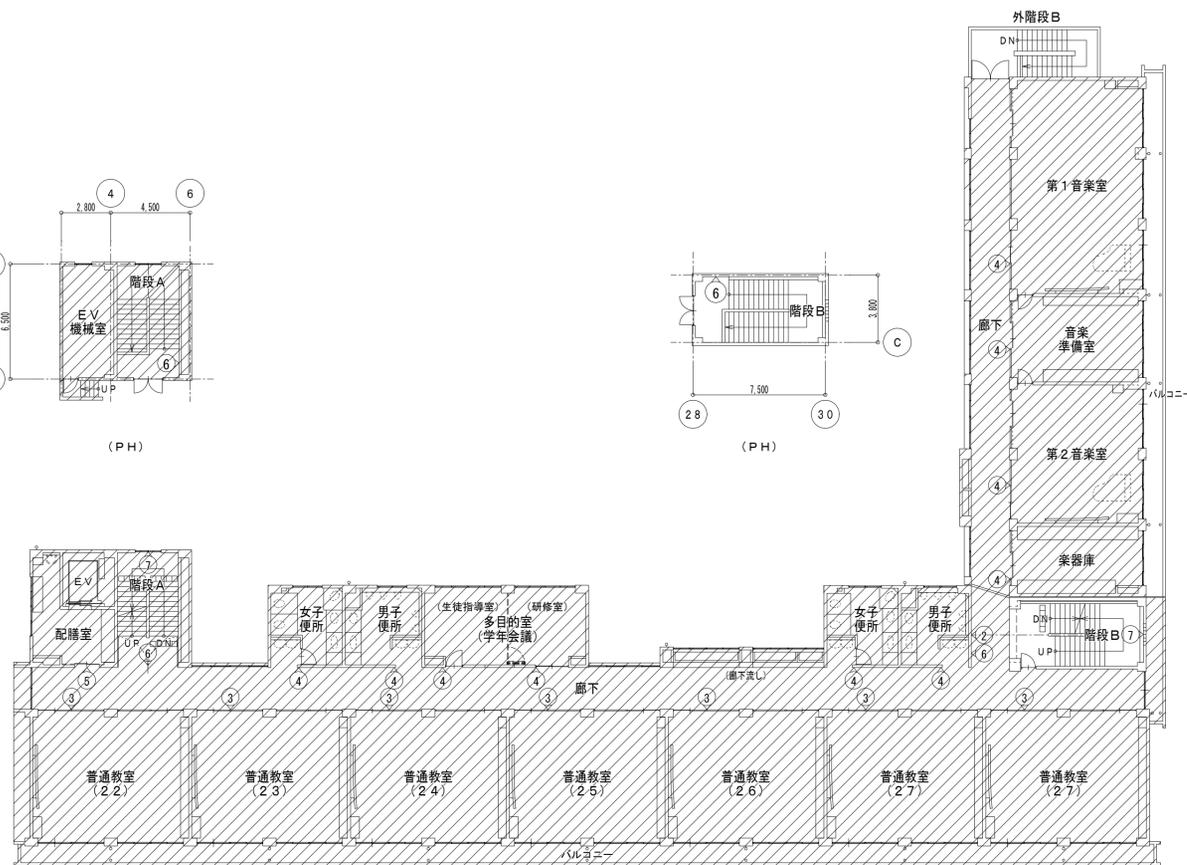
※1. 新設サインを示す。詳細は、サイン詳細図による。
 ※2. 普通教室(+): 改修後のクラス名は、室名札の製作前に確認する。



(PH)



(PH)



改修後 5階サインキープラン S=1/200

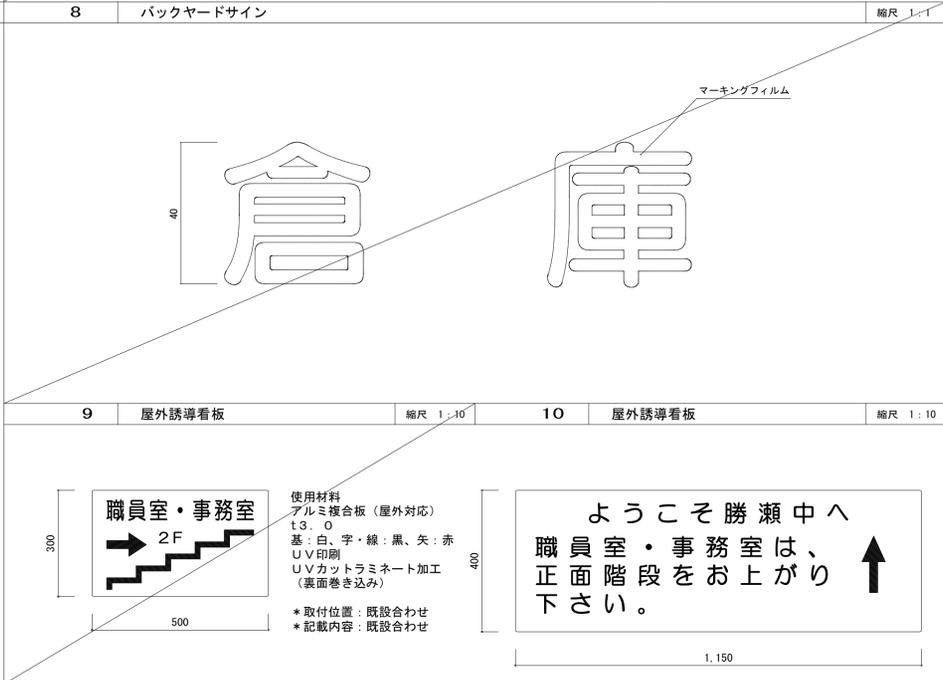
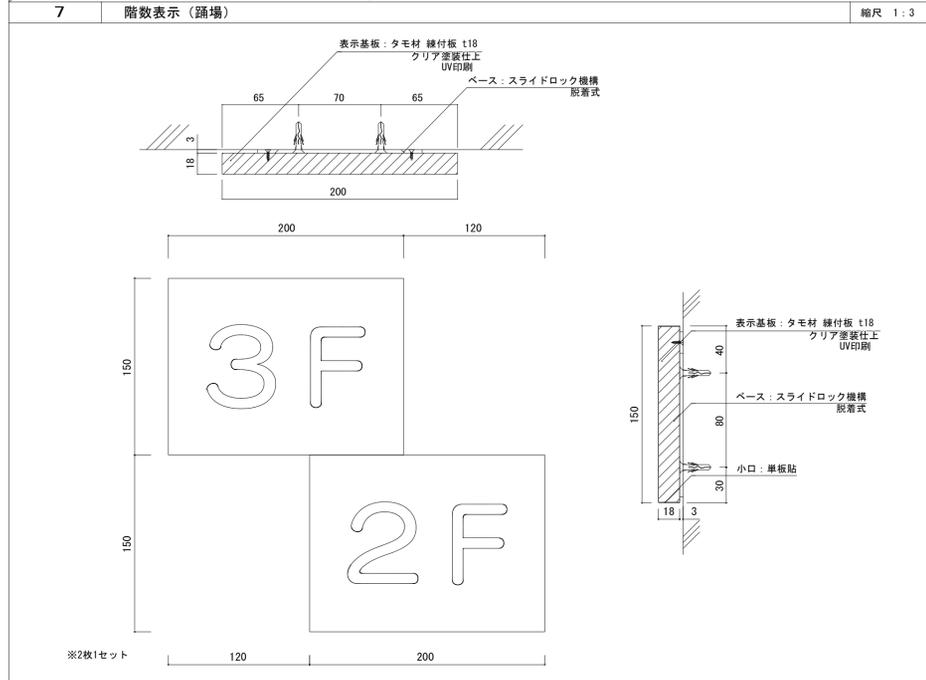
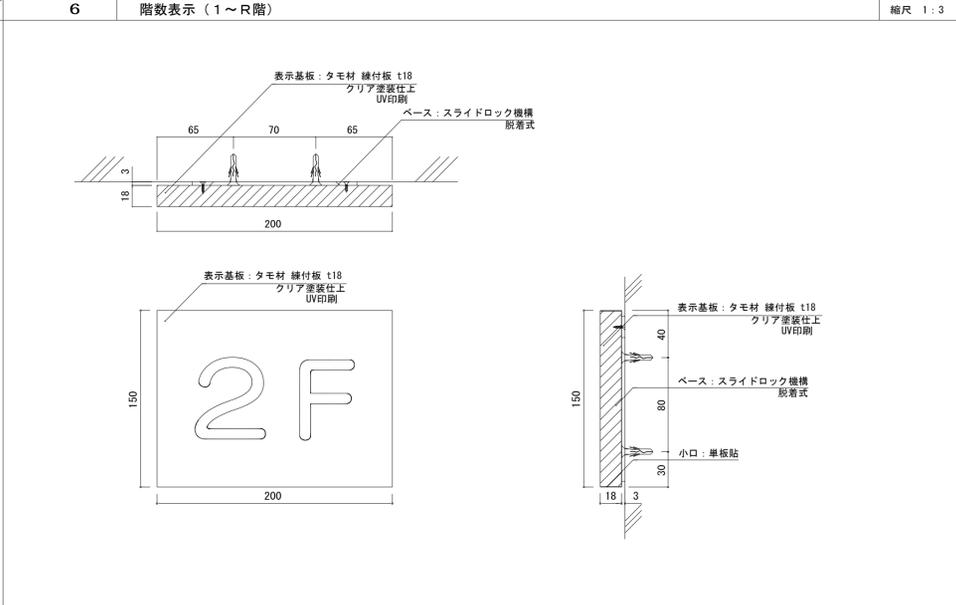
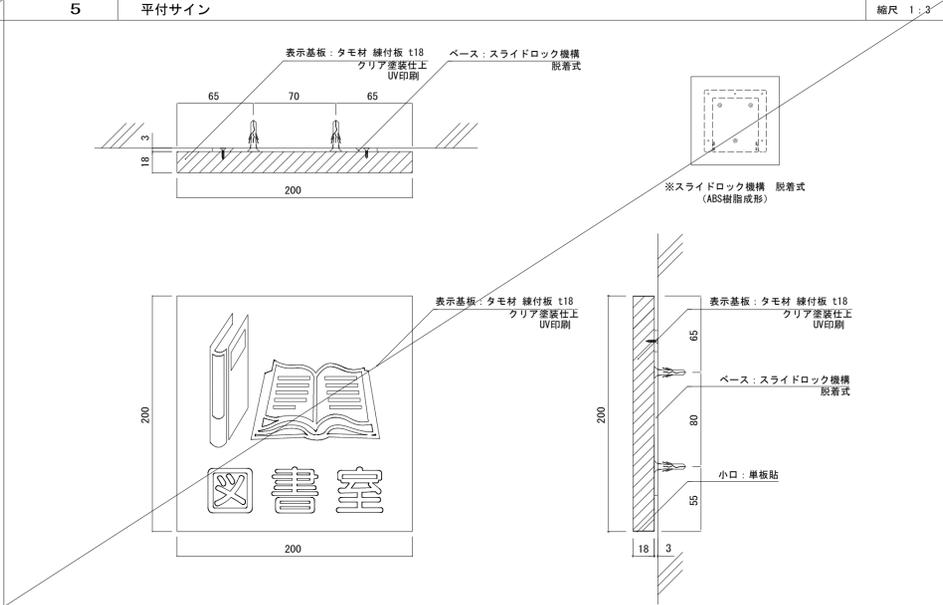
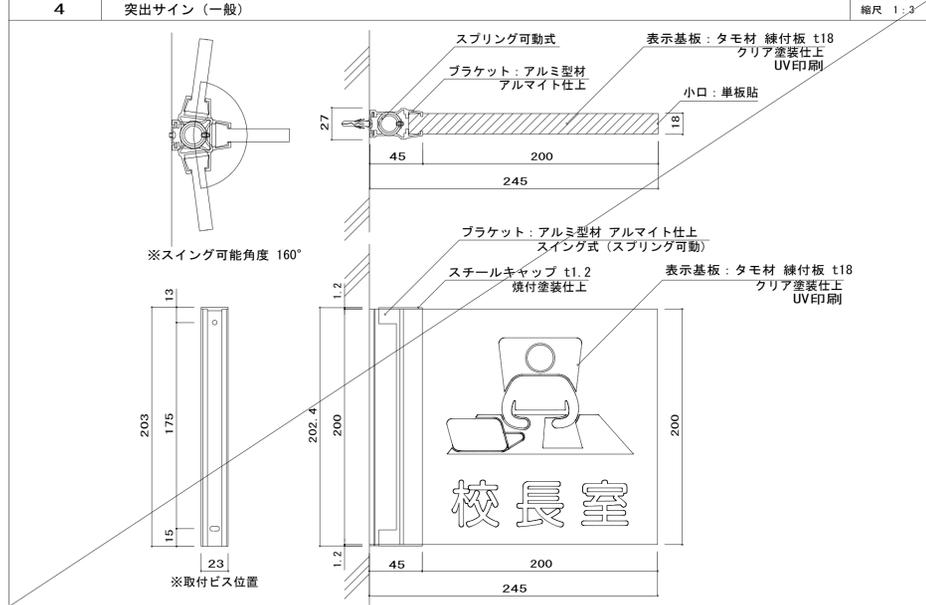
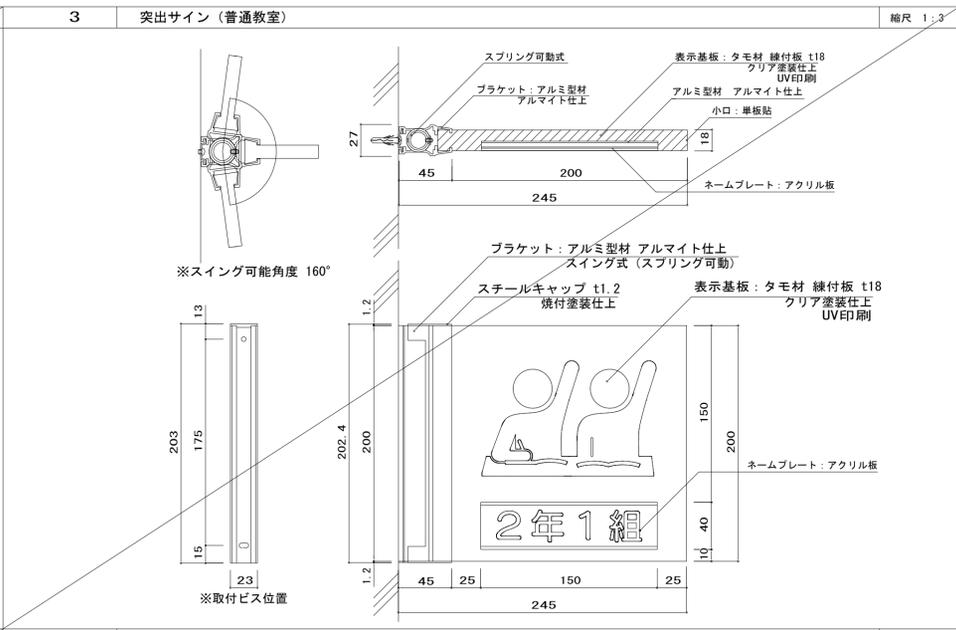
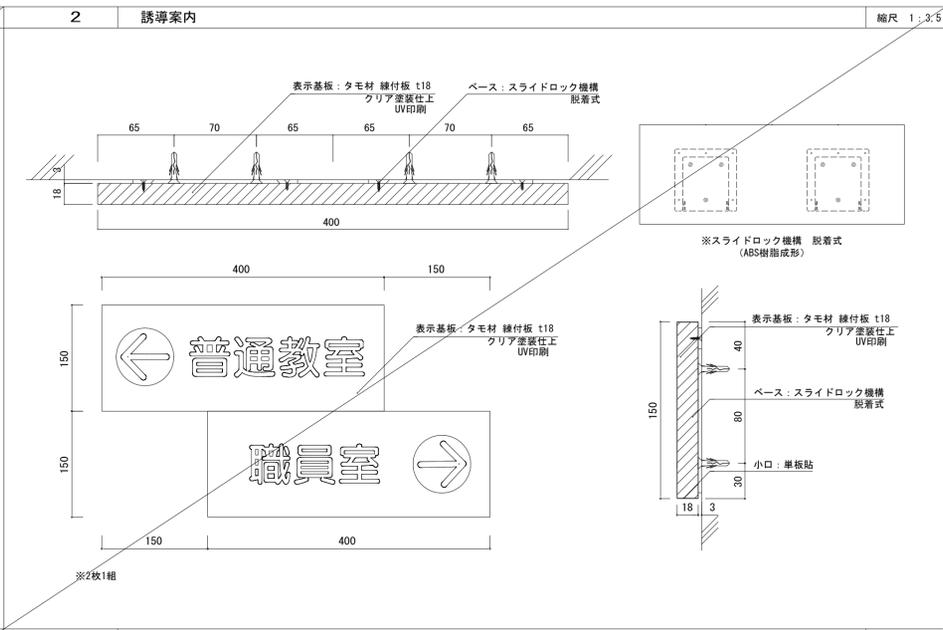
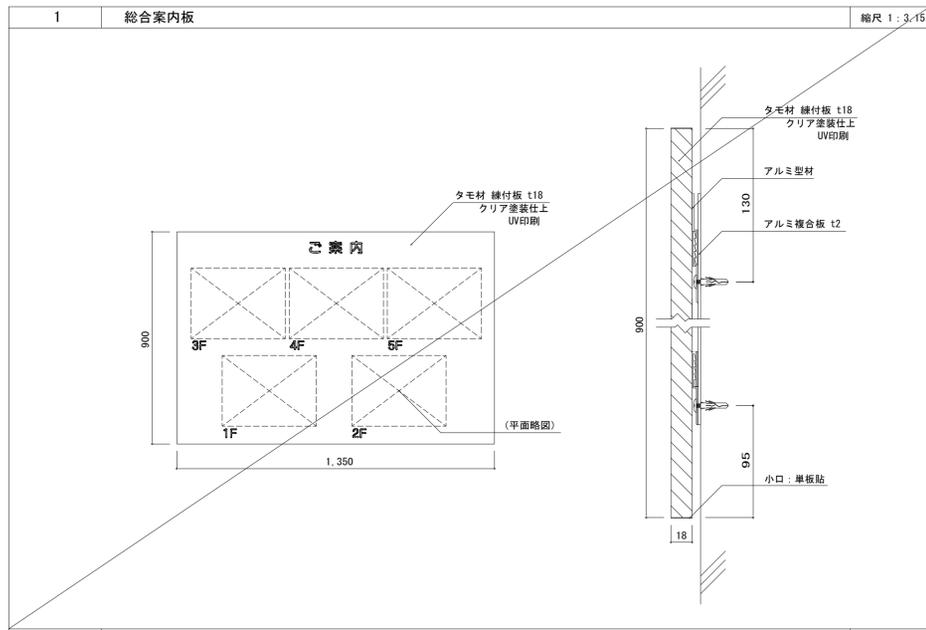
※1. 新設サインを示す。詳細は、サイン詳細図による。
 (既存室名札・サインは、工期毎の内部改修に伴い全て撤去とする)
 ※2. 普通教室 (+) : 改修後のクラス名は、室名札の製作前に確認する事。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第2期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 サインキープラン2



■サイン特記仕様 ※製作にあたり改修後の室名について確認すること。

[1] 使用材料

- 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応)
- アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
- アクリル : JIS-K-6718-1 (キャスト板) , JIS-K-6718-2 (押出板)
- ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上

[2] フォント

- 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

[3] ピクトグラム

- 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4] ユニバーサルデザイン

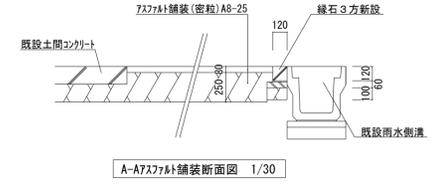
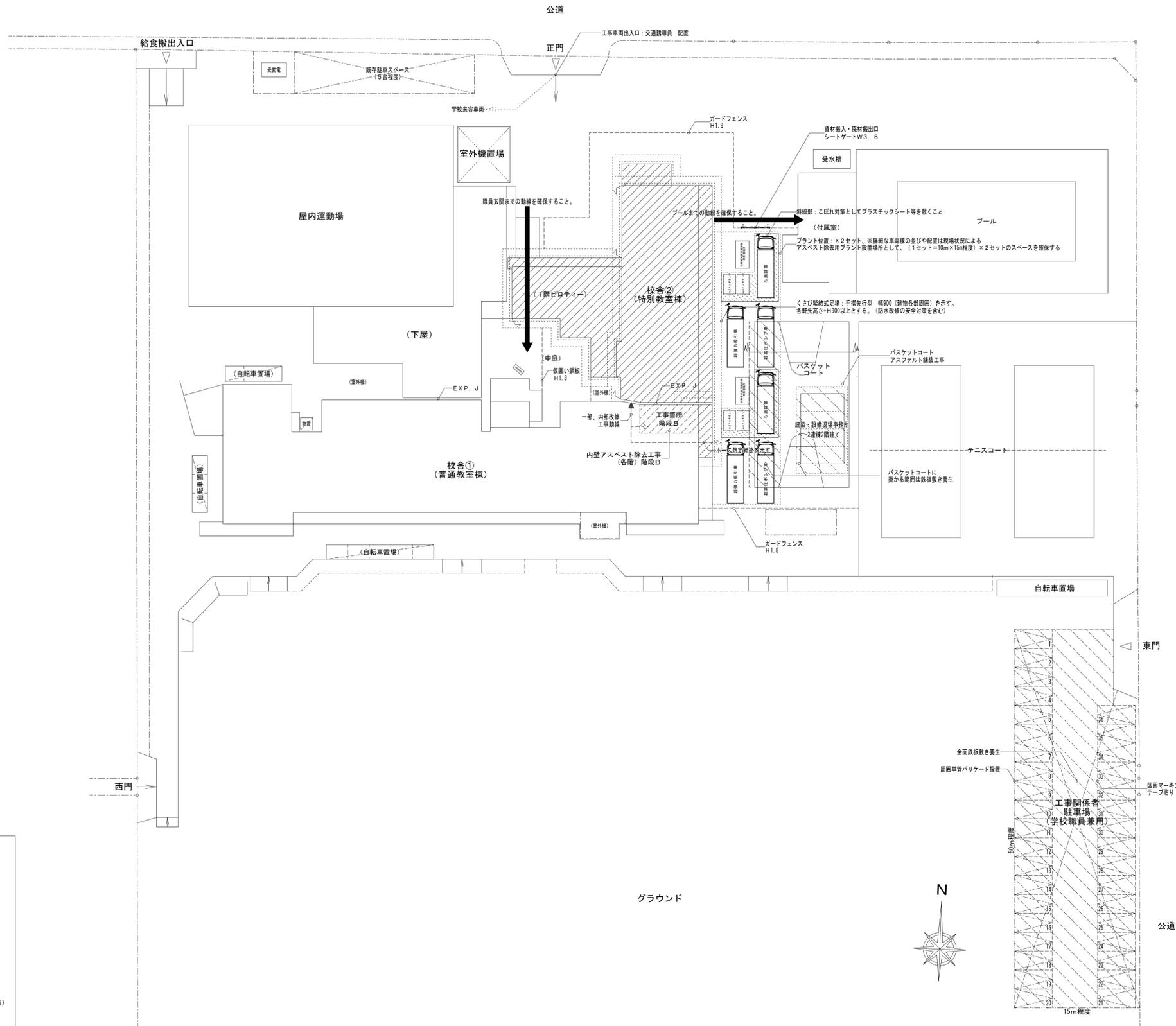
- ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
- 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。

[5] 取付位置・方法

- 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[6] その他

- 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるように脱着式を基本とする。
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
- サイン計画については、当施設他工事と十分に調整協議をすること。



内壁アスベスト除去工事 特記仕様書 (参考)
 【石綿含有仕上塗材・下地調整材除去工事】
 (除去レベル3相当、隔離養生不要)
 ウォータークリーン工法
 ・集塵装置付き超高压水洗工法 (100Mpa以上)
 ・湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法
 (石綿含有仕上塗材・下地調整材除去工事)
 ・床養生 (シート2重)
 ・天井仕上材撤去
 ・試験施工 (隔離養生・負圧なし) により粉塵濃度測定
 ・階段室内壁 仕上塗材・下地調整材除去
 ・同時吸引戻材・排水分別
 ・廃棄物梱包
 ・安全衛生設備機器 (真空掃除機・フィルター等一式)
 ・作業員 (保護マスク等一式)
 ・石綿含有廃棄物 運搬 (8t車×5)
 ・石綿含有廃棄物 処分 (養生材含む)
 (環境測定) 第3者機関
 ・作業前 (敷地境界4点)
 ・作業中 (敷地境界4点+作業付近1点+プラント付近1点)
 ・作業後 (敷地境界4点)
 ・放流水分析 (作業中1回、1L当たり50本以下)

仮設計画図 S=1/300 (内部仮設については、別図、工事範囲による)
 ※アスファルト舗装を4月下旬から5月上旬に先行して行う。
 ※ガードフェンス、鉄板敷き等の仮設工事は6月からとする。
 ※室外機廻りの外部足場は空調の利用期間に配慮し、最後に設置すること。
 外部足場撤去の際は室外機廻りから撤去を始めること。

凡例：
 は、工事建物を示す。
 は、サッシ改修範囲を示す。

外壁吹付アスベスト除去工事 特記事項（参考）

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

- 令和3年3月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
 [一般部] (ア) 集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式（ウォータークリーン工法）
 [狭あい部] (イ) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式（ウォータークリーンSG工法）
 (ウ) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
 - 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（（財）日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。
 - 本施工前に試験施工（隔離養生（負圧不要）の作業場を設置する）を行い、(1)の(イ)の工法の作業場内の空気中濃度測定結果が10本/L以下を満たすことを確認すること。基準値を満たし隔離措置同等工法と認められた場合は簡易養生で本施工を行う（環境省・東京労基署確認済）。基準値を満たさない場合は作業場内をプラスチックシート等にて隔離養生（負圧不要）を行うこと(※)。
 ※ただし、下記条件を満たす場合は、「隔離養生（負圧不要）」と同等以上の効果を有する措置と判断する（マニュアルp. 207）
 (ア) 除去面への散水等の措置を講じながら作業を行うことにより、「常時湿潤な状態に保つ」ことができること
 (イ) 除去作業を行う前に表面に対する散水等では、切断に伴う石綿等の粉じん発生抑制措置としては不十分
 (ウ) 集塵装置を備えたカバー付きの工具にて、同時吸引状況下での施工を行うこと
 (エ) 当該集塵装置付き工具の集じん装置として、作業中の作業場所における総繊維濃度が10本/Lを下回ることを確認すること
- (3) 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

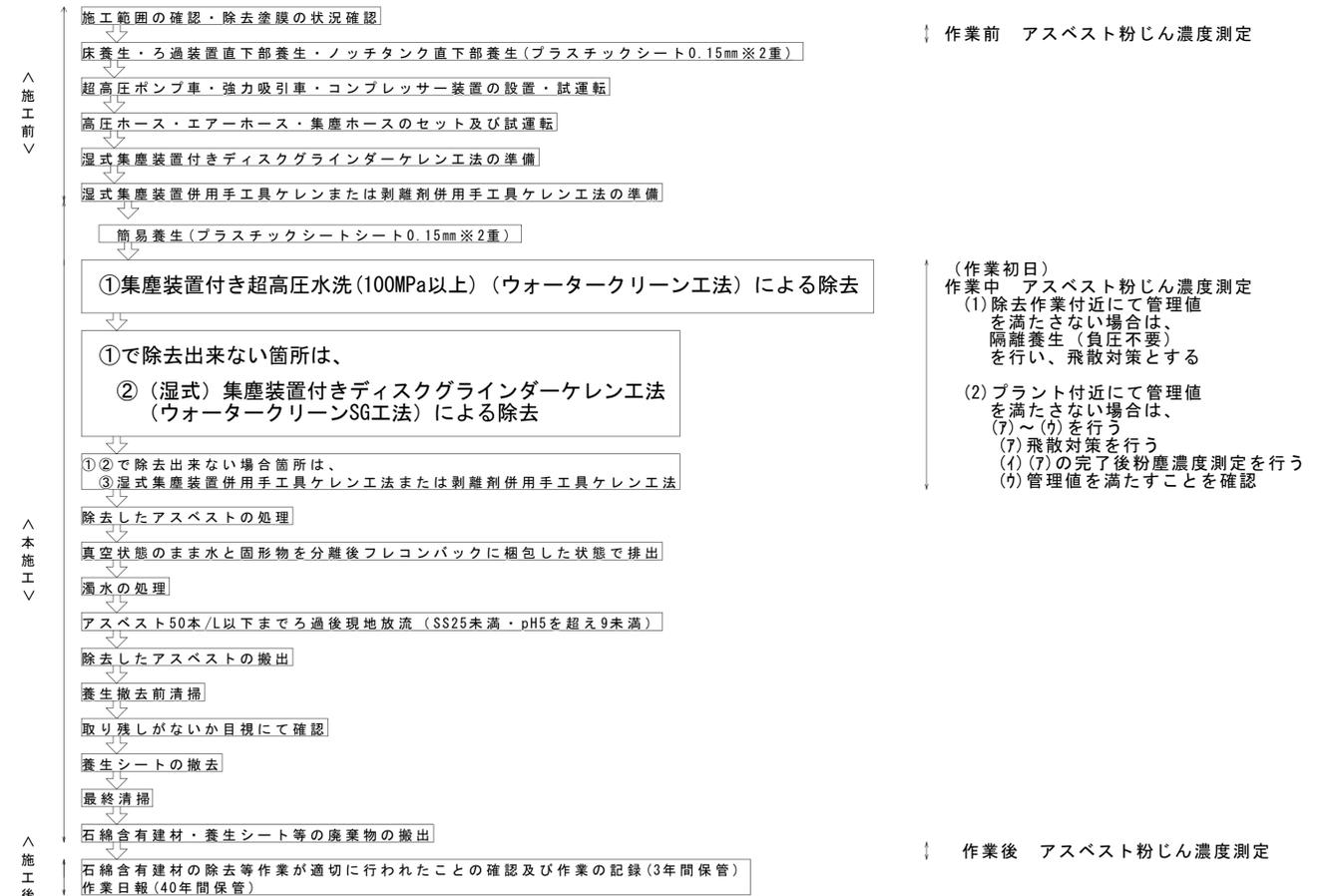
項目	特記仕様	管理方法																																		
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																																			
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	撮影 臨機に仕様書提出																																		
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影																																		
水処理（濁水処理内容）	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量 50本/L以下(検出限界値) ・pH pH5を超え9未満 ・浮遊物質（SS） 25mg/L未満	（放流前）pH調整器にて確認・撮影 （放流前）簡易透視度計にて確認・撮影																																		
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。 (7) 試験施工の場合 <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定箇所</th> <th>測定回数</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業中</td> <td>プラント付近</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>作業場内付近</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計2点</td> </tr> </table> (4) 本施工の場合 <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定箇所</th> <th>測定時間</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業前</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>計4点 240分</td> </tr> <tr> <td>作業中</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">作業中</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>240分</td> </tr> <tr> <td>プラント設置付近 1点</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>除去作業付近 1点</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>合計6点</td> <td>計6点 120分</td> </tr> <tr> <td>作業後</td> <td>敷地境界 4方向各1点</td> <td>計4点 240分</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計14点</td> </tr> </table>	測定時期	測定箇所	測定回数	作業中	プラント付近	1点	作業場内付近	1点	合計2点			測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分	作業中		作業中	敷地境界 4方向各1点	240分	プラント設置付近 1点	120分	除去作業付近 1点	120分	合計6点	計6点 120分	作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分	合計14点			第三者機関にて測定
測定時期	測定箇所	測定回数																																		
作業中	プラント付近	1点																																		
	作業場内付近	1点																																		
合計2点																																				
測定時期	測定箇所	測定時間																																		
作業前	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																																		
	作業中																																			
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																																		
	プラント設置付近 1点	120分																																		
	除去作業付近 1点	120分																																		
	合計6点	計6点 120分																																		
作業後	敷地境界 4方向各1点	計4点 240分																																		
合計14点																																				
廃材処理	(1) 強力吸引車を使用した同時吸引式工法により撤去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。 (2) 分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちプラスチック袋（0.15mm以上）で2重梱包する。	撮影																																		
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影																																		

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

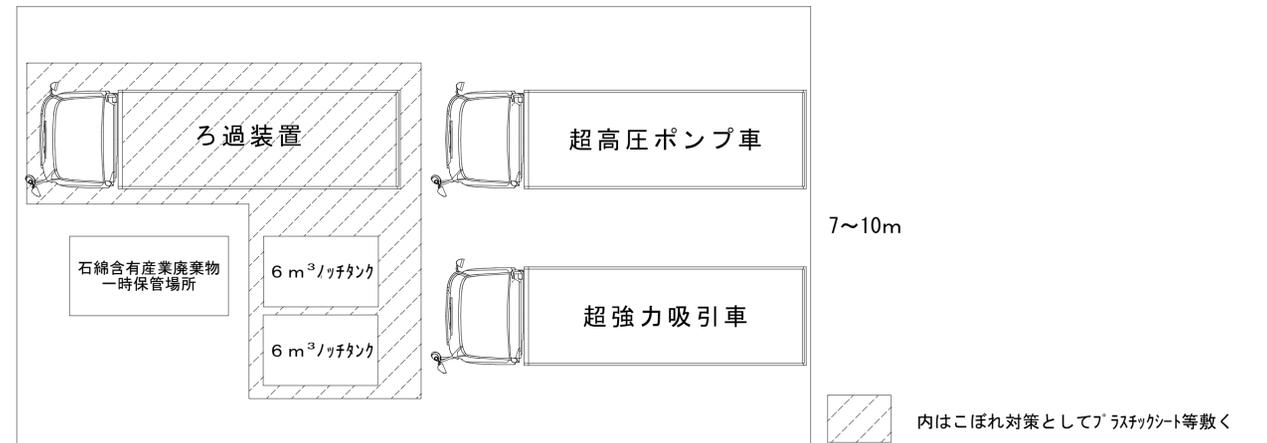
項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理（濁水処理内容）		
アスベスト含有量	アスベスト含有量 50本/L以下	第三者機関の報告書
pH	pH pH5を超え9未満	写真および第三者機関の報告書
浮遊物質（SS）	浮遊物質（SS） 25mg/L未満	写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値（10本/L）以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

- 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
 石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
 ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 ・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



- ### 【同時吸引式プラント設置図（平面図）】
- 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
 - 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。



（ろ過装置直下部・ノッチタンク直下部など）